B5WY-0391-03

Color Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-C3200 ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明にしたがってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
PC-9800 シリーズ PC-9821 は、日本電気 (株) の商標です。
NetWare は、米国ノベル社の登録商標です。
TrueType フォントは米国 Apple Computer 社の登録商標もしくは商標です。
「平成明朝体 W3」「平成角ゴシック体 W5」は、財団法人日本企画協会フォント普及センターの商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

本プリンタのソフトウェアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

平成明朝体™ W3、平成角ゴシック™ W5 は、（財）日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。 関連法律 　刑法　第１４８条、第１４９条、第１６２条 　通貨及証券模造取締法　第１条、第２条等

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の承諾を得ています。

● ＶＣＣＩ 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置を、家庭環境で使用する場合、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●レーザ規格について

この装置は、危険なレーザ光を出さない「クラスⅠのレーザシステム」です。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のカラーページプリンタ XL-C3200 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは、カラー印刷時最大 8 枚 / 分（A4 サイズ）、モノクロ印刷時最大 35 枚 / 分（A4 サイズ）の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタ装置の設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2005 年 12 月

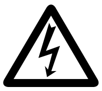
本文中の略語について

Microsoft® Windows® 95 operating system/Microsoft® Windows® 98 operating system は、本文中では Windows 95/Windows 98 と表記しています。
Microsoft® Windows® Millennium Edition は、本文中では Windows Me と表記しています。
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 は、本文中では Windows NT4.0 と表記しています。
Microsoft® Windows® 2000 Professional および Microsoft® Windows® 2000 Server は、本文中では Windows 2000 と表記しています。
Microsoft® Windows® XP Professional および Microsoft® Windows® XP HomeEdition は、本文中では Windows XP と表記しています。
※「Windows 98 および Windows Me」は「Windows 98/Me」、「Windows 2000 および Windows Me 」は「Windows 2000/Me」、「Windows 95、Windows 98 および Windows Me」は「Windows 95/98/Me」、「Windows 98、Windows Me および Windows 2000」は「Windows 98/Me/2000」、「Windows 2000 および Windows NT4.0」は「Windows 2000/NT4.0」、「Windows 2000 および Windows XP」は「Windows 2000/XP」、「Windows NT4.0、Windows 2000 および Windows XP」は「Windows NT4.0/2000/XP」、「Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 および Windows NT4.0」は「Windows 95/98/Me/2000/NT4.0」と略記しています。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタの設置および移動時のご注意

警告

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
　　感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
　　感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。
　　感電・火災の原因となります。本プリンタ定格電源は 100V、15A となっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。
　　感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
　　電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。
　　火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
　　異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
　　窒息の原因となります。

⚠ 警告

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

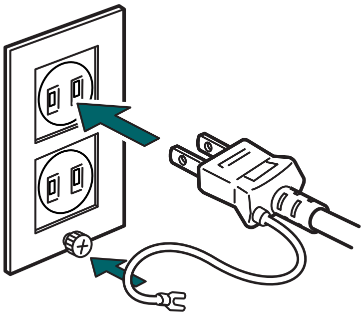
本プリンタに添付されている平行２ピン（アース線付き）の電源コードを使用してください。アースは、次のいずれかに必ず取り付けてください。

・電源コンセントのアース線

・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの

・接地工事（第３種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意

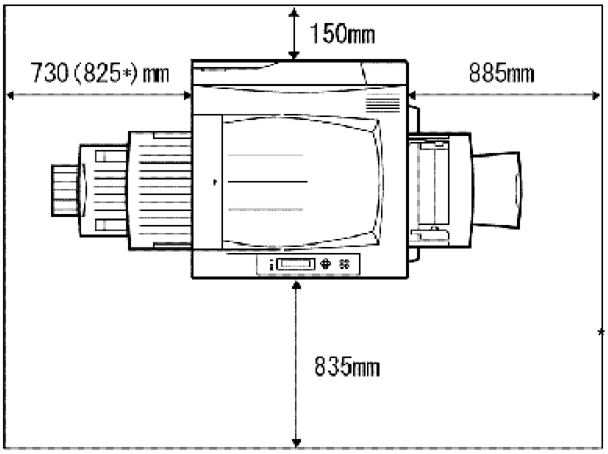
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの側面、背面および上面には通風口があります。プリンタは壁から150mm 以上離して設置し、通風口の上にはものを置かないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な 400mm 以上のスペースを確保してください。



() 内は、オプションの両面印刷ユニットを取り付けた場合です。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

注意

プリンタは、重さ約 71kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

　　プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを設置する場合は、前後方向に 5mm、左右方向に 10mm 以上傾けないでください。

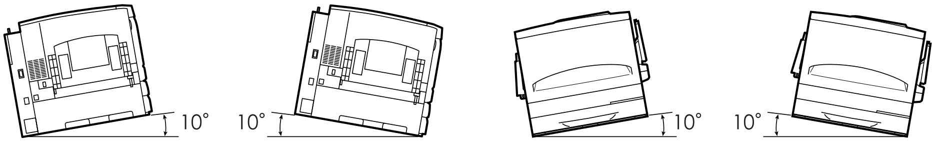
　　プリンタ内部の消耗品がこぼれて故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、ドラムカートリッジや廃トナーボックスを取り外さないでください。

　　取り外したドラムカートリッジや廃トナーボックスをもう一度取り付けると、内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、下図に示す角度以上に傾けないでください。

　　プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパを必ずロックしてください。

　　ストッパをロックしないと、製品が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

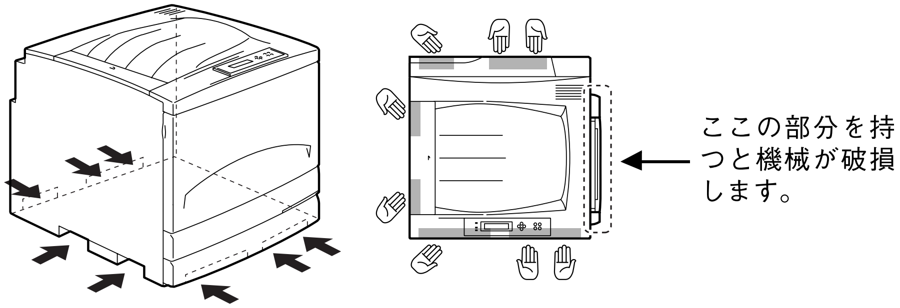
注意

プリンタは、消耗品、用紙トレイを取り付けた状態で約 71kg あります。プリンタを動かす場合は必ず 4 人以上で持ち運んでください。

プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（オペレータパネル側）に向かって、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。

両側のくぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります

プリンタ使用時のご注意

警告

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
　火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
　火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
　重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
　そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理にはご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（318 ページ）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
　故障の修理は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（318 ページ）にご連絡ください。
　そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。
　感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
　火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
　感電の原因となります。

警告

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示された箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(318 ページ) にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(318 ページ) に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(318 ページ) にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(318 ページ) にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。

なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(318 ページ) にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。

　　やけどの原因になることがあります。

　　（xiii ページ④、⑥参照 ）

１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

・電源プラグが電源コンセントにしっかり差しこまれていますか。

・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。

・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。

・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。

・アース線は取り付けられていますか。

　　なお、異常がある場合はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（318 ページ) までご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

　　感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

　　電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

　　指を挟み、けがをする原因となることがあります。

カートリッジ類の取り扱い上のご注意

⚠ 警告

トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのトナーカートリッジは、回収サービス（130 ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

廃トナーボックスを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みの廃トナーボックスは、回収サービス（130 ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

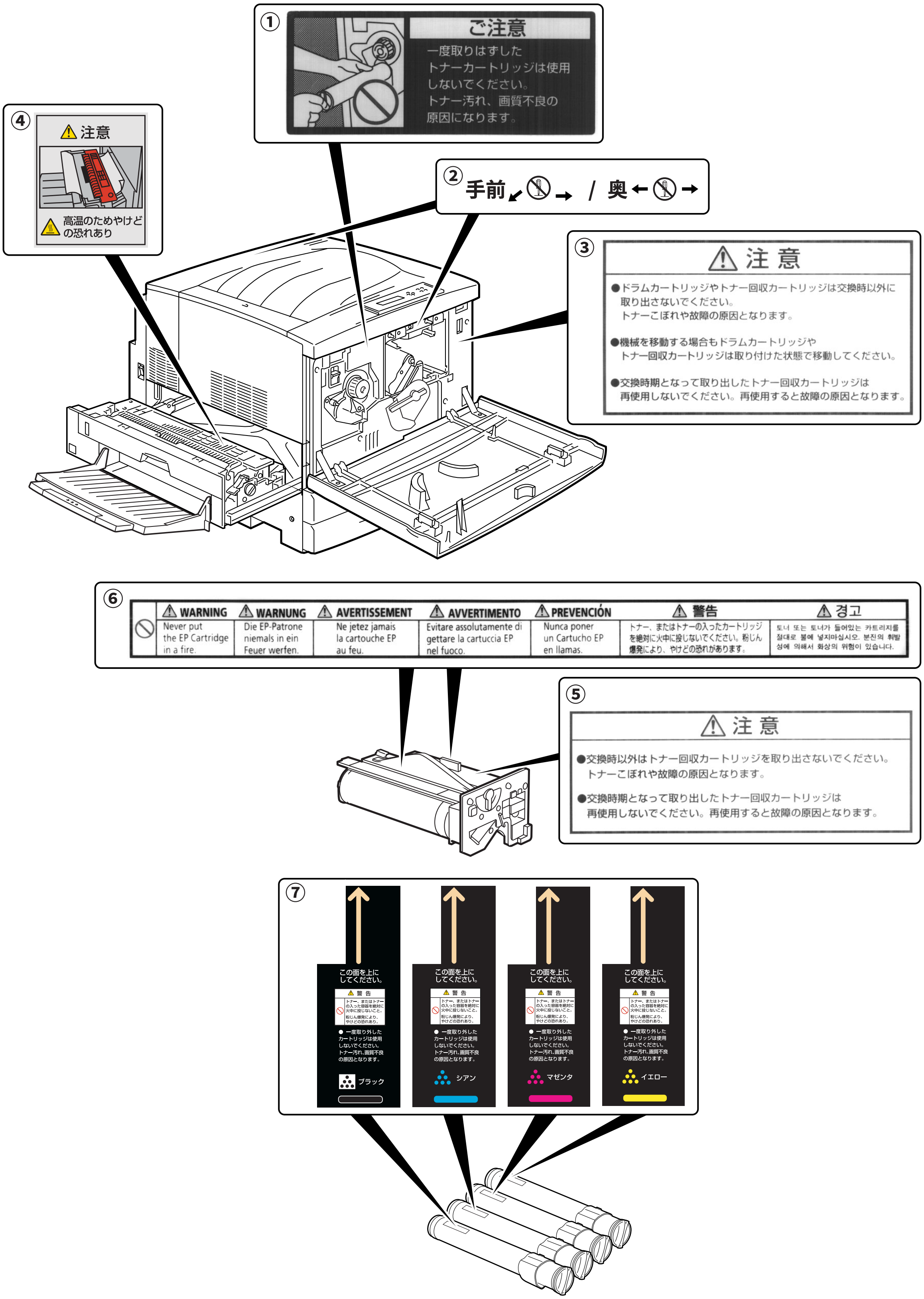
使用済みのドラムカートリッジは、回収サービス（130 ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

トナーは目や口に入らないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。


①
ご注意
一度取りはずした
トナーカートリッジは使用
しないでください。
トナー汚れ、画質不良の
原因になります。
②
手前 / 奥
③
注 意
●ドラムカートリッジやトナー回収カートリッジは交換時以外に
取り出さないでください。
トナーこぼれや故障の原因となります。
●機械を移動する場合もドラムカートリッジや
トナー回収カートリッジは取り付けた状態で移動してください。
●交換時期となって取り出したトナー回収カートリッジは
再使用しないでください。再使用すると故障の原因となります。
④
注意
高温のためやけど
の恐れあり
⑥
WARNING
Never put the EP Cartridge in a fire.
WARNUNG
Die EP-Patrone niemals in ein Feuer werfen.
AVERTISSEMENT
Ne jetez jamais la cartouche EP au feu.
AVVERTIMENTO
Evitare assolutamente di gettare la cartuccia EP nel fuoco.
PREVENCIÓN
Nunca poner un Cartucho EP en llamas.
警告
トナー、またはトナーの入ったカートリッジを絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどの恐れがあります。
경고
토너 또는 토너가 들어있는 카트리지를 절대로 불에 넣지마십시오. 분진의 휘발성에 의해서 화상의 위험이 있습니다.
⑤
注 意
●交換時以外はトナー回収カートリッジを取り出さないでください。
トナーこぼれや故障の原因となります。
●交換時期となって取り出したトナー回収カートリッジは
再使用しないでください。再使用すると故障の原因となります。
⑦
この面を上に
してください。
警 告
トナー、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないこと。
粉じん爆発により、やけどの恐れあり。
● 一度取り外したカートリッジは使用しないでください。
トナー汚れ、画質不良の原因となります。
ブラック
シアン
マゼンタ
イエロー

本製品のマニュアル

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に合わせてご利用ください。なお、PDF ファイルで提供しているマニュアル（ ネットワークガイド、ご利用のガイド & メンテナンス ）は、画面に表示したり、印刷したりする場合に、Adobe Acrobat Reader が必要です。プリンタに同梱されているプリンタソフトウェア CD-ROM から、必要に応じてお使いのパソコンに Adobe Acrobat Reader をインストールしてください。

参照 「Acrobat Reader をインストールする」（312 ページ）

●マニュアルの種類

『XL-C3200 設置ガイド』
同梱品のご案内と、箱を開けてから印刷できるまでの設置手順を簡単に紹介しています。まず、このマニュアルを見て、同梱品を確認してください。
その後、取扱説明書 (本書) を参照しながら、プリンタを設置してください。

『XL-C3200 取扱説明書』(本書)
プリンタ本体の設置と、オプション (拡張メモリ、プリンタ LAN カード) の取り付けかた、必要なソフトウェアのインストール方法などを説明しています。
また基本的な印刷操作や、サプライ品の交換、困ったときの対処方法など、日常プリンタを使用するうえで必要な事柄についても説明しています。

『XL-C3200 ネットワークガイド』
このマニュアルは、同梱のプリンタソフトウェア CD-ROM に PDF ファイル（NetworkGuide.pdf）として収録されています。
ネットワークプリンタとして使用する場合の設置と操作、および印刷できる環境を整えるまでの手順をネットワーク環境別に詳しく説明しています。

『ご利用のガイド & メンテナンス』
このマニュアルは、用紙がつまったときの取り除きかたや、サプライ品の交換など日常お使いになるときに必要なことがらを簡単に説明しています。また、本マニュアルは、プリンタの上に置いていつでもご覧いただけるようになっているだけでなく、プリンタ同梱のプリンタソフトウェア CD-ROM に収録された PDF ファイル（Guide-Maintenance.pdf）を利用して何枚でも印刷できるようになっています。

『用紙について』
サプライ品以外の用紙をご使用になる場合は、このマニュアルを参照し本プリンタに適した用紙を選択してください。

●マニュアルの使いかた

紙マニュアル

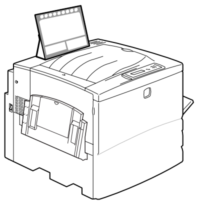
設置ガイド

最初に同梱品と作業のながれを確認します。

取扱説明書

セットアップ編ではプリンタの設置から
使えるようになるまで、
運用編では使用できる用紙の紹介や、
日常のメンテナンス、トラブル時の対処方法
などが記載されています。

ご利用のガイド&メンテナンス

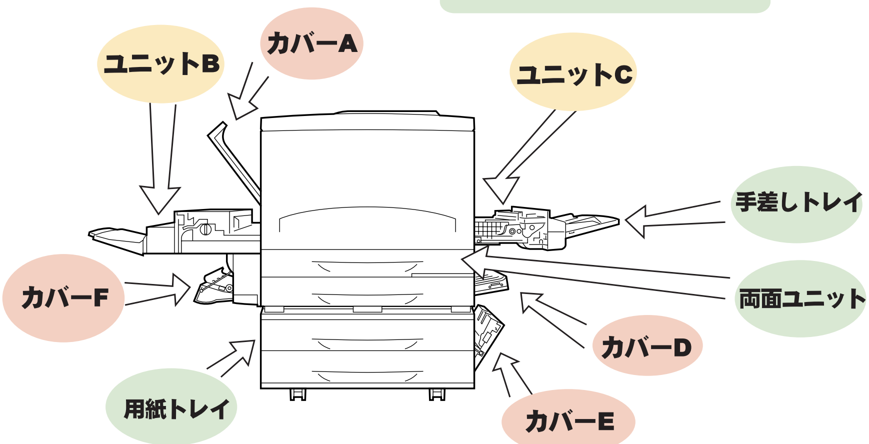


プリンタの上にガイドを置いて、
日常的にご利用になれます。
簡単なメンテナンスは、取扱説明書を開かなくても
ガイドで解決できます。

こんなときには。。。

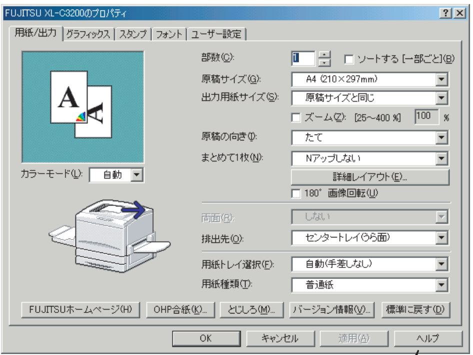
プリンタに用紙がつまったら?

取扱説明書
「紙づまりになったとき」
(245ページ)参照



電子マニュアル

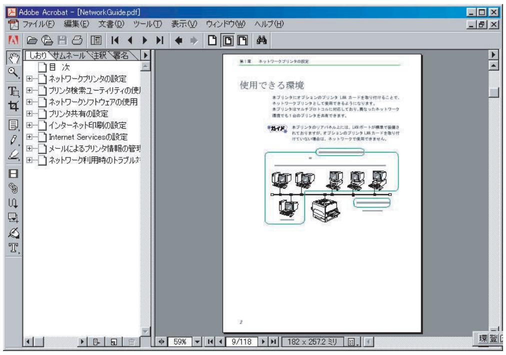
オンラインヘルプ



クリック

プロパティ画面で設定できる項目について、
もっと詳しい情報が得られます。

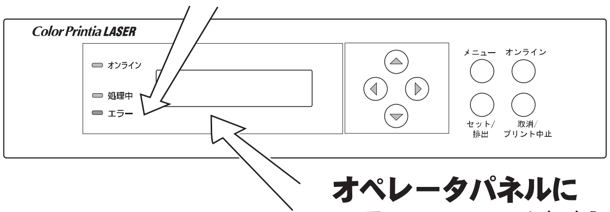
ネットワークガイド



ネットワークを経由して複数のパソコン
でプリンタを共有したり、
インターネット印刷を行うときの
設定などが記載されています。

電子メールでプリンタの状態を確認したい。	ネットワークガイド 「第7章 メールによるプリンタ情報の管理」参照
はがきやOHPフィルムに印刷したい。	取扱説明書　「使用できる用紙」 (104ページ)参照
用紙のセット方法や印刷方法を知りたい。	取扱説明書 「用紙をセットする」(114ページ)参照
サプイライ品を交換したい。	取扱説明書 「サプライ品を交換する」(131ページ)参照

エラーランプが点灯、点滅している



オペレータパネルに
エラーメッセージが表示されている

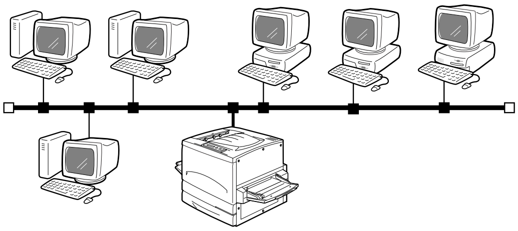
取扱説明書
「メッセージが表示されるとき」
(283ページ)参照

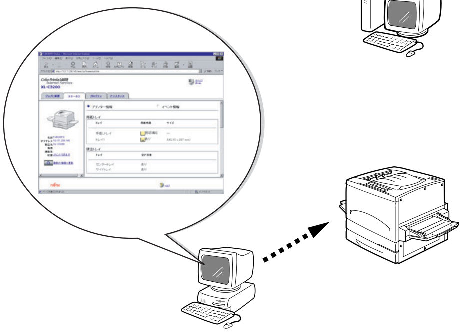
ネットワーク環境で使用する

本プリンタをネットワークにつなげると、次のような機能を利用できます。ネットワーク環境でご使用になる場合の詳細は、プリンタソフトウェア CD-ROM に収録された『XL-C3200 ネットワークガイド』を参照してください。

プリンタを複数のパソコンで共有できます。

XL-C3200ネットワークガイド
「第１章 ネットワークプリンタの設定」参照



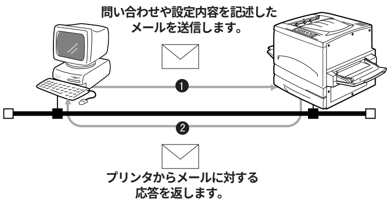


Internet Services（インターネットサービス）を利用するとプリンタの状態や、印刷の進み具合などを確認したり、設定を変更したりできます。

XL-C3200ネットワークガイド
「第６章 Internet Servicesの設定」参照

電子メールを使って
プリンタの情報を管理できます。

XL-C3200ネットワークガイド
「第７章 メールによるプリンタ情報の管理」参照

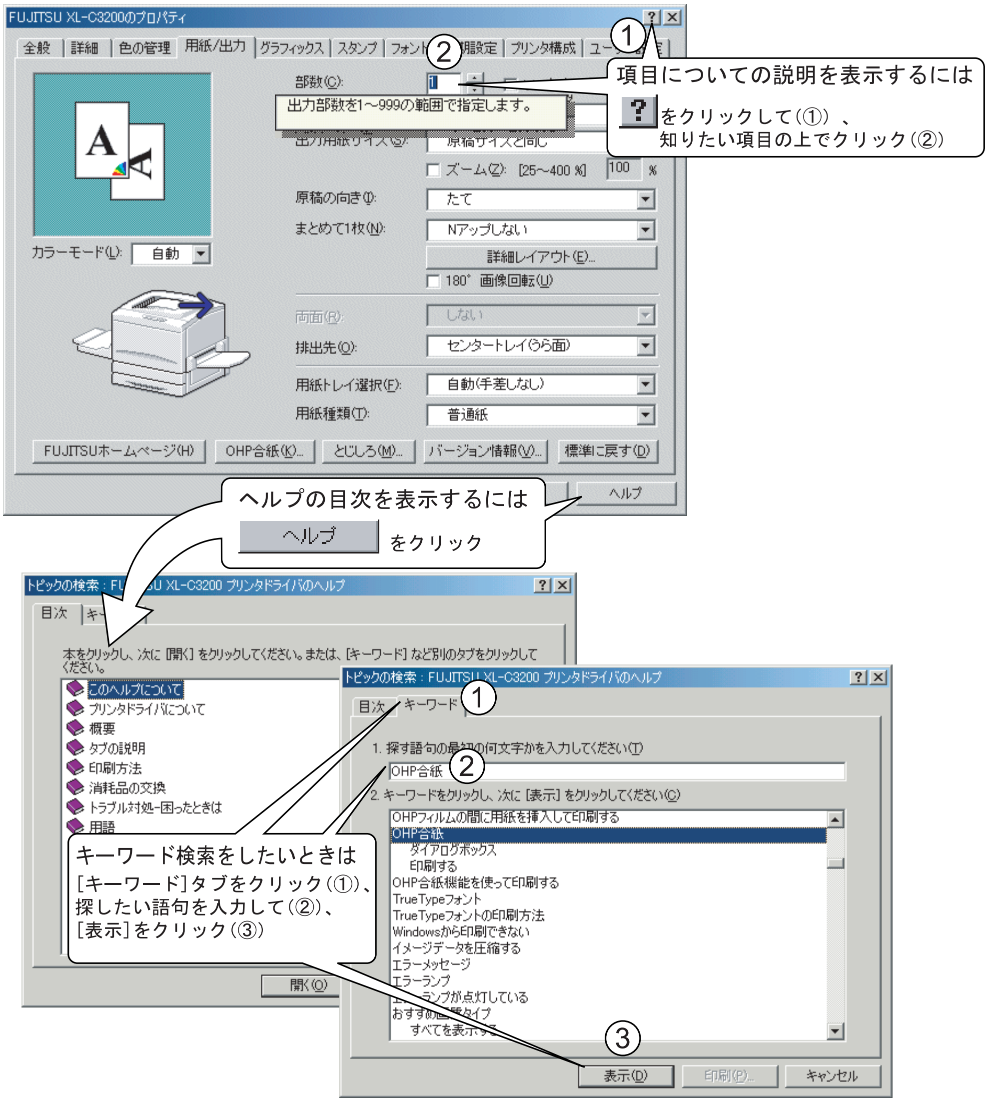


ガイド 本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合は、オプションのプリンタ LAN カードをプリンタに取り付ける必要があります。

XL-C3200 ネットワークガイドの目次

オンラインヘルプを活用する

本プリンタが提供するオンラインヘルプでは、プロパティ画面で設定できる項目のより詳しい説明などが記載されています。また、わからない項目の説明だけを表示する機能もついており、ご使用状況または調べたい内容に合わせて、取扱説明書と使い分けてください。
オンラインヘルプの表示方法などは、「オンラインマニュアルを使う」（313ページ）を参照してください。



本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでを説明する「セットアップ編」と、プリンタをご使用中に必要となる内容を詳しく説明する「運用編」から成ります。
「セットアップ編」と「運用編」には、次の内容が記載されています。

【セットアップ編】

目　次	内　容
第 1 章　お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第 2 章　プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順について説明します。
第 3 章　外部との接続	プリンタをパソコンまたは LAN に接続する方法や、ケーブル類の接続について説明します。
第 4 章　プリンタドライバのインストール	パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

【運用編】

目　次	内　容
第 5 章　用紙について	プリンタで使用できる用紙に関する説明と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第 6 章　日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します。
第 7 章　オペレータパネルの操作	液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。
第 8 章　プリンタドライバの設定 / 印刷	プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。
第 9 章　共通メニューの設定	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第 10 章こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
付　録	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い
本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。

ガイド
本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。

参照
参考となる参照先を示します。
本書内で参照している場合は、参照先と参照ページを記載しています。
本書以外のマニュアルを参照している場合は、マニュアルの種類と参照先を記載しています。

目　次

セットアップ編

運　用　編

第 7 章　オペレータパネルの操作......... 171

第 8 章　プリンタドライバの設定 / 印刷.... 181

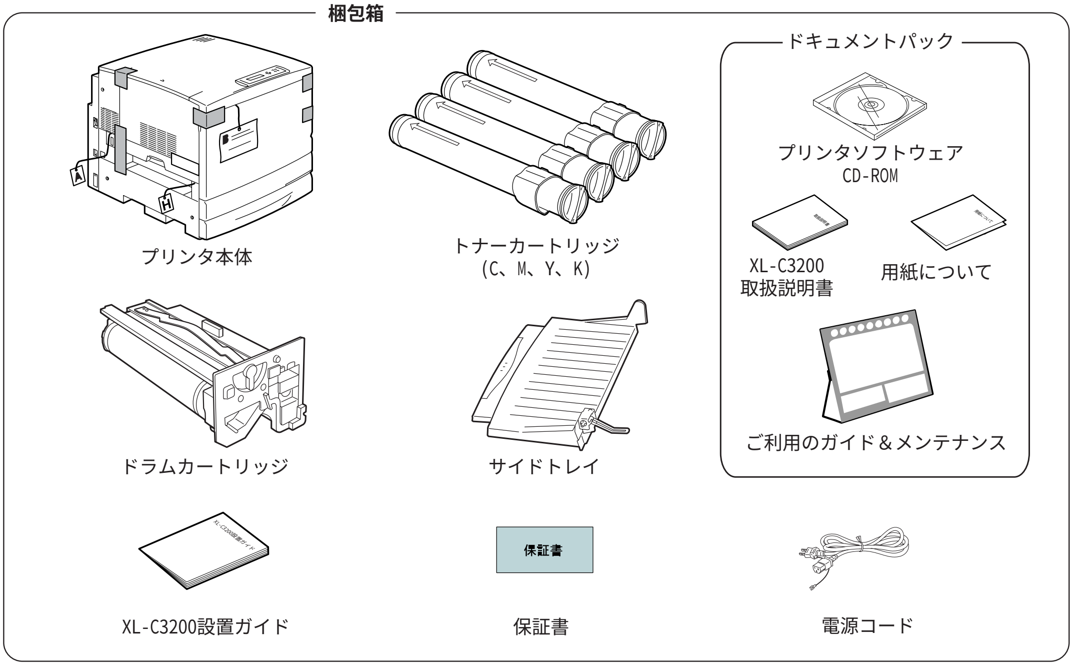
セットアップ編

第 1 章
お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知ってお
いていただきたいことについて説明します。

製品を確認する

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※本プリンタは、必ず４人以上で持ち運んでください。



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル (プリンタケーブル) は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。

ガイド

移転などプリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

本プリンタの特長

1　高速プリントエンジンおよび高品質印刷

カラー 8 枚 / 分、モノクロ 35 枚 / 分の高速印刷（A4 横 / 片面の連続印刷時）、および 600 × 600dpi の高解像度印刷、各色 256 階調のフルカラー印刷が可能です。

2　LAN への対応

TCP/IP(lpr,IPP,HTTP,DHCP)、UDP/IP(SNMP) をサポートし、Web からの状態監視 / 設定変更が可能 (Internet Services) になりました。オプションのプリンタ LAN カードを取り付けて、ご使用ください。

3　優れた拡張性

両面ユニットを取り付けることで、用紙の両面に印刷することができます。
拡張給紙ユニット (オプション) を取り付けると、異なったサイズの用紙を 4 種類まで同時にセットしたり、最大 1,400 枚 (拡張給紙ユニット取り付け時) の用紙をセットしたりできます。
また、メモリは標準 64MB、最大 256MB まで増設が可能です。

4　高性能なカラープリンタドライバのサポート

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP 日本語版に対応し、高品位なカラー画像を鮮明に、かつ高速に印刷します。
N アップ印刷 / スタンプ印刷 / 拡大連写印刷 / 小冊子印刷等の特殊印刷機能にも対応しています。

5　多様な用紙サイズに対応

はがき、A5 〜特 A3 サイズ、不定形サイズ（幅 330.2mm、長さ 457.2mm）までさまざまな用紙サイズに対応しています。

6　省エネ・低ランニングコストを実現

スリープモードを採用し、節電モード時 20W の低消費電力を実現しました。（エナジースター取得）
トナーセーブ / 両面印刷 / 小冊子印刷 /N アップ印刷機能により、ランニングコストを低減できます。

CD-ROM の内容

本プリンタには、「Color Printia LASER プリンタソフトウェア」CD-ROMが同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。

Cd-rom	
Acrobat	Acrobat Reader V4.05
Dpu	TCP/IP Direct Print Utility（Windows 95/98/Me用）
Win9x	
Hprint	「HyperPrint」お試し版
PrtSUtil	プリンタ検索ユーティリティ
Repoagent	「RepoAgent」お試し版
Xl-c3200	
Driver	XL-C3200ドライバディスク用フォルダ
Win2K_XP	・Windows 2000/XP用プリンタドライバ（V1.0.0）
Win95	・Windows 95用プリンタドライバ（V1.0.0）
Win98_Me	・Windows 98/Me用プリンタドライバ（V1.0.0）
WinNT40	・Windows NT4.0用プリンタドライバ（V1.0.0）
Manual	「XL-C3200ネットワークガイド」等のPDFマニュアル
USBUtil	USBプリントユーティリティ（セットアップ用：Windows 98SE/Me）
Readme.txt	CD-ROM全体のReadmeファイル

⋮

各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

前面

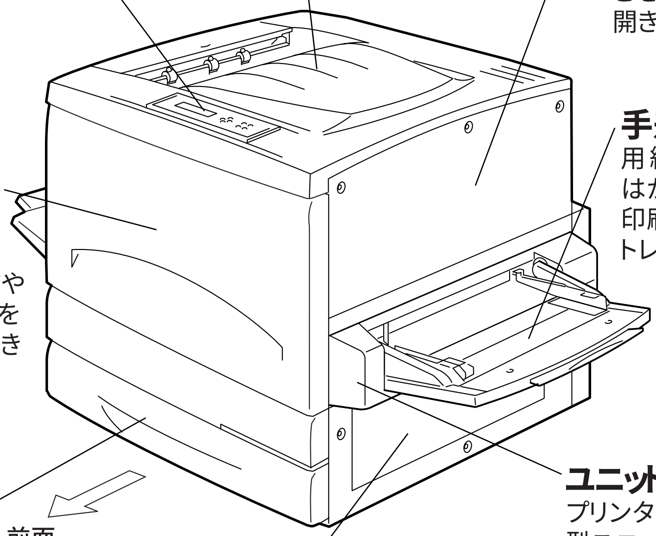
センタートレイ
印刷された用紙が、印刷面を下にして排出されます。

オペレータパネル
ランプ、ボタン、ディスプレイで構成されています。

右上カバー
プリンタ右側面上のカバーです。プリンタLANカードや、増設メモリ、ハードディスクなどを取り付けるときに開きます。

手差しトレイ
用紙をセットします。はがきや封筒などに印刷するときは、このトレイを使用します。

フロントカバー
プリンタ正面のカバーです。トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開きます。

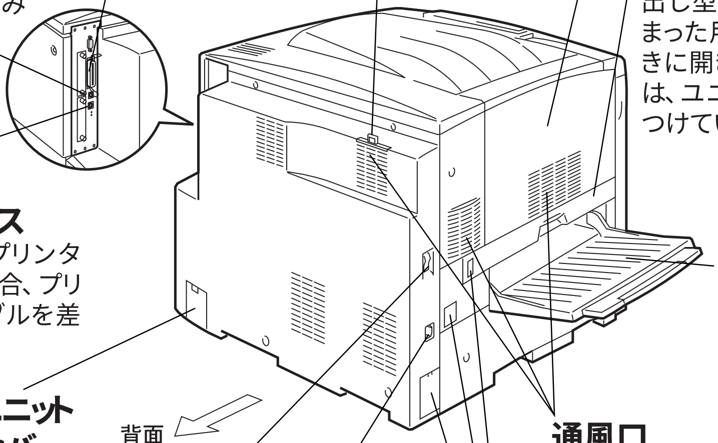


ユニットC
プリンタ右側面の引き出し型ユニットです。つまった用紙を取り除くときに開きます。上の図では、ユニット部分に色をつけています。

用紙トレイ
用紙をセットします。

カバーD
プリンタ右側面下のカバーです。つまった用紙を取り除くときに開きます。

背面



USBインタフェース
ローカルプリンタで使用する場合、プリンタUSBケーブルを差し込みます。

パラレルインタフェース
ローカルプリンタで使用する場合、プリンタケーブルを差し込みます。

フィルタ
トナーが外部に飛散するのを防いでいます。フィルタは、外さないでください。

カバーA
プリンタ左側面のカバーです。つまった用紙を取り除くときに開きます。

ユニットB
プリンタ左側面の引き出し型ユニットです。つまった用紙を取り除くときに開きます。左の図では、ユニット部分に色をつけています。

イーサネットインタフェース
ネットワークプリンタで使用する場合、プリンタLANケーブルを差し込みます。

サイドトレイ
印刷された用紙が、印刷面を上にして排出されます。

拡張給紙ユニット用コネクタカバー
オプションの拡張給紙ユニットを取り付けるときに接続するコネクタのカバーです。

通風口
プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱を放出します。設置時には通風口をふさがないようにしてください。

電源コードコネクタ
電源コードを差し込みます。

電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりするスイッチです。[I]側に押すと電源が入り、[O]側に押すと電源が切れます。

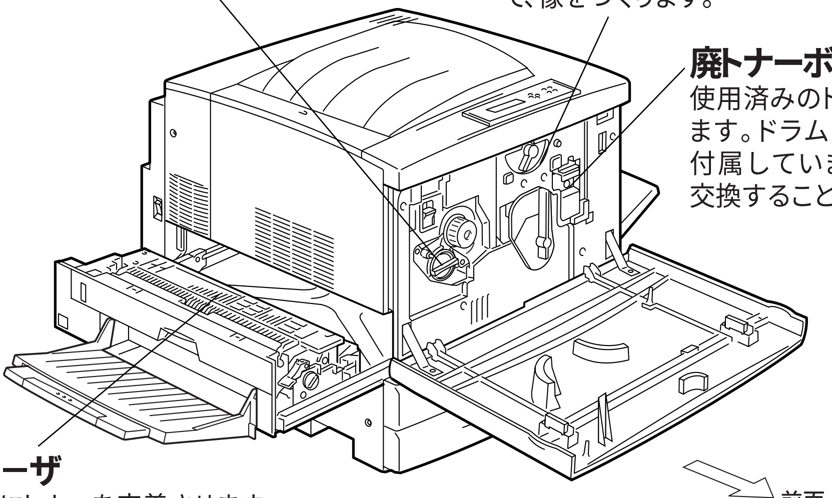
両面ユニット用コネクタカバー
オプションの両面ユニットを取り付けるときに接続するコネクタのカバーです。

内部

トナーカートリッジ
ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの4色のトナーが収容されています。

ドラムカートリッジ
ドラム(感光体)、ドラムクリーナ、廃トナーボックスで構成されています。このドラム面に電荷を与えて、像をつくります。

廃トナーボックス
使用済みのトナーを回収します。ドラムカートリッジに付属していますが、単品で交換することもできます。



ヒューザ
用紙にトナーを定着させます。
プリンタ使用時には高温になっています。
手を触れないように注意してください。

第２章

プリンタの設置

この章では、プリンタを設置し、プリンタ単体で正しく動作することを確認するまでの手順を、順を追って説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

● いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　温度　10 ～ 32 ℃　　湿度 15 ～ 85%（結露がないこと）
　温度 32 ℃のときは湿度 65%以下、湿度が 85%のときは温度 28 ℃以下でご使用ください。
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、製品の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

● 電源コンセントは本プリンタ専用にお使いください。
　1 つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるパソコンの誤動作、データ消失のおそれがあります。
　電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。
　発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンタの定格電源は、100V 、8.5A です。

● プリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙探知機、温度センサなど）が施された場所に設置してください。
　また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

● プリンタを 10°以上傾けないでください。
　転倒などによりけがの原因となることがあります。

● プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
　電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

● ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
・本プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・本プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

お願い

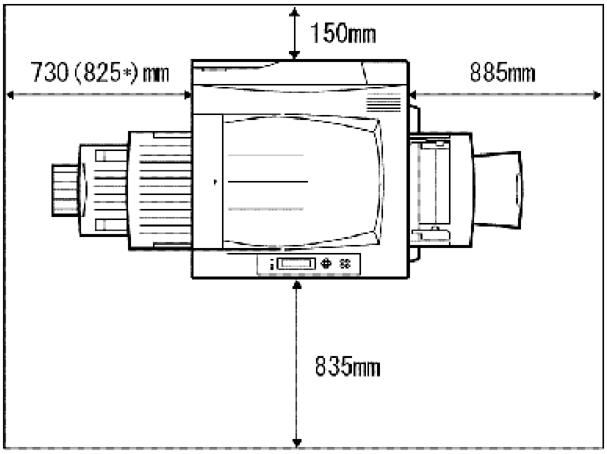
ー超音波加湿器をご使用のお客様へー

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

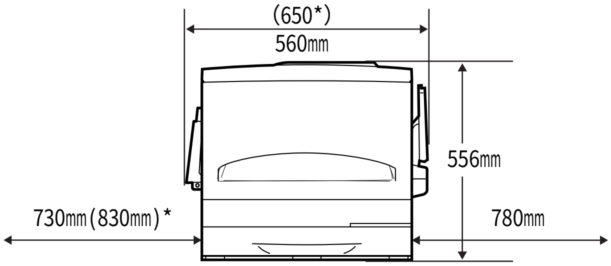
プリンタの寸法および設置スペース

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

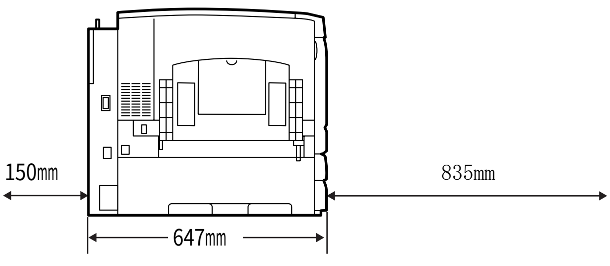
上面図



正面図



側面図



＊（ ）内は、オプションの両面ユニットを取り付けた場合です。

⚠ 注意	火　災　製品の側面および背面には通風口があります。通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、製品の操作、消耗品の交換、および日常の点検など、製品を正しく使用し、製品の性能を維持するために、上図の設置スペースを確保してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

梱包品を確認する

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品を確認する」（4 ページ）に記載してあります。

プリンタを設置する

プリンタを設置場所に移動します。設置場所については、XL-C3200 設置ガイドを参照してください。
オプション品を取り付ける場合は、各オプション品に添付された取扱説明書にしたがって設置してください。

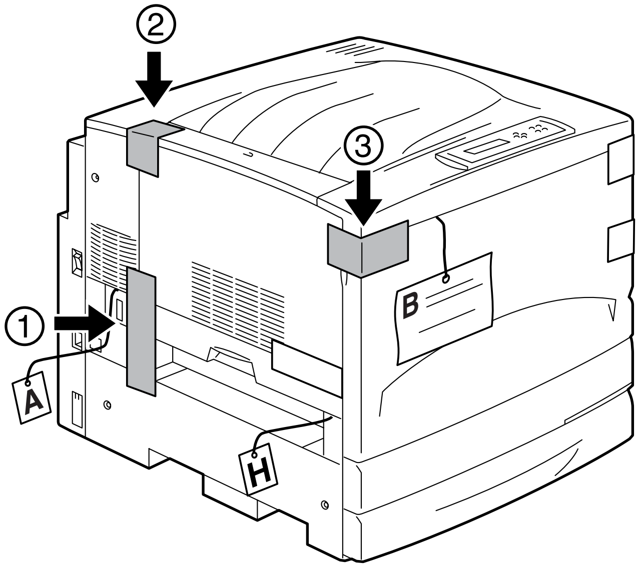
お願い

本製品の重さは、消耗品、用紙トレイを取り付けた状態で 71kg です。プリンタを持ち運ぶ場合は、必ず 4 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、本体正面に向かって前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。このくぼみ以外を持って持ち上げることは、絶対にしないでください。落下によるケガの原因となる恐れがあります。

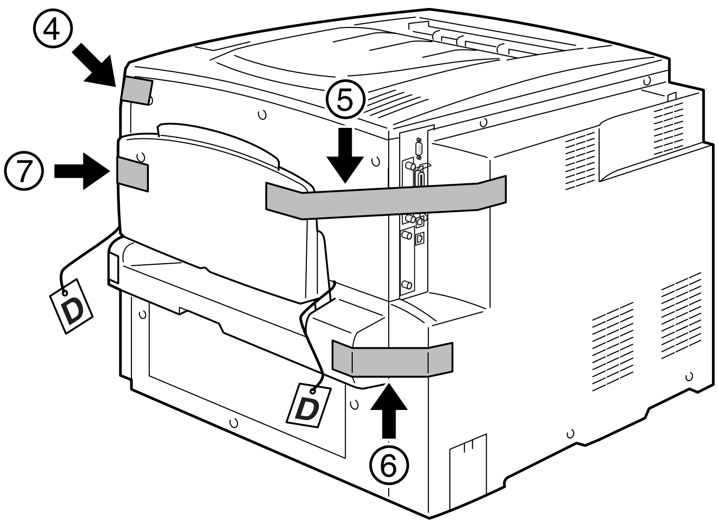
テープをはがす

箱から取り出したプリンタは、プリンタ本体およびフロントカバー内部の合計 9ヶ所がテープで留められています。プリンタを使用する前にすべてのテープをはがしてください。

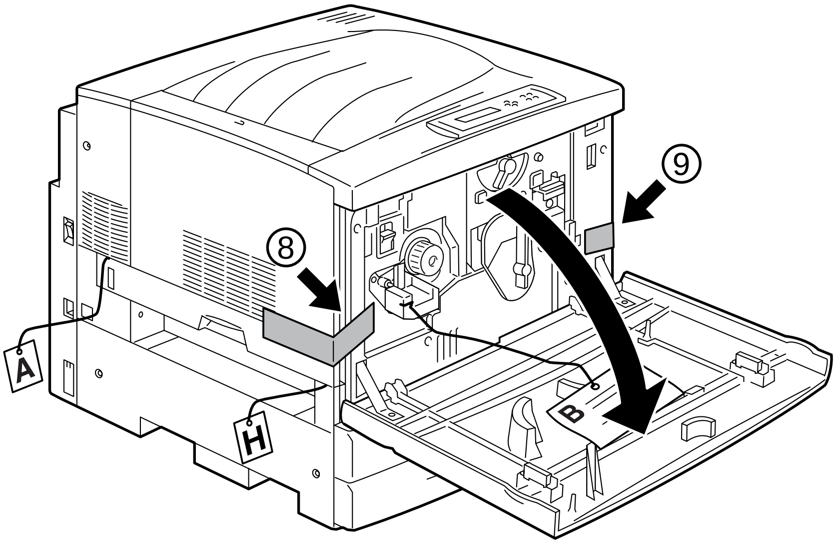
プリンタ本体左側 (3 か所)



プリンタ本体右側 (4 か所)



フロントカバー内部 (2 か所)



2

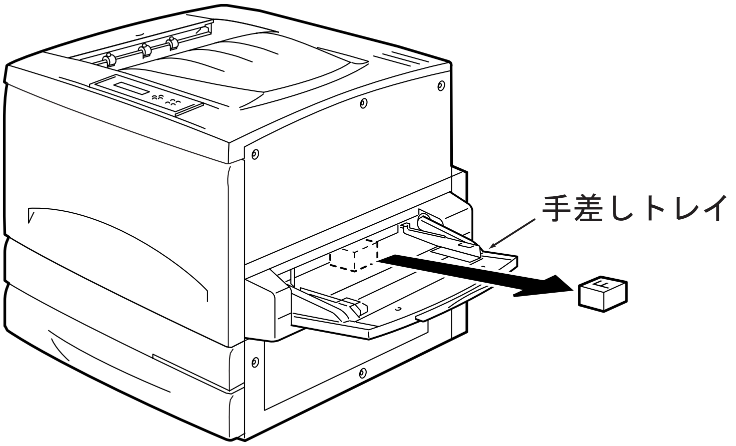
セットアップ編

スペーサを取り外す

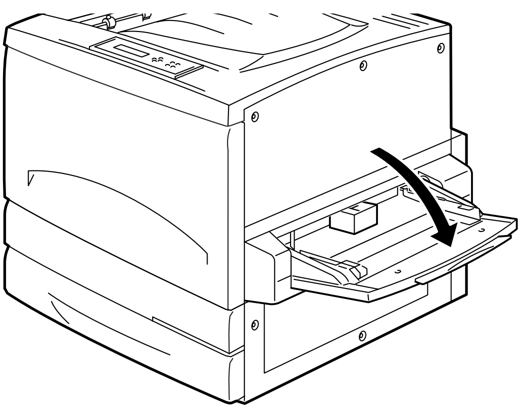
プリンタには、7 種類 8 個のスペーサと 4 個のトナーカバーが取り付けられています。
すべてのスペーサとカバーを取り外してください。

お願い　B、C、D、E、F と書かれたスペーサは、プリンタを長距離移動させるときに必要です。なくさずに保管しておいてください。

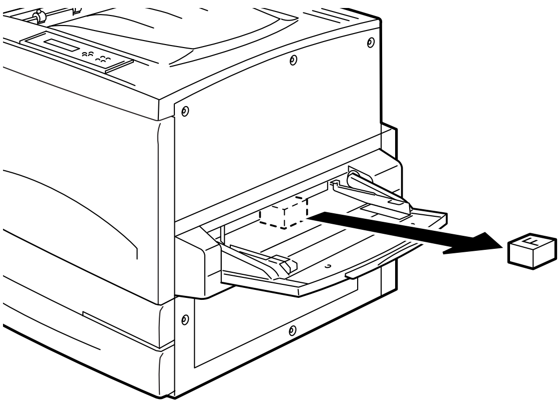
手差しトレイのスペーサを取り外す



次の手順にしたがって、手差しトレイのスペーサを取り外します。



1 手差しトレイを開く



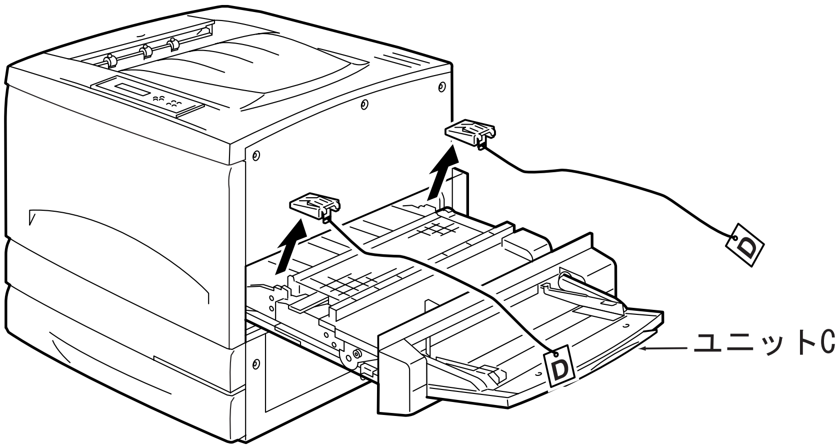
2 図の位置にあるスペーサ (F と書かれています) を取り外す

ガイド

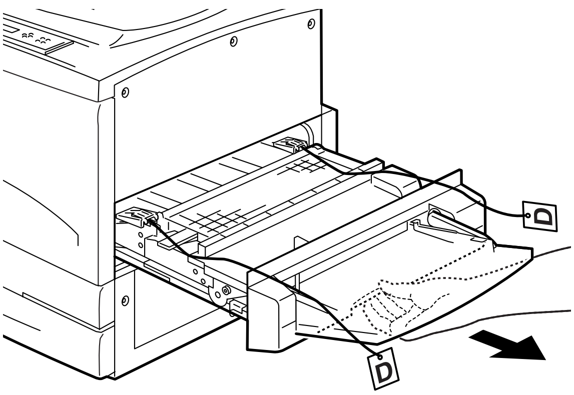
移転などでプリンタを移動する可能性がある場合は、このスペーサをなくさずに保管しておいてください。

2

▼ユニット C のスペーサを取り外す

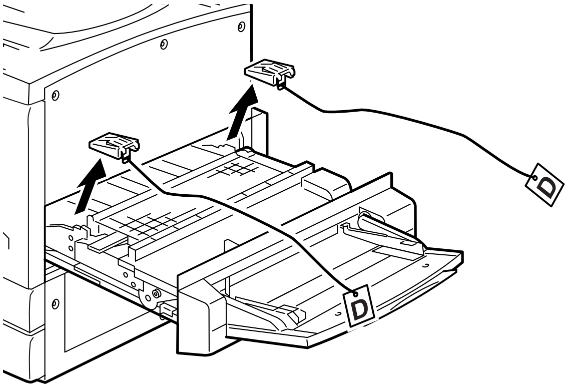


次の手順にしたがって、ユニット C のスペーサを取り外します。



1 ユニット C を、止まるまでゆっくりと引き出す

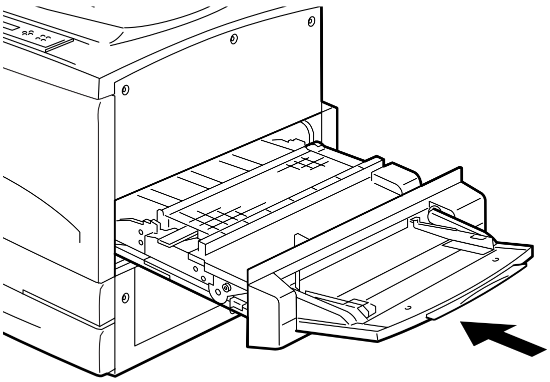
セットアップ編



2 図の位置にあるオレンジ色のスペーサ(Dと書かれたタグが付いています)を引いて外す

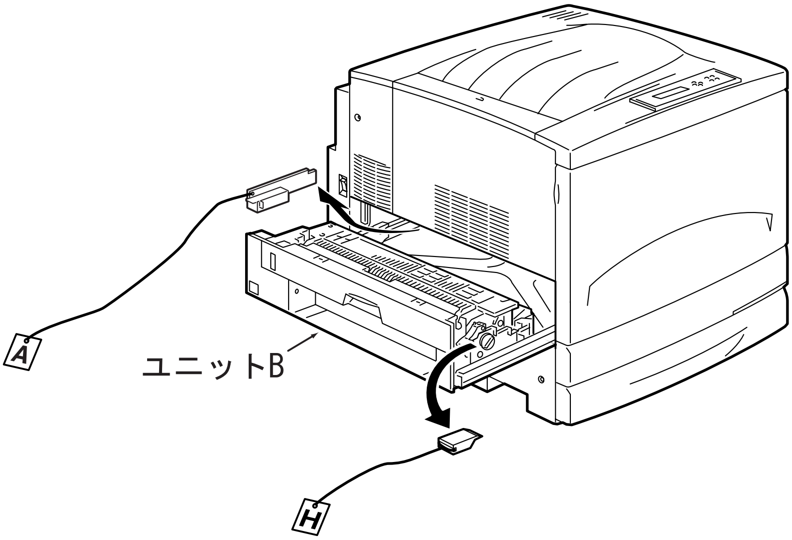
ガイド

移転などでプリンタを移動する可能性がある場合は、このスペーサをなくさずに保管しておいてください。

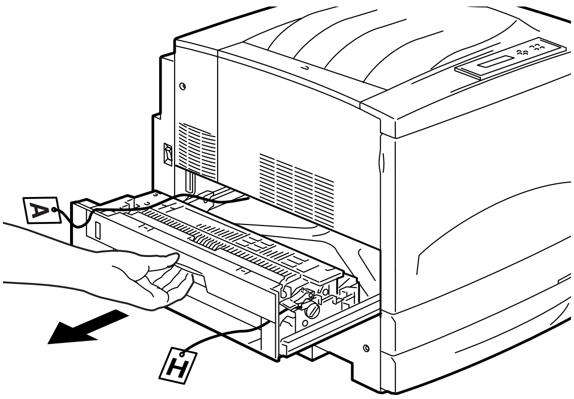


3 ユニット C を、プリンタの奥までしっかりと押し込む

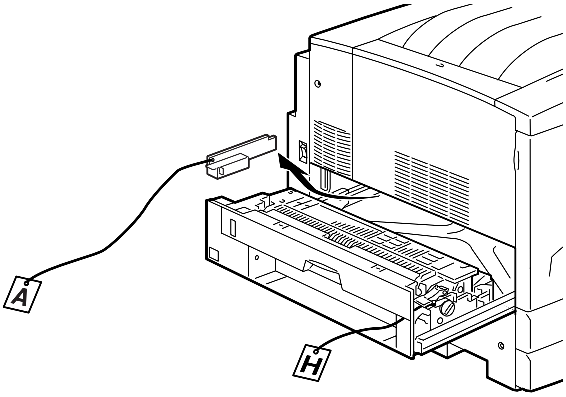
ユニット B のスペーサを取り外す



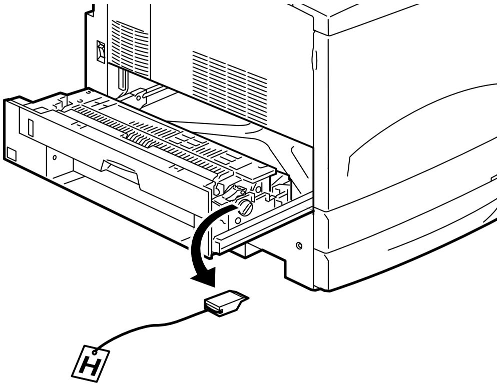
次の手順にしたがって、ユニット B のスペーサを取り外します。



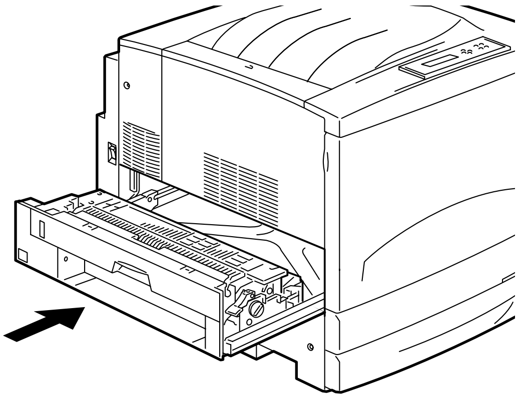
1 ユニット B を、止まるまで引き出す



2 ユニット B の奥にあるスペーサ(Aと書かれたタグが付いています)を、スペーサに付いている紐を引いて取り外す

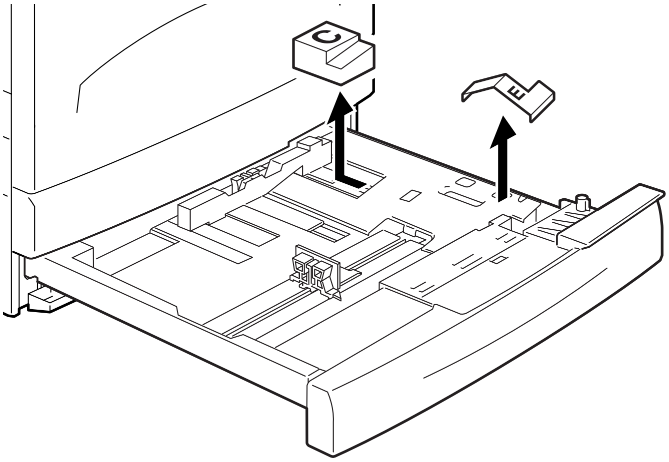


3 図の位置にあるスペーサ(Hと書かれたタグが付いています)を、スペーサに付いている紐を引いて取り外す

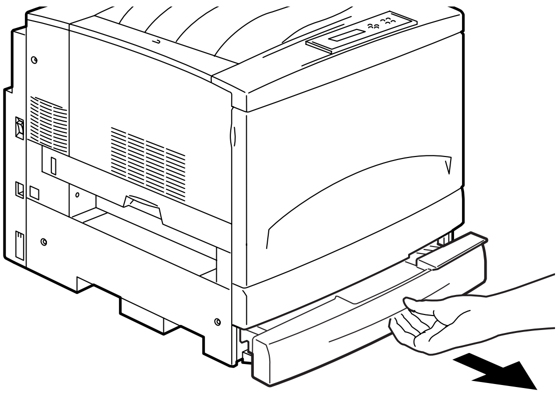


4 ユニット B を、プリンタの奥までしっかりと押し込む

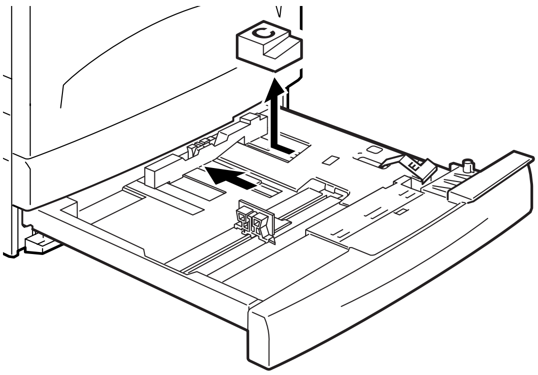
用紙トレイのスペーサを取り外す



次の手順にしたがって、用紙トレイのスペーサを取り外します。



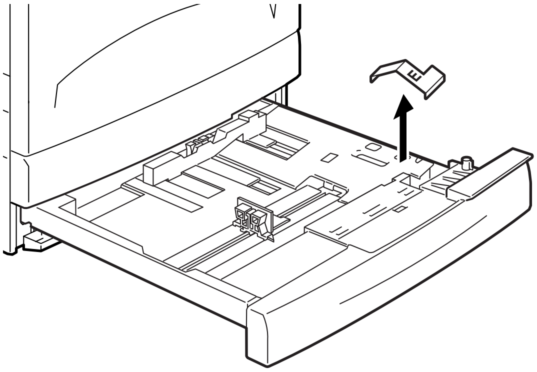
1 用紙トレイを、止まるまで手前に引き出す



2 サイドガイドを奥にずらし、図の位置にあるスペーサ(Cと書かれています) を取り除く

ガイド

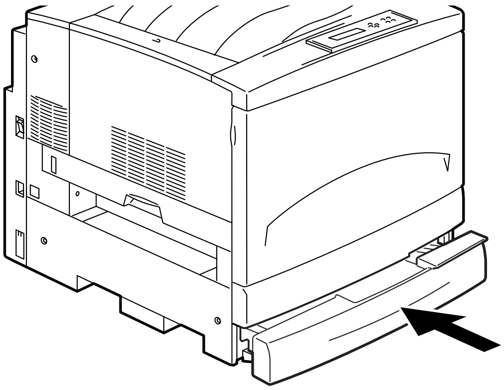
このスペーサは、コの字形をしています。いったんプリンタの奥側にずらしてから、上に持ち上げてください。



3 図の位置にあるスペーサ (E と書かれています) を取り除く

ガイド

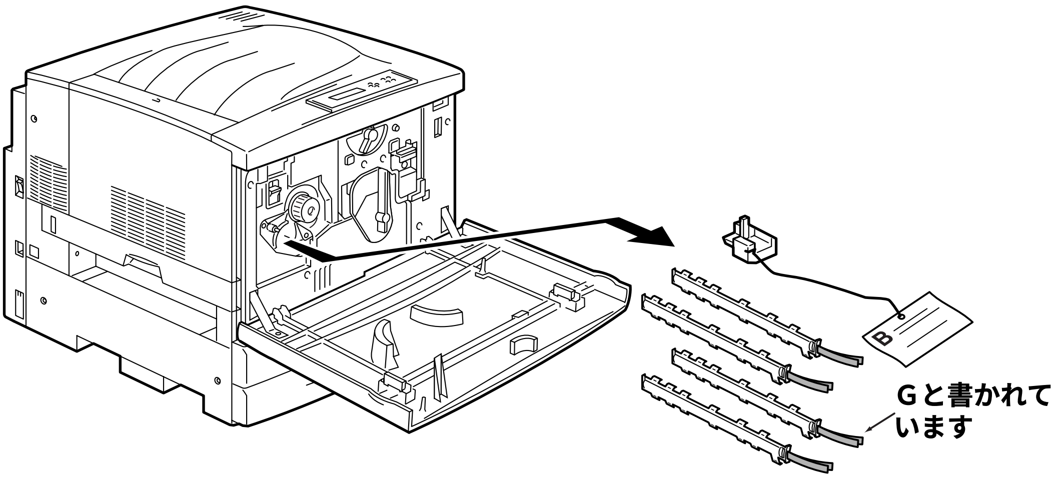
移転などでプリンタを移動する可能性がある場合は、このスペーサをなくさずに保管しておいてください。



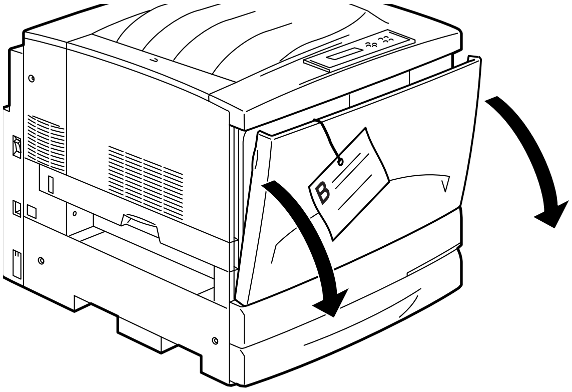
4 用紙トレイを、プリンタの奥までしっかりと押し込む

用紙トレイを押し込むときは、強く押し込みすぎないように注意してください。

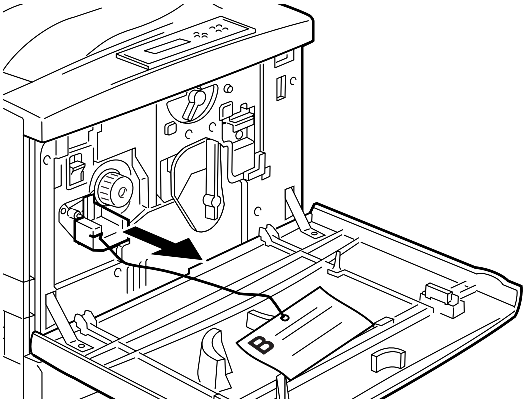
トナーカートリッジ取り付け口のスペーサとトナーカバーを取り外す



次の手順にしたがって、トナーカートリッジ取り付け口のスペーサとトナーカバーを取り外します。



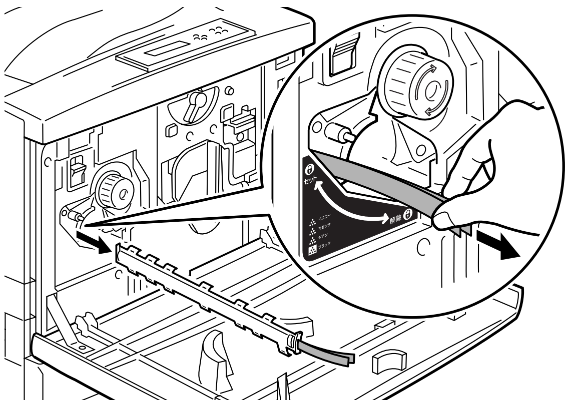
1 フロントカバーを開く



2 図の位置にある回転止めスペーサ(Bと書かれたタグが付いています）を引き抜いて外す

ガイド

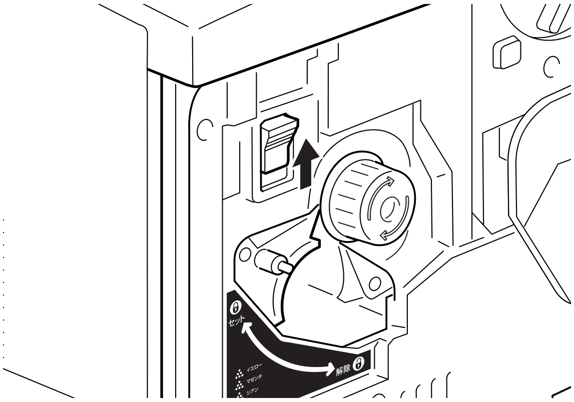
移転などでプリンタを移動する可能性がある場合は、このスペーサを保管しておいてください。



3 トナーカートリッジ取り付け口にあるトナーカバーを、先端の取っ手(Gと書かれています）を引っ張って外す

ガイド

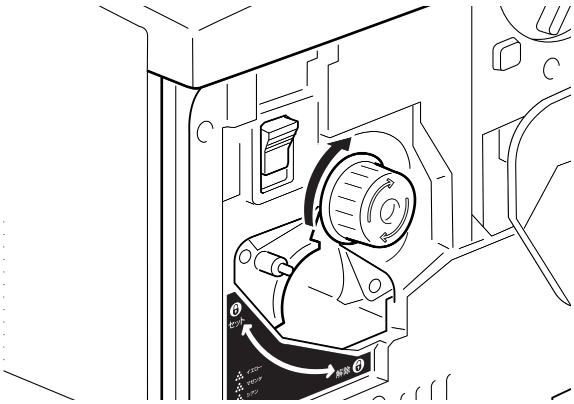
トナーカバーは、４つのトナーカートリッジ取り付け口にそれぞれ取り付けられています。手順４～６を繰り返し、残りの３個も取り外します。



4 回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離す

ガイド

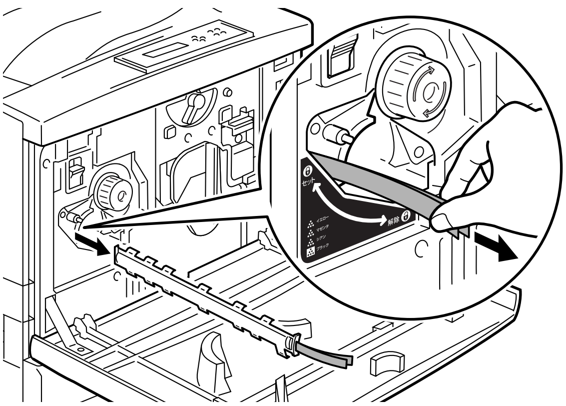
回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。



5 ノブを矢印の方向に止まるまで回し、次のカートリッジを取り付け口に移動させる

ガイド

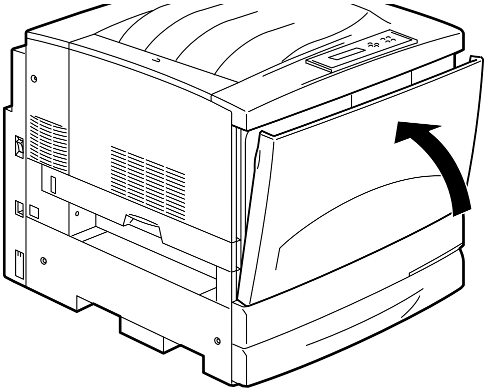
ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。



6 正面に移動してきたトナーカバーを、先端の取っ手を引っ張って外す

7 手順 4 ～ 6 の操作を繰り返す

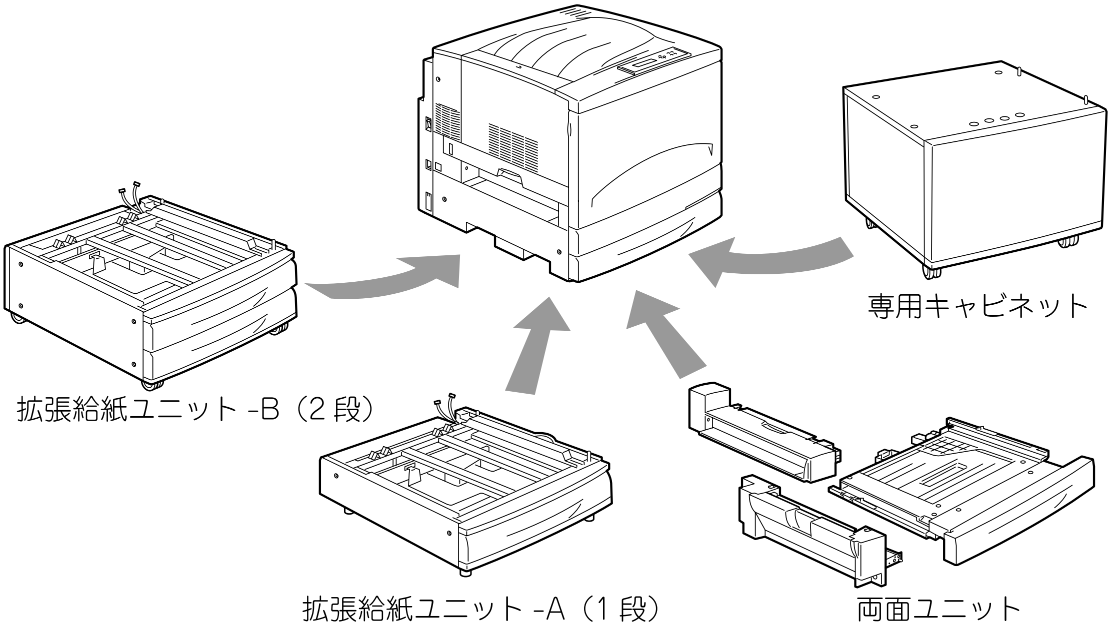
4 個のトナーカバーがすべて取り外されていることを確認してください。



8 フロントカバーを閉じる

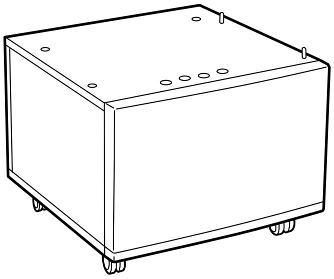
オプション品を取り付ける

オプションの拡張給紙ユニットや、両面ユニットを購入している場合は、ここでプリンタ本体に取り付けます。
ここでは、拡張給紙ユニットを例に取り付けかたを説明します。
各オプション品の取り付けかたは、オプション品に添付された取扱説明書を参照してください。



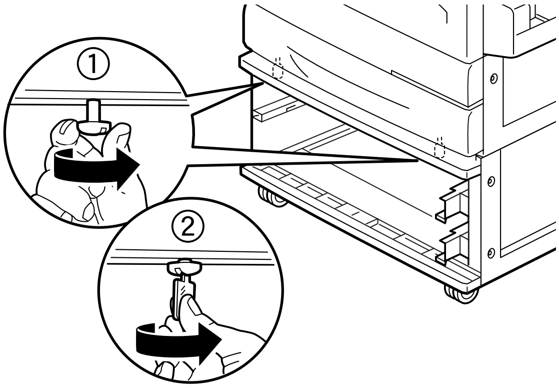
ガイド

専用キャビネットを購入している場合も、ここでプリンタ本体に取り付けます。
取り付け方は、専用キャビネットに添付された取扱説明書を参照してください。



拡張給紙ユニットのコネクタを接続する

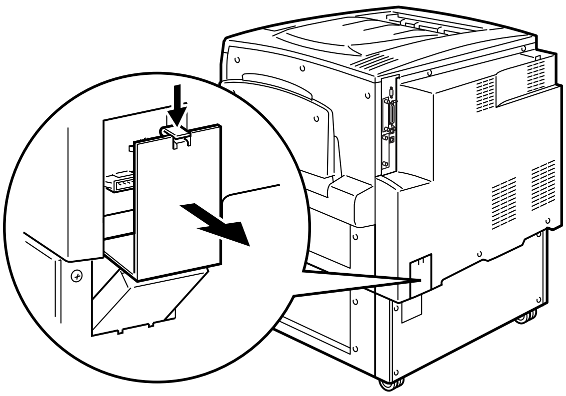
拡張給紙ユニットから出ている 2 本のコネクタケーブルが、プリンタ本体に接続されているかどうかを確認してください。接続されていない場合は、次の手順にしたがって作業してください。ここでは拡張給紙ユニット -B（2 段）を例に説明します。



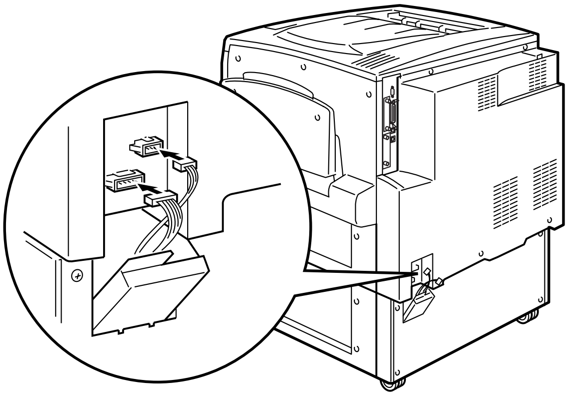
1 プリンタ本体と拡張給紙ユニットを固定する

拡張給紙ユニット -B（2 段）の内側にある 2ヶ所のネジ（①）を手でかるく締めます。

専用工具を使ってネジをしっかり締め（②）、プリンタ本体と拡張給紙ユニット -B（2 段）を固定します。



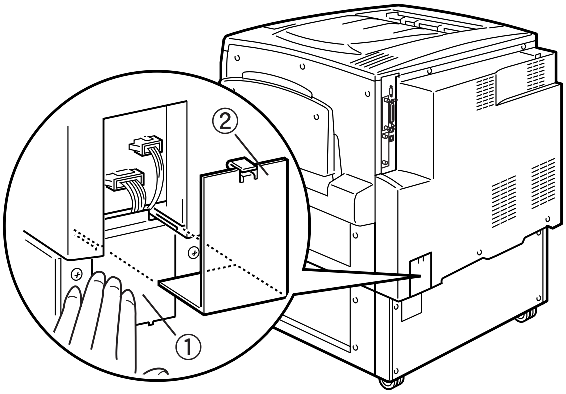
2 プリンタ背面にあるコネクタカバーを、上部のツメを押しながら手前に引いて外す



3 拡張給紙ユニットから出ている 2 本のコネクタケーブルを、プリンタ本体の 2 か所のコネクタ差し込み口に、外側の枠とコネクタの高さが同じになるまで押し込んで接続する

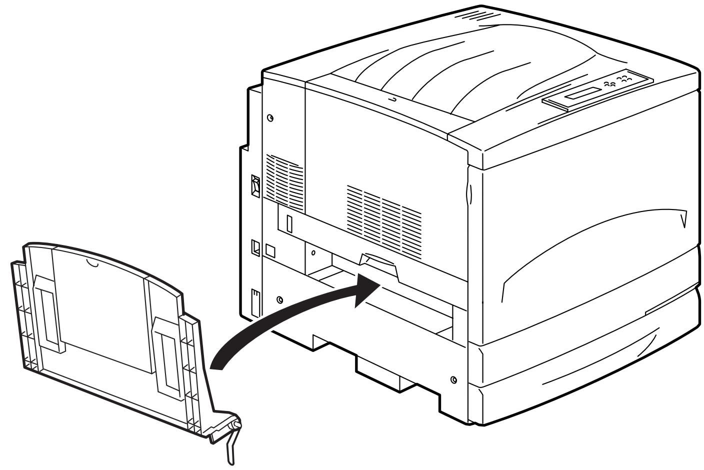
お願い

- 2 つのコネクタは、大きさが異なります。図のように大きさが合うコネクタを接続してください。
- コネクタは強い力で押し込まないでください。指や爪を傷つけるおそれがあります。

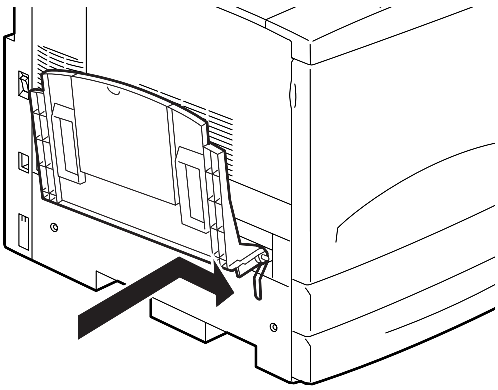


4 拡張給紙ユニット側のコネクタカバー (①) を押さえながら、プリンタ側のコネクタカバー (②) を、ガイドに沿って取り付ける

サイドトレイを取り付ける

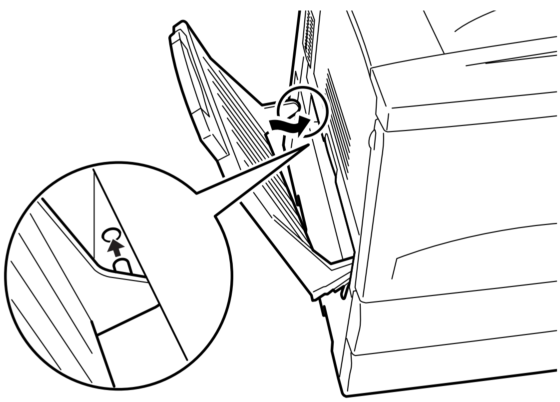


次の手順にしたがって、サイドトレイを取り付けます。



1 サイドトレイを立てるように持ち、トレイの右側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込む

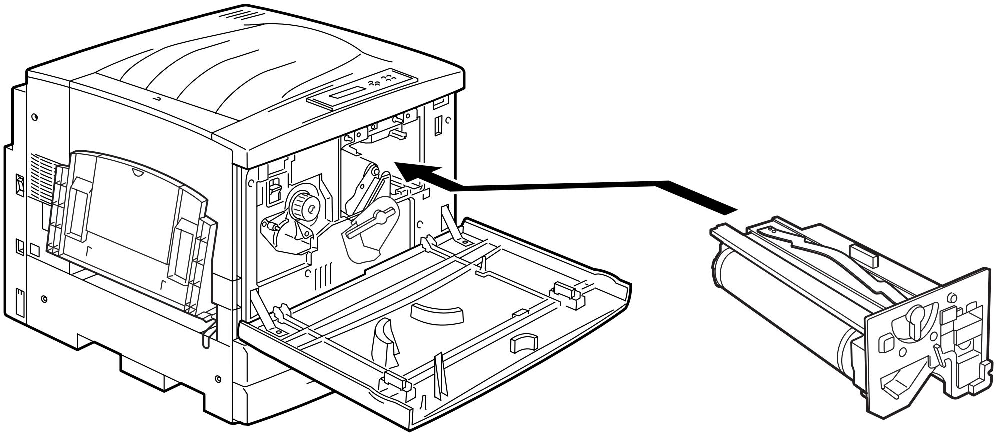
金属部分はプリンタの中に入れず、トレイの下側に出してください。



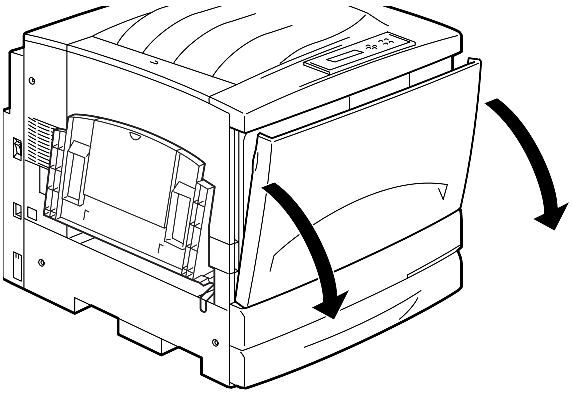
2 サイドトレイの左側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込む

サイドトレイの突起部は、破損しやすいので注意してください。

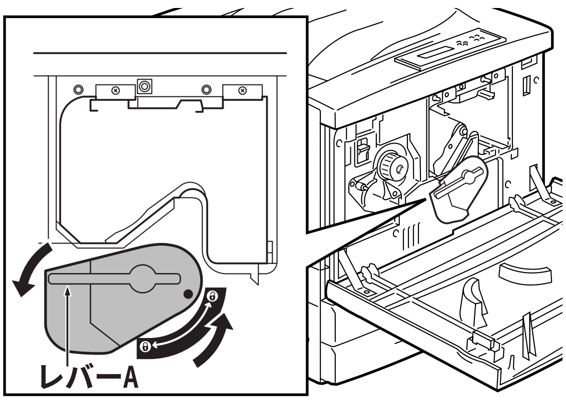
ドラムカートリッジを取り付ける



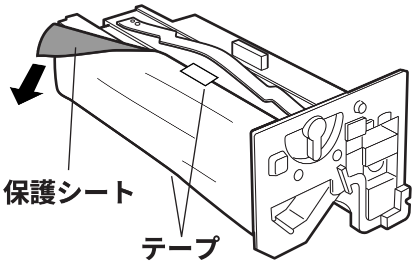
次の手順にしたがって、ドラムカートリッジを取り付けます。



1 フロントカバーを開く



2 オレンジ色のレバー A を図の矢印の方向に回し、〔●〕印を解除位置 (🔓) に合わせる



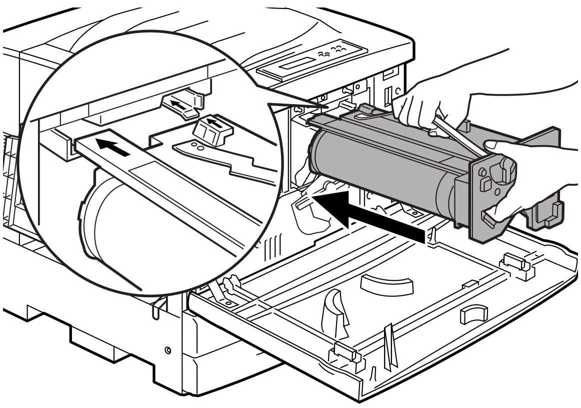
3 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出す

4 カートリッジを覆っている保護シートをゆっくりと引っ張ってはがす

保護シートは、ドラムカートリッジの上下 2ヶ所に貼ったテープで止められています。

お願い

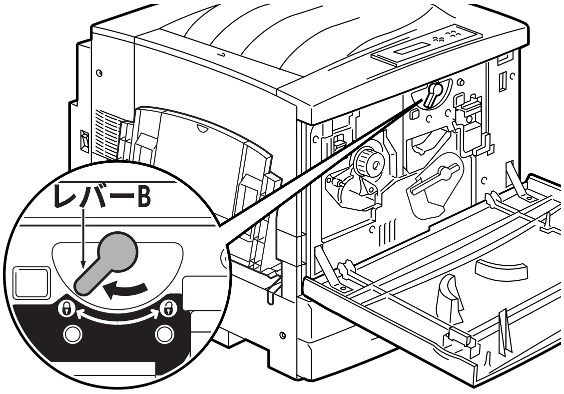
- ドラムの表面 (青色) は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。
- 保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。



5 ドラムカートリッジの取っ手を持ち、左右のガイドをプリンタ本体のレールにのせて、プリンタの奥までしっかり押し込む

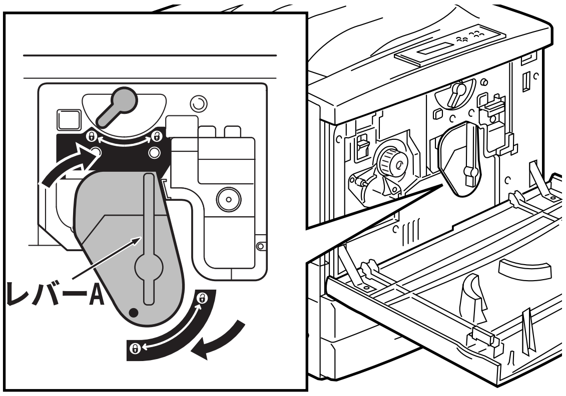
お願い

- ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールにのっていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ドラムの表面 (青色) が、ほかの部品に接触しないように注意してください。



6 レバー B を図の矢印の方向に回し、セット位置(🔒)に合わせる

ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。



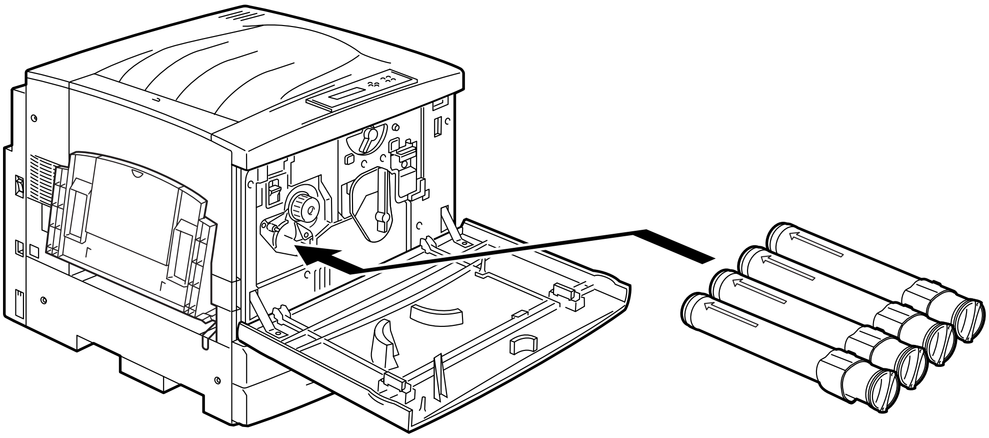
7 レバー A を図の矢印の方向に回し、〔●〕印をセット位置(🔒)に合わせる

これでドラムカートリッジのセットは終了です。
続けて、トナーカートリッジを取り付けます。フロントカバーは開けたまま、次の手順に進んでください。

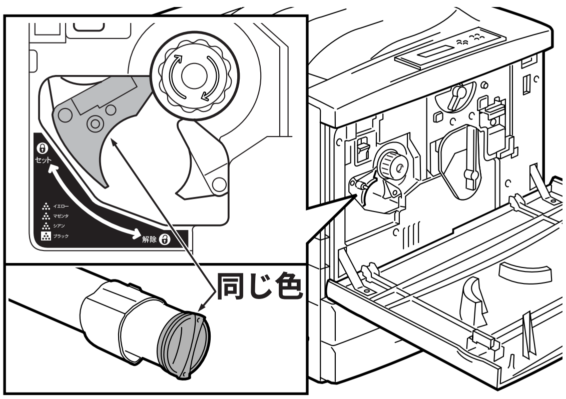
トナーカートリッジを取り付ける

次の手順にしたがって、トナーカートリッジを取り付けます。

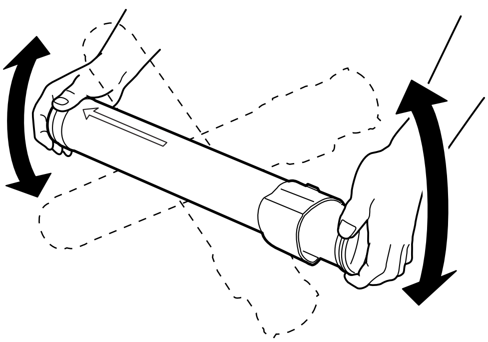
お願い　トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。

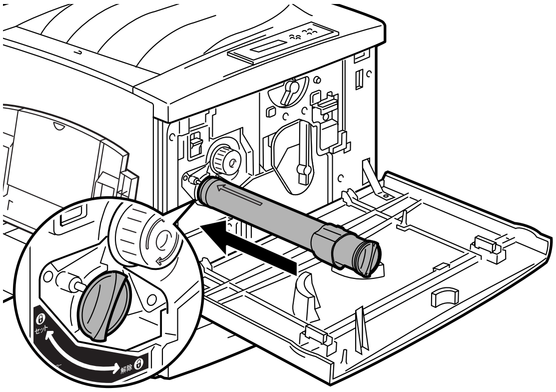


1 差し込み位置の色と同じ色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出す



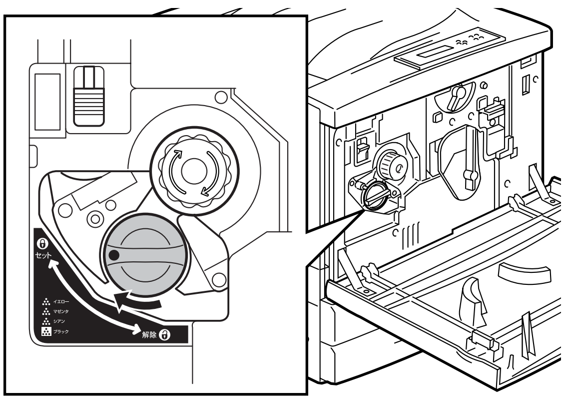
2 図のように 7 ～ 8 回振り、中のトナーを均一にする





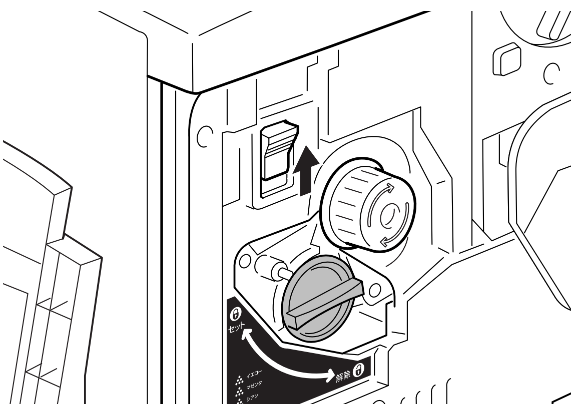
3 トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと差し込む

トナーカートリッジをしっかり差し込まないで操作すると、故障の原因になります。



4 トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の〔●〕印をプリンタ側の「セット」(🔒)に合わせる

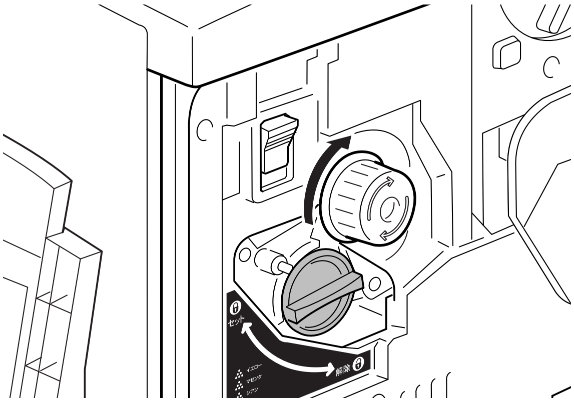
トナーカートリッジを最後までしっかり回さないと、トナーがこぼれることがあります。



5 回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離す

ガイド

回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。



6 ノブを図の矢印の方向に止まるまで回し、セットしたトナーカートリッジを移動させる

ガイド

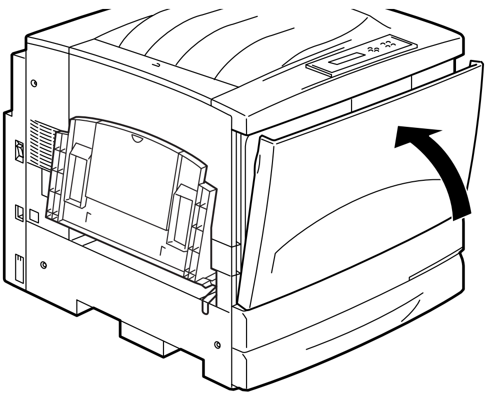
・トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。
ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。

・ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

7 残りの３つのトナーカートリッジについても同様に、手順１～６の操作を行う

最後のトナーカートリッジについては、手順 5、6 は不要です。

8 フロントカバーを閉じる

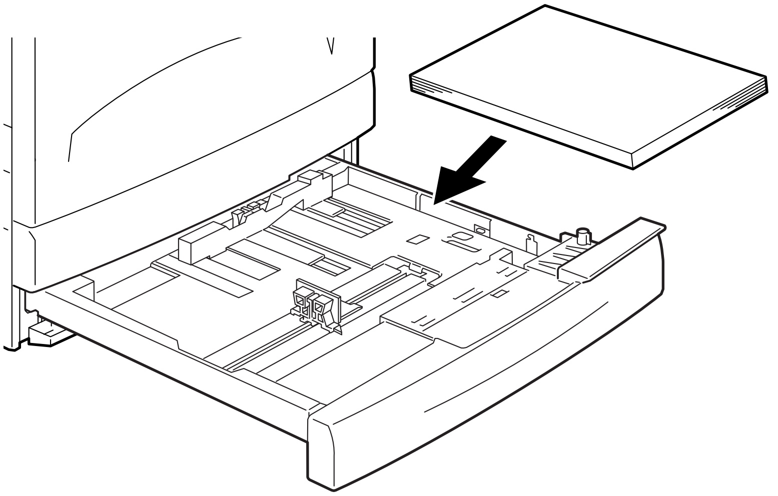


ガイド

ドラムカートリッジの取り付け口にある、レバー A、B が正しいセット位置に合っていないと、フロントカバーを閉じることができません。フロントカバーを閉じることができない場合は、レバー A、B がセット位置に合っているかどうかを確認してください。

用紙をセットする

用紙トレイに用紙をセットする方法や使用できる用紙については、「第5 章　用紙について」（103 ページ）を参照してください。

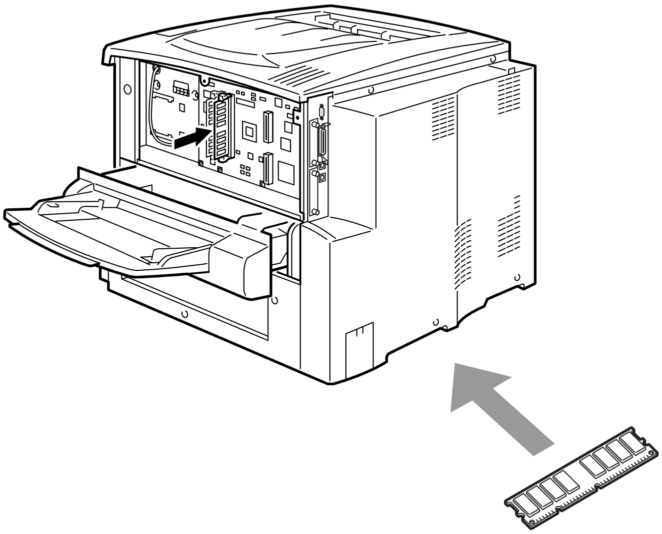


拡張メモリ（オプション品）を取り付ける

オプションの拡張メモリを購入している場合は、ここでプリンタ本体に取り付けます。
プリンタに拡張メモリを追加すると、プリンタのメモリ容量が増えます。大量のカラーデータを印刷する場合は、拡張メモリの追加をお勧めします。

ガイド

本プリンタでは、次の拡張メモリを用意しています。これ以外のメモリを使用した場合のトラブルは、保証できません。
- 容量：64、128Mbyte
- 形状：168 ピン DIMM-SDRAM



- 本プリンタには、メモリ用スロットが、2 つ用意されています。左側のスロットに標準で 64Mbyte のメモリが取り付けられています。これをより容量が大きい増設メモリと交換することで、メモリ容量を 256Mbyte(128Mbyte × 2 スロット) まで増やすことができます。

次の手順にしたがって、拡張メモリを取り付けます。

⚠ 警告	感　電　作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

2

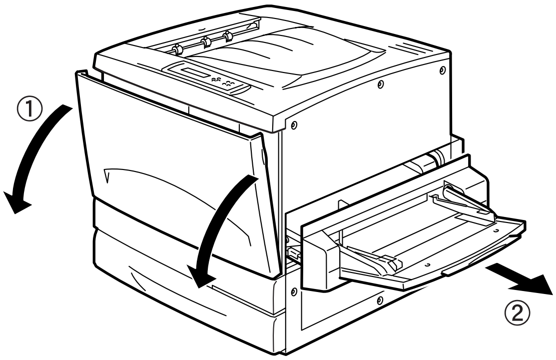
セットアップ編

お願い

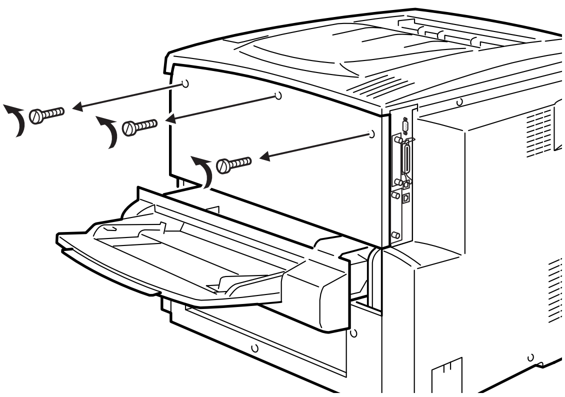
静電気によって拡張メモリが破壊されないように、次の点にご注意ください。

- 本プリンタに取り付ける直前まで、袋から拡張メモリを取り出さないでください。
- 拡張メモリに触れる前に、金属製のもの (ロッカーなど) に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- 拡張メモリを持つときは、必ず拡張メモリの端を持ってください。拡張メモリの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

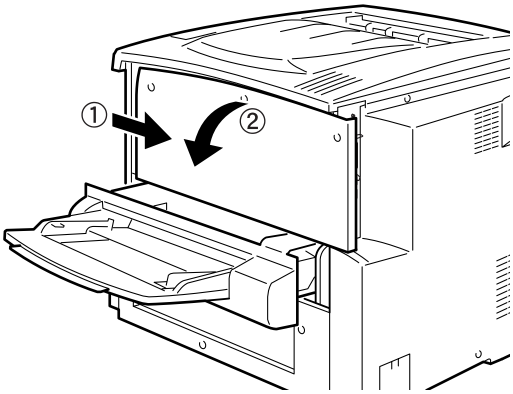
インタフェース上の電気回路部品には、手を触れないでください。



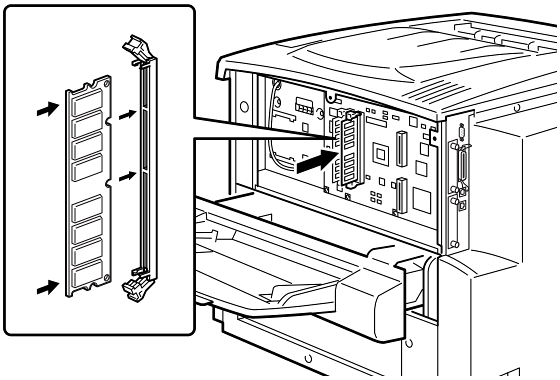
1 フロントカバーを開け (①)、ユニット C を引き出す (②)



2 プリンタ本体右側面の右上カバー上にある 3 本のネジを外す



3 右上カバーをプリンタの背面側にずらし (①)、手前に倒して外す (②)



4 メモリ用スロットの両端にあるイジェクトレバーを外側に倒す

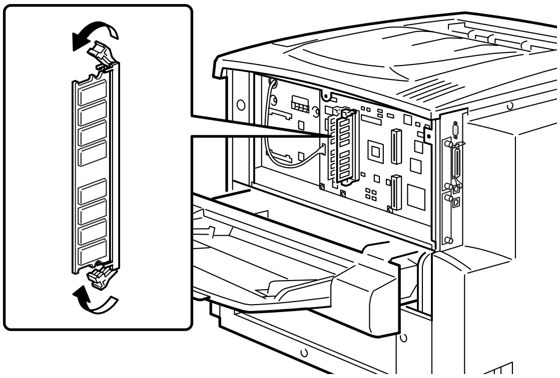
5 メモリの両端を持ち、2 つの切れめと、スロット側の 2 つの凸部分を正しく合わせて、まっすぐに差し込む

お願い

基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。

ガイド

すでに取り付けられているメモリを取り外す場合は、イジェクトレバーを外側に倒したあと、まっすぐに引き抜いてください。



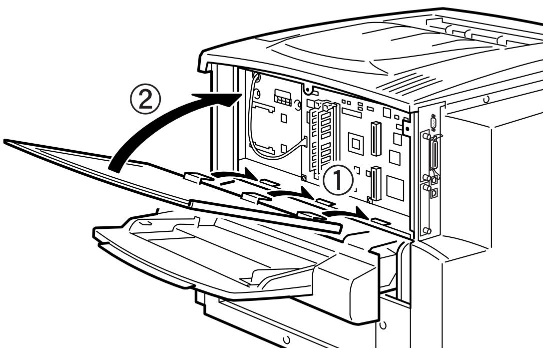
6 メモリをスロットにしっかり差し込み、スロットの両端にあるイジェクトレバーを内側に倒して固定する

ガイド

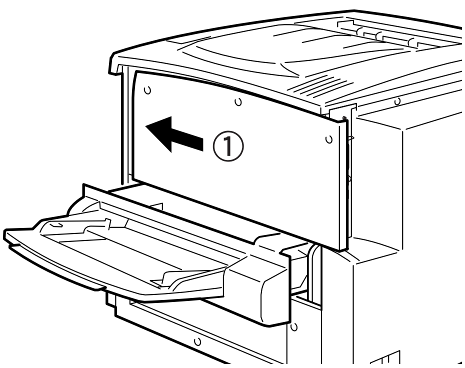
プリンタ LAN カードを取り付ける場合は、以降の手順を行わず、続けて取り付け作業をしてください。

参照

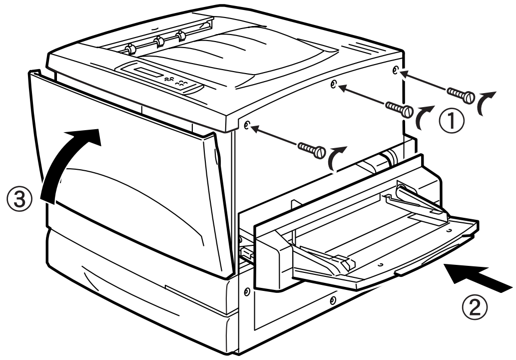
プリンタ LAN カードを取り付ける場合は、製品添付の取扱説明書を参照してください。



7 右上カバー下側の突起部をプリンタ本体の穴に差し込み (①)、プリンタ本体側に倒す (②)



8 右上カバーをプリンタ前面側にずらし (①)、しっかりとはめ込む



9 右上カバーを手順 2 で外したネジで固定してから (①)、ユニット C をプリンタの奥までしっかりと押し込む (②)

10 フロントカバーを閉じる (③)

2

お願い オプション品の取り付け後、プリンター設定リストを印刷し、オプション品が正しく搭載されているか、確認してください。

参照 「レポート / リストを印刷する」(149 ページ)

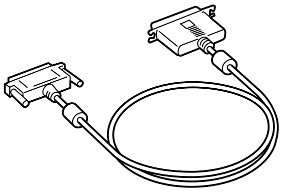
ケーブルを接続する

ローカルプリンタで使用する場合は、プリンタケーブルまたはプリンタ USB ケーブルを使用して、プリンタとパソコンを直接接続します。
ネットワークプリンタとして使用する場合は、プリンタ LAN ケーブルを取り付けてプリンタをネットワークに接続します。

ローカルプリンタとして使用する

プリンタケーブル

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご用意ください。



なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは次のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL711、FMV-CBL712
PRIMERGY, GRANPOWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711

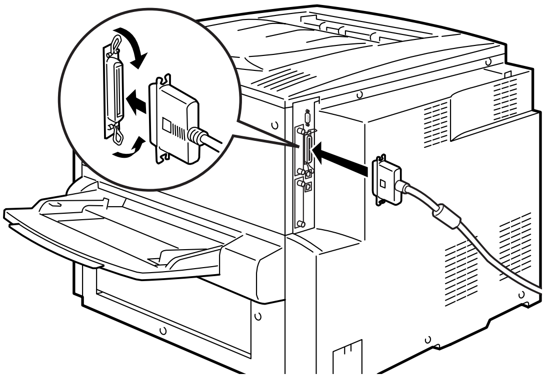
【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

また、本プリンタでは、プリンタケーブルとプリンタ LAN ケーブルを同時に接続して使用できます。

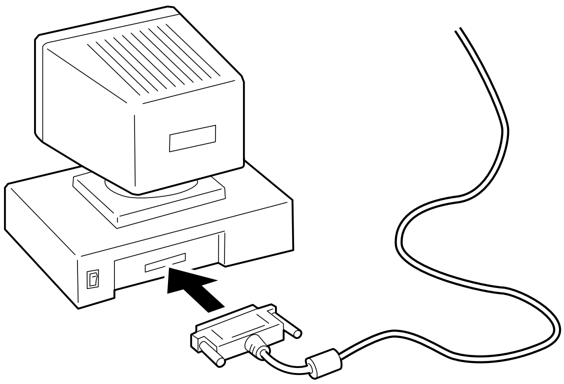
次の手順にしたがって、プリンタケーブルを接続します。

⚠ 警告	感　電　作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



1 プリンタ本体背面のプリンタインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する

ケーブルを差し込み、両端を金具で固定します。



2 プリンタケーブルの他方を、パソコンのプリンタインタフェースコネクタに接続する

ケーブルを差し込み、両端のネジを締めて固定します。

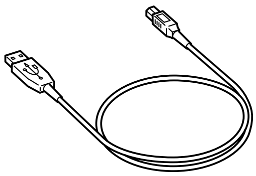
ガイド

パソコンの機種によって、プリンタインタフェースコネクタの位置が異なります。

プリンタ USB ケーブル

本プリンタをパソコンの USB インタフェースに接続して使用するためのケーブルです。

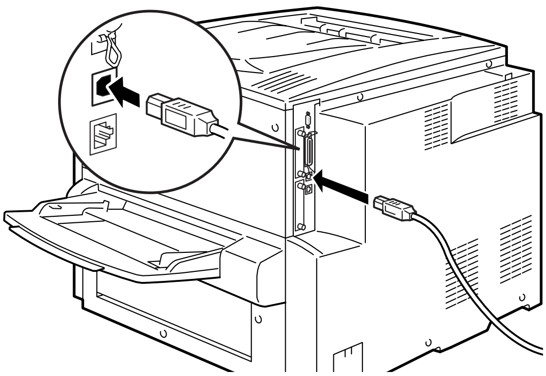
品　名	型　名	備　考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU1	USB に対応し、Windows 98SE/Me/2000/XP が動作するパソコンに接続可能です。



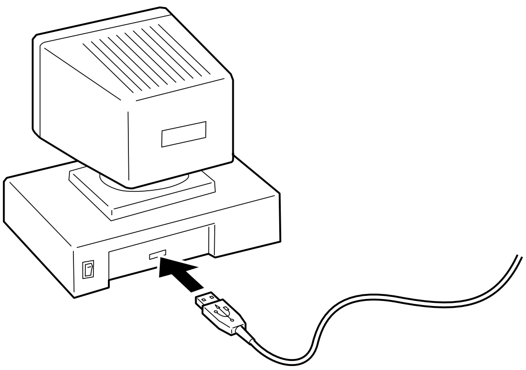
⚠ 警告	感　電　作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

次の手順にしたがって、プリンタ USB ケーブルを接続します。

1 プリンタ本体背面の USB インタフェースコネクタに、プリンタ USB ケーブルを接続する



2 プリンタ USB ケーブルの他方を、パソコンの USB インタフェースコネクタに接続する



ネットワークプリンタとして使用する

本プリンタが対応しているプリンタ LAN ケーブルは、次のとおりです。

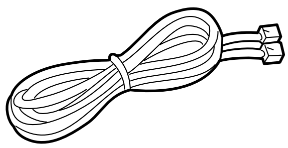
・ 10BASE-T(半二重モード、全二重モードに対応)
・ 100BASE-TX(半二重モード、全二重モードに対応)

お願い　ネットワークプリンタとして使用するには、事前にオプションのプリンタ LAN カードを取り付けておく必要があります。

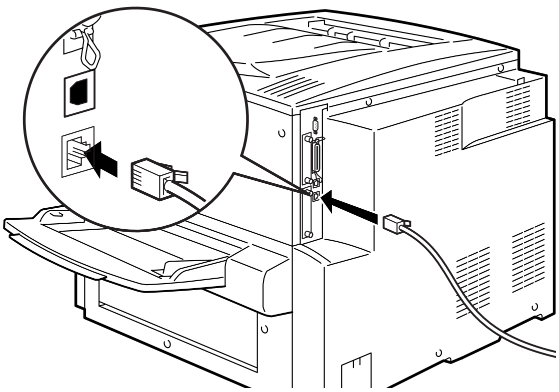
参照　10BASE-T と 100BASE-TX は、自動的に切り替わります。オペレータパネルを使用して、種類やモードを特定することもできます。プリンタ LAN ケーブルを特定する方法については、「第 7 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）を参照してください。

プリンタ LAN ケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを用意してください。

ガイド　100BASE-TX の場合は、カテゴリー 5 のケーブルが必要です。



警告　感　電　作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



1 プリンタ本体背面のプリンタLANケーブルコネクタのキャップを外し、プリンタLANケーブルを接続する

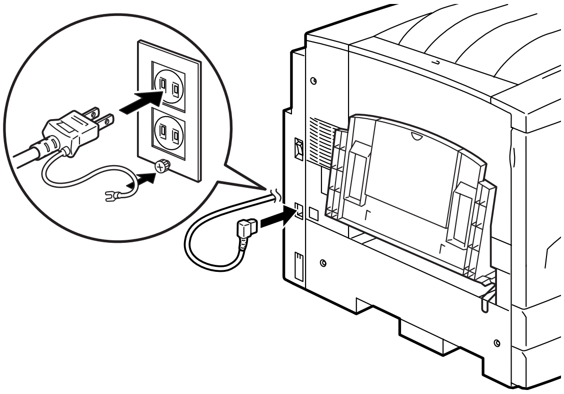
2

セットアップ編

電源を入れる

⚠ 警告	感　電	・電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、8A となっています。 ・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。 - 電源コンセントのアース端子 - 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの - 接地工事（D 種）を行っている接地端子

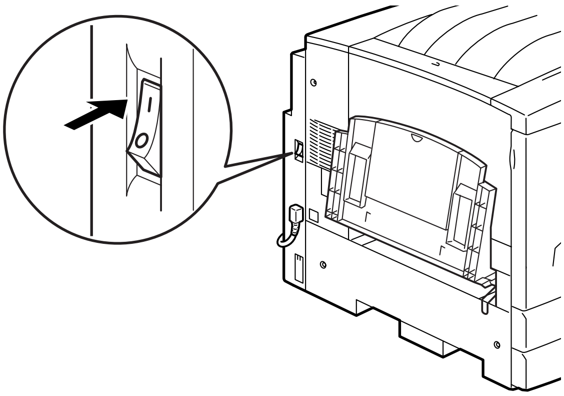
次の手順にしたがって、電源を入れます。



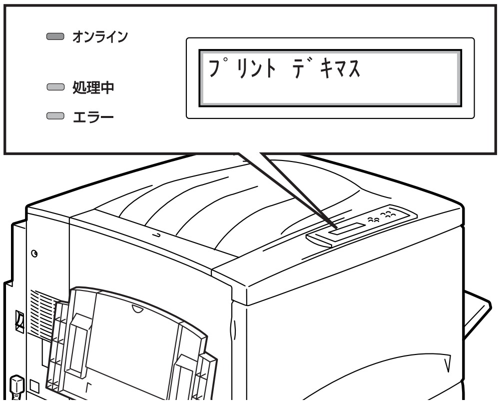
1 電源コードをプリンタ本体左側面にある電源コードコネクタに接続する

2 電源コードの他方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアースがついている場合は、アースも接続します。



3 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔 I 〕側を押し、電源を入れる



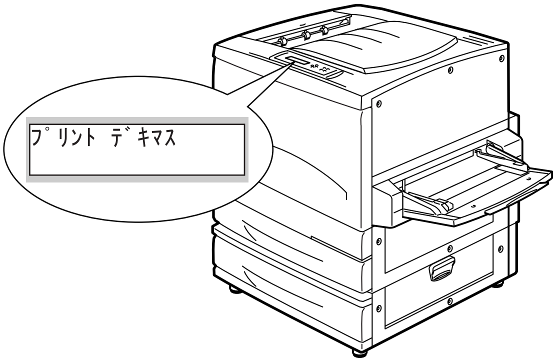
4 **オペレータパネルの液晶ディスプレイに、【シンダンシテイマス】と表示される。この表示が【オマチクダサイ】から【プリント デキマス】に変わり、オンラインランプが点灯することを確認する**

液晶ディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されているときは、印刷準備中です。この間は印刷できません。

参照　液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。対処方法がわからない場合は、「メッセージが表示されるとき」（282 ページ）を参照してください。

プリンタの設定を確認する

プリンタが正しく設置されたかどうかを確認するために、プリンター設定リストを印刷します。



ﾌﾟﾘﾝﾄﾃﾞｷﾏｽ

1 A4 サイズの用紙を用紙トレイにセットし、オペレータパネルに次のメッセージが表示されていることを確認する

ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ

2 〔オンライン〕スイッチを押す

ﾒﾆｭｰ
1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ

3 〔メニュー〕スイッチを押す

次のメッセージが表示されます。

ﾒﾆｭｰ
4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ

4 〔▼〕スイッチを 3 回押す

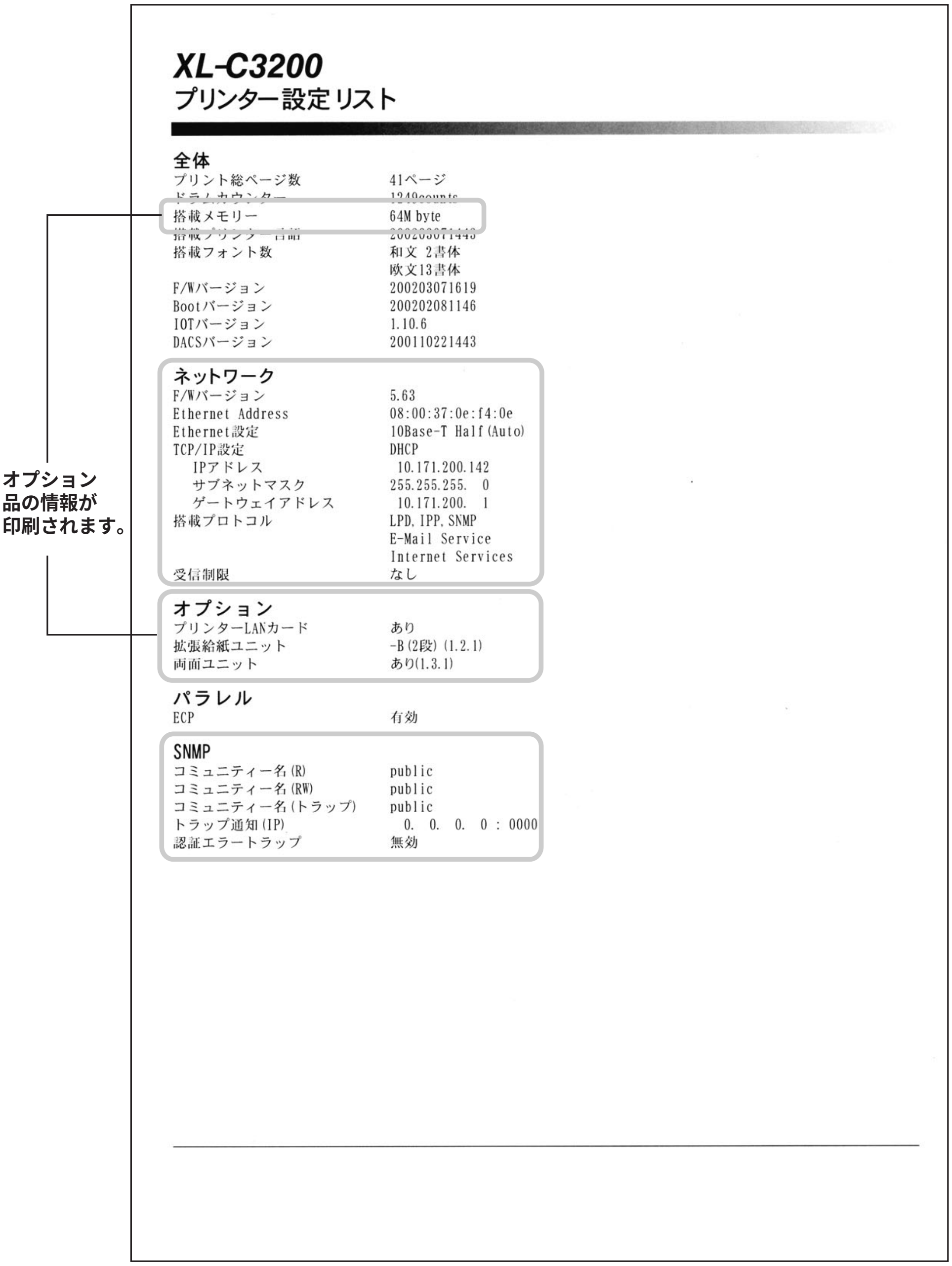
次のメッセージが表示されます。

5 〔セット / 排出〕スイッチを 3 回押す

プリンター設定リストが印刷されます。

ガイド

プリンター設定リストが印刷されない場合は、電源を切り、電源を入れ直してください。オペレータパネルの液晶ディスプレイに【プリント デキマス】と表示されたら、再度機能設定リストの印刷を指示します。それでも印刷されない場合は、ご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（318 ページ）にご連絡ください。



XL-C3200
プリンター設定リスト

全体

プリント総ページ数	41ページ
ドラムカウンター	1249counts
搭載メモリー	64M byte
搭載プリンター言語	200203071443
搭載フォント数	和文 2書体 欧文13書体
F/Wバージョン	200203071619
Bootバージョン	200202081146
IOTバージョン	1.10.6
DACSバージョン	200110221443

ネットワーク

F/Wバージョン	5.63
Ethernet Address	08:00:37:0e:f4:0e
Ethernet設定	10Base-T Half(Auto)
TCP/IP設定	DHCP
IPアドレス	10.171.200.142
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイアドレス	10.171.200. 1
搭載プロトコル	LPD, IPP, SNMP E-Mail Service Internet Services
受信制限	なし

オプション

プリンターLANカード	あり
拡張給紙ユニット	-B(2段)(1.2.1)
両面ユニット	あり(1.3.1)

パラレル

ECP	有効

SNMP

コミュニティー名(R)	public
コミュニティー名(RW)	public
コミュニティー名(トラップ)	public
トラップ通知(IP)	0. 0. 0. 0 : 0000
認証エラートラップ	無効

2

セットアップ編

プリンタの環境を設定する

『XL-C3200 取扱説明書』「第 3 章 外部との接続」（53 ページ）、『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 1 章 ネットワークプリンタの設定」を参照して、必要な設定を行ってください。
環境設定が終了したら『XL-C3200 取扱説明書』「第 4 章 プリンタドライバのインストール」（61 ページ）を参照して、各クライアントにプリンタドライバをインストールしてください。

第 3 章
外部との接続

この章では、本プリンタをパソコンまたは LAN
に接続する方法について説明します。

インストールの手順と設定の概要

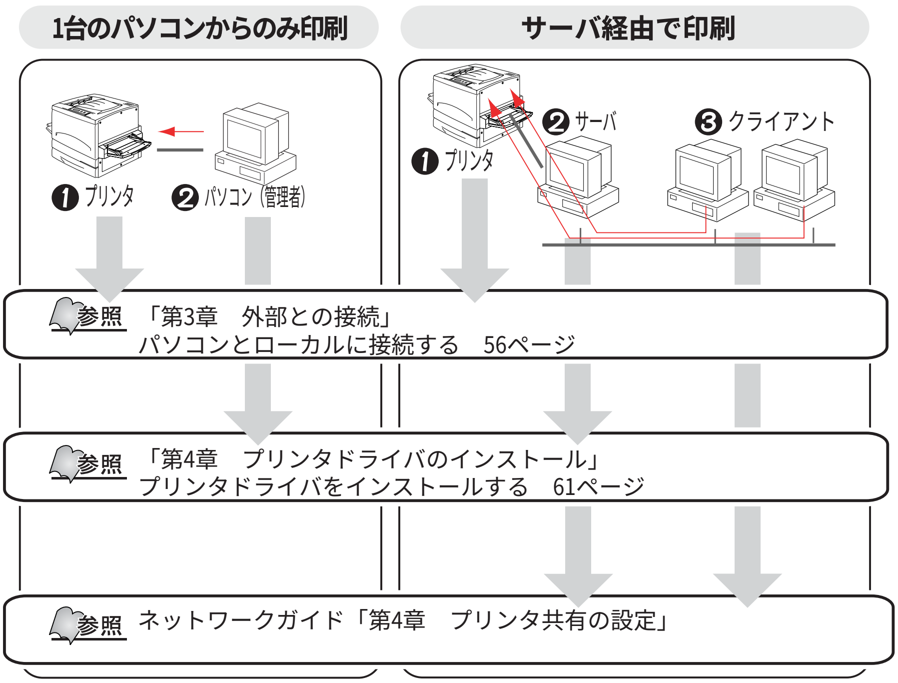
プリンタの設置が終わったら、パソコンまたは LAN と接続し、印刷するために必要な設定を行います。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参照し、必要な設定を行ってください。
設定は❶プリンタ❷サーバまたはパソコン（管理者）❸クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

ガイド　接続・運用形態は、お使いの環境にあわせて以下を目安に選択してください。

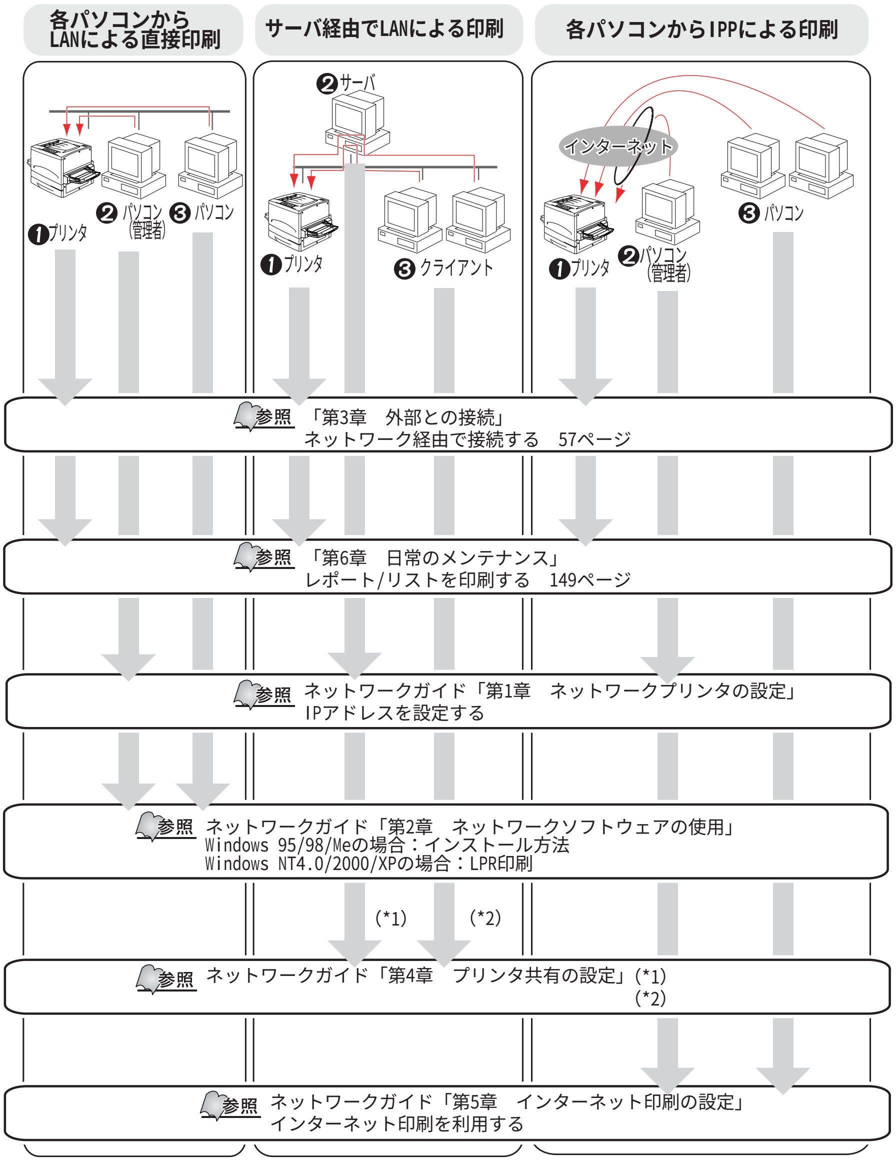
- プリンタケーブル / プリンタ USB ケーブルで接続
  １台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合
- プリンタ LAN ケーブルで接続
  プリンタの設置場所が自由、データの転送速度が高速、またインターネットを利用して印刷する場合

サーバ経由で印刷すると、ホスト側の設定 / 管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

プリンタケーブル / プリンタ USB ケーブルで接続するとき



プリンタ LAN ケーブルで接続するとき



3
セットアップ編

パソコンとローカルに接続する

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインタフェースとUSB1.1 準拠の USB インタフェースを標準装備しています。パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースにパソコンを接続する方法については、「ローカルプリンタとして使用する」(44 ページ) を参照してください。

⚠ 警告	感 電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠ 注意	故 障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

- 本プリンタを切替機を利用してパソコンと接続すると、プリンタが応答しなかったり、文字化けしたりする原因となります。パソコンとプリンタは、1対1で接続してください。
- プリンタケーブル / プリンタ USB ケーブルについては、次の制約があります。
  - パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
  - ケーブルの長さは、1.5 メートル以下のものをお使いください。
- 本プリンタには、プリンタケーブルおよびプリンタ　USB ケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。

ネットワーク経由で接続する

プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-C3200 とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX対応のハブユニットに接続して100Mbpsでご使用になる場合には、必ずカテゴリー5 のツイストペアケーブルをご使用ください。

お願い　ネットワークプリンタとして使用するには、オプションのプリンタ LAN カードが必要となります。

⚠ 注意

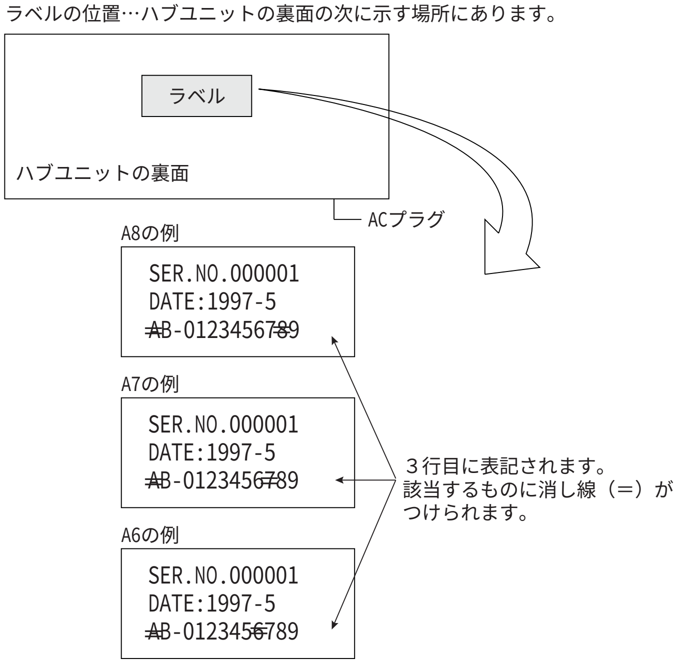
故 障　プリンタ LAN ケーブルを接続するときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると誤動作の原因となります。

プリンタ LAN ケーブルの接続方法については、「ネットワークプリンタとして使用する」（47 ページ）を参照してください。

LAN に接続するときの注意事項

- プリンタ LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のイーサネットタイプを同じ規格に設定してください。
  本プリンタのイーサネットタイプは、「自動」「100Mbps」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタのイーサネットタイプは、共通メニューの「ネットワーク」にある「イーサネット設定」で変更します。（共通メニューについては、「第 9 章 共通メニュー画面の設定」（223 ページ）参照）
  ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  ・ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合わせ窓口」（318 ページ）にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。



パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、さらに２台のパソコンをパラレルポートと USB ポートに接続することができます。
パラレルポート、USB ポート、LAN ポートの各ポートにパソコンを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- １つのポートを使用して印刷している場合、その他のポートは使用できません。３つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、１つのパソコンからの印刷が完了してからその他の印刷を再開してください。
- TCP/IP Direct Print Utility を使用して複数台のパソコンから LAN 経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
- １つのポートで未印刷データがある場合、その他のポートには切り替わりません。

お願い　パラレルポートから印刷している間は、プリンタから USB ケーブルやプリンタ LAN ケーブルを抜き差ししないでください。

第4章
プリンタドライバのインストール

この章では、パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

プリンタドライバインストールの概要

ホストから印刷するために、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバとは、ホストからの印刷データや印刷指示を、本プリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。
ここでは、同梱されているプリンタソフトウェア CD-ROM を使って、XL-C3200 プリンタドライバをインストールするために必要な環境について説明します。

参照　「プリンタドライバをインストールする」（65 ページ）

ホスト環境について

- サポートしている OS 環境
  Microsoft Windows 95 Operating System 日本語版（ServicePack 1 以上）
  Microsoft Windows 98 Operating System 日本語版
  Microsoft Windows Me Operating System 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版（ServicePack 1 を含む）
  Microsoft Windows 2000 Server 日本語版（ServicePack 1 を含む）
  Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
- 必要なシステム環境
  IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズで双方向セントロニクスをサポートしている機種
  CPU：Pentium 90MHz 以上の PC/AT 互換機
  ハードディスク空き容量：64MByte 以上
  RAM：32MByte 以上
  ビデオディスプレイ：VGA 以上 (推奨：800 × 600 以上)

ガイド　〔プリンタの追加〕からもプリンタドライバをインストールできます。同梱されている CD-ROM 内の「DRIVER」フォルダを開き、お使いの OS に合わせて、「WinNT40」フォルダ（Windows NT4.0 用）、「Win2k_XP」フォルダ（Windows 2000/XP 用）、「Win_Xp」フォルダ（Windows XP 用）、「Win95」フォルダ（Windows 95 用）、または「Win98_Me」フォルダ（Windows 98/Me 用）を選択してください。

ネットワーク環境について

- サポートしているネットワークサーバ (OS) 環境
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版（ServicePack 1 を含む）
  Microsoft Windows 2000 Server 日本語版（ServicePack 1 を含む）
  Microsoft Windows XP Professional
  Microsoft Windows XP Home Edition
- 必要なシステム環境
  IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズで双方向セントロをサポートしている機種
  ネットワーク環境が設定済み
  CPU：Pentium 150MHz 以上の PC/AT 互換機
  ハードディスク空き容量：40MByte 以上
  RAM：64MByte 以上
  ビデオディスプレイ：VGA 以上 (推奨：800 × 600 以上)
  ネットワークインタフェースカード
  CD-ROM ドライブ

プリンタドライバの更新およびアンインストールについて

プリンタドライバの更新およびアンインストールについては、「プリンタドライバをインストールする」(65 ページ) に OS 別に記載されている「新しいドライバに置き換えるとき」を参照してください。

4

セットアップ編

TCP/IP プロトコル使用前の確認事項

TCP/IP プロトコルを使用する前に、次のことを確認してください。

Windows 95、Windows 98、Windows Me

lpr を使用して印刷する場合、ホスト側では弊社製「TCP/IP Direct Print Utility(TCP/IP プロトコル)」を使用します。TCP/IP Direct Print Utility のインストール方法については『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 2 章 ネットワークソフトウェアの使用」の「TPC/IP Direct Print Utility を使用する」を参照してください。

Windows 2000、Windows NT4.0、Window XP

lpr を使用して印刷する場合、ホスト側では OS に標準添付されている LPR Port を使用します。LPR Port のインストールおよび設定方法については『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 2 章 ネットワークソフトウェアの使用」の「LPR 印刷について」を参照してください。

プリンタドライバをインストールする

インストールの前に

本プリンタをお使いになるには、プリンタドライバをパソコンに組み込む必要があります。プリンタドライバはパソコンの印刷データや指示をプリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。ご使用になる OS によって、インストール方法および印刷設定方法が異なりますので、該当ページをお読みください。

ガイド　USB 接続が可能な Windows 環境は、Windows 98 Second Edition/Me/2000/XP です。

・Windows 95 .... 66 ページ
・Windows 98 .... 72 ページ
・Windows Me .... 80 ページ
・Windows NT4.0 .... 85 ページ
・Windows 2000 .... 88 ページ
・Windows XP .... 95 ページ

ガイド　文中において、〔　〕で囲んだ表記はメニューやボタン、ダイアログボックス名を示し、〈　〉で囲んだ表記はダイアログボックス上に表示される文字を示します。
また、メニューなどの後ろに（　）で囲まれている文字は、アクセスキーを示します。

Windows 95 の場合

ここでは、Windows 95 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
インストールの手順はプラグアンドプレイと通常のインストールで異なります。それぞれの手順にしたがってください。

プラグアンドプレイでのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

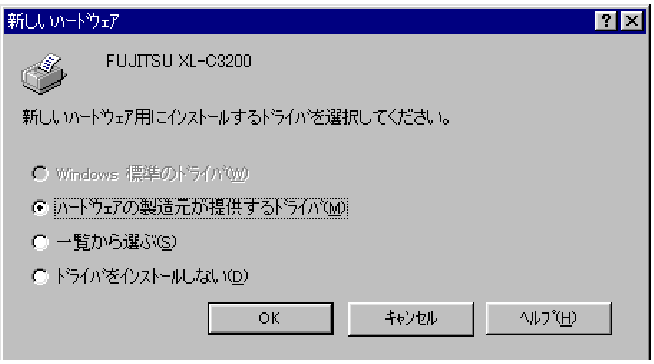
お願い **インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme95.txt」をお読みください。**

1　プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動する

パソコン起動時に〈FUJITSU XL-C3200 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。〉と表示されます。そのとき、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

次の画面が表示されている場合は 2 に進みます。



次の画面が表示されている場合は 5 に進みます。



ガイド　一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。

2　〔ハードウェアの製造元が提供するドライバ〕を選択して〔OK〕をクリックする

3　添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

4　〈配布ファイルのコピー元〉にCD-ROM ドライブ名とWindows 95用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F:の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN95」と入力してください。）

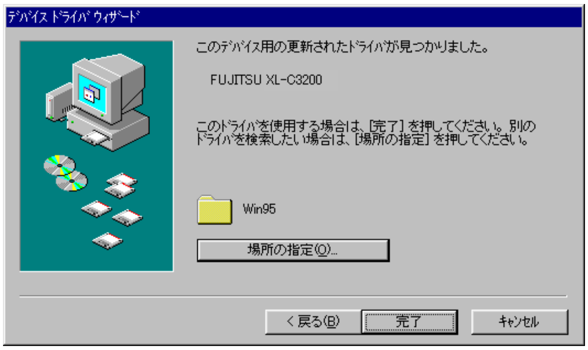
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。
8 へ進んでください。

5　添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

6　〈このウィザードで、次のインストールができます。FUJITSU XL-C3200〉と表示されたら、〔次へ〕をクリックする

ガイド

① 〈このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。〉と表示される場合は、〔場所の指定〕をクリックします。
② 〔場所の指定〕が表示されたら、〈場所〉に CD-ROM ドライブと Windows 95 用ドライバのフォルダ名を入力してください。（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN95」と入力してください。）〔OK〕をクリックします。



7 〔完了〕をクリックする

左のようなダイアログボックスが表示されたら、〔完了〕をクリックします。

8 表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常のプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

9 テストページを印刷するか、しないかを選択して、〔完了〕をクリックする

10〔ディスクの挿入〕ダイアログボックスが表示されたら、〔OK〕をクリックする

11〔ファイルのコピー〕ダイアログボックスが表示されたら、〈ファイルのコピー元〉に CD-ROM ドライブ名と Windows 95 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN95」と入力してください。）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。
この画面は表示されない場合があります。
〔OK〕をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックする

インストールが終了します。

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme95.txt」をお読みください。

1 Windows 95 を起動する

2 〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックする

3 〔プリンタウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

4 表示された画面で〔ローカルプリンタ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）
パソコンがネットワークに接続されていないときは、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面は表示されません。

ガイド

スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示にしたがってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

4

セットアップ編

ガイド

〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

5 〈プリンタの製造元とモデルを選んでください。〉と表示されたら、〔ディスク使用〕をクリックする

6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

7 〈配布ファイルのコピー元〉を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 95 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN95」と入力してください。）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8 〈FUJITSU XL-C3200〉と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックする

9 プリンタで使用するポートを選択して〔次へ〕をクリックする

10 表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常のプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

11 テストページを印刷するか、しないかを選択して、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド　プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1　〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く

2　該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする

3　プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする

4　Windows 95 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 95 を再起動します。

5　新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」（69 ページ）の手順でインストールする

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されますので、〔新しいドライバに置き換える〕を選択してください。

Windows 98 の場合

ここでは、Windows 98 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
インストールの手順はプラグアンドプレイと通常のインストールで異なります。それぞれの手順にしたがってください。

プラグアンドプレイでのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い
- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme9X.txt」をお読みください。
- Windows 95 で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows 98 にアップグレードしている場合は、Windows 98 の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

1　**プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する**

パソコン起動時に〈FUJITSU XL-C3200 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。〉と表示されます。そのとき、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド　プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

2　**〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする**

3 〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択して〔次へ〕をクリックする

4 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

5 〔検索場所の指定〕をチェックし、CD-ROM ドライブ名と Windows 98/Me用ドライバのフォルダ名を入力する
（CD-ROM ドライブがF:の場合、
「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力してください。）

入力が終わったら〔次へ〕をクリックします。

6 デバイス用のドライバファイルを検索すると表示されたら、〔次へ〕をクリックする

7 表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常のプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

8 テストページを印刷するか、しないかを選択して、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

9 テストページを印刷した場合は、正しく印刷されたら〔はい〕をクリックする

10 〈新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。〉と表示されたら、〔完了〕をクリックし、インストールを終了する

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされている Windows 98 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い　インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme9X.txt」をお読みください。

1 Windows 98 を起動する

2 〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックする

3 〔プリンタの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

4 表示された画面で〔ローカルプリンタ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）
パソコンがネットワークに接続されていないときは、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面は表示されません。

ガイド　スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示にしたがってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

ガイド

〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

5 〈プリンタの製造元とモデルを選択してください。〉と表示されたら、〔ディスク使用〕をクリックする

6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

7 〈配布ファイルのコピー元〉を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力してください。）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8 〈FUJITSU XL-C3200〉と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックする

9 プリンタで使用するポートを選択して〔次へ〕をクリックする

10 表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常のプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

11 テストページを印刷するかしないかを選択して、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

USB ドライバでのインストール

プリンタ USB ケーブルを使用する場合は、先にプリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続します。

1. Windows 98 Second Edition を起動する

ガイド　Windows 98 環境では、USB 接続の動作は保証されません。

2. 〔マイコンピュータ〕から〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックする

3. 〔プリンタの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

4. 表示された画面で〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

   パソコンがネットワークに接続されていないときは、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面は表示されません。

5. 〈プリンタの製造元とモデルを選択してください。〉と表示されたら〔ディスク使用〕クリックする

6. 添付のプリンタソフトウェアCD-ROM をセットする

7. 〈配布ファイルのコピー元〉画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力 する
   （CD-ROM ドライブが D: の場合、「D:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力してください。）

   入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8. 〈FUJITSU XL-C3200〉と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックする

9　プリンタで使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

ここでは、「LPT1」を選択してください。「LPT1」がない場合は、「FILE」を選択してください。

10　表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常使うプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

他にプリンタがインストールされていない場合は、通常使うプリンタに設定されます。

11　テストページを印刷するかしないかの画面で、〔いいえ〕を選択し、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示されます。
プリンタドライバのインストールに続いて、USB Print Utility のインストールを行います。

12　〔スタート〕メニューより〔ファイル名を指定して実行する〕を選択し、「D:¥XL-C3200¥USBUTIL¥SETUP.EXE」（CD-ROM ドライブが D: の場合）と入力し、〔OK〕をクリックする

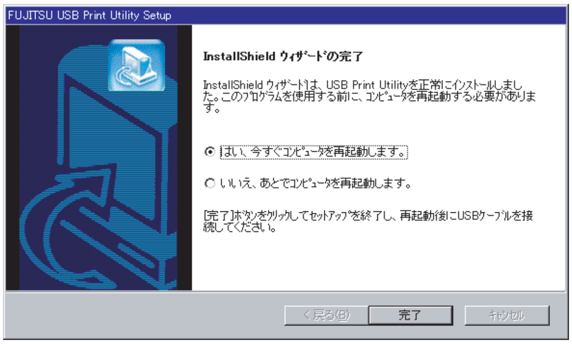
13　インストール画面が起動したら、〔次へ〕をクリックする



14　〔はい、今すぐコンピュータを再起動します。〕を選択し、〔完了〕をクリックする。

4

セットアップ編

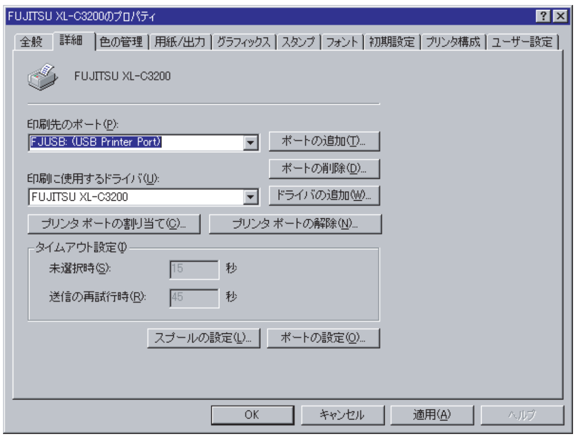


15 Windowsが再起動してからプリンタとパソコンをUSBケーブルで接続し、〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックする

ガイド　プリンタ USB ケーブルの取り付けは、「ローカルプリンタとして使用する」（44 ページ）のプリンタ USB ケーブルの項目を参照してください。

16 〔プリンタ〕フォルダ内にある「FUJITSU XL-C3200」を選択し、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕をクリックする

17 〔詳細〕タブの〔印刷先のポート〕のプルダウンメニューから「FJUSB_XX_XLC3200（USB Printer Port）」を選択し、〔適用〕をクリックする



「FJUSB_XX_XLC3200」の「XX」はお使いのパソコンによって変わります。

18 接続の確認のために、テストページの印刷を行う

〔全般〕タブの〔印字テスト〕をクリックします。

19 テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックする

20 〔プロパティ〕のダイアログボックスで〔OK〕をクリックする

これで、プリンタおよびプリンタ USB ケーブルのインストールおよび設定は完了です。

Windows Me の場合

ここでは、Windows Me が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
インストールの手順はプラグアンドプレイと通常のインストールで異なります。それぞれの手順にしたがってください。

プラグアンドプレイでのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされている Windows Me のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い
- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme9X.txt」をお読みください。
- Windows 95/98 で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows Me にアップグレードしている場合は、Windows Me の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。

1　プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Me を起動する

パソコン起動時に〈FUJITSU XL-C3200 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。〉と表示されます。そのとき、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

ガイド　プラグアンドプレイはプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

2　添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

3 〔適切なドライバを自動的に検索する（推奨）〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

4 〈ほかのドライバの選択〉画面が表示されたら、「場所」が「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN98_ME」（CD-ROM ドライブがF:の場合）のドライバを選択し、〔OK〕をクリックする

5 表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常のプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

6 テストページを印刷するか、しないかを選択して、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

7 テストページを印刷した場合は、正しく印刷されたら〔はい〕をクリックする

8 〈新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。〉と表示されたら、〔完了〕をクリックし、インストールを終了する

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド
ご使用のパソコンにインストールされている Windows Me のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い
インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme9X.txt」をお読みください。

1 Windows Me を起動する

2 〈プリンタの追加ウィザード〉を起動する

(1)〔マイコンピュータ〕の〔コントロールパネル〕アイコンをダブルクリックします。
(2)〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックします。
(3)〔プリンタ〕フォルダの〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックします。

3 〈プリンタの追加ウィザード〉が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

4 表示された画面で〔ローカルプリンタ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）
パソコンがネットワークに接続されていないときは、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面は表示されません。

ガイド スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示にしたがってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

ガイド 〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

5 〈プリンタの製造元とモデルを選択してください。〉と表示されたら、〔ディスク使用〕をクリックする

6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

7 〈製造元ファイルのコピー元〉を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN98_ME」と入力してください。）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8 〈FUJITSU XL-C3200〉と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックする

9 プリンタで使用するポートを選択して〔次へ〕をクリックする

10 表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常使うプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

11 テストページを印刷するかしないかを選択し、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。
コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。
テストページの印刷を設定した場合はテストページが印刷され、その確認用ダイアログボックスが表示されます。次の操作を行います。

12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

USB ドライバでのインストール

プリンタ USB ケーブルを使用する場合は、先にプリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続します。
インストールする手順は、Windows 98 の場合と同じです。76 ページを参照してください。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド　プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1. 〔マイコンピュータ〕－〔コントロールパネル〕－〔プリンタ〕の順にダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く
2. 該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする
3. プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする
4. Windows Me を再起動する

   古いプリンタドライバを削除したら、Windows Me を再起動します。
5. 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」（81 ページ）の手順でインストールする

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、〔新しいドライバに置き換える〕を選択してください。

Windows NT4.0 の場合

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い
- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「ReadmeNT.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1 Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

2 〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックする

3 表示された画面で〈このコンピュータ〉を選択して、〔次へ〕をクリックする

4 プリンタを接続したポートを指定して〔次へ〕をクリックする

〔利用可能なポート〕から、プリンタを接続したポートを選択します。

5 〈プリンタの製造元とモデルをクリックしてください。〉と表示されたら、〔ディスク使用〕をクリックする

6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

7 〈配布ファイルのコピー元〉を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows NT4.0 用ドライバのフォルダ名を入力する（CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WINNT40」と入力してください。）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

8 〈FUJITSU XL-C3200〉と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックする

9 表示された画面でプリンタ名を確認し、〔次へ〕をクリックする

10 プリンタを共有するかどうか聞かれたら〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、〈共有しない〉を選択します。

11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。

テストページを選択した場合は、テストページ完了のダイアログボックスが表示されます。次の操作を行います。

12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド　プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1　〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く

2　該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする

3　プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする

4　Windows NT4.0 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0 を再起動します。

5　新しいプリンタドライバを、「インストール」(85 ページ) の手順でインストールする

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、〔新しいドライバに置き換える〕を選択してください。

Windows 2000 の場合

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
インストールの手順はプラグアンドプレイと通常のインストールで異なります。それぞれの手順にしたがってください。

プラグアンドプレイでのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い
- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme2k.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。
- ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1　**プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で、Windows 2000 を起動する**

新しいハードウェアが検出されます。

2　**プリンタドライバをインストールする**

(1)〈新しいハードウェアの検出ウィザード〉ダイアログが表示されたら、〔次へ〕をクリックします。
(2)〔デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。
(3) プリンタドライバディスクをセットし、〔フロッピーディスクドライブ〕および〔CD-ROM ドライブ〕のチェックを外し〔場所を指定〕のみをチェックし、〔次へ〕をクリックします。

(4)〈製造元のファイルのコピー元〉を指定する画面が表示されたら、に CD-ROM ドライブ名と Windows 2000 用ドライバのフォルダ名を入力します。(CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力してください。) 入力が終わったら、〔OK〕をクリックします。

3　以降、プリンタウィザードの指示にしたがって設定する

(1) XL-C3200 のドライバが検出されたら、〔次へ〕をクリックします。
(2)〈デジタル署名が見つかりませんでした〉という警告が表示されたら、〔はい〕をクリックします。
(3) プリンタドライバのファイルコピーが開始されます。
(4)〈新しいハードウェアの検索ウィザードの完了〉画面が表示されたら、〔完了〕をクリックし、インストールを終了します。

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド
ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い
・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme2k.txt」をお読みください。
・ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1　Windows 2000 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

2　〈プリンタの追加ウィザード〉を起動する

(1)〔マイコンピュータ〕の〔コントロールパネル〕アイコンをダブルクリックします。
(2)〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックします。
(3)〔プリンタ〕フォルダの〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックします。

3 プリンタドライバをインストールする

(1)〈プリンタの追加ウィザードの開始〉で〔次へ〕をクリックします。

(2) 表示された画面で＜ローカルプリンタ＞を選択し、〔プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックを外して、〔次へ〕をクリックします。
プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。(以降の操作が簡単になります。)
パソコンがネットワークに接続されていないときは、ローカルプリンタかネットワークプリンタかを選択する画面は表示されません。

ガイド スタンドアロン(パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続)のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示にしたがってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

ガイド 〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

(3) 使用するプリンタポートとして「LPT1:」を選択し、〔次へ〕をクリックします。

4 〈プリンタの製造元とモデルを選択してください。〉と表示されたら、〔ディスク使用〕をクリックする

5 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

6 〈製造元のファイルのコピー元〉を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 2000 用ドライバのフォルダ名を入力する(CD-ROM ドライブが F: の場合、「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力してください。)

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

7 〈FUJITSU XL-C3200〉と表示されていることを確認して、〔次へ〕をクリックする

8 表示された画面でプリンタ名を確認し、XL-C3200 を通常のプリンタに設定する場合は〔はい〕を選択して〔次へ〕をクリックする

9 〔プリンタの共有〕を行うかどうかを選択し、〔次へ〕をクリックする

10 テストページを印刷するかしないかを選択し、〔次へ〕をクリックする

11 〈プリンタの追加ウィザードを完了しています〉と表示されたら、設定した内容を確認し、〔完了〕をクリックする

12 〈デジタル署名が見つかりませんでした〉という警告メッセージが表示されたら、〔はい〕をクリックする

プリンタドライバのインストールが開始されます。

13 テストページが正しく印刷されたら〔OK〕をクリックし、インストールを完了する

ガイド 10 項でテストページを印刷しないとした場合、この画面は表示されません。

インストールが完了すると〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。

USB ドライバでのインストール

1　プリンタの電源が入っていないことを確認する

2　USBケーブルをパソコンとプリンタに接続する

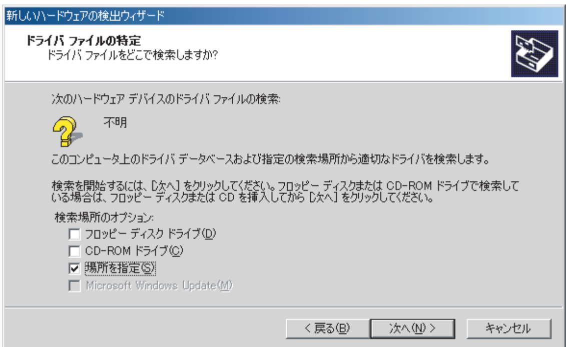
3　プリンタの電源を入れる

パソコンが、自動的に新しいハードウェアを検出し、必要なソフトウェアがインストールされます。これで、USB ケーブルのインストールは完了です。

4　〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

5　〔デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

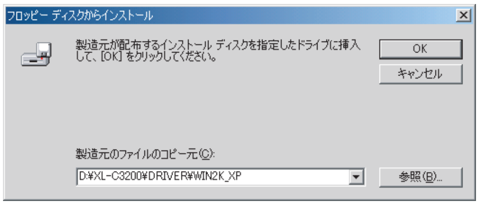
6　〈ドライバファイルの特定〉画面が表示されたら、〔フロッピィー ディスク ドライブ〕および〔CD-ROM ドライブ〕のチェックを外し、〔場所を指定〕だけを選択し、〔次へ〕をクリックする



7　添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットする

8 〈製造元のファイルのコピー元〉を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 2000/XP 用ドライバのフォルダ名を入力する

（CD-ROM ドライブが D: の場合、
「D:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力してください。）



9 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックする

10「デジタル署名が見つかりませんでした」画面で、〔はい〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

11「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面で、〔完了〕をクリックする

〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が追加されます。

12〔スタート〕メニューより〈シャットダウン〉を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1 〔マイコンピュータ〕の〔コントロールパネル〕アイコンをダブルクリックし、〔コントロールパネル〕フォルダを開く

2 〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕フォルダを開く

3 該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする

4 プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする

5 〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔サーバのプロパティ〕をクリックし、〔ドライバ〕タブで該当するプリンタを選択し、〔削除〕をクリックする

6 Windows 2000 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000 を再起動します。

7 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(89 ページ）の手順でインストールする

ガイド インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、〔新しいドライバに置き換える〕を選択してください。

Windows XP の場合

ここでは、Windows XP が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

プラグアンドプレイでのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme2k.txt」をお読みください。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。
- ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1　プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で、Windows XP を起動する

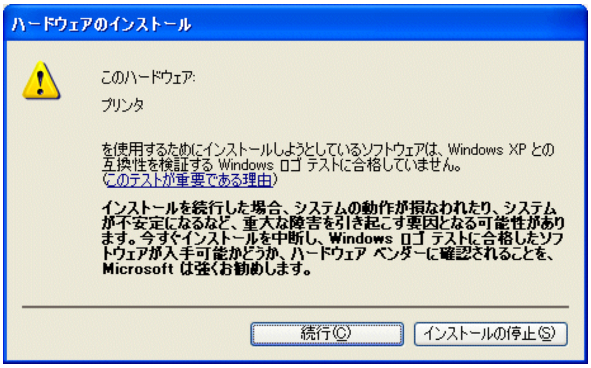
新しいハードウェアが検出されます。

2　プリンタドライバをインストールする

(1)〈新しいハードウェアの検出ウィザード〉ダイアログが表示されたら、〔一覧または特定の場所からインストールする（詳細）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。
(2) 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

(3)〈検索とインストールのオプションを選んでください〉画面で、〔次の場所で最適のドライバを検索する〕を選択し、〔リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索〕のチェックを外し、〔次の場所を含める〕にチェックをつけ、CD-ROM ドライブ名と Windows XP 用ドライバのフォルダ名を入力します。
(CD-ROM ドライブが F の場合、
「F:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN2K_XP」と入力してください。)
入力が終わったら〔次へ〕をクリックします。

(4)〈ハードウェアのインストール〉画面が表示されるので、〔続行〕をクリックします。



(5)〈新しいハードウェアの検索ウィザードの完了〉画面が表示されたら、設定した内容を確認し、〔完了〕をクリックして、インストールを終了します。

USB ドライバでのインストール

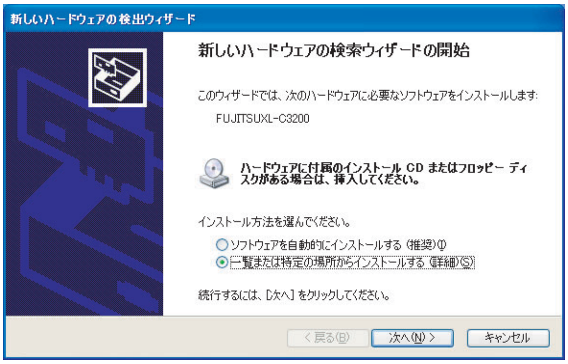
1　プリンタの電源が入っていないことを確認する

2　USB ケーブルをパソコンとプリンタに接続する

3　プリンタの電源を入れる

パソコンが、自動的に新しいハードウェアを検出し、必要なソフトウェアがインストールされます。これで、USB ケーブルのインストールは完了です。

4　〈新しいハードウェアの検索ウィザードの開始〉画面が表示されたら、〔一覧または特定の場所からインストールする(詳細)〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

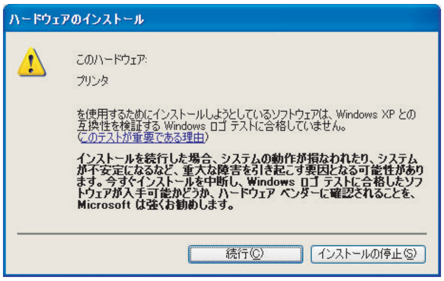


5　添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をセットする

6　〈検索とインストールのオプションを選んでください。〉画面で、〔次の場所で最適のドライバを検索する〕を選択し、〔リムーバブル メディア（フロッピィー、CD-ROM など）を検索〕のチェックを外し、〔次の場所を含める〕だけにチェクをつけ、CD-ROM ドライブ名と Windows XP 用ドライバフォルダ名を入力し、〔次へ〕をクリックする

（CD-ROM ドライブが D: の場合、「D:¥XL-C3200¥DRIVER¥WIN2K_XP」）と入力し、〔次へ〕をクリックします。

7　〈ハードウェアのインストール〉画面が表示されるので、〔続行〕をクリックする



4

セットアップ編

8 〈新しいハードウェアの検索ウィザードの完了〉画面が表示されたら、〔完了〕をクリックする

〔プリンタと FAX〕フォルダにプリンタ名が追加されます。

9 〔スタート〕メニューより〔シャットダウン〕を選択し、〈Windows のシャットダウン〉画面で〔再起動〕を選択、〔OK〕をクリックして Windows を再起動する

これでインストールは完了です。

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド　プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の手順で削除します。

1 〔スタート〕メニューより〔プリンタと FAX〕を選択する

2 該当するプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューから〔削除〕をクリックする

3 プリンタの削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする

4 〔プリンタ〕フォルダの〔ファイル〕メニューから〔サーバのプロパティ〕をクリックし、〔ドライバ〕タブで該当するプリンタを選択し、〔削除〕をクリックする

5　Windows XP を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows XP を再起動します。

6　新しいプリンタドライバをインストールする

ガイド　インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、〔新しいドライバに置き換える〕を選択してください。

最新プリンタドライバを入手する

最新プリンタドライバは弊社ホームページの下記アドレス（URL）よりダウンロード関連のページを開き、入手してください。

　http://www.fmworld.net/

運　用　編

第 5 章
用紙について

本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙

本プリンタでは、普通紙をはじめ、さまざまな用紙を使用することができます。しかし、一般に市販されている用紙の中には、本プリンタに適さないものもあります。適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因となることがあります。本プリンタの性能を効果的に活用するために、サプライ用紙を使用することをお勧めします。

参照　「サプライ品について」（128 ページ）

なお、サプライ用紙以外を使用するときは、本プリンタの規格に合った一般の用紙（『用紙について』または「一般の用紙」（106 ページ）参照）を使用するか、購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（318 ページ）にお問い合わせください。

お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないかどうか確認することをおすすめします。
- お買い求めになる用紙のメートル坪量が、本プリンタの規格内（107 ページ）であるかどうか、用紙の購入元に確認することをおすすめします。
- 規格にギリギリの用紙を使用すると、紙づまり等の原因となることがあります。ご注意ください。

用紙の種類

本プリンタで使用できる用紙は、次のとおりです。

サプライ用紙

次の用紙の使用をおすすめします。

使用可能な用紙		説明
普通紙	カラーオフィス用紙 A4 B4 B5	本プリンタでの印刷時、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
	オフィス用紙 W A3 A4（Y） A5 B4 B5（Y） レター	本プリンタでの印刷時、良好な印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	カラーページプリンタ用 OHP フィルム A4	XL-C3100/XL-C7300/XL-C3200 用 OHP フィルムです。 手差しトレイからの給紙のみ使用できます。

ガイド

カラーページプリンタ XL-C3000 に対応していたカラーページプリンタ用 OHP フィルムⅡ（白枠付き）は、本プリンタではご使用になれません。

一般の用紙

サプライ用紙以外では、次の用紙が使用できます。一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、サプライ用紙の使用をお勧めします。

使用可能な用紙		説明
普通紙	PPC 用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	坪量は 64 ～ 105g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	坪量は 64 ～ 105g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製はがき *2	通常の官製はがきが使用可能です。
	ラベル紙 *3	台紙全体がラベルで覆われていて、カットがないレーザプリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙 1/2	坪量は 106 ～ 220g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。

*1：再生紙は、一般の室温以上の環境下で使用すると、印刷品質が低下したり、紙づまりなどが発生することがあります。
*2：かもメールなどの絵入りはがきなどの印刷は、はがきの粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。このような場合は給紙ローラを清掃（159 ページ）してください。また、インクジェット用官製はがきは、特殊なコーティングが施されているため、本プリンタでは使用しないでください。
*3：台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となります。使用しないでください。

給紙方法と用紙の規格

次の規格の用紙が使用できます。
用紙トレイ、手差しトレイのどちらでも使用できます。

給紙方法	用紙種類	サイズ	ﾒｰﾄﾙ坪量	積載可能枚数
用紙トレイ 1（標準）	普通紙	A3(横) B4(横) A4(縦 / 横) B5(縦) レター (縦 / 横) (*7) リーガル (横)	64 ～ 105g/m^2	約 250 枚 （または総厚26mmまで）
用紙トレイ 2/3 （拡張）				約 500 枚 （または総厚53mmまで）
手差しトレイ	普通紙	A3(横) B4(横) A4(縦 / 横) B5(縦 / 横) A5(縦 / 横) レター (縦 / 横) リーガル (横) 328 × 453（特 A3）（横） ユーザー定義用紙 1 ～ 5 （幅 90 ～ 330.2、 長さ 144.8 ～ 457.2mm）	64 ～ 105g/m^2 (55 ～ 189kg)	約 150 枚 （または総厚16mmまで）
	はがき / はがき（うら面）(*2)	はがき（横）	190g/m^2	約 75 枚
	ラベル紙 (*3)	A4（縦 / 横） レター（縦 / 横）	106～220g/m^2	約 75 枚
	厚紙 1/ 厚紙 1（うら面）(*4)	給紙方法手差しトレイでの普通紙と同じ	106～220g/m^2	約 75 枚
	厚紙 2 (*4) / 厚紙 2（うら面）(*5)	給紙方法手差しトレイでの普通紙と同じ	106～220g/m^2	約 75 枚
	OHP フィルム (*6)	A4(縦 / 横) レター (縦 / 横)	160g/m^2	約 75 枚

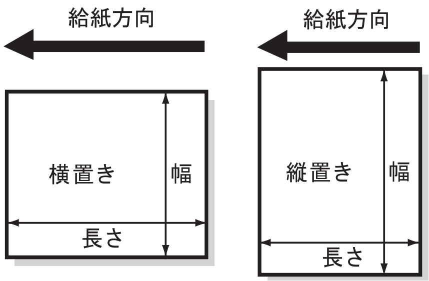
*1：メートル坪量とは、1m^2 の用紙 1 枚の質量をいいます。連量とは、四六判（788 × 1,091mm）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。
*2：官製はがきの印刷ではプリンタドライバの用紙種類は、はがき（ はがきの裏面印刷時は、はがき (うら面)) に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*3：プリンタドライバの用紙種類はラベル紙に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*4：プリンタドライバの用紙種類は厚紙 1/ 厚紙 2（裏面印刷時は、厚紙 1（うら面）/ 厚紙 2（うら面））に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*5：厚紙 1/（厚紙 1（うら面））に設定してトナーの定着が悪い場合は、厚紙 2/ 厚紙 2（うら面）を指定してください。
*6：プリンタドライバの用紙種類は OHP フィルムに設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。
*7：用紙トレイ 1 の場合はレター（縦）のみです。

お願い

・ハガキは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたハガキや反りのあるはがきを使用すると、紙づまりなどが発生することがあります。
・プリンタドライバで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷すると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

ガイド

・表の中の「幅」、「長さ」、「横」、「縦」の関係は下図のとおりです。



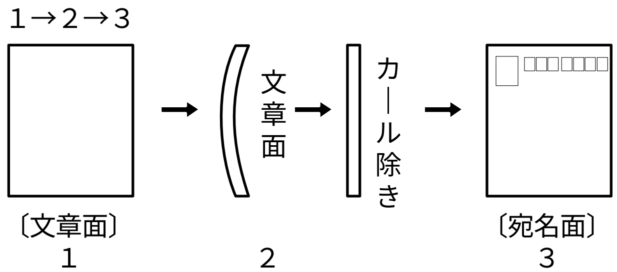
・手差しトレイで、不定形サイズの用紙に印刷する場合は、ユーザー定義サイズとして用紙を登録する必要があります。登録のしかたについては、「不定形用紙を登録する」（209 ページ）を参照してください。

特殊紙使用時のご注意

次の用紙をご使用になるときは、印刷の順序や用紙の種類に注意してください。

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に印刷してください。
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。
また、プリンタドライバでの用紙種類の設定は、文章面に印刷する場合は「はがき」を、宛名面に印刷する場合は、「はがき（うら面）」を指定してください。指定を間違えると画質が落ちることがあります。



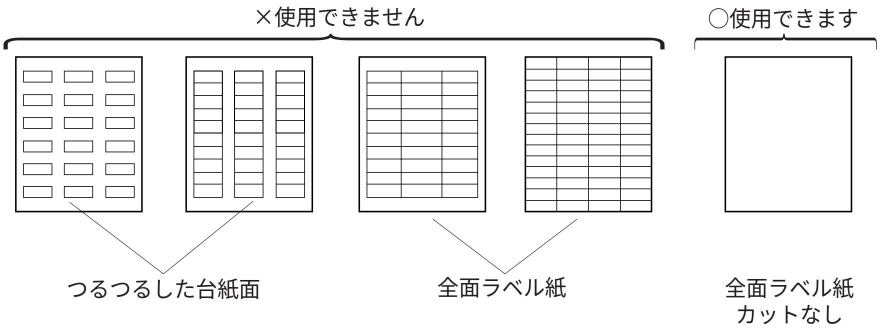
官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。
- 印刷面を下にしてセットしてください。
- 手差しトレイに縦方向にセットしてください。
- ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHP フィルム

本プリンタ専用以外の OHP フィルムは使用しないでください。

ラベル紙

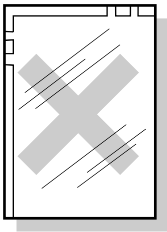
台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のラベル紙が使用可能です。



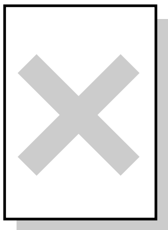
使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタの故障となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・ 本プリンタで印刷済みの上質紙、普通紙、再生紙、OHP フィルム、ラベル紙 *
・ 他のカラーレーザプリンタ / モノクロレーザプリンタ用 OHP フィルム、他のカラー複写機 / モノクロ複写機用 OHP フィルム、カラーページプリンタ用 OHP フィルムⅡ A4



・ インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルムなど）

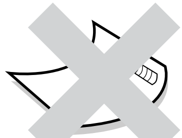


・ 他のカラーレーザプリンタ、モノクロレーザプリンタで印刷済みの用紙



・ 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷済みの用紙

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙（封筒など）
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙



カールしたもの

- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙、インクジェット用官製はがきなど）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、160 ℃以下の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- 160 ℃以下の熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- ツルツル、スベスベした表面がなめらかすぎる用紙
- 紙粉の多い用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 台紙全体がラベルなどで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙
- ユーザー定義サイズの下限値（幅 90mm、長さ 144.8mm）に、いずれか一方でも満たない用紙は印刷できません。（名刺サイズ　幅 91mm ×長さ 55mm など）

＊ ：本プリンタで片面のみ印刷された、厚紙 1/ 厚紙 2/ 官製はがきのみ裏面印刷が可能です。

用紙保管上のご注意

用紙を保管するときは、以下のことに気を付けてください。

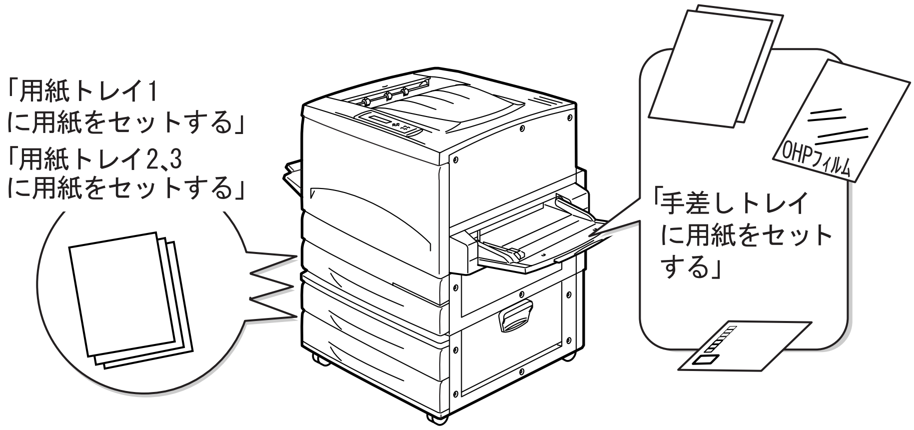
・ 用紙はキャビネットの中や、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
・ 用紙の保管条件は、次のとおりです。
  - 温度10 ～ 30 ℃
  - 相対湿度30 ～ 65%
・ 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
・ 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
・用紙は直射日光に当たらない場所に保管してください。

用紙を用紙トレイにセットする前に以下の事項を守ってください。

・ バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
・ 折りめ、シワが入った用紙は使用しないでください。
・ 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
・ サイズが異なる用紙を重ねてセットしないでください。
・ OHP フィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

用紙をセットする

用紙トレイや手差しトレイに、用紙がなくなったときや、印刷したい用紙がセットされていないときは、次の手順にしたがって用紙をセットします。



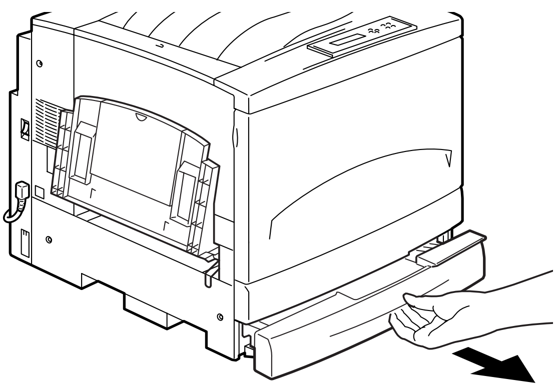
参照　「使用できる用紙」（104 ページ）
「使用できない用紙」（111 ページ）

お願い

インクジェット用官製はがきは、特殊なコーティングが施されているため、本プリンタでは使用しないでください。

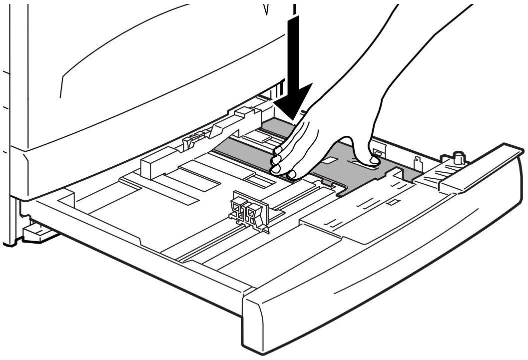
用紙トレイ 1 に用紙をセットする

ここでは、A4 サイズの用紙を縦置きにセットする場合を例に説明します。



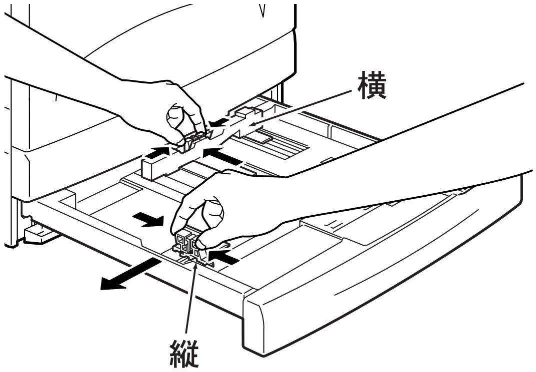
1 止まるまで用紙トレイを手前に引き出す

2 用紙トレイの金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定する

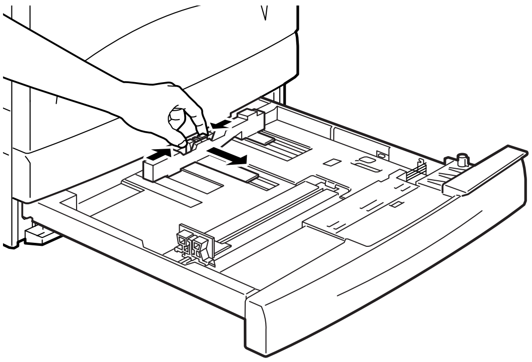


3 縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、セットしたい用紙サイズにガイドを合わせる

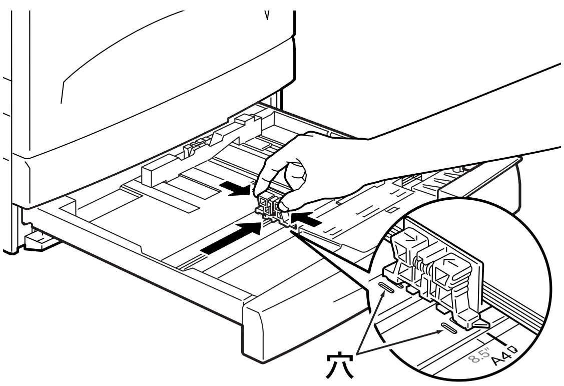
ここでは、A4 サイズに合わせます。



4 横の用紙ガイドをセットしたい紙の幅に合わせる

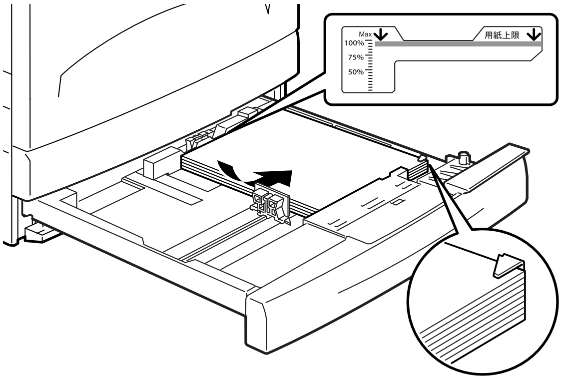


5 縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせる



お願い

- 縦の用紙ガイドのストッパが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

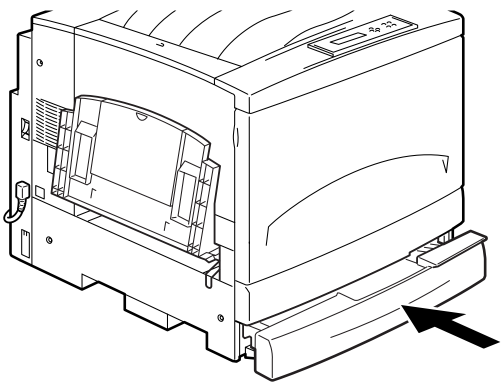


6 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットする

右手前側にあるツメの下に用紙をセットします。

お願い

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい (カールしている) 用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数 (用紙上限) を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙はツメの下にセットし、ツメの上には載せないようにしてください。

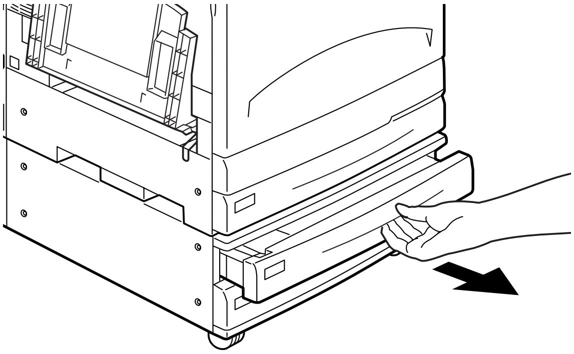


7 用紙トレイをプリンタの奥までしっかり押し込む

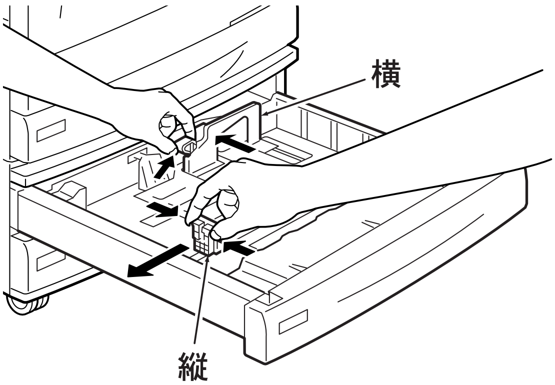
用紙トレイを押し込むときは、強く押し込みすぎないように注意してください。

トレイ 2、3 に用紙をセットする

ここでは、トレイ 2 に A4 サイズの用紙を縦置きにセットする場合を例に説明します。
同様の手順で、トレイ 3 にも用紙をセットできます。

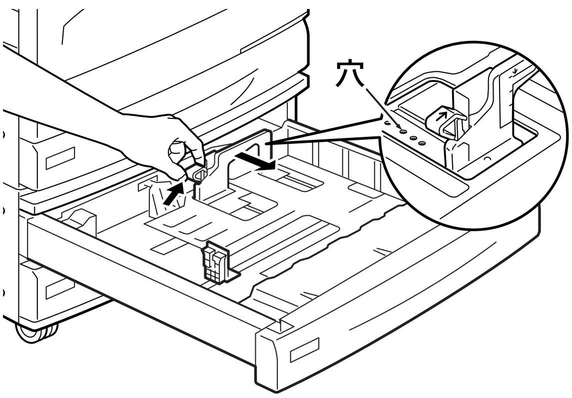


1 用紙トレイを、止まるまで手前に引き出す



2 縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、セットしたい用紙サイズにガイドを合わせる

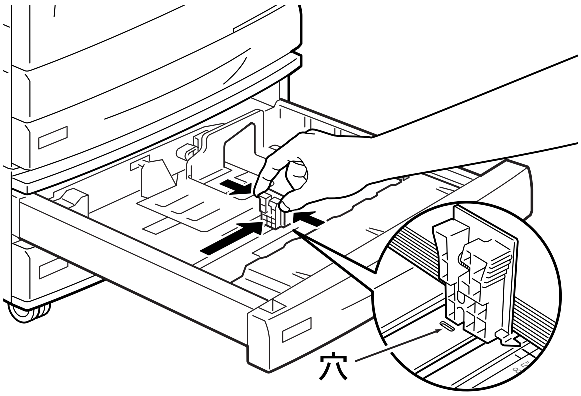
ここでは、A4 サイズに合わせます。



3 横の用紙ガイドをセットしたい紙の幅に合わせ、「カチッ」と固定されるまでずらす

お願い

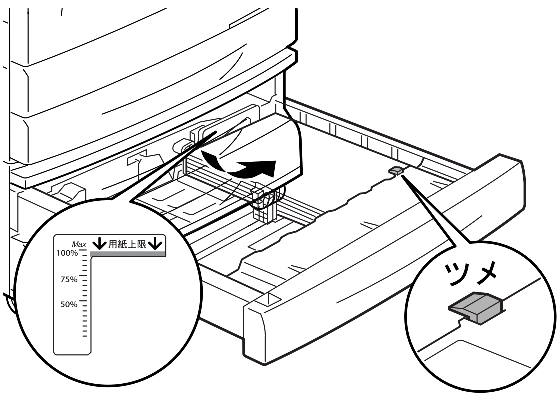
- 横の用紙ガイドのストッパが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 横の用紙ガイドのストッパが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん横の用紙ガイドを奥までずらし、再度目盛りに合わせてください。



4 縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせる

お願い

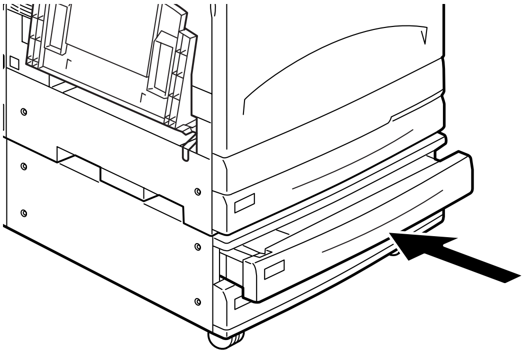
- 縦の用紙ガイドのストッパが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。



5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットする

お願い

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい (カールしている) 用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数 (用紙上限) を超えて、用紙をセットしないでください。
- 図の灰色のツメは、用紙が斜めに送られるのを防ぐためのものです。



6 用紙トレイをプリンタの奥までしっかり押し込む

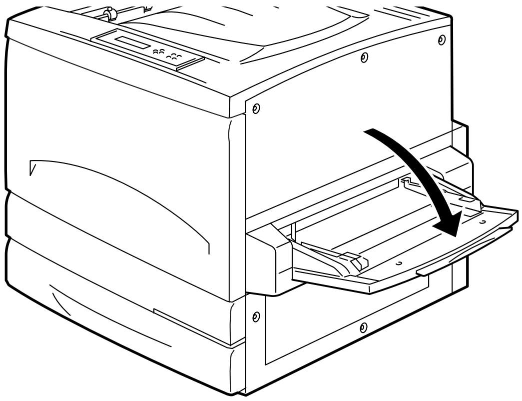
用紙トレイを押し込むときは、強く押し込まないように注意してください。

手差しトレイに用紙をセットする

ここでは、手差しトレイに用紙をセットする手順を説明します。

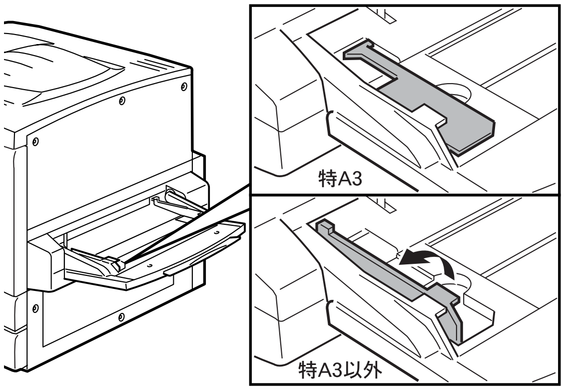
お願い

手差しトレイには、サイズの異なる用紙を同時にセットしないでください。また、手差しトレイに用紙が残っている状態で、新しい用紙を追加しないでください。紙づまりなどの原因になることがあります。



1　手差しトレイが折りたたまれている場合は、手差しトレイを開ける

破損の原因になるので、手差しトレイには必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものをのせたりしないでください。

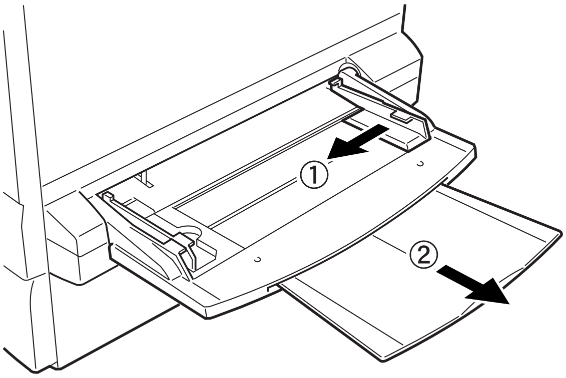


2　特 A3 用ガイドを確認する

特 A3 用紙用ガイドは、328 × 453mm サイズや、幅が 12.2 インチを超えるユーザー定義サイズの用紙をセットするときに倒します。

ガイド

- A3 サイズ以下、または用紙幅が 12.2 インチ以下の用紙をセットするときは、A3 用特用ガイドを起こします。
- 用紙幅が 12.2 インチ以下の用紙に印刷するときは、特 A3 用ガイドを倒して用紙をセットすると、印字位置がずれて正しく印刷できません。

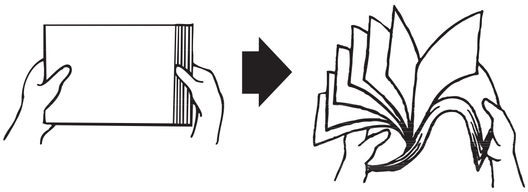


3 用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせる (①)

A3 サイズなど大きな用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します（②)。

ガイド

A3 サイズなど大きな用紙をセットするとき、延長トレイを使用しないと、用紙が落下したり、紙送りができなくなったりすることがあります。

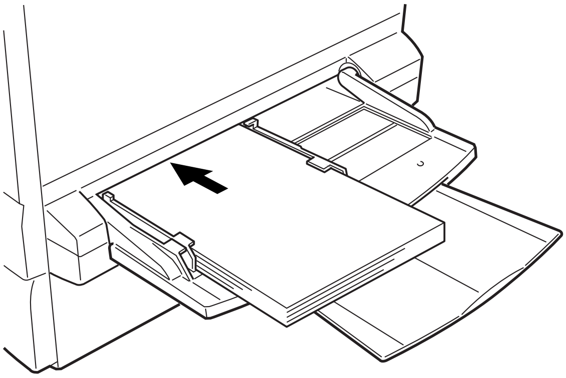


4 OHP フィルム、ラベル紙などの特殊紙に印刷する場合は、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばく

用紙の間に空気を入れることによって、複数枚の紙送り (重送) や紙づまりを防ぐことができます。

お願い

- 普通紙は、さばかずにそのままセットしてください。
- 専用紙は、1 枚ずつセットしてください。多数枚をセットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。
- 裁断が悪く、用紙くずが周囲に付いている場合は、用紙くずを取り除いてください。



5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く当たるまで入れる

お願い

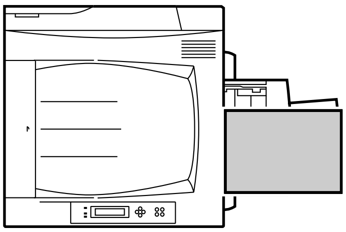
- 折りめやシワが入った用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数を超えて、用紙をセットしないでください。

正しい用紙のセット方法

手差しトレイの用紙の置き方には、「よこ置き」「たて置き」があります。プリンタドライバで用紙トレイを手差しに設定した場合、「よこ置き」「たて置き」を選択します。
手差しトレイに用紙をセットする場合は、プリンタドライバの設定に従って用紙を置いてください。

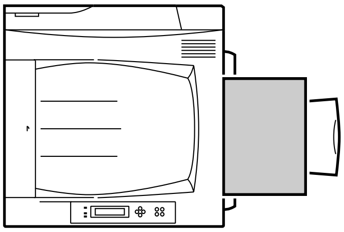
よこ置き

設定した用紙を、横向き（正面から見たときに用紙が横長）に置きます。



たて置き

設定した用紙を、縦向き（正面から見たときに用紙が縦長）に置きます。

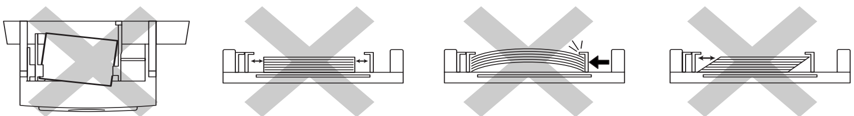




- 手差しトレイに、縦、横のどちらの向きにもセットできる用紙のサイズは、次のとおりです。
  A4、A5、B5、8.5 × 11"（レター）、ユーザー定義用紙 1 ～ 5（短辺・長辺のサイズがともに 144.8 ～ 330.2mm 以内のもの）
- 横置きでしかセットできない用紙のサイズは、次のとおりです。
  A3、B4、はがき、8.5 × 14"（リーガル）、
  328 × 453mm（特 A3）、ユーザー定義用紙 1 ～ 5（短辺：90 ～ 330.2mm、長辺：144.8 ～ 457.2mm で指定したもの）

正しくない用紙のセット方法

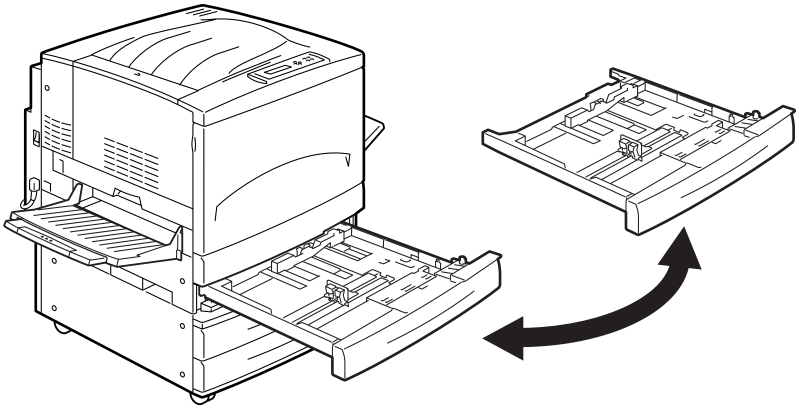
用紙は正しくセットできましたか？
用紙ガイドと用紙の間に隙間があいていたり、ガイドを強く押しすぎて用紙がゆがんだりしていませんか。
また、用紙が斜めになっていませんか。



用紙が正しくセットされていないと、印字位置がずれて正しく印刷できません。確認してください。

トレイ 1 をオプションの用紙トレイと入れ替える

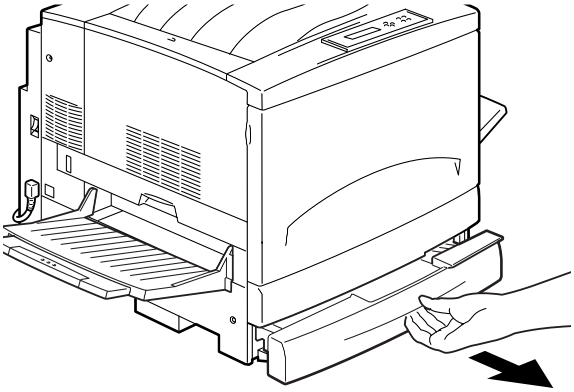
トレイ 1 には、オプションの A3 ユニバーサルカセット 250 枚を取り付けることができます。A3 を購入している場合は、標準のトレイ 1 と異なるサイズの用紙をセットしておき、必要に応じて、トレイを入れ替えて使用できます。
ここでは、用紙トレイをプリンタから取り外す手順と、プリンタに取り付ける手順を説明します。



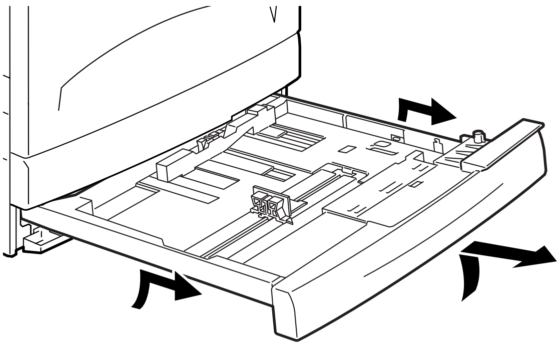
参照　オプションの用紙トレイの種類については、「オプション品について」（147 ページ）を参照してください。

用紙トレイを取り外す

次の手順にしたがって、用紙トレイを取り外します。



1 手前に止まるまで用紙トレイを引き出す

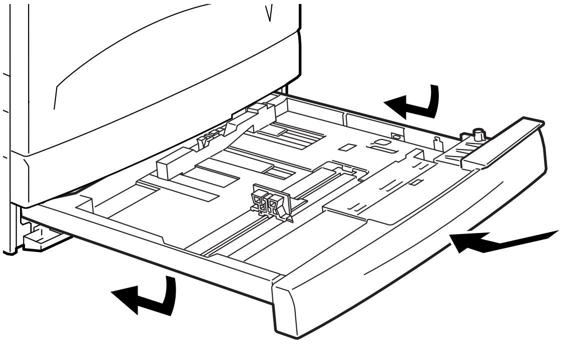


2 用紙トレイを両手で持ち、トレイの手前側を押し上げるようにして引き出す

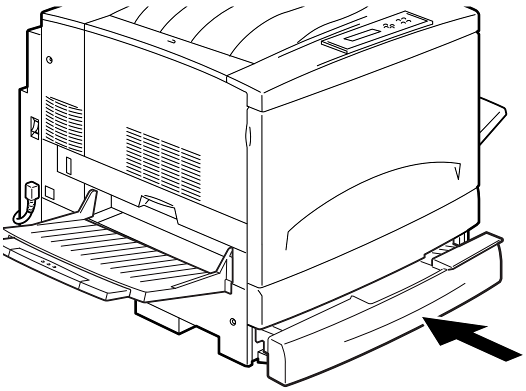
取り外した用紙トレイは、平らな場所に置いてください。

用紙トレイを取り付ける

次の手順にしたがって、用紙トレイを取り付けます。



1 用紙トレイを両手で持ち、プリンタ本体の用紙トレイ取り付け口の溝に沿って、差し込む



2 用紙トレイを、プリンタの奥までしっかり押し込む

用紙トレイを押し込むときは、強く押し込まないように注意してください。

第6章
日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

サプライ品について

サプライ品の商品番号を以下に示します。
これらの品物については、本プリンタのご購入元へご相談ください。
PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

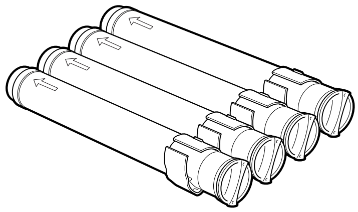
ガイド　カラーページプリンタ XL-C3000 に対応していたカラーページプリンタ用 OHP フィルムⅡは、本プリンタではご使用になれません。

商　品　名		商品番号	備　考
カラーオフィス用紙	A3	0415750	250 枚× 5 冊で 1 ケース
	B4	0415720	
	A4	0415710	250 枚× 10 冊で 1 ケース
	B5	0415740	
オフィス用紙 W（普通紙）	A3	0411650	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0411620	
	A4（Y）	0411612	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	B5（Y）	0411645	
	A5	0411630	
カラーページプリンタ用 OHP フィルム	A4	0415510	50 枚
トナーカートリッジ（ブラック）	CL106	0883110	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5% 以下のときに、印刷寿命は約 6,000 枚（ブラックのみ 5,500 枚）です（印刷の内容により、多少の差があります）。
トナーカートリッジ（シアン）	CL106	0883140	
トナーカートリッジ（マゼンタ）	CL106	0883130	
トナーカートリッジ（イエロー）	CL106	0883120	
ドラムカートリッジ（＊ 1）	CL106Ⅱ	0883420	感光体、ドラムクリーナー、廃トナーボックスで構成されています。約 20,000 枚で交換です。（＊ 2）
廃トナーボックス	CL103	0874710	ドラムカートリッジに付属しているものですが、単体で交換できます。約 20,000 枚で交換です。（＊ 1）
CL106 給紙カセット	（250 枚）	0883310	A3 ～ B5 サイズで 250 枚 添付の用紙トレイと同一です。
	（500 枚）	0883320	A3 ～ B5 サイズで 500 枚 拡張給紙ユニットに添付の用紙トレイと同一です。

＊ 1：　XL-C3100 のドラムカートリッジは、使用できません。
＊ 2：　ドラムカートリッジ、廃トナーボックスの印刷寿命は、モノクロ：カラー＝ 1 ： 1 で印刷した場合です。
印刷の内容により（カラーの印刷枚数が多い場合等）印刷寿命が約 10,000 枚程度になります。

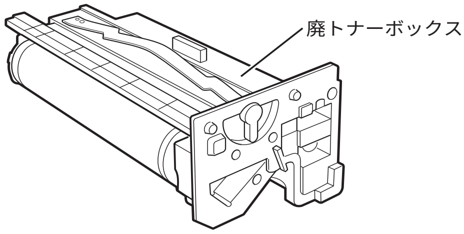
ガイド トナーカートリッジ各色およびドラムカートリッジなどは、富士通コワーコ社製の純正品をご使用ください。リサイクル品や他社製サプライ品を使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

トナーカートリッジ



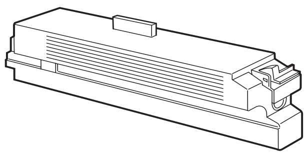
トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。トナーが残り少なくなると、印刷がかすれたり薄くなったりします。交換時期がきたら、「トナーカートリッジを交換する」(131 ページ) を参照して、新しいトナーカートリッジと交換してください。

ドラムカートリッジ



ドラムカートリッジは、感光体、ドラムクリーナー、廃トナーボックスで構成されています。このうち、廃トナーボックスは単体でも取り替えることができます。ドラムカートリッジが劣化すると、黒い汚れが生じるなど、印字品質が低下します。交換時期がきたら、「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）を参照して、新しいドラムカートリッジと交換してください。

廃トナーボックス



廃トナーボックスは、ドラムカートリッジに付属しているので、ドラムカートリッジ交換時には必ず新品と交換されますが、単体でも交換することができます。廃トナーボックスがトナーでいっぱいになったら、「廃トナーボックスを交換する」（144 ページ）を参照して、新しい廃トナーボックスと交換してください。

使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス

富士通株式会社では､地球環境への配慮から使用済みカートリッジや廃トナーボックスを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

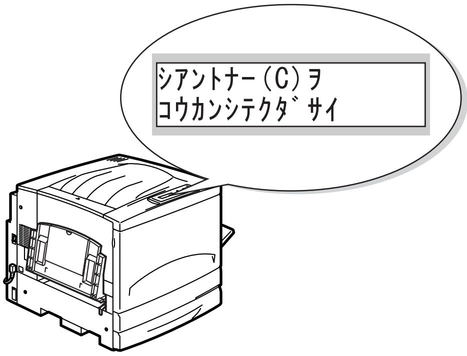
：0120-30-0693
平日　8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

サプライ品を交換する

サプライ品の交換時期が近づくと、オペレータパネルにメッセージが表示されます。この場合は、該当する品目をすみやかに交換してください。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。トナーが残り少なくなると、プリンタのオペレータパネルの液晶ディスプレイに「xxxx トナー（x）ヲ コウカンシテクダサイ」（xxxx は、交換が必要なトナーカートリッジの色）のメッセージが表示されます。交換を促すメッセージが表示されたら、すぐに新しいトナーカートリッジと交換してください。画像密度が高い文書を印刷するなど使用条件によっては、このメッセージが表示されたあと、数枚から数十枚を出力したところで、プリンタが強制停止します。



参照　トナーカートリッジはサプライ品です。交換時期などサプライ品については、「サプライ品について」（128 ページ）を参照してください。

⚠ 警告	やけど　使用済みのトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

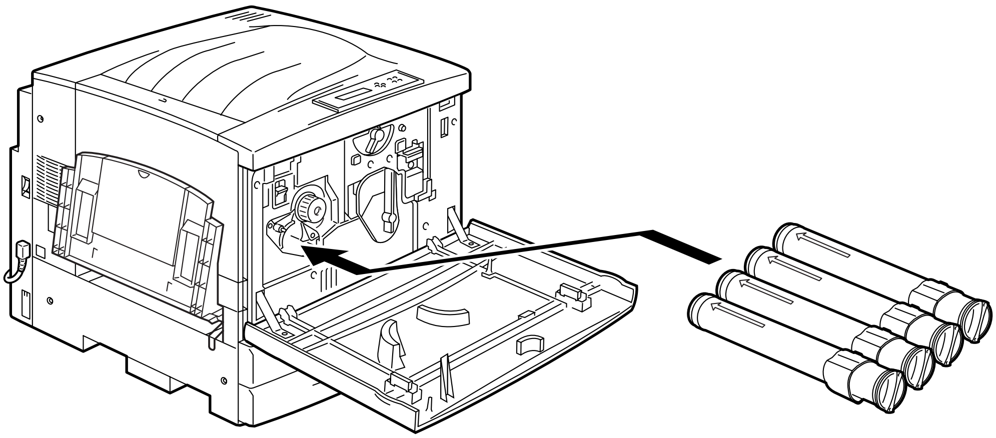
取り扱い上の注意

- トナーを吸い取るために掃除機を使用しないでください。静電気によるセンサ破損の原因になります。
- 一度プリンタから取り外したトナーカートリッジは再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください (結露がなければ使用可能です)。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときには、すぐに洗い流してください。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には弊社が推奨するトナーカートリッジを使用してください。
- 富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みのトナーカートリッジを無償で回収しております。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、回収サービスをご利用にならない場合は、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

参照　「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（130 ページ）

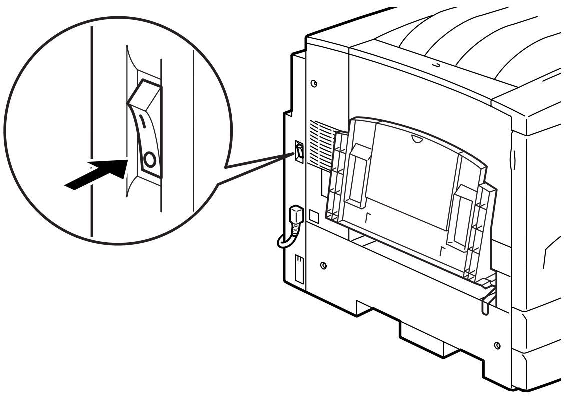
保管上の注意

- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲 0～35℃、湿度範囲 15～80%RH(ただし、結露のないこと)
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。



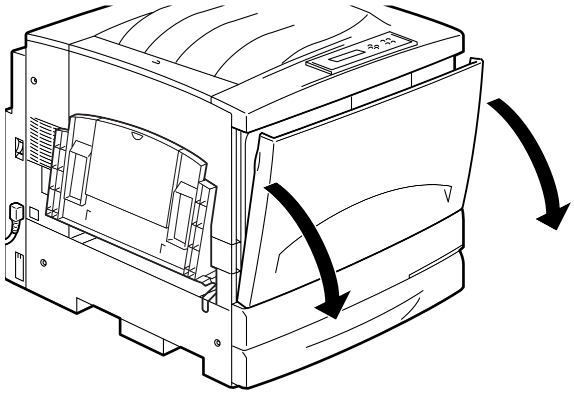
次の手順にしたがって、トナーカートリッジを交換します。

お願い　トナーカートリッジを交換するときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

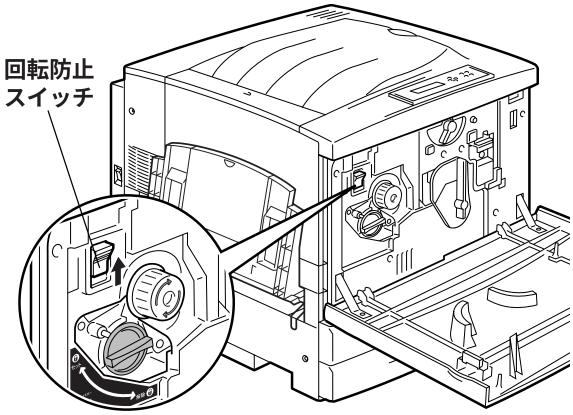


1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。



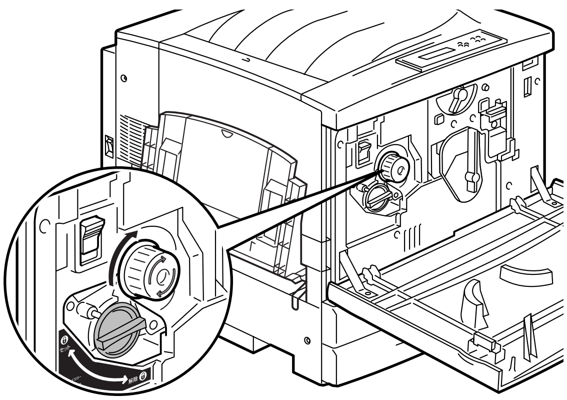
2 フロントカバーを開く



3 交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきているか確認する

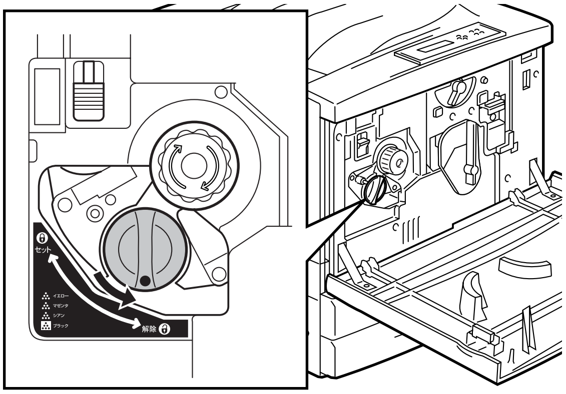
交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきていない場合は、回転防止スイッチを上に押し上げて、ロックを解除します。スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。

ガイド　スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さず、スイッチを押し上げて回してください。



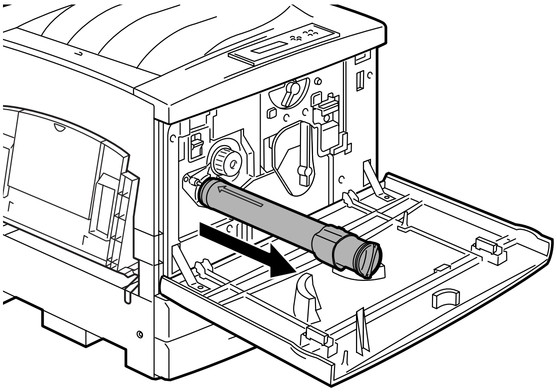
4 トナーカートリッジを移動する

ノブを図の矢印の方向に回して、トナーカートリッジを移動させます。トナーカートリッジの装着口は図のように右に回転します。ノブは、止まるまでゆっくり回してください。
取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にくるまで、手順3～4の操作を繰り返します。

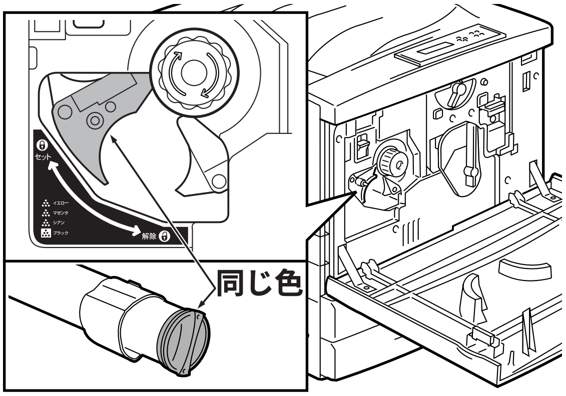


5 トナーカートリッジを解除位置に合わせる

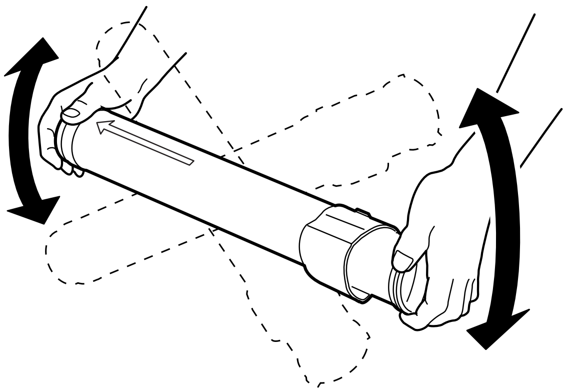
取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきたら、トナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の「●」印をプリンタ側の「解除」（🔓）に合わせます。



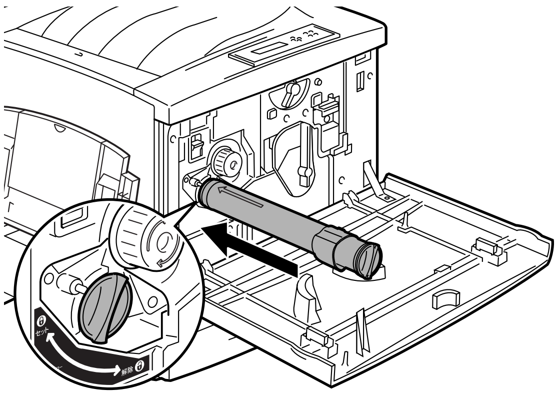
6 トナーカートリッジを手前に引いて、取り出す



7 同色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出す



8 図のように 7 〜 8 回振り、中のトナーを均一にする

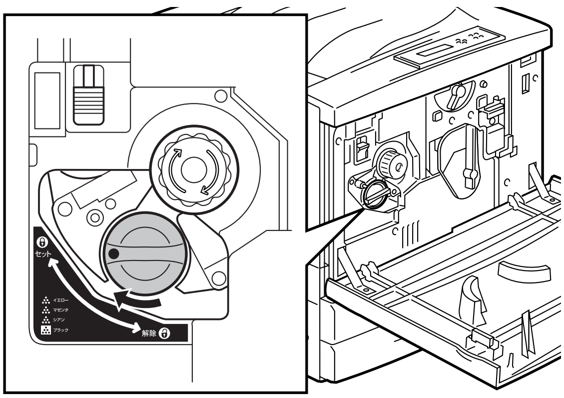


9 トナーカートリッジを差し込む

トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。

お願い

トナーカートリッジをしっかり差し込まないで操作すると、故障の原因になります。



10 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「●」印をプリンタ側の「セット」（🔒）に合わせます。

お願い

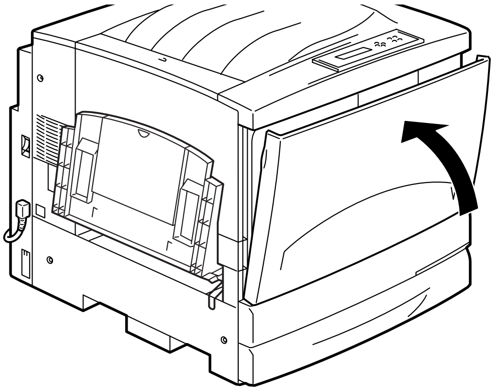
トナーカートリッジを最後までしっかり回してください。最後まで回さないとトナーがこぼれる場合があります。

11 他の色のトナーカートリッジも交換する場合は、3 ～ 10 の手順を繰り返して交換する

お願い

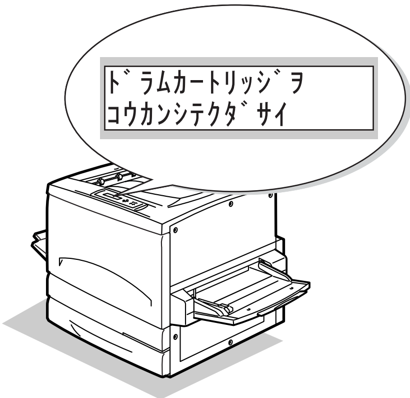
- トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。
- ノブを回すときは、ゆっくり回してください。

12 フロントカバーを閉める



ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジが劣化すると、プリンタのオペレータパネルの液晶ディスプレイに「ドラムカートリッジヲ コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示されます。交換を促すメッセージが表示されたら、新しいドラムカートリッジと交換してください。



参照　ドラムカートリッジはサプライ品です。交換時期などサプライ品については、「サプライ品について」（128 ページ）を参照してください。

⚠ 警告	やけど　ドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

取り扱い上の注意

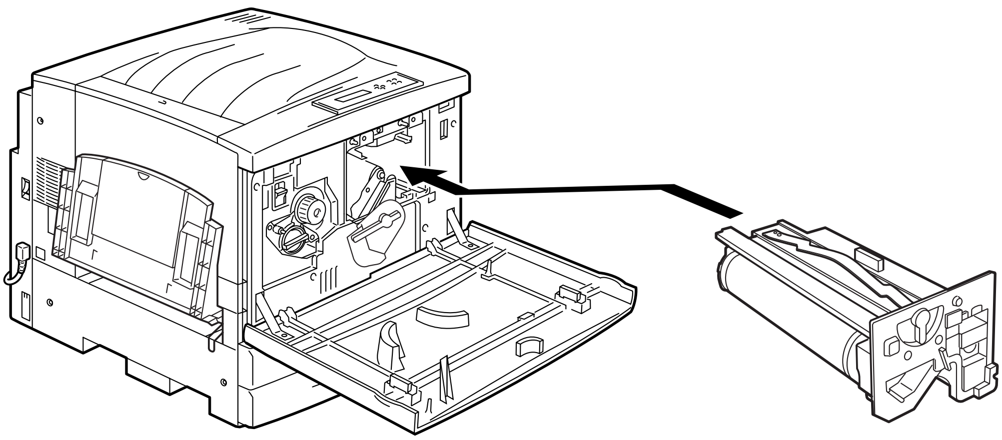
- ドラム表面（青色の部分）は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。
- ドラムカートリッジを直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。また、通常の室内の明かりの下でも 5 分以上は放置しないでください。印字が汚れたり、写らない箇所が発生します。
- ドラム面に傷がつかないように、ドラムカートリッジの交換作業は平らな机の上で行ってください。
- 廃トナーボックスにて回収したトナーは、再利用しないでください。

・ 富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みのドラムカートリッジを無償で回収しております。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、回収サービスをご利用にならない場合は、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

参照 「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（130 ページ）

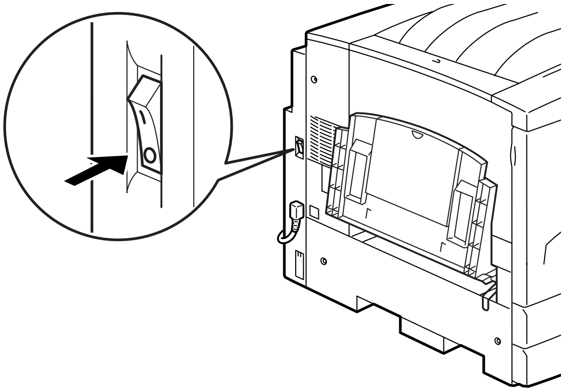
保管上の注意

・ 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
・ 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80%RH（ただし、結露のないこと）
・ 高温多湿になる場所には置かないでください。
・ CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
・ 幼児の手の届かないところに保管してください。
・ 水平にした状態で保管してください。



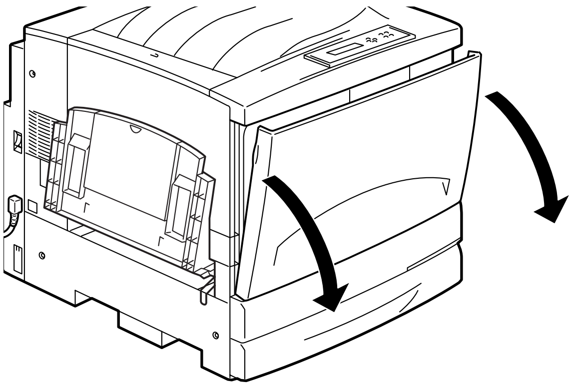
次の手順にしたがって、ドラムカートリッジを交換します。

お願い　ドラムカートリッジを交換するときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

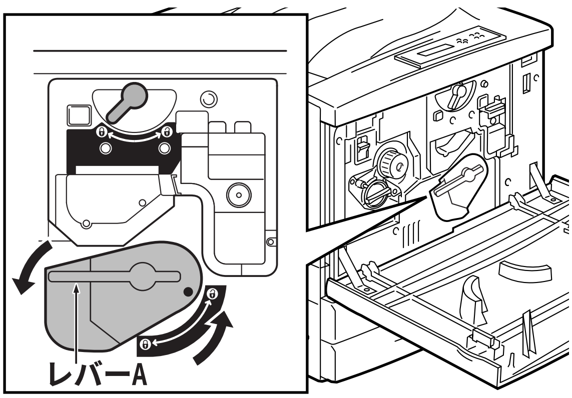


1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。

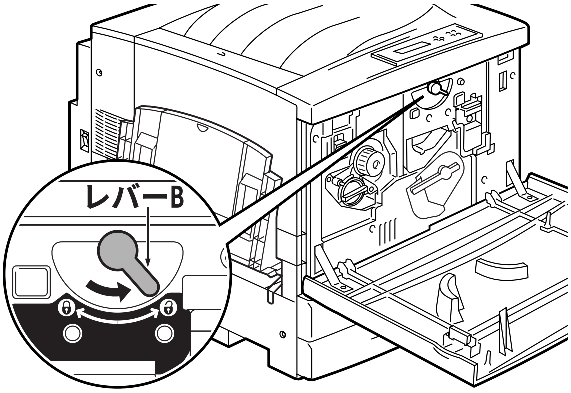


2 フロントカバーを開く



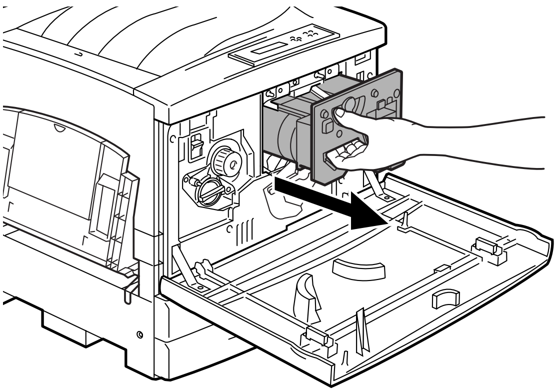
3 レバー A を解除位置に合わせる

オレンジ色のレバーAを図の矢印の方向にゆっくりと回し、「●」印を解除位置（🔓）に合わせます。



4 レバーBを解除位置に合わせる

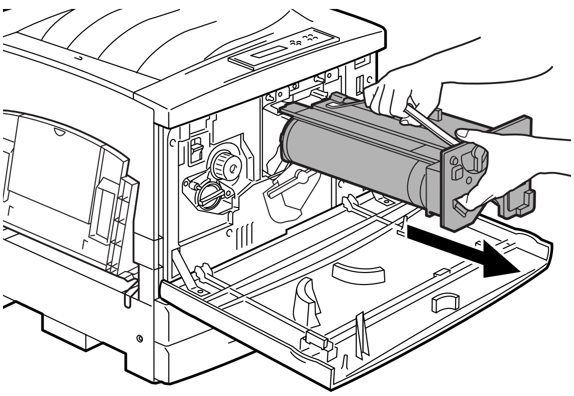
オレンジ色のレバーBを図の矢印の方向に回し、解除位置（ ）に合わせます。



5 ドラムカートリッジを引き出す

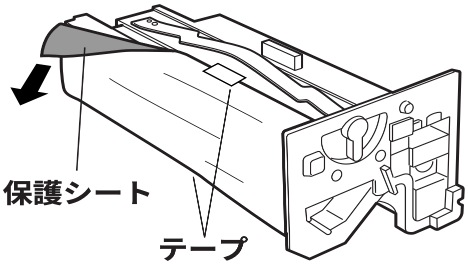
オレンジ色の引き出し用の溝に手を入れ、ドラムカートリッジを手前にゆっくりと30cm程度引き出します。

⚠ 注意	けが	ドラムを引き出す際に、指がはさまれないように注意してください。けがの原因となることがあります。



6 上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジをプリンタからゆっくり引き出して取り出す

⚠ 注意	けが	ドラムが落下しないように必ず上部の取っ手を持ってください。落下によりけがの原因となることがあります。

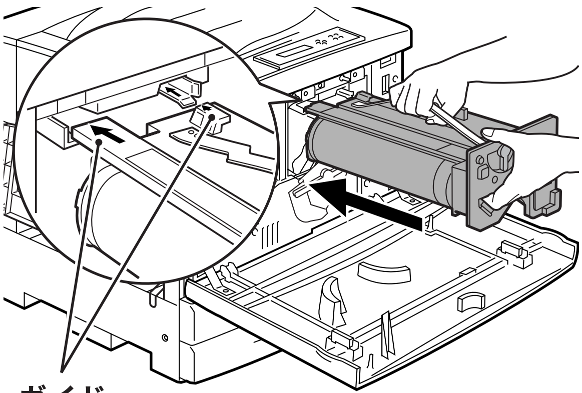


7 新しいドラムカートリッジの保護シートをはがす

新しいドラムカートリッジを梱包から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートをはがします。このとき、必ず持ったままの状態で行ってください。

お願い

- ドラム表面（青色）は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷品質が悪くなります。
- 保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。
- ドラムカートリッジを直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも 5 分以上は放置しないでください。

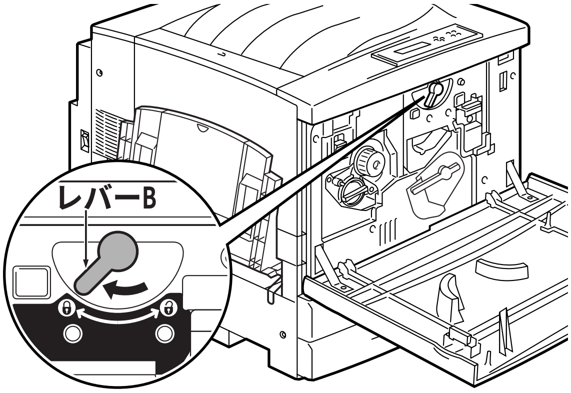


8 ドラムカートリッジを押し込む

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、ガイドをプリンタ本体のレールに乗せて、奥まで押し込みます。

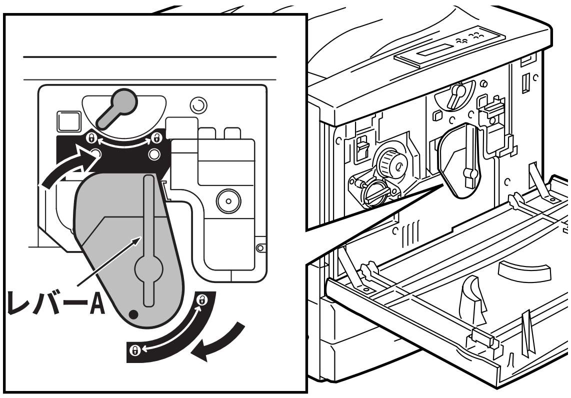
お願い

- ドラムカートリッジのガイドをきちんとレールに乗せてください。きちんとレールに乗っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ドラム表面（青色）が他の部品に接触しないように注意してください。

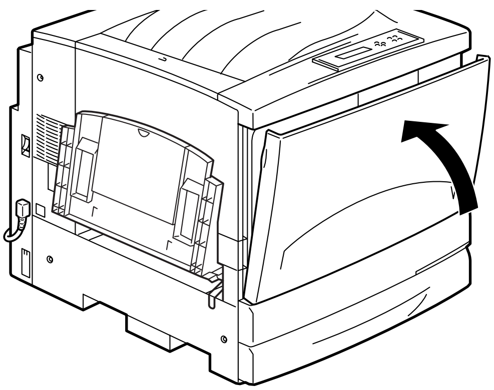


9 レバーＢを図の矢印の方向に回し、セット位置（🔒）に合わせ、カチッという音がすることを確認する

ガイド　ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。



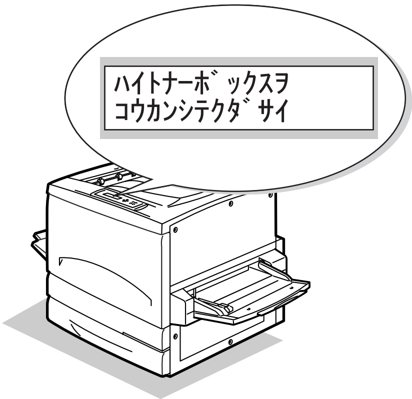
10 レバーＡを図の矢印の方向に回し、〔●〕印をセット位置（🔒）に合わせる



11 フロントカバーを閉める

廃トナーボックスを交換する

廃トナーボックスがいっぱいになると、プリンタのオペレータパネルの液晶ディスプレイに「ハイトナーボックスヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示されます。交換を促すメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。

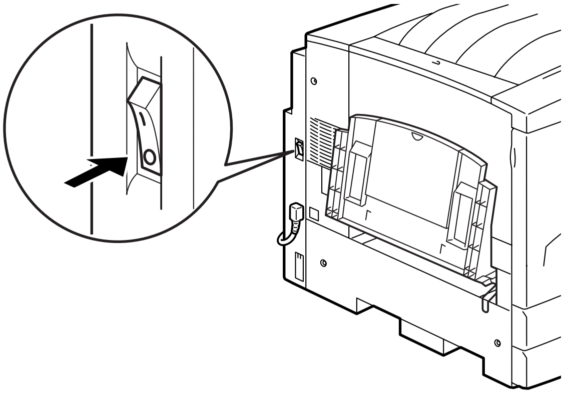


参照　廃トナーボックスはサプライ品です。交換時期などサプライ品については、「サプライ品について」（128 ページ）を参照してください。

⚠ 警告	破　裂　廃トナーボックスを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

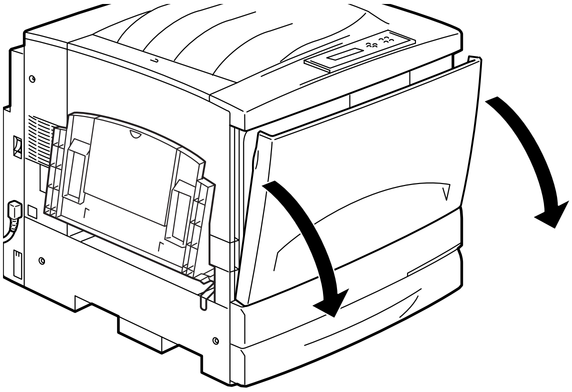
次の手順にしたがって、ドラムカートリッジを交換します。

お願い　廃トナーボックスを交換するときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

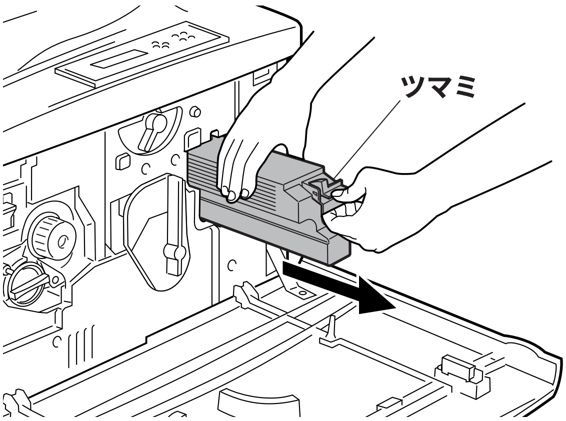


1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。



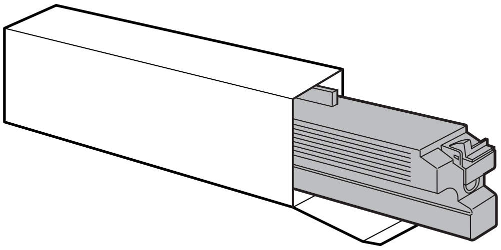
2 フロントカバーを開く



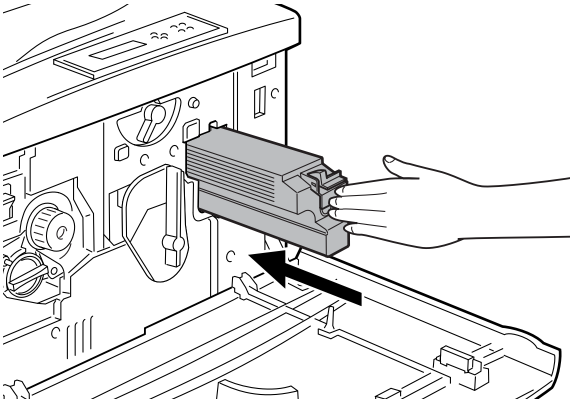
3 廃トナーボックスを取り出す

廃トナーボックスの取っ手を持ち、ツマミの部分を下に押し下げながら手前に引き、プリンタ本体から取り出します。

お願い　取っ手のつまみを確実に押し下げてから抜いてください。



4 新しい廃トナーボックスを梱包から出す

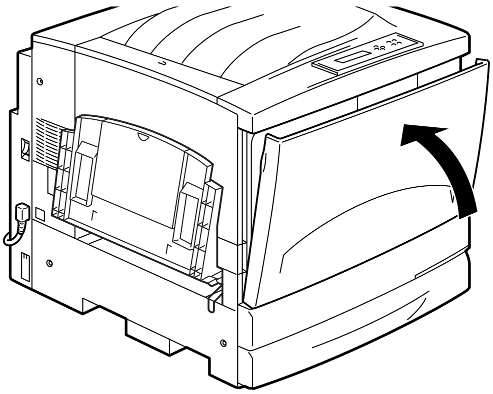


5 廃トナーボックスを押し込む

廃トナーボックスを、「カチッ」と音がするまでプリンタの奥にしっかり押し込みます。

お願い

取っ手のつまみを押さえずに押し込んでください。



6 フロントカバーを閉める

ガイド

廃トナーボックスを新しいものに交換し、フロントカバーを閉めると、自動的に印刷可能状態になります。

オプション品について

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

拡張給紙ユニット - A (1 段)

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット - A（1 段）	XL-EF50V1	2段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3 ～ B5 の用紙を約 500 枚セットできる用紙トレイで構成されています。

拡張給紙ユニット - B (2 段)

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット - B（2 段）	XL-EF100V1	2 ～ 3 段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3 ～ B5 の用紙を約 500 枚セットできる用紙トレイで構成されています。

両面ユニット

品　名	型　名	内　容
両面ユニット	XL-DUPV1	プリンタに取り付けると、用紙の両面に印刷できます。

拡張メモリ

品　名	型　名	内　容
プリンタ RAM モジュール - 64MB	XL-EM64M6	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。 標準搭載で印刷できない場合に増設します。
プリンタ RAM モジュール - 128MB	XL-EM128M6	RAM を 128MB 搭載したメモリモジュールです。 標準搭載で印刷できない場合に増設します。

プリンタ LAN カード

品　名	型　名	内　容
プリンタ LAN カード	XL-LN100V	プリンタに取り付けると、ネットワーク環境で印刷できます。 100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。

プリンタキャビネット

品　名	型　名	内　容
プリンタキャビネット	XL-CA2	本プリンタ専用の置き台です。

プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。
なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは次のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL711、FMV-CBL712
PRIMERGY, GRANPOWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

【プリンタ USB ケーブル】

本プリンタをパソコンの USB インタフェースに接続して使用するためのケーブルです。

品　名	型　名	内　容
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU1	USB に対応し、Windows98 Second Edition/Me/2000/XP が動作するパソコンに接続可能です。

レポート / リストを印刷する

オペレータパネル上で操作して、次のレポートやリストを出力できます。

・ プリンター設定リスト
　本プリンタに取り付けられているオプションの情報や、ネットワークの設定について確認できます。

参照　「プリンタの構成やネットワーク設定を確認する」(150 ページ)

・ パネル設定リスト
　オペレータパネルで設定した値を確認できます。

・ フォントリスト
　本プリンタが搭載しているフォントを確認できます。

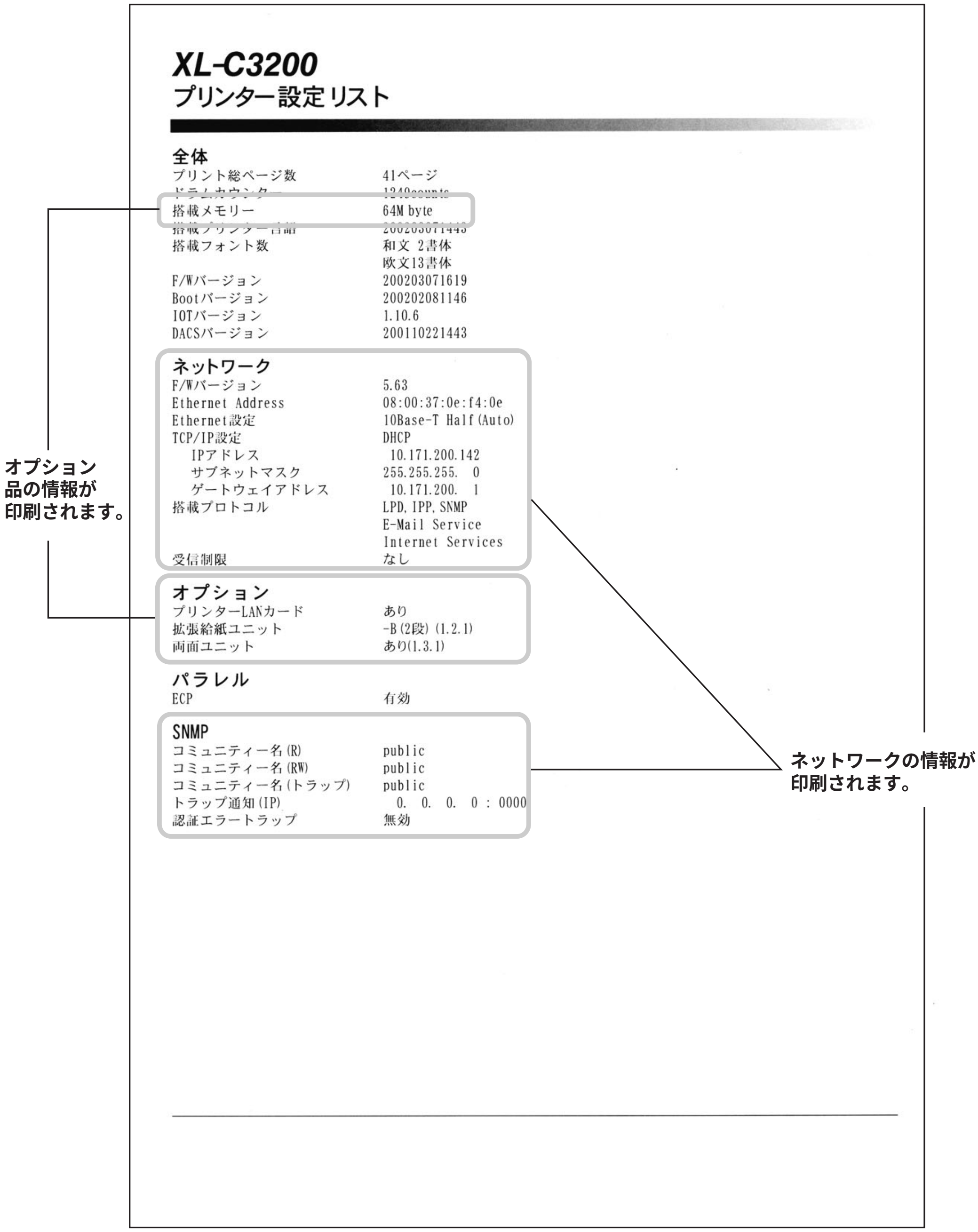
・ プリント履歴レポート
　最新の 22 件までの印刷ジョブについて、正しく印刷されたかどうかを確認できます。

参照　「プリント履歴レポートを印刷する」(152 ページ)



プリンタの構成やネットワーク設定を確認する

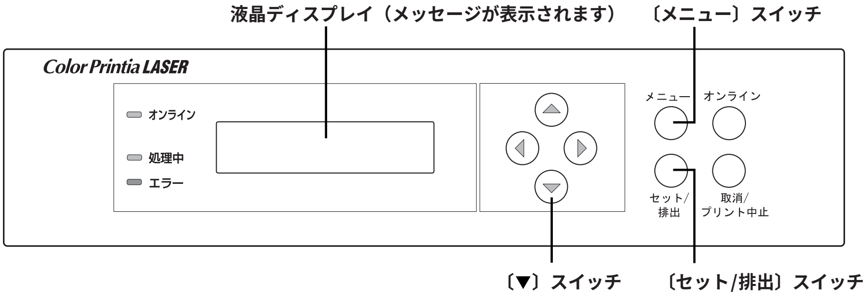
オペレータパネルから操作してプリンター設定リストを印刷すると、プリンタにどのようなオプションが取り付けられているか、また、ネットワークの設定がどのようになっているかを確認できます。



XL-C3200
プリンター設定リスト

全体	
プリント総ページ数	41ページ
ドラムカウンター	1240counts
搭載メモリー	64M byte
搭載プリンター言語	200203071443
搭載フォント数	和文 2書体
	欧文13書体
F/Wバージョン	200203071619
Bootバージョン	200202081146
IOTバージョン	1.10.6
DACSバージョン	200110221443
ネットワーク	
F/Wバージョン	5.63
Ethernet Address	08:00:37:0e:f4:0e
Ethernet設定	10Base-T Half(Auto)
TCP/IP設定	DHCP
IPアドレス	10.171.200.142
サブネットマスク	255.255.255.　0
ゲートウェイアドレス	10.171.200.　1
搭載プロトコル	LPD, IPP, SNMP
	E-Mail Service
	Internet Services
受信制限	なし
オプション	
プリンターLANカード	あり
拡張給紙ユニット	-B(2段) (1.2.1)
両面ユニット	あり(1.3.1)
パラレル	
ECP	有効
SNMP	
コミュニティー名(R)	public
コミュニティー名(RW)	public
コミュニティー名(トラップ)	public
トラップ通知(IP)	0.　0.　0.　0 : 0000
認証エラートラップ	無効

オペレータパネル上で操作して、プリンター設定リストを印刷します。



参照 オペレータパネルの操作方法についての詳細は、「第 7 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）を参照してください。

ガイド プリンター設定リストは、A4 サイズ縦の用紙に印刷されます。用紙トレイに A4 サイズの用紙を縦に置いてセットしてください。

次の手順にしたがって操作してください。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```
（プリント画面(プリンタが印刷できる状態)）

① 〔ｵﾝﾗｲﾝ〕スイッチを押す。

```
ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ
```
（オフライン状態画面）

② 〔ﾒﾆｭｰ〕スイッチを押す。（メニュー画面が表示されます。）

```
ﾒﾆｭｰ
  1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ
```
（メニュー画面）

③ 〔▼〕スイッチを3回押す。

```
ﾒﾆｭｰ
 4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
```

④ 〔ｾｯﾄ/排出〕または〔▶〕スイッチを1回押す。

```
4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
 ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲﾘｽﾄ
```

⑤ 〔ｾｯﾄ/排出〕スイッチを1回押す。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

⑥ 〔ｾｯﾄ/排出〕スイッチを1回押す。

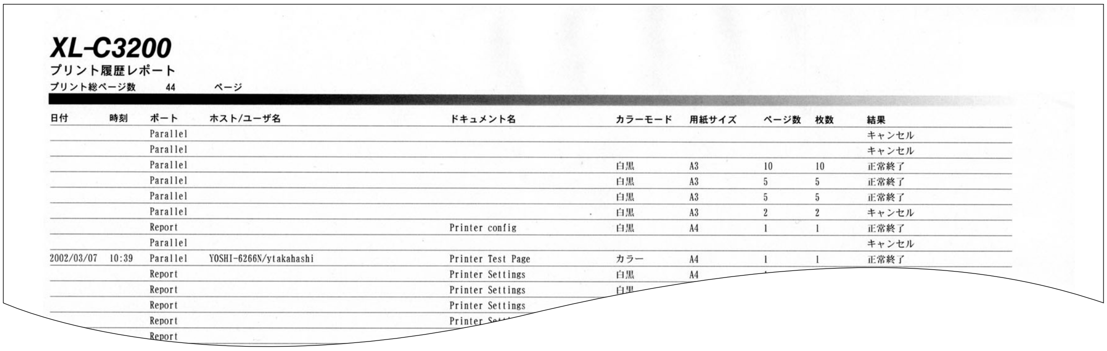
```
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ1
```

印刷が終了すると、プリント画面に戻ります。

プリント履歴レポートを印刷する

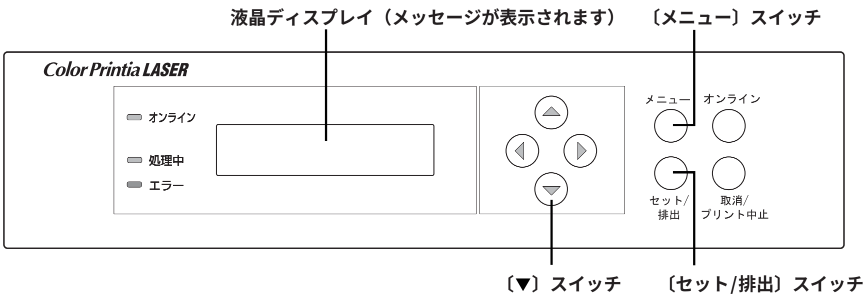
オペレータパネル上で操作して、プリント履歴レポートを印刷できます。プリント履歴レポートでは、最新の印刷ジョブ 22 件までについて、正しく印刷されたかどうかを確認できます。

ガイド オペレータパネルの〔1 システムセッテイ〕メニューで、〔リレキノ ジドウプリント〕を〔スル〕に設定すると、印刷データが 22 件を超えた場合、自動的にプリント履歴レポートが印刷されます（ 工場出荷時：〔シナイ〕）。詳細は、「第 9 章　共通メニュー画面の設定」の「システム設定について」（228 ページ）を参照してください。


XL-C3200
プリント履歴レポート
プリント総ページ数　44　ページ

日付	時刻	ポート	ホスト/ユーザ名	ドキュメント名	カラーモード	用紙サイズ	ページ数	枚数	結果
		Parallel							キャンセル
		Parallel							キャンセル
		Parallel			白黒	A3	10	10	正常終了
		Parallel			白黒	A3	5	5	正常終了
		Parallel			白黒	A3	5	5	正常終了
		Parallel			白黒	A3	2	2	キャンセル
		Report		Printer config	白黒	A4	1	1	正常終了
		Parallel							キャンセル
2002/03/07	10:39	Parallel	YOSHI-6266N/ytakahashi	Printer Test Page	カラー	A4	1	1	正常終了
		Report		Printer Settings	白黒	A4			
		Report		Printer Settings					
		Report		Printer Settings					
		Report							
		Report							

オペレータパネル上で操作して、プリント履歴レポートを印刷します。



参照 「第 7 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）

ガイド プリント履歴レポートは、A4 サイズの用紙に印刷されます。
用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

次の手順にしたがって操作してください。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

(プリント画面(プリンタが印刷できる状態))

① 〔ｵﾝﾗｲﾝ〕スイッチを押す。

```
ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ
```

(オフライン状態画面)

② 〔ﾒﾆｭｰ〕スイッチを押す。（メニュー画面が表示されます。）

```
ﾒﾆｭｰ
   1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ
```

(メニュー画面)

③ 〔▼〕スイッチを3回押す。

```
ﾒﾆｭｰ
  4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
```

④ 〔ｾｯﾄ/排出〕または〔▶〕スイッチを1回押す。

```
4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
 ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲﾘｽﾄ
```

⑤ 〔▼〕スイッチを3回押す。

```
4 ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
 ﾌﾟﾘﾝﾄﾘﾚｷﾚﾎﾟｰﾄ
```

⑥ 〔ｾｯﾄ/排出〕スイッチを1回押す。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄﾘﾚｷﾚﾎﾟｰﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

⑦ 〔ｾｯﾄ/排出〕スイッチを1回押す。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄﾘﾚｷﾚﾎﾟｰﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ1
```

印刷が終了すると、プリント画面に戻ります。

パソコン上でプリンタの状態を確認する

ガイド　本機能は、オプションのプリンタ LAN カードを取り付け、本プリンタをネットワークで使用できるように設定している場合にお使いになれます。

本プリンタでは、ネットワーク上のパソコンからプリンタの状態を確認するためのツールが、提供されています。
このツールを利用すると、使用しているパソコンの前から離れてプリンタまでわざわざ見に行かなくても、プリンタが正常に作動しているかどうかを確認できます。
また、電子メールを使ってプリンタの状態を確認することもできます。

参照　『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 6 章　Internet Services の設定」、「第 7 章　メールによるプリンタ情報の管理」

運
用
編

6

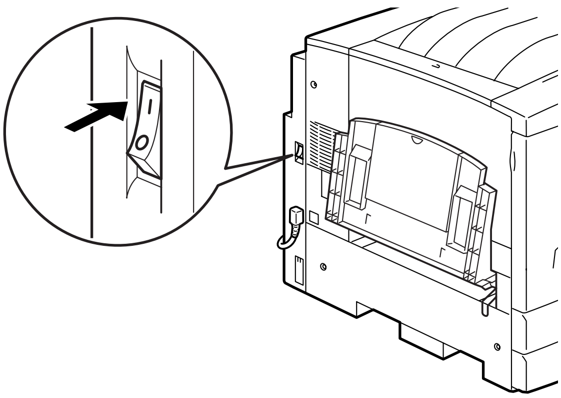
電源を入れる / 切る

プリンタを使用するときは、電源を入れます。
また、1 日の印刷作業の終わりや、長期間プリンタを使用しないときには、電源を切ります。

電源を入れる

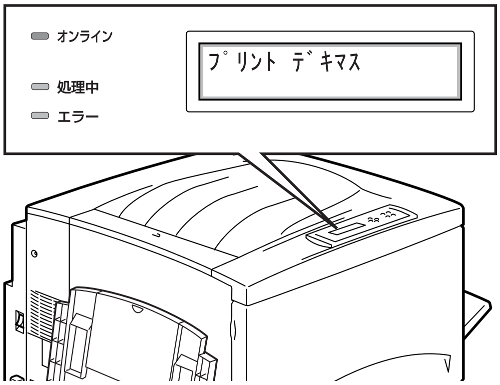
⚠ 警告	感　電 ・電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、8A となっています。 ・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。 - 電源コンセントのアース端子 - 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの - 接地工事（D 種）を行っている接地端子

次の手順にしたがって、操作してください。



1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔 I 〕側を押す

電源が入ります。



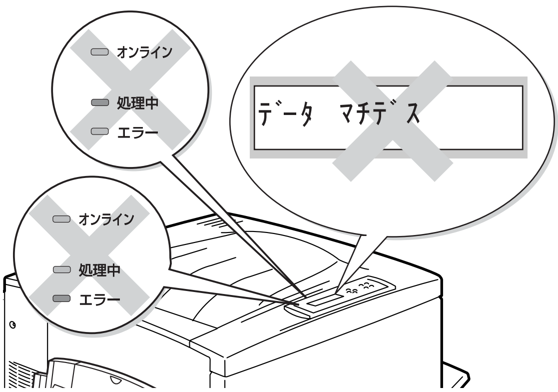
2 オペレータパネルの液晶ディスプレイに、【シンダン シテイマス】と表示されます。この表示が【オマチクダサイ】から【プリント　デキマス】に変わり、オンラインランプが点灯することを確認する

ガイド　液晶ディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されているときは、印刷準備中です。この間は印刷できません。

お願い　液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、「オペレータパネルにエラーメッセージが表示されたときには」を参照して対処してください。

電源を切る

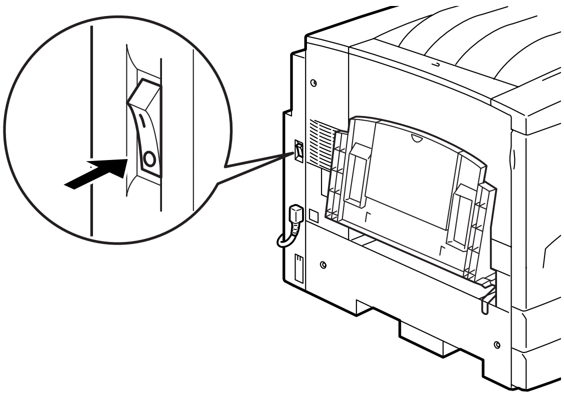
次の手順にしたがって、操作してください。



1 オペレータパネルの液晶ディスプレイに、【プリント　デキマス】と表示されていることを確認する

お願い

次の場合は、電源を切らないでください。
- オペレータパネルの液晶ディスプレイに【データ マチデス】、または【オマチクダサイ ガシツチョウセイシテイマス】と表示されている
- 処理中ランプが点灯している
- エラーランプが点灯している



2 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。

プリンタを清掃する

プリンタ外部を清掃する

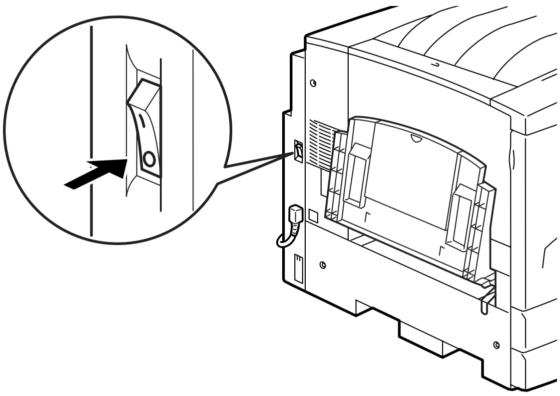
プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1 か月に 1 回、プリンタ外部を清掃してください。

⚠ 注意

やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

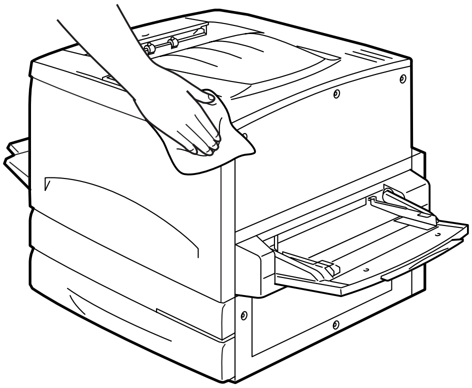
お願い

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。清掃の際は、注意してください。
- 洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- プリンタ内部の部品には、絶対に注油しないでください。このプリンタには注油の必要はありません。
- 掃除機は使用しないでください。



1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。



2 外部の汚れは、水でぬらしてよくしぼった柔らかい布でふく

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

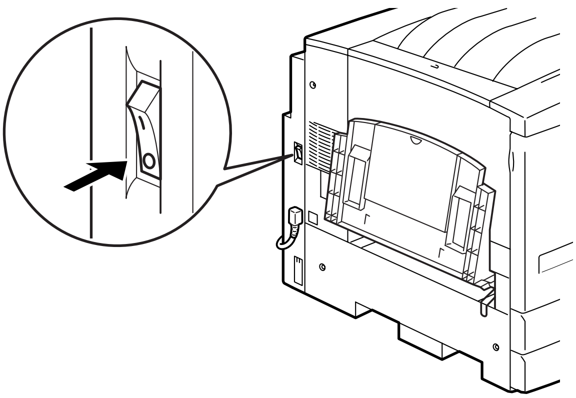
3 柔らかい布で水分をふき取る

給紙ローラを清掃する

セットした用紙に問題がないのに給紙が正常に行われない場合、手差しユニットの給紙ローラが汚れている可能性があります。
この場合、次の手順で手差しユニット内部の給紙ローラを拭いてください。

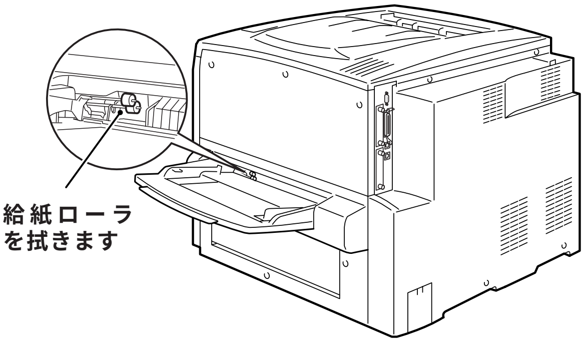
お願い

絵入りの官製はがきなどには、粉が付いていることがあります。このようなハガキを使用すると、ハガキについている粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があるため、必要に応じて給紙ローラを清掃してください。



1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

電源が切れます。

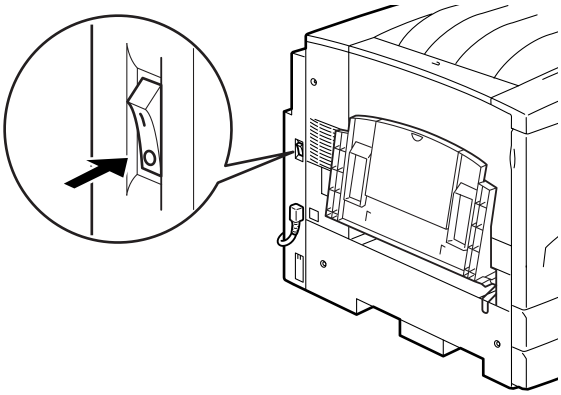


2 手差しユニットの給紙ローラの下側を、回しながら拭く

水を含ませて固く絞った布で、給紙方向に対し同じ方向に拭いてください。
手差しユニット内に水滴を落とさないように注意してください。

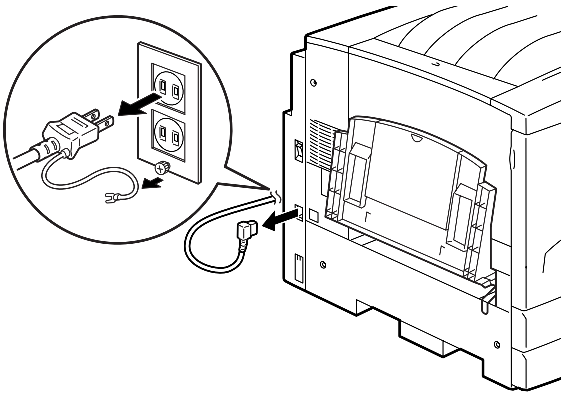
長期間プリンタを使用しない

長期間、プリンタを使用しないときには、必ず次の作業を行ってください。



1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

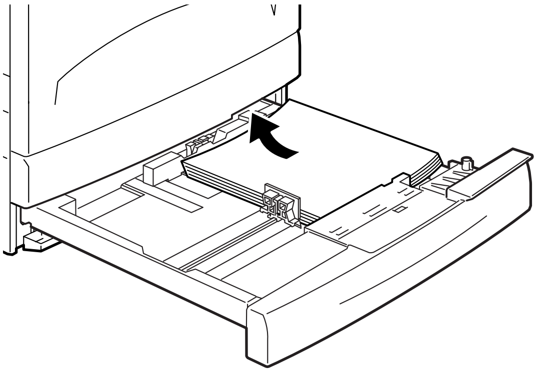
電源が切れます。



2 電源コードやプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外す

⚠ 警告	感　電　電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意	火　災 感　電　電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



3 用紙トレイから用紙を取り出す

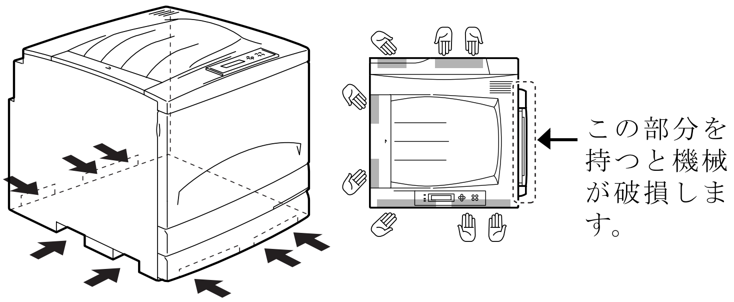
湿気やホコリのない場所に保管する

プリンタを移動する

ここでは、トラックで長距離運搬するなど、大きな振動を伴ったプリンタの移動手順について説明します。
プリンタを移動する場合は、設置時に取り外したスペーサ B、C、D、E、F が必要です。保管していたスペーサを準備してから、手順にしたがって作業してください。

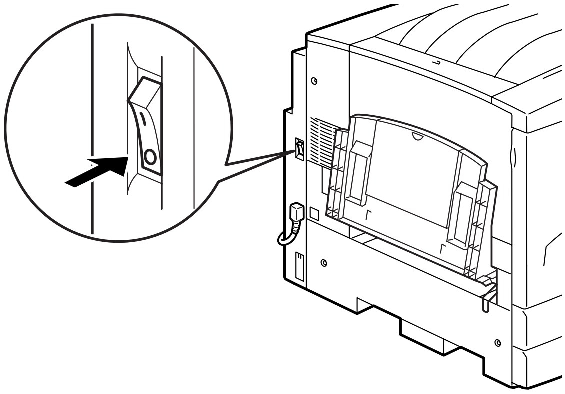
⚠ 注意

けが
- プリンタの重さは、消耗品や用紙トレイがセットされている状態で 71kg です。プリンタを持ち運ぶ場合は、必ず 4 人以上で持ち運んでください。
- プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面に向かって、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下の原因となるおそれがあります。
- プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。



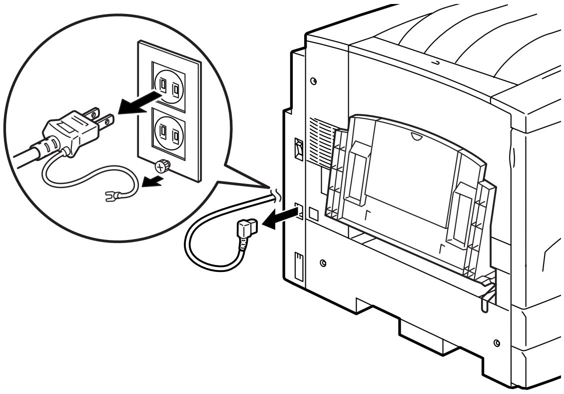
お願い

- 移動のとき、プリンタを前後、左右方向に 10 度以上傾けないでください。プリンタ内部の消耗品がこぼれるなど故障の原因になります。
- 移動のとき、トナーカートリッジは取り外してください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。
- オプションの拡張給紙ユニットや両面ユニット、専用キャビネットなどを取り付けている場合は、プリンタ本体から取り外して運搬してください。プリンタ本体にしっかり固定されていない場合、落下によるケガの原因になります。取り外し方については、拡張給紙ユニットの梱包箱に記載されている手順を参照してください。



1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

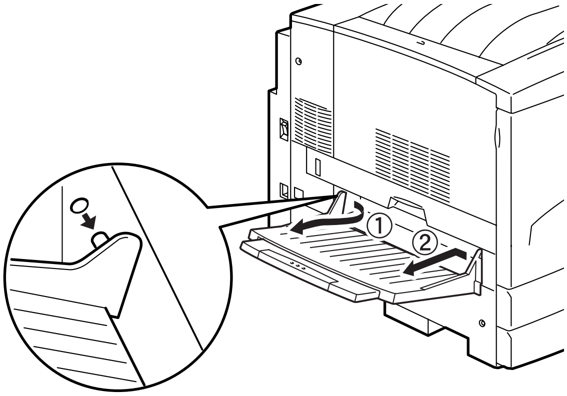
電源が切れます。



2 電源コードやプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外す

⚠ **警告**	感　電	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

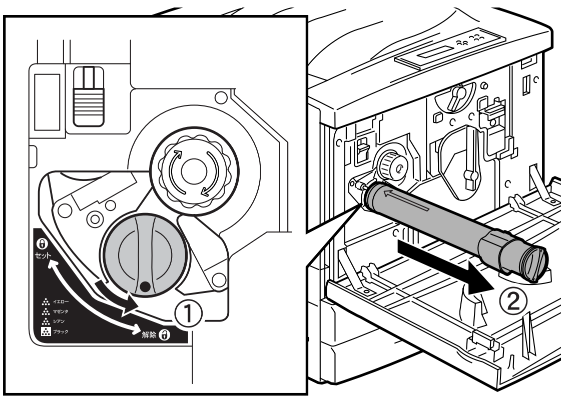
⚠ **注意**	火　災 感　電	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



3 サイドトレイを右に押しながら、左側の突起部をプリンタ本体の穴から外す (①)。そのあと、右側の突起部をプリンタ本体の穴から外す (②)

お願い

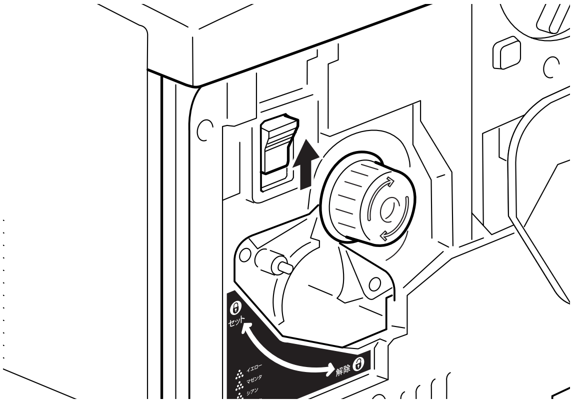
(①) の操作をするときに、サイドトレイを曲げすぎないようにしてください。破損の原因になります。



4 フロントカバーを開け、トナーの取り出し口にあるトナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の〔●〕印をプリンタ側の「解除」(🔓) に合わせてから (①)、手前に引いて取り出す (②)

お願い

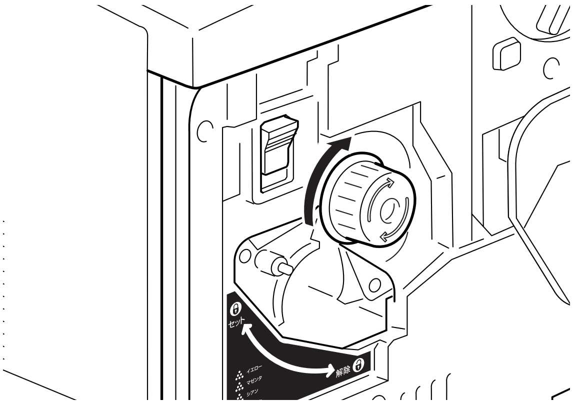
トナーカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。



5　回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで上に押し上げ、手を離す

お願い

回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

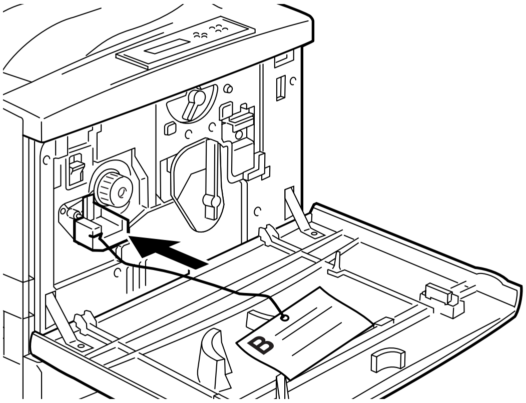


6　ノブを矢印の方向に止まるまで回し、次のカートリッジを取り出し口に移動させる。そのあと、トナーカートリッジを取り出す

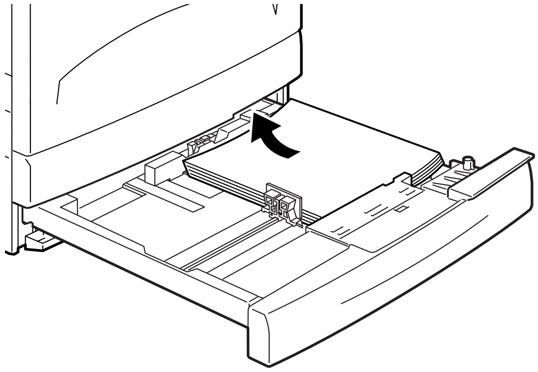
ガイド

ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

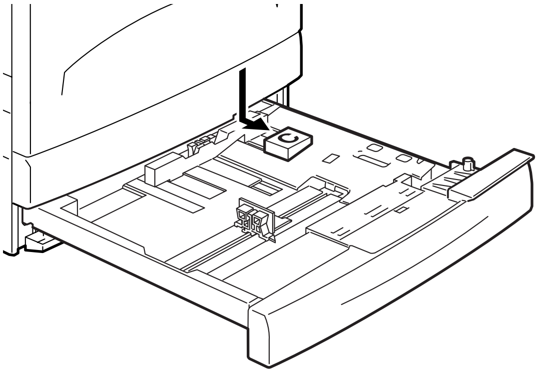
7　手順 5 ～ 6 の操作を繰り返し、トナーカートリッジを 4 本とも取り外す



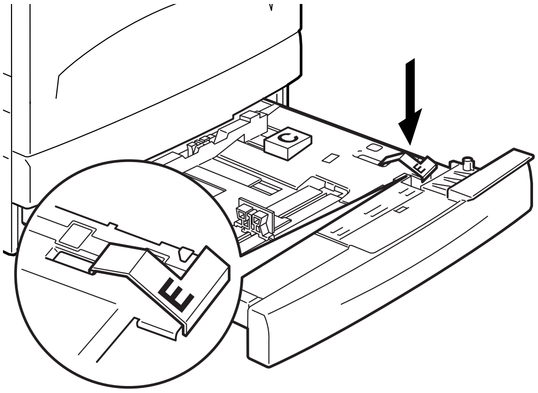
8 回転防止用スペーサ (B) をトナーの取り出し口に取り付け、フロントカバーを閉じる



9 用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管する



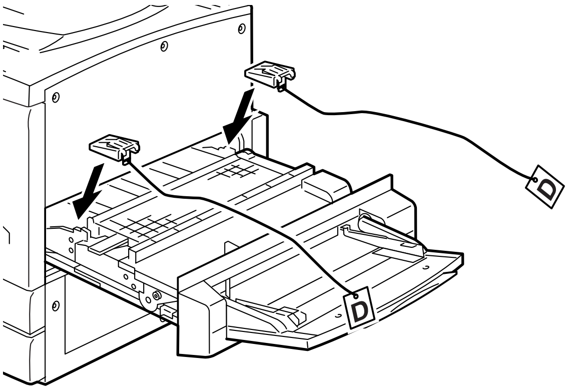
10 図の位置にスペーサ (C) を取り付ける



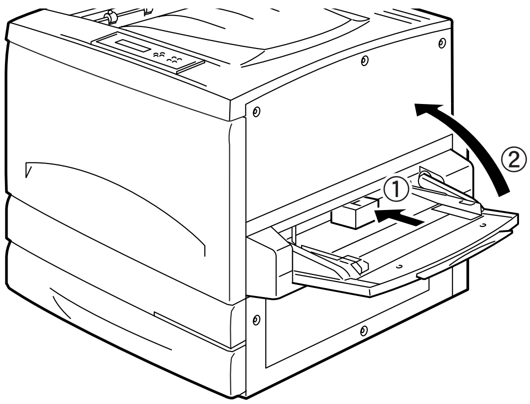
11 図の位置にスペーサ (E) を取り付ける。そのあと、用紙トレイをプリンタの奥までしっかり押し込む

お願い

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

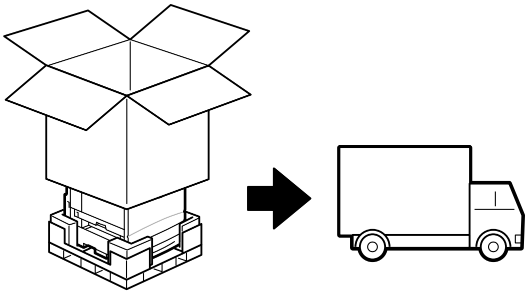


12 ユニット C を止まるまでゆっくり引き出し、図の位置にスペーサ (D) を取り付ける。そのあと、ユニット C をプリンタの奥までしっかり押し込む



13 図の位置にスペーサ (F) を取り付け (①)、手差しトレイを折りたたむ (②)

移動のための作業は、これで終了です。



14 プリンタを傷つけないように梱包し、運搬する

お願い

このプリンタは重量物であるため、プリンタの持ち運びは、重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。

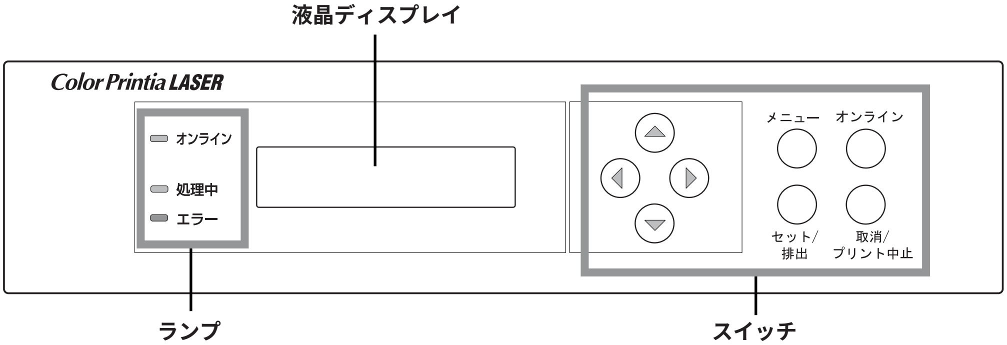
第７章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネルの各部の名称と機能

オペレータパネルは、ランプ、液晶ディスプレイ、スイッチで構成されています。ここでは、オペレータパネルの各部の名称と機能について説明します。



ランプ表示

ランプは、プリンタの状態を点灯 / 点滅 / 消灯で表します。

名称	説　明
オンラインランプ	緑色でデータの処理状況を表します。 点灯 印刷が可能なことを表します。 消灯 印刷が不可能なことを表します。
処理中ランプ	緑色で印刷の処理状況を表します。 点灯 印刷処理中でデータを受信していないことを表します。また、排出 / 中止の処理中にも点灯します。 点滅 印刷処理中でデータを受信していることを表します。 消灯 印刷処理を行っていないことを表します。
エラーランプ	赤色でプリンタの異常を表します。 点灯 紙づまりなど、お客様自身で対処可能なエラーが発生していることを表します。 点滅 お客様自身では対処できないエラーが発生していることを表します。お買い求めの販売店、または「ハードウェア修理相談センター」(318 ページ)にご連絡ください。 消灯 プリンタが正常に動いていることを表します。

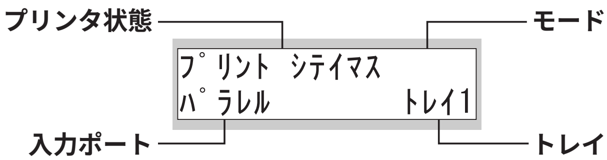
液晶ディスプレイの表示

プリンタの状態を表す「プリント画面」と、プリンタに関する設定を行うための「共通メニュー画面」があります。

ガイド プリンタに取り付けられているオプション品や設定の状態によって、表示される内容は異なります。

プリント画面

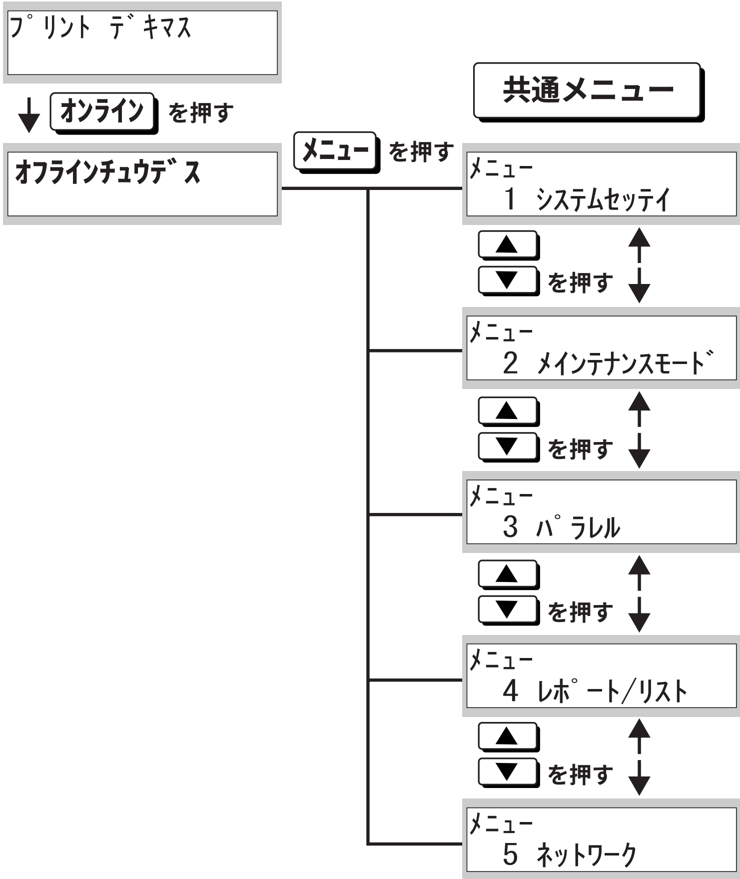
印刷しているときやデータを待っているときは、液晶ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面では、次のような内容が表示されます。



名称	説　明
プリンタ状態	プリンタの状態を表示します。 表示例：「オマチクダサイ」、「プリント シテイマス」、「プリント デキマス」
入力ポート	データを受信しているポートを表示します。 表示例：「パラレル」、「USB」、「LPD」、「IPP」
トレイ	印刷に使用する用紙トレイを表示します。 表示例：「トレイ 1」、「トレイ 2」、「トレイ 3」、「テザシ」

共通メニュー画面

プリンタに関する設定を行う画面です。
共通メニュー画面は、プリント画面から〔メニュー〕スイッチを押して表示します。共通メニュー画面構成の概要を以下に示します。

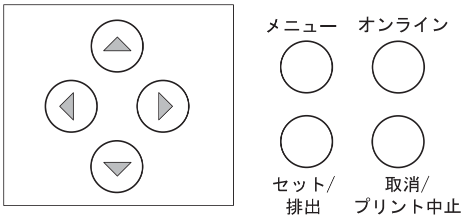


同じ階層を移動する場合は〔▲〕、〔▼〕を押します。
上下の階層を移動する場合は〔◀〕、〔▶〕を押します。

参照　共通メニュー画面の操作については、「第9章　共通メニュー画面の設定」（223 ページ）を参照してください。

スイッチ操作

オペレータパネルには、次の 8 種類のスイッチがあります。各スイッチは、プリント画面や共通メニュー画面で、次のような働きをします。

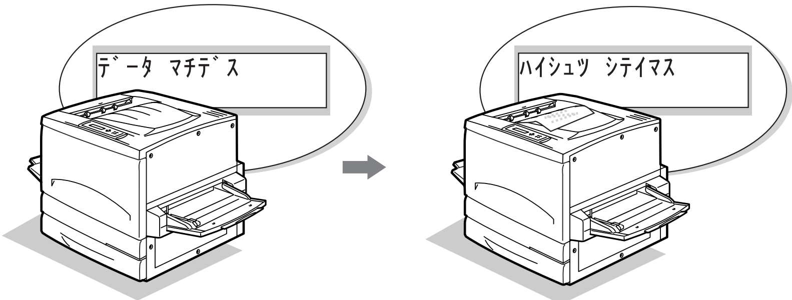


名称	プリント画面	メニュー画面
〔▼〕〔▲〕スイッチ	-	メニューや項目を順番に表示します。
〔◀〕〔▶〕スイッチ	-	メニューの階層を切り替えたり、候補値のカーソル（_）を左右に移動したりします。 メニューで〔▶〕スイッチを押すと 1 つ下の階層に移り、〔◀〕スイッチを押すと 1 つ上の階層に戻ります。
〔ﾒﾆｭｰ〕スイッチ	オフライン状態でこのスイッチを押すと、メニュー画面に移行します。	-
〔ｵﾝﾗｲﾝ〕スイッチ	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。	メニュー画面を終了し、オンライン状態に切り替えます。
〔ｾｯﾄ / 排出〕スイッチ	残ったデータを強制的に排出します。排出の操作については、「残ったデータを強制排出する（印刷が途中で止まった場合）」を参照してください。	表示されているメニューや項目を選択します。メニューが表示されている場合は、1 つ下の階層に移動し、候補値が表示されている場合は、値が確定されます。
〔取消 / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〕スイッチ	〔ｵﾝﾗｲﾝ〕スイッチを押してオフライン状態にしたあと、このスイッチを押すと、処理中のジョブの印刷を中止します。中止の操作については、「印刷を中止する」を参照してください。	表示されているメニューの階層から、1 つ上の階層に移動します。

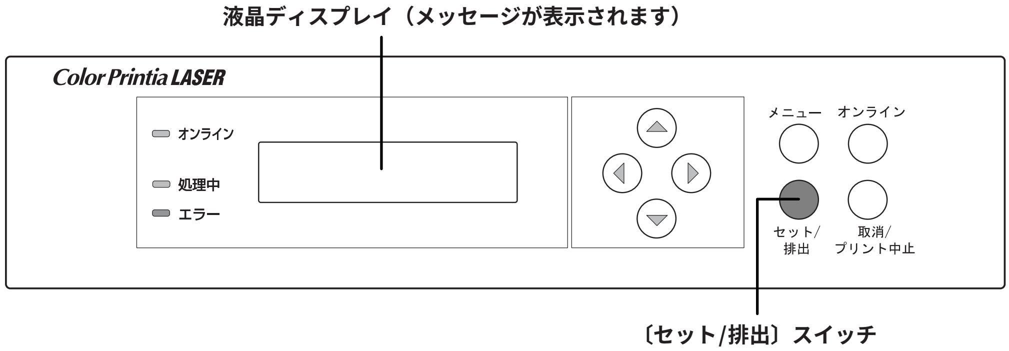
残ったデータを強制排出する

データの最後がページの途中で終了してしまうと、ジョブタイムアウトが発生する時間まで次のデータ待ちとなり、印刷が途中で止まり、オペレータパネルの液晶ディスプレイには「データ マチデス」のメッセージが表示されます。このようなときにジョブタイムアウトの時間を待たずに、プリンタ内のデータを強制的に印刷するには、強制排出を行います。　ここでは、残ったデータを強制排出する方法を説明します。

ガイド　工場出荷時は、ジョブタイムアウトが発生する時間は 30 秒に設定されています。ジョブタイムアウトが発生する時間は、オペレータパネルで 5 ～ 300 秒の間で設定できます。詳細については、「第 9 章　共通メニュー画面の設定」(223 ページ) を参照してください。



下に示すオペレータパネル上のスイッチを使用して、強制排出を行います。次の手順にしたがって操作してください。



参照　オペレータパネルの操作方法についての詳細は、「オペレータパネルの各部の名称と機能」（172 ページ）を参照してください。

ﾃﾞｰﾀ ﾏﾁﾃﾞｽ
ﾊﾟﾗﾚﾙ

（プリンタが処理中の状態）

① 〔ｵﾝﾗｲﾝ〕スイッチを押す。

ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさによって処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、お待ちください。

ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ

（オフライン状態画面）

② 〔ｾｯﾄ/排出〕スイッチを1回押す。（残ったデータが強制排出されます。）

ﾊｲｼｭﾂ ｼﾃｲﾏｽ
ﾊﾟﾗﾚﾙ　　　　ﾄﾚｲ1

中止の処理が終了すると、プリント画面に戻ります。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

（プリント画面（プリンタが印刷できる状態））

プリンタ側で印刷を中止する

パソコン側で印刷指示を取り消したあと、この操作をするとプリンタで処理中のデータの印刷を中止できます。ただし、印刷中のページは印刷されます。

1 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする

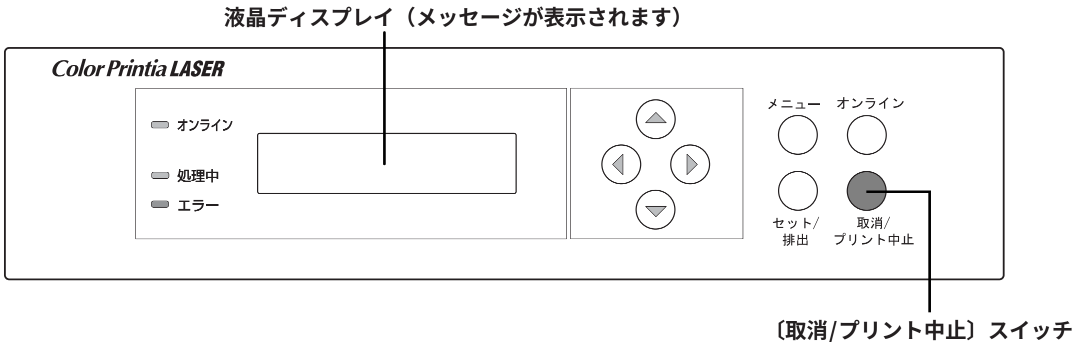
〈プリンタ〉ウィンドウが表示されます。

2 本プリンタのプリンタアイコンをダブルクリックする

プリンタウィンドウが表示されます。

3 中止したいドキュメントをクリックし、キーボードの〔DELETE〕キーを押す

下に示すオペレータパネル上のスイッチを使用して、印刷を中止します。



参照　オペレータパネルの操作方法についての詳細は、「オペレータパネルの各部の名称と機能」（172 ページ）を参照してください。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ
ﾊﾟﾗﾚﾙ　　　　ﾄﾚｲ1

(プリンタが処理中の状態)

① 〔ｵﾝﾗｲﾝ〕スイッチを押す。

ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさによって処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、お待ちください。

ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ

(オフライン状態画面)

② 〔取消/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〕スイッチを1回押す。(印刷の中止の処理が行われます。)

ﾁｭｳｼ ｼﾃｲﾏｽ

中止の処理が終了すると、プリント画面に戻ります。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

(プリント画面(プリンタが印刷できる状態))

第８章

プリンタドライバの設定／印刷

この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

印刷のながれ

Windows 環境から印刷する場合の基本的な流れを説明します。
（ご使用になるホストやシステム構成によって、異なる場合があります。）

ホスト側で使用するアプリケーションを起動する

操作については、アプリケーションの説明書をごらんください。

必要に応じて　**メニューを操作する**

クライアントから印刷するデータを送信する前に、次のことを行ってください。
① 共通メニューのネットワークポート設定で、使用するポート状態を確認する
② 共通メニューのネットワークポート設定メニューのプリントモード指定で、使用するポートのプリントモードを確認する

参照
操作については、「共通メニューの画面の設定」（223ページ）を参照してください。

アプリケーションなどから印刷を指示する

操作については、アプリケーションの説明書をごらんください。

必要に応じて　**印刷を中止する**

参照
操作については、「印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する」（198ページ）を参照してください。

必要に応じて　**排出する**

参照
操作については、「残ったデータを強制排出する」（176ページ）を参照してください。

終　了

印刷機能の設定について

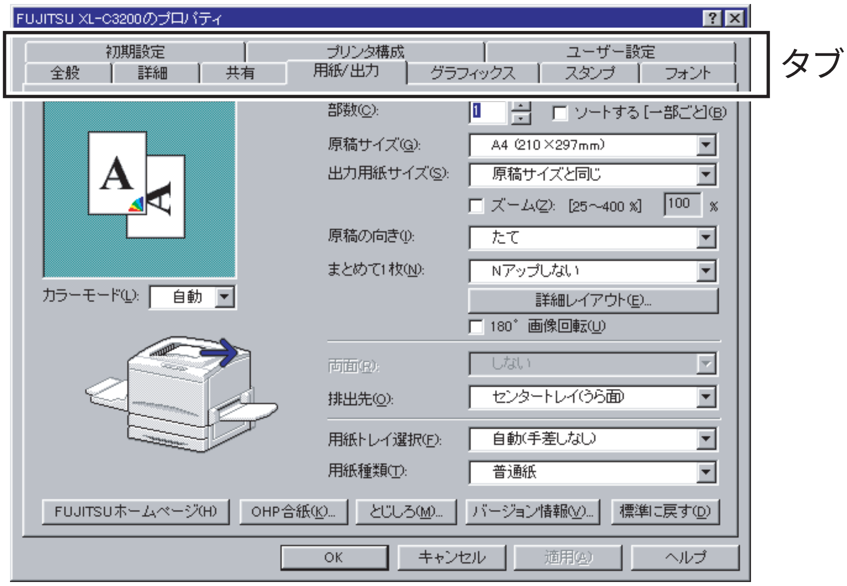
ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示されるプロパティ画面や、お使いのパソコンにインストールしたプリンタのアイコンから表示させるプロパティ画面で設定を行います。
表示させたプロパティ画面でタブを切り替えて、各機能を設定します。設定方法などについては、XL-C3200 プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

参照　オンラインヘルプの使い方については、「オンラインヘルプの使いかた」（185 ページ）を参照してください。

ガイド　〔プリンタ構成〕タブで、取り付けたオプション品を設定しないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示されて設定できません。

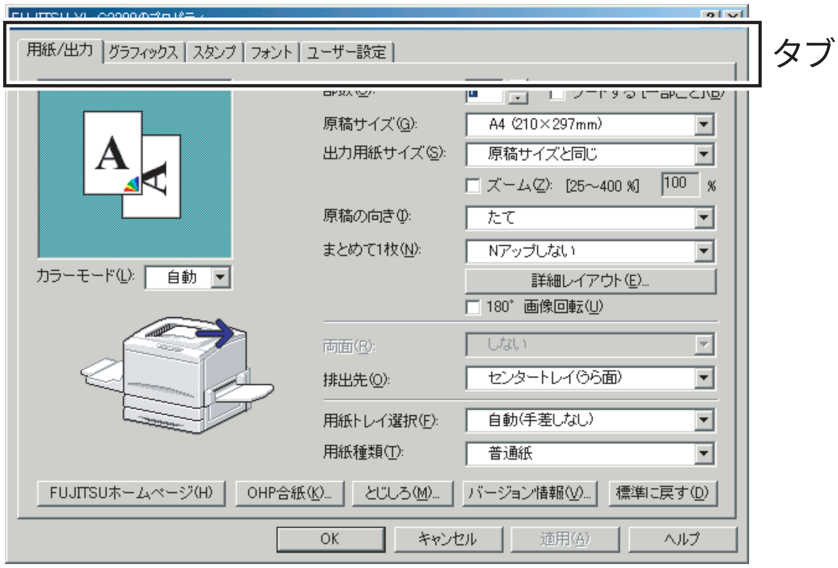
プロパティ画面について

パソコンの〔スタート〕メニューから〔設定〕-〔プリンタ〕の順にクリックし、本プリンタを選択してプリンタのプロパティを表示した場合（Windows Me の場合）は、次のように表示されます。



使用しているアプリケーションで〔ファイル〕-〔印刷〕の順に選択し、本プリンタを選択してプリンタのプロパティ画面を表示した場合（Windows Me の場合）は、次のように表示されます。

ガイド 〔印刷〕コマンドは、お使いのアプリケーションによって表示が異なる場合があります。



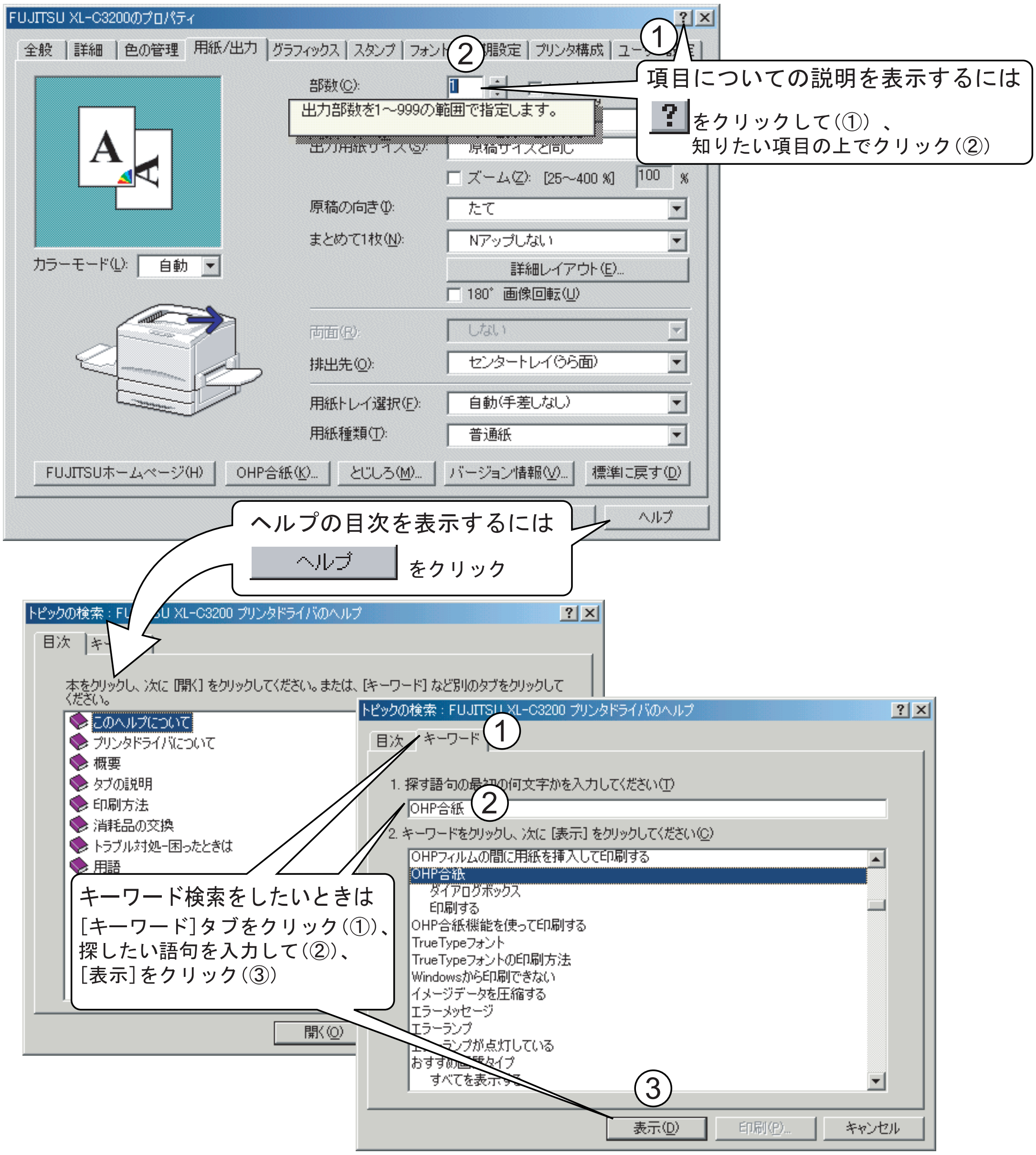
オンラインヘルプの使いかた

オンラインヘルプを使って、プリンタドライバ画面に表示されている項目の説明や、各機能の設定方法を確認できます。
オンラインヘルプの表示方法は、次のとおりです。ここでは、Windows Me を例に説明します。

1 〔スタート〕メニューから〔設定〕-〔プリンタ〕の順にクリックし、使用するプリンタのプロパティを表示する

2 使用する機能にあった タブを選択し、〔?〕をクリックして知りたい機能の項目をクリックするか、右下の〔ヘルプ〕をクリックする

ヘルプが表示されます。



FUJITSU XL-C3200のプロパティ
項目についての説明を表示するには
?をクリックして(①)、
知りたい項目の上でクリック(②)
出力部数を1～999の範囲で指定します。
ヘルプの目次を表示するには
ヘルプ をクリック
トピックの検索：FUJITSU XL-C3200 プリンタドライバのヘルプ
キーワード検索をしたいときは
[キーワード]タブをクリック(①)、
探したい語句を入力して(②)、
[表示]をクリック(③)

主な印刷機能一覧

主な印刷機能について説明します。
各機能を、プリンタドライバのプロパティ画面のタブごとに紹介します。

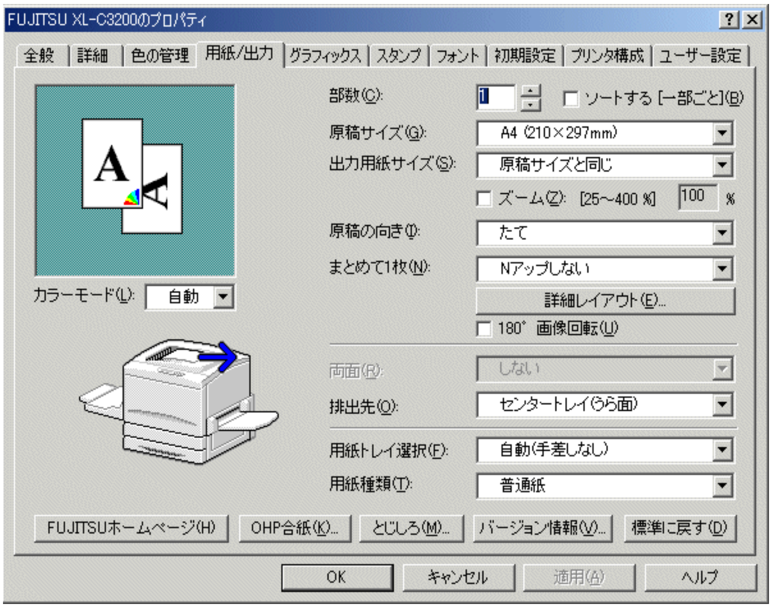
参照　プロパティ画面を表示させるには、「プロパティ画面について」（183 ページ）を参照してください。

各タブごとの詳しい説明は、オンラインヘルプを参照してください。

参照　「オンラインヘルプの使いかた」（185 ページ）

ガイド　〔プリンタ構成〕タブで、取り付けているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示されて選択できません。

〔用紙 / 出力〕タブ

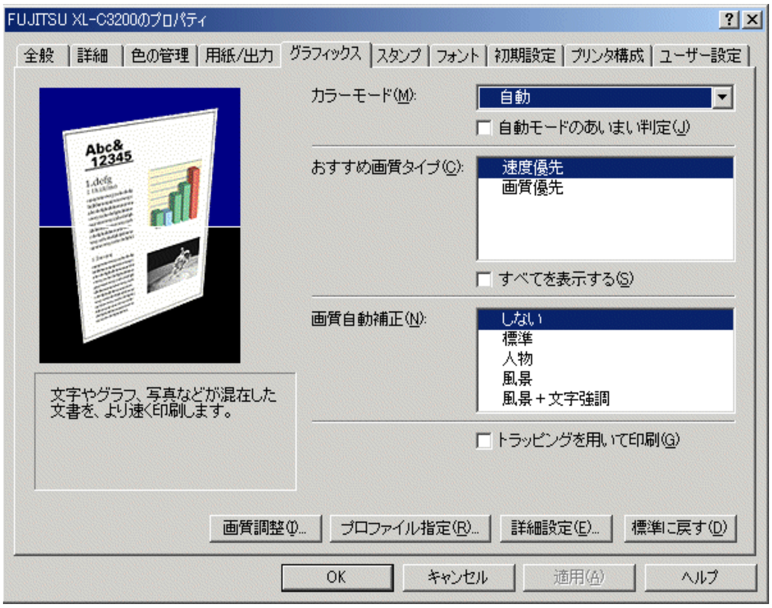


用紙サイズや出力方法に関する項目を設定することができます。

項　目	内　容
カラーモード	白黒で印刷するか、カラーで印刷するかを設定します。白黒原稿を印刷するときは、〔白黒〕、または〔自動〕を選択してください。〔カラー〕を選択すると、白黒原稿でもカラーと同じ印刷速度になります。
部数	印刷する部数を、1 ～ 999 部の範囲で指定します。
ソートする〔1 部ごと〕	複数部数を 1 部ごとにソートして印刷するかどうかの設定をします。チェックボックスをオンにすると、複数部数を 1 部ごと (1,2,3...1,2,3...) にソートして印刷します。
原稿サイズ	印刷する原稿サイズを指定します。「出力用紙サイズ」と異なるサイズを設定した場合には、自動的に拡大縮小された適切な倍率が設定されます。
出力用紙サイズ	印刷する用紙サイズを指定します。「原稿サイズ」と異なるサイズを指定した場合には、自動的に拡大縮小された適切な倍率が設定されます。
ズーム	拡大縮小率を設定します。チェックボックスを〔オン〕に指定した場合のみ、拡大縮小率の値を入力することができます。
原稿の向き	原稿の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。設定した原稿の向きは、「仕上がりイメージ」ビットマップで確認することができます。
まとめて 1 枚	連続する 2/4/8/16/32 ページ分の原稿を、1 枚の用紙にまとめて印刷します。N アップの種類は一覧から選択します。設定したレイアウトは、「仕上がりイメージ」ビットマップで見ることができます。2 アップ以上の設定は〔ズーム〕、〔まとめて 1 枚の任意設定〕、〔画像繰り返し〕機能と併用することはできません。

項　目	内　容
詳細レイアウト	〔まとめて 1 枚の任意設定〕、〔画像繰り返し〕、〔拡大連写〕、〔小冊子印刷〕、〔よこ原稿 180°回転〕、〔たてよこ混在原稿時の割り付け方法〕などの項目を設定します。
180°画像回転	チェックボックスを「オン」に指定すると、出力イメージが 180°回転して印刷されます。
両面	片面に印刷するか、両面に印刷するかを指定します。 〔プリンタ構成〕タブで「両面ユニット」のチェックボックスが「オフ」の場合は指定できません。
排出先	印刷した用紙をどのトレイへ排出するかを設定します。
用紙トレイ選択	印刷する用紙をどのトレイから給紙するかを選択します。トレイ 2、トレイ 3 はオプション品の拡張給紙ユニット（1 段または 2 段）を取り付け、〔プリンタ構成〕タブで対象の拡張給紙ユニットを有効にした場合に選択できます。
用紙種類	印刷する用紙の種類を設定します。 厚紙、はがきは本機でおもて面を印刷した場合に限って、用紙のうら面に印刷できます。 用紙のうら面に印刷する場合は、〔XXX（うら面）〕（XXX は紙質）を選択します。
OHP 合紙	OHP 合紙とは、OHP フィルムを 1 枚印刷するごとに、自動的に用紙が挿入される機能です。
とじしろ	とじしろの位置と値を設定します。〔しない〕を選択した場合でも、アプリケーション上で設定したとじしろは有効になります。
バージョン情報	使用しているプリンタドライバのバージョン情報を表示します。

〔グラフィックス〕タブ

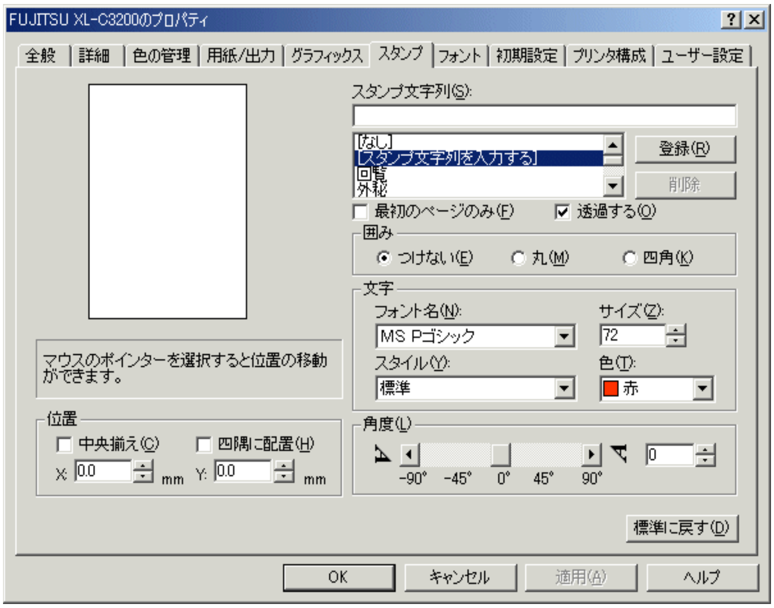


印刷色や印刷品質に関する項目を設定することができます。

項　目	内　容
カラーモード	白黒で印刷するか、カラーで印刷するかを設定します。白黒原稿を印刷するときは、〔白黒〕、または〔自動〕を選択してください。〔カラー〕を選択すると、白黒原稿でもカラーと同じ印刷速度になります。
自動モードのあいまい判定	〔用紙 / 出力〕タブまたは〔グラフィックス〕タブのカラーモードで〔自動〕を選択した場合に、〔自動モードのあいまい判定〕チェックボックスをチェックすると、ページ内の色成分に多少のばらつきがあっても白黒と判定します。 チェックを外すと、色成分が等しい場合だけ、白黒と判定します。
おすすめ画質タイプ	画質タイプを一覧から選択します。ダイアログボックス左下のヒント欄に、選択した画質タイプの説明が表示されます。 **ガイド** ・〔すべてを表示する〕チェックボックスをチェックすると、〔速度優先〕、〔画質優先〕、〔写真専用〕、〔OHP 向き〕、〔製図 / 小さい文字〕、〔プレゼンテーション〕、〔トナーセーブ〕、〔ICM 調整済み〕が表示されます。 ・Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の場合は、〔カラーモード〕の設定によって、一覧に表示される項目が異なります。 ・〔ICM 調整済み〕は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の場合に表示されます。〔ICM 調整済み〕を選択すると、Windows の ICM 機能を利用して印刷します。 そのため、白黒の文書でも、カラーモードで印刷されます。

項　目	内　容
画質自動補正	印刷する原稿の特徴に合わせて、印刷方法を指定します。ページ内の写真などのイメージデータを、指定した画質タイプの特性に応じて、自動で補正します。 ・しない（初期値） ・標準 ・人物 ・風景 ・風景＋文字強調 **ガイド** 〔カラーモード〕が〔白黒〕の場合は、選択できません。
トラッピングを用いて印刷	印刷結果に色ずれが発生した場合にこのチェックボックスをチェックすると、色ずれによって発生した白抜けを改善できます。 **ガイド** 〔カラーモード〕が〔白黒〕の場合は、選択できません。
画質調整	〔明度〕、〔彩度〕、〔コントラスト〕、〔カラーバランス〕を設定します。256 色以上のディスプレイを使用している場合には、ダイアログボックス左側のビットマップで、印刷の仕上がりイメージを確認できます。
プロファイル指定	モニタ (ディスプレイ) やスキャナなどのデバイスの、色に関する特性に合わせて、プリンタ側の色情報を補正し、モニタやスキャナの表示に近い色で印刷されます。
詳細設定	イメージデータに対する圧縮方法等の詳細設定を行います。

〔スタンプ〕タブ

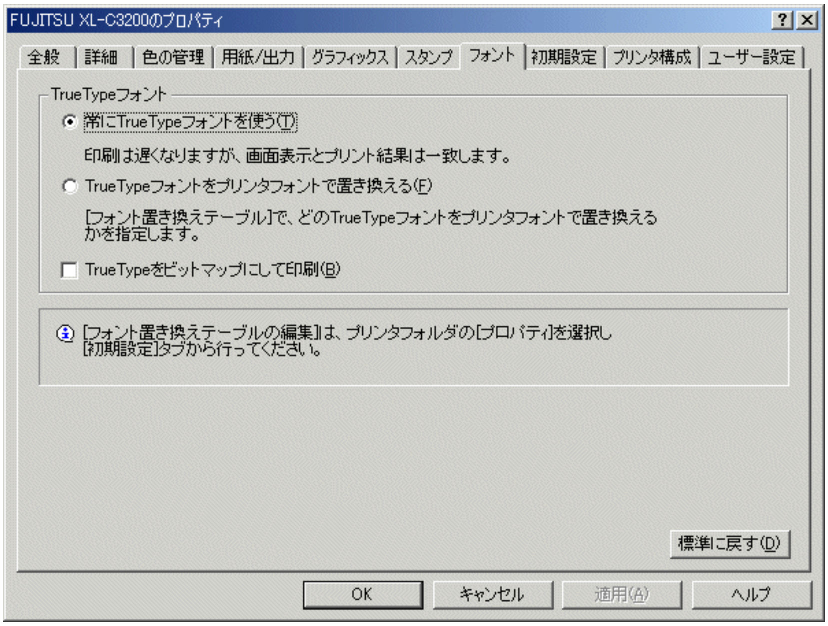


スタンプ機能は、印刷データに「至急」などの特定の文字を重ね合わせて印刷する機能です。
任意の文字列を入力する場合は、半角 64 文字まで入力できます。

項　目	内　容
スタンプ文字列	〔スタンプ文字列〕の一覧から、使用するスタンプ文字列を選択します。
登録	任意の文字列を、スタンプ文字列として登録できます。 〔スタンプ文字列〕の一覧から〔スタンプ文字列を入力する〕を選択し、テキストボックスに任意の文字列を入力し、〔登録〕をクリックします。入力できる文字数は半角 64 文字までです。また、登録できる個数は 20 個です。
削除	登録したスタンプの文字列を削除します。 〔スタンプ文字列〕の一覧から削除したいスタンプ文字列を選択し、〔削除〕をクリックします。
最初のページのみ	スタンプ文字列を、1 ページ目だけに印刷する場合は、チェックボックスをオンにします。
透過する	スタンプ文字列と重なった文字などが見えやすいように、スタンプ文字列を透かして印刷します。オフにすると、スタンプ文字列と重なった部分に、文字などを上書きして印刷します。
囲み	スタンプ文字列に、囲みを付けるかどうかを選択します。
文字	スタンプ文字列に使用する文字の、〔フォント名〕、〔サイズ〕、〔スタイル〕、〔色〕を選択します。
角度	スタンプ文字列の角度を設定します。 -90 ～ 90°の範囲内で、1°刻みで指定します。初期値は〔0〕です。

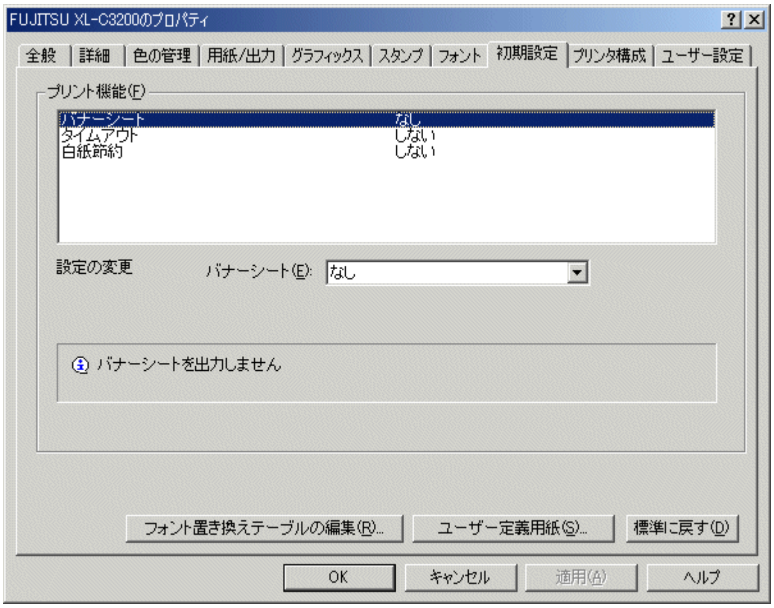
項　目	内　容
位置	スタンプ文字列を印刷する位置を選択します。 位置を変更する場合は、〔中央揃え〕チェックボックスをオフにして、よこ方向への移動距離を〔X〕に、たて方向への移動距離を〔Y〕に、それぞれ入力します。入力単位は、mm です。 また、用紙上（イメージ図）の文字の中央に、マウスポインタを置き、文字をドラッグさせながら、位置を変更することもできます。
中央揃え	スタンプ文字列を、用紙の中央に印刷します。チェックボックスをオンにすると、〔X〕、〔Y〕で入力した数値をリセットします。
四隅に配置	スタンプ文字列を、用紙の四隅に印刷します。

〔フォント〕タブ



TrueType フォントのプリント方法を設定できます。

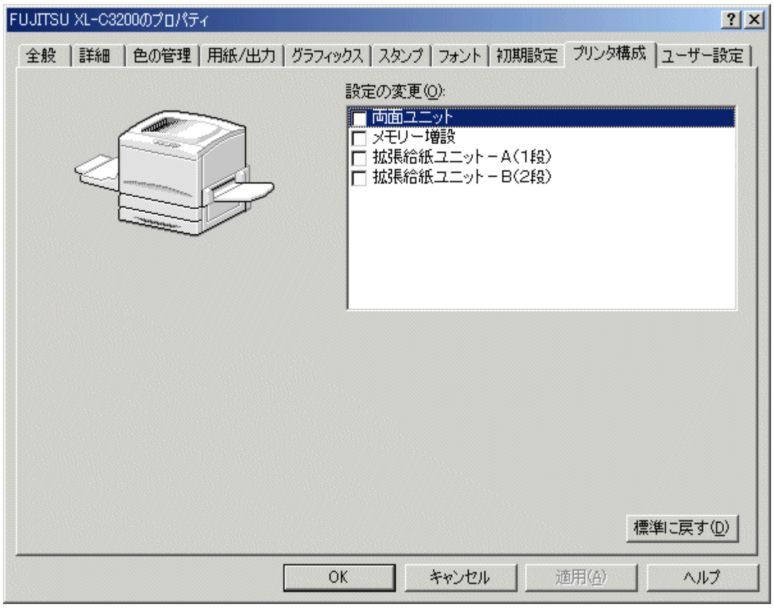
〔初期設定〕タブ



プリンタ特有の項目について設定することができます。
「プリント機能」リストで任意の項目を選択すると、「設定の変更」に現在の設定内容が表示され、ここで変更することができます。

項　目	内　容
プリント機能	印刷機能に関する機能を設定します。 設定を変更するには、目的の項目をクリックし、〔設定の変更〕で変更します。
バナーシート	各ジョブ に対してバナーシートを出力するかどうかを設定します。 バナーシートには、日付、時間、印刷を指示したパソコンの出力ポート、ファイル名が印刷されます。
タイムアウト	タイムアウトとは、プリンタが印刷データの受信を開始後、設定時間内にデータ受信が行われなかった場合に、印刷を強制的に終了することです。複雑な文書を印刷する場合には、大きい値を設定する必要があります。
白紙節約	白紙節約とは、白紙のページを印刷しないように制御する機能です。
フォント置き換えテーブルの編集	TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える場合の設定を行います。
ユーザー定義用紙	不定形サイズを設定します。

〔プリンタ構成〕タブ



〔プリンタ構成〕タブでは、プリンタに搭載しているメモリや用紙トレイの構成などを設定、または確認します。
プリンタ設定後、次のオプション品を追加した場合は、かならず構成を変更してください。

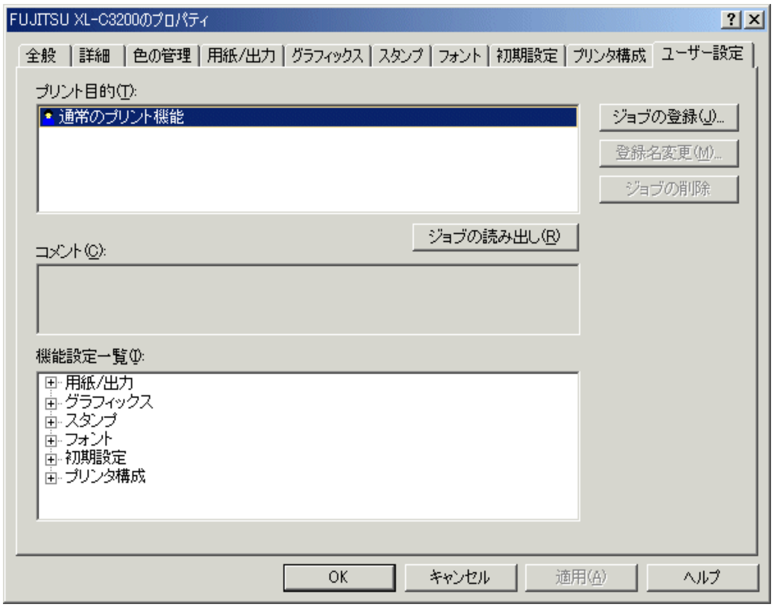
・ 両面ユニット、拡張メモリ、拡張給紙ユニット -A（ 1 段）、拡張給紙ユニット -B（ 2 段）

項　目	内　容
両面ユニット	オプション品の両面ユニットを取り付けた場合は、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、〔用紙 / 出力〕タブの〔両面〕機能が使用できるようになります。
メモリ増設	オプション品の増設メモリを取り付けた場合は、チェックボックスをオンにします。XL-C3200 は、メモリを標準で 64Mbyte 搭載しています。
拡張給紙ユニット -A（1 段）/ 拡張給紙ユニット -B（2 段）	用紙トレイの構成を設定します。 オプション品の拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、チェックボックスをオンにします。

運用編

8

〔ユーザー設定〕タブ



〔ユーザー設定〕タブでは、プリンタドライバで設定した内容を登録することができます。
登録した情報はユーザー定義ジョブとして認識され、2 度目以降にプリントする場合に、ドライバの各設定項目を指定しなくてすむようになります。

項　目	内　容
プリント目的	プリンタドライバで設定した内容は、〔ジョブの登録〕ダイアログボックスからユーザー定義ジョブとして登録することができます。登録されたユーザー定義ジョブは「プリント目的」にリスト表示されます。
コメント	「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブについてのコメントが表示されます。 〔ジョブの登録〕ダイアログボックス、〔登録名変更〕ダイアログボックスの「コメント」に入力し、登録したものが反映されます。
機能設定一覧	「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブの内容を、ツリー形式で表示します。
ジョブの登録	プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録します。 「プリント目的」、「コメント」で入力した内容は、「登録」をクリックすることにより、ユーザー定義ジョブとして認識されます。ユーザー定義ジョブは最大 19 件まで登録できます。
ジョブの読み出し	「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択した状態で「ジョブの読み出し」をクリックすると、その設定内容が反映されます。
登録名変更	登録されているユーザー定義ジョブの内容を変更します。

項　目	内　容
ジョブの削除	「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブを削除します。〔ユーザー設定〕タブの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択していない、または「通常のプリント機能」を選択している状態では、〔ジョブの削除〕はグレイアウト表示されています。

印刷を中止する

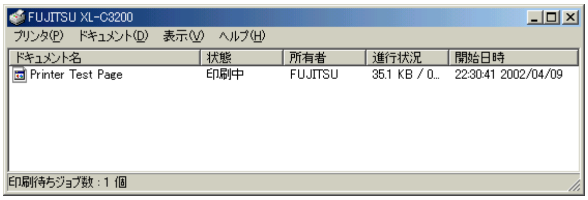
印刷を中止するには、まずホスト側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンタ側で印刷を取り消します。
次の手順にしたがって、ホスト側で印刷の指示を取り消します。

Windows から取り消す

印刷指示を Windows から取り消す方法について説明します。

1 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする

2 該当するプリンタアイコンをダブルクリックする



3 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除（〔Delete〕キーを押す）する

Internet Services を使って取り消す

Internet Services を使用して、プリンタに指示した印刷データを取り消せます。
Internet Services については、『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 6 章　Internet Services の設定」を参照してください。

参照　プリンタ側で印刷を中止するには、「プリンタ側で印刷を中止する」（178 ページ）を参照してください。

印刷指示したジョブの状態を確認する

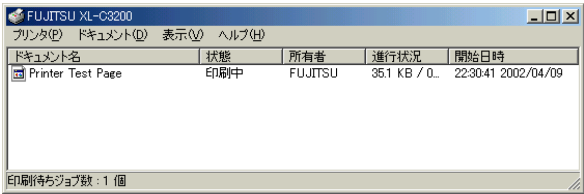
印刷を指示したジョブの処理状況は、ホスト側で確認できます。

Windows で確認する

印刷指示したジョブを Windows で確認する方法について説明します。

1 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックする

2 該当するプリンタアイコンをダブルクリック（または右クリックしてメニューを表示し、〔開く〕を選択）して状態を確認する



Internet Services を使って確認する

Internet Services を使用して、プリンタに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

Internet Services については、『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 6 章　Internet Services の設定」を参照してください。

特殊な用紙に印刷する

特殊な用紙に印刷する方法を説明します。以下の用紙に印刷できます。

- はがき
- はがき (うら面)
- 厚紙 1(106 ～ 220 g / ㎡)
- 厚紙 1(106 ～ 220 g / ㎡)(うら面)
- 厚紙 2(106 ～ 220 g / ㎡)
- 厚紙 2(106 ～ 220 g / ㎡)(うら面)
- OHP フィルム
- ラベル紙
- ユーザー定義用紙種類 1 ～ 5

特殊な用紙に印刷する場合は、手差しトレイを使用します。
ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

ガイド

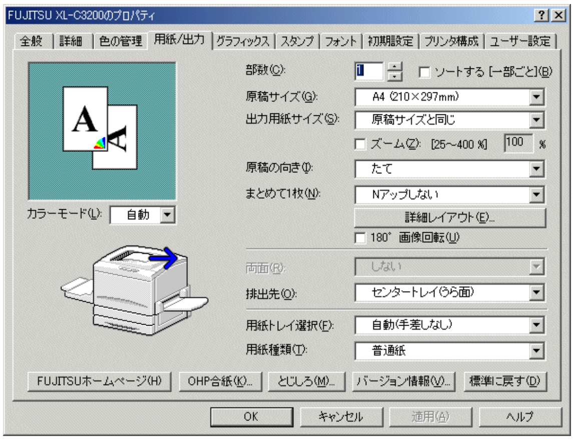
- 厚紙 2 は、厚紙 1 でトナーの定着が悪い場合に選択してください。定着が改善される場合があります。
- プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 手差しトレイの使いかたについては、「手差しトレイに用紙をセットする」（120 ページ）を参照してください。

1　手差しトレイに特殊な用紙をセットする

2　ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕をクリックする

3　〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする

4　〔用紙 / 出力〕タブをクリックする



5 〔用紙トレイ選択〕から〔手差し〕を指定する

6 〔手差し用紙種類〕から用紙の種類を選択する

7 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

運用編

8

はがきに印刷する

はがきをセットする

手差しトレイに官製はがきをセットします。

参照　「手差しトレイに用紙をセットする」（120 ページ）

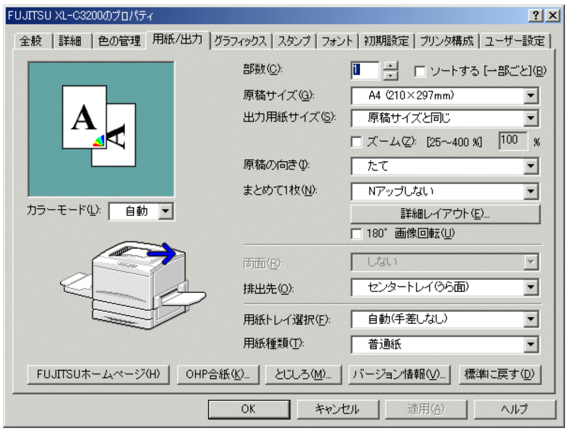
項目を設定し、印刷を行う

印刷の設定は、〔用紙 / 出力〕タブを表示して行います。ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS でも、手順は同じです。

ガイド　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする

2 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする



3 〔用紙 / 出力〕タブの〔原稿サイズ〕で〔はがき〕を指定する

4 〔設定できない項目の解消〕ダイアログボックスが表示されたら、新しい設定内容を確認し、〔OK〕をクリックする

5 〔手差しトレイの用紙セット方向〕ダイアログボックスが表示されたら、「よこ置き」が選択された状態でグレー表示になっていることを確認し、〔OK〕をクリックする

6 〔排出先〕で〔サイドトレイ（おもて面 / 正順）〕、または〔サイドトレイ（おもて面 / 逆順）〕を選択する

ガイド　両面に印刷する場合、最初の印刷面は〔はがき〕を選択し、そのうら面を印刷するときは、〔はがき（うら面）〕を選択してください。

7 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

OHP フィルムに印刷する

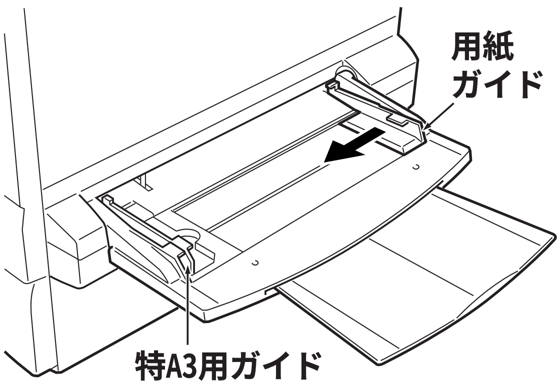
OHP フィルムをセットする

OHP フィルムに印刷するときは、手差しトレイにセットします。
本プリンタでは､弊社の OHP フィルム ＜枠なし＞を使用して､カラーで OHP フィルムに印刷できます。

ガイド　カラーページプリンタ XL-C3000 に対応していたカラーページプリンタ用 OHP フィルムⅡ（枠付き）は、本プリンタでは使用できません。

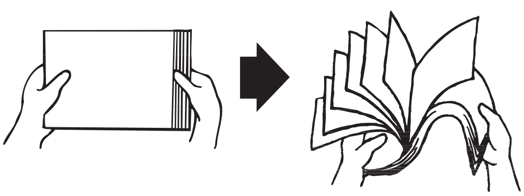
お願い　**排出された OHP フィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されるたびに、取り除いてください。**

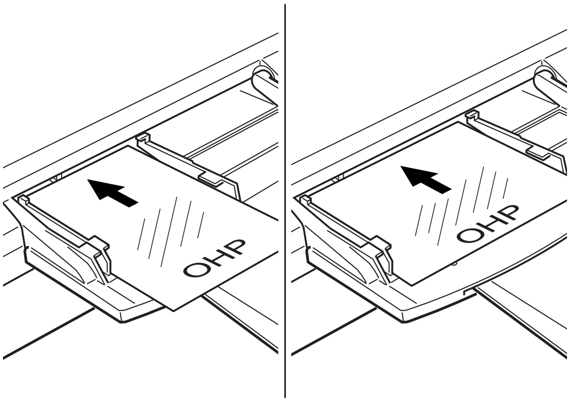
次の手順にしたがって、OHP フィルムをセットしてください。



1　特 A3 用ガイドを起こしてから、セットする用紙サイズの目盛りに用紙ガイドを合わせる

2　OHP フィルムを少量ずつよくさばく





3 OHP フィルムを差し込み口に軽くあたるまで入れる

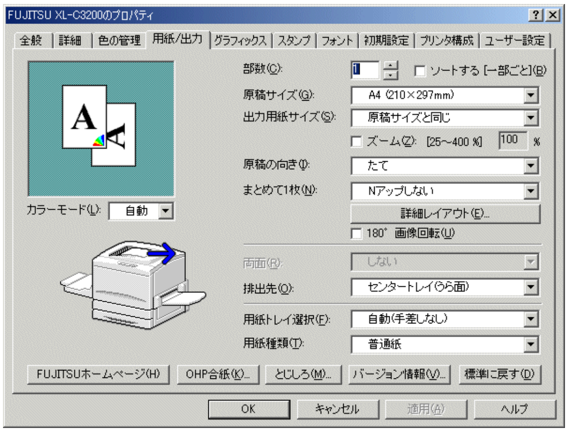
4 OHP フィルムが正しくセットできたら、アプリケーションから印刷を指示する

印刷を設定する

ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS でも、手順は同じです。

1 アプリケーションの〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする

2 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする



3 〔用紙 / 出力〕タブの〔出力用紙サイズ〕で〔A4〕を指定する

ガイド　原稿サイズが〔A4〕の場合、〔原稿サイズと同じ〕を指定することもできます。

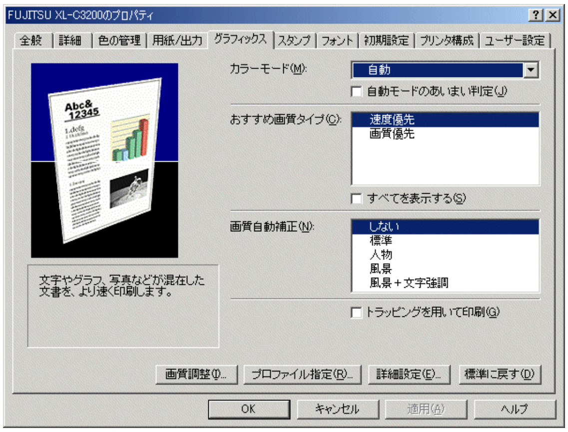
4 〔原稿の向き〕で〔たて〕、または〔よこ〕を選択する

5 〔排出先〕で〔サイドトレイ（おもて面 / 正順）〕、または〔サイドトレイ（おもて面 / 逆順）〕を選択する

6 〔用紙トレイ選択〕で〔手差し〕を選択する

7 〔手差しトレイの用紙セット方向〕ダイアログボックスが表示されたら、〔セットする用紙の向き〕で〔よこ置き〕、または〔たて置き〕を選択し、〔OK〕をクリックする

8 〔用紙種類〕で〔OHP フィルム〕を選択する



9 〔グラフィックス〕タブをクリックし、〔おすすめ画質タイプ〕を選択する

10〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

不定形（ユーザー定義）用紙に印刷する

不定形サイズの用紙に印刷する方法について説明します。不定形用紙に印刷するには、まずプリンタドライバに不定形サイズの登録をします。不定形サイズをユーザー定義サイズとして登録すると、〔用紙 / 出力〕タブの〔原稿サイズ〕と〔出力用紙サイズ〕から、それぞれ不定形サイズ（ユーザー定義サイズ）が選択できるようになります。印刷するときは、手差しを使用してください。
用紙サイズは 5 種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。用紙サイズの単位設定がミリの場合は、短辺 90 ～ 330.2mm、長辺 144.8 ～ 457.2mm の範囲で 0.1mm 刻みに、インチの場合は、短辺 3.54 ～ 13 インチ、長辺 5.70 ～ 18 インチの範囲で 0.01 インチ刻みにサイズを指定できます。

ガイド

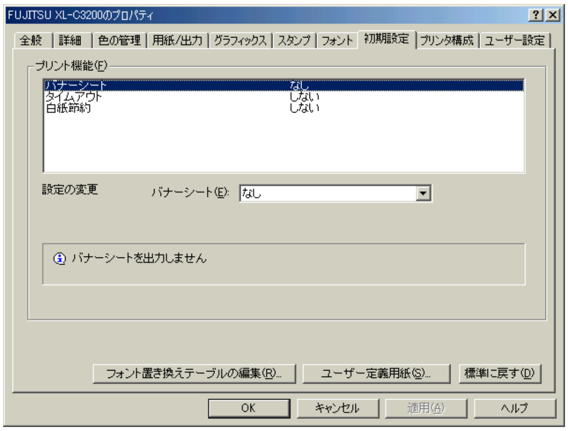
・ Windows NT4.0/2000/XP では、「Administrator」の権利があるユーザの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
・〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスの設定は、Windows NT4.0/2000/XP の場合、ローカルプリンタではホストのフォームデータベースを使用するため、ホスト上の他のプリンタにも影響します。ネットワーク共有プリンタではプリントキューが存在するサーバ上のフォームデータベースを使用するため、別のホスト上の同じネットワーク共有プリンタにも影響します。Windows 95/98/Me の場合、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、ホスト上の他のプリンタの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンタでも、プリンタアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、他のホスト上の同じネットワーク共有プリンタの設定には影響しません。
・ 両面印刷可能なユーザー定義サイズは、短辺が 182.0 ～ 304.8mm、かつ長辺が 210.0 ～ 457.2mm の範囲となります。

不定形用紙を登録する

不定形サイズの用紙の登録は、〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスで行います。

1 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、使用するプリンタのプロパティを表示させる

2 〔初期設定〕タブをクリックする



3 〔ユーザー定義用紙 ...〕をクリックする

〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスが表示されます。



4 〔設定一覧〕リストボックスから、設定する用紙を選択する

5 〔設定の変更〕で、短辺と長辺の長さを指定する

キー入力、または〔▲〕〔▼〕で指定します。
短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

6 用紙名を付ける場合は、〔用紙名をつける〕チェックボックスをオンにして、〔用紙名〕に入力する

用紙名の最大文字数は半角で 14 文字、全角で 7 文字です。

7 必要に応じて手順 4 〜 6 を繰り返して、用紙サイズを定義し、〔OK〕をクリックする

8 〔初期設定〕タブで、〔OK〕をクリックする

項目を設定し、印刷を行う

不定形サイズの用紙に印刷する方法を説明します。印刷するときは、手差しトレイを使用してください。

参照　手差しトレイの使い方については、「手差しトレイに用紙をセットする」（120 ページ）を参照してください。

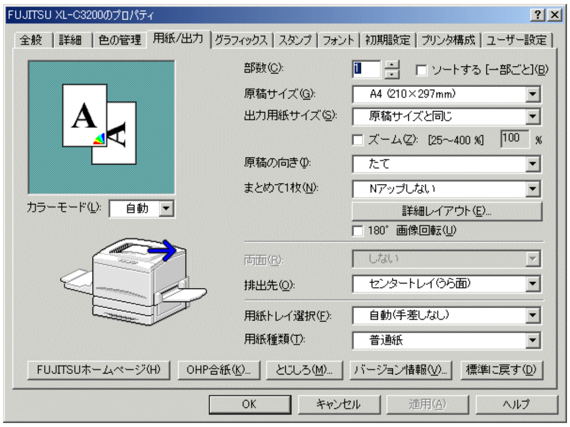
ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

ガイド　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 手差しトレイに不定形サイズの用紙をセットする

2 〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

3 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする



4 〔用紙 / 出力〕タブで〔原稿サイズ〕、〔出力用紙サイズ〕に使用する不定形サイズの用紙を選択する

〔出力用紙サイズ〕には、〔原稿サイズと同じ〕を指定することもできます。

5 〔設定できない項目の解消〕ダイアログボックスが表示されたら、新しい設定内容を確認し、〔OK〕をクリックする

6 〔手差しトレイの用紙セット方向〕ダイアログボックスが表示されたら、〔セットする用紙の向き〕で〔よこ置き〕、または〔たて置き〕を選択し、〔OK〕をクリックする

7 〔用紙種類〕から用紙の種類を選択する

8 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

TrueType フォントの印刷方法を設定する

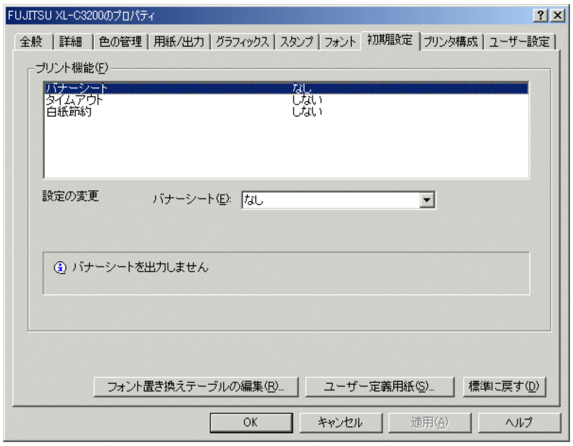
ここでは、TrueType フォントの置き換えをフォントごとに設定できるフォント置き換えテーブルの編集方法と、TrueType フォントの置き換え方法について説明します。

TrueType フォント置き換えテーブルを編集する

フォント置き換えテーブルで、TrueType フォントの置き換えをフォントごとに設定できます。フォント置き換えテーブルの編集は、〔フォント置き換えテーブルの編集〕ダイアログボックスで行います。

1 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、使用するプリンタのプロパティを表示する

2 〔初期設定〕タブをクリックする

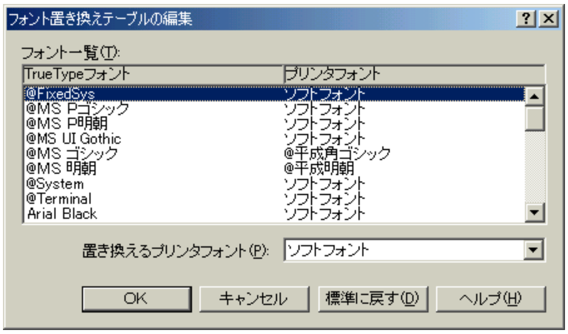


3 〔フォント置き換えテーブルの編集 ...〕をクリックする

〔フォント置き換えテーブルの編集〕ダイアログボックスが表示されます。

〔TrueType フォント〕列には、システムにインストールされているすべての TrueType フォント(Windows 95/98/Me ではフォントのファミリー名、Windows NT4.0/2000/XP ではフォントのフェイス名)が表示されます。

〔プリンタフォント〕列には、TrueType フォントに対して、実際に印刷に使用されるフォントが表示されます。〔ソフトフォント〕と表示されているフォントは、印刷時に TrueType フォントをプリンタにダウンロードして使用します。



4 〔TrueType フォント〕列から、設定を変更するフォントを選択する

5 〔置き換えるプリンタフォント〕から、使用するプリンタフォントを選択する

〔ソフトフォント〕を選択すると、印刷時に TrueType フォントをプリンタにダウンロードして使用します。

6 必要に応じて、手順 3、4 を繰り返して、置き換えるフォントを指定し、〔OK〕をクリックする

7 〔初期設定〕タブで〔OK〕をクリックする

運用編

8

TrueType フォントの印刷方法を設定する

TrueType フォントの置き換え方法を指定して印刷できます。
選択できる項目は、次のとおりです。

項　目	内　容
常に TrueType フォントを使う	すべての TrueType フォントをプリンタにダウンロードして印刷します。文書内で使用されている TrueType フォントを、プリンタフォントに置き換えません。印刷は遅くなることがありますが、画面表示と印刷結果は一致します。
TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える	フォント置き換えテーブルの設定にしたがって、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。フォント置き換えテーブルでは、プリンタフォントに置き換えるものと、プリンタにダウンロードするものの 2 種類の設定があります。Windows 環境にインストールされているフォントに対して、フォントファミリーごと（Windows 95/98/Me の場合）、またはフォントフェイスごと（Windows NT4.0/2000/XP の場合）に設定できます。
TrueType をビットマップにして印刷	印刷できない文字が合った場合にチェックボックスをオンにしてます。

参照　フォント置き換えテーブルの編集方法については、「TrueType フォント置き換えテーブルを編集する」（212 ページ）を参照してください。

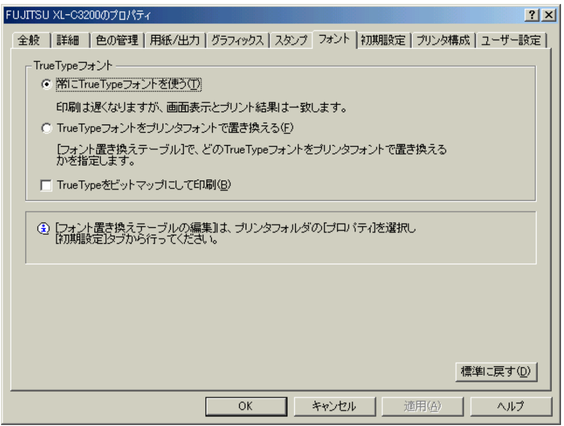
TrueType フォントの置き換えの指定は、〔フォント〕タブを表示して行います。
ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

参照　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする

3 〔フォント〕タブをクリックする



4 設定する内容のラジオボタンまたはチェックボックスをクリックする

5 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

運用編

8

印刷モードを設定する

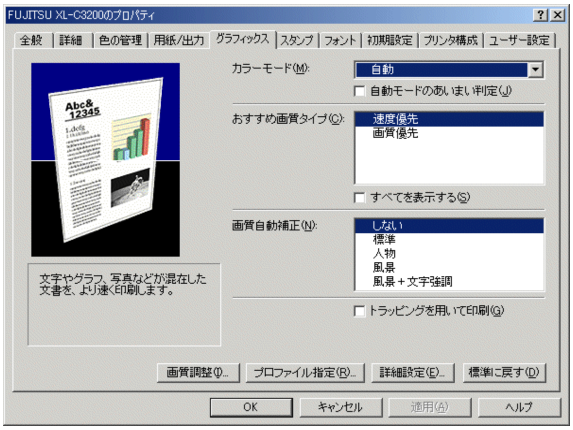
印刷色や印刷品質に関する項目を設定することができます。
設定は、〔グラフィックス〕タブを表示して行います。詳しくは、「主な印刷機能一覧」（187 ページ）または〔グラフィックス〕タブのオンラインヘルプを参照してください。

印刷色や印刷品質に関する項目を設定することができます。

1 〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする

3 〔グラフィックス〕タブをクリックする



4 〔カラーモード〕から〔自動〕を選択する

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

5 〔おすすめ画質タイプ〕から、印刷の目的に合わせて画質タイプを選択する

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

6 〔画質自動補正〕からモードを選択する

印刷文書に含まれる写真画像の品質が良くない場合に、自動補正のタイプを指定します。

7 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

ガイド

グラデーション付きの図形や文字が正しく印刷されない場合〔詳細設定〕の設定を変更することで、改善されることがあります。

画質を調整して印刷する

画質について詳細な設定をして印刷できます。
設定は、〔グラフィックス〕タブを表示して行います。次のどちらかのボタンを押して、画質の詳細を調整します。

ボタン名	内　容
画質調整	明度 / 彩度 / コントラストを原稿全体、または文字、図 / 表 / グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。また、赤 / 緑 / 青の色相バランスを調整できます。
プロファイル指定	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニタ、スキャナなど）の特性に合わせた、色温度 / ガンマ指定の設定や、ICC プロファイルの指定ができます。

明度 / 彩度 / コントラストおよびカラーバランスを調整する

明度 / 彩度 / コントラストおよびカラーバランスは、原稿全体、または〔文字〕、〔図 / 表 / グラフ〕、〔写真〕の原稿要素ごとに調整できます。また、それぞれ－ 100 ～ 100 の範囲で、1 刻みに指定できます。原稿要素ごとに設定した場合は、印刷するページ内の要素を自動的に判断し、それぞれの設定値を適用します。

項目名	内　容
明度	色の明暗の度合いを表します。明度が高いほど白に近く見えます。
彩度	色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど色が鮮やかです。
コントラスト	白から黒までの明暗の変化の度合いを表します。コントラストが高いほど明暗の変化が急です。
カラーバランス	赤 / 緑 / 青の色相バランスを調整します。

調整は、〔画質調整〕ダイアログボックスを表示して行います。
ここでは、Windows 95 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

ガイド

- 〔グラフィックス〕タブの「カラーモード」が「白黒」の場合は、彩度とカラーバランスの調整をできません。
- プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1　〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする



3　〔グラフィックス〕タブをクリックし、〔画質調整〕をクリックする

グラフィックスプロパティが開き、〔画質調整〕ダイアログボックスが表示されます。

4　〔原稿全体を設定する〕、または〔原稿要素ごとに設定する〕をクリックする

5　〔原稿要素ごとに設定する〕を選択した場合は、右のリストボックスから原稿要素を選択する

6　明度 / 彩度 / コントラストおよびカラーバランスを調整する

キー入力、またはスライドバーで、－ 100 ～ 100 の範囲で、1 刻みに調整します。変更の結果は、左側の画質イメージで確認できます。

7　〔OK〕をクリックする

デバイス（モニタ、スキャナなど）の特性の違いを補正する

原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニタ、スキャナなど）の特性に合わせた補正を行って印刷できます。
補正方法には〔色温度 / ガンマ指定〕と、〔ICC プロファイル指定〕があります。
〔色温度 / ガンマ指定〕は、すべての原稿要素に適応する〔色温度〕と〔ガンマ補正〕が指定できます。

項目名	内　容
色温度	使用しているモニタの設定に合わせて、すべての原稿要素の色あいを変化させます。モニタの特性に最も近いものを選択してください。〔5000K（D50）〕、〔6500K（D65）〕、〔9300K〕から選択できます。
ガンマ補正	すべての原稿要素の明るさを変化させます。〔1.0〕、〔1.4〕、〔1.8〕、〔2.2〕、〔2.6〕から選択できます。

〔ICC プロファイル指定〕は、〔モニタ〕と〔入力画像〕に対して ICC プロファイルを指定できます。ICC プロファイルとは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。選択できる ICC プロファイルは、モニタと RGB スキャナのものに限ります。

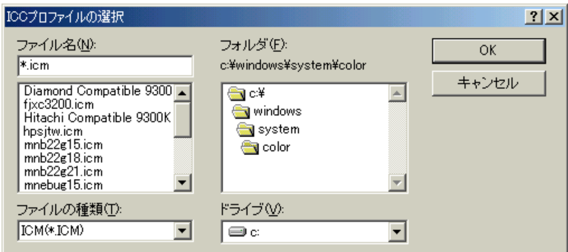
項目名	内　容
モニタ	文字、図、表、グラフに適応する ICC プロファイルを指定します。〔しない〕、または「最後に選択された有効なプロファイル名」を選択します。通常は、使用しているモニタの ICC プロファイルを選択します。
入力画像	イメージデータに適応する ICC プロファイルを指定します。〔しない〕、〔モニタと同じ〕、「最後に選択された有効なプロファイル名」から選択します。通常は、イメージを入力した RGB スキャナの ICC プロファイルを選択します。

ガイド　「最後に選択された有効なプロファイル名」は、以前に ICC プロファイルを指定したことがある場合に表示されます。

また、〔モニタ〕、〔入力画像〕ともに、ICC プロファイルを任意のフォルダから読み込むことができます。〔ICC プロファイルの選択〕ダイアログボックスでは、ICC プロファイル拡張子の「.icm」を持つファイルだけが表示されます。指定できるファイル名は、フルパスで半角 128 文字です。
〔ICC プロファイルの選択〕ダイアログボックスを開くときのデフォルトディレクトリは、次のとおりです。
Windows 95/98/Me/2000/XP:x:¥〔Windows システムディレクトリ〕¥COLOR¥
Windows NT4.0:　x:¥〔Windows インストールディレクトリ〕

ガイド　「x」は、システムが入っているドライブ名を表しています。

Windows Me の例を示します。

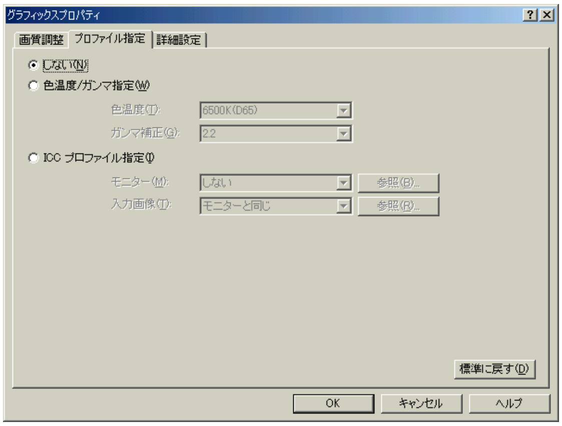


調整は、〔プロファイル指定〕タブを表示して行います。
ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

ガイド　プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1　〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2　〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする



3　〔グラフィックス〕タブをクリックし、〔プロファイル指定〕をクリックする

グラフィックスプロパティが開き、〔プロファイル指定〕ダイアログボックスが表示されます。

4　〔色温度 / ガンマ指定〕、または〔ICC プロファイル指定〕をクリックして、補正方法を選択する

5　選択した補正方法の詳細を指定する

6　〔OK〕をクリックする

第 9 章

共通メニュー画面の設定

この章では、すべてのプリントモードに共通の項目を設定ができる共通メニュー画面の設定について説明します。

共通メニュー画面を設定する

共通メニュー画面の構成と基本操作

メニュー画面では、節電モードやジョブタイムアウトの時間、ネットワークの設定など、プリンタに関する設定をします。
共通メニュー画面は、次の 5 つのメインメニューで構成されています。

参照　各メニューの詳細については、「共通メニューの項目一覧」（228 ページ）を参照してください。

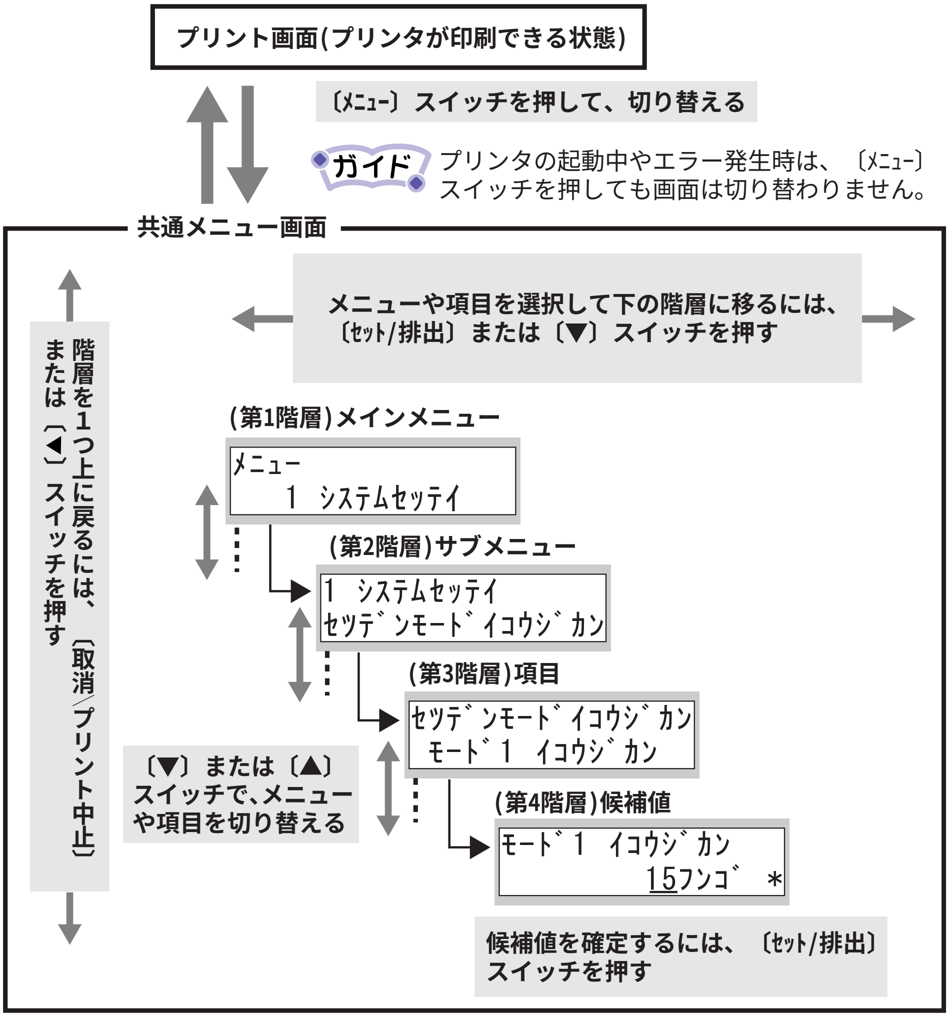
メニュー	内 容
1 システムセッテイ	節電モードやジョブ履歴の設定など、プリンタ本体の基本的な動作に関する設定を行います。
2 メンテナンスモード	プリンタ本体の NV メモリを初期化したり、普通紙の紙質を調整したりします。また、メニュー操作に対するセキュリティを設定します。
3 パラレル	パラレルインタフェースに関する設定を行います。
4 レポート / リスト	プリンター設定リスト、パネル設定リスト、フォントリスト、プリント履歴レポートを印刷します。
5 ネットワーク	ネットワークに関する設定を行います。

また、各メニューはいくつかの階層から構成されています。それぞれの階層で目的のメニューや項目を選択しながら、プリンタの設定を行います。

メニューの階層例と基本操作

共通メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移りながらプリンタの設定を行うときには、次のスイッチを押します。

参照　操作手順の詳細については、「操作例」(227 ページ) を参照してください。

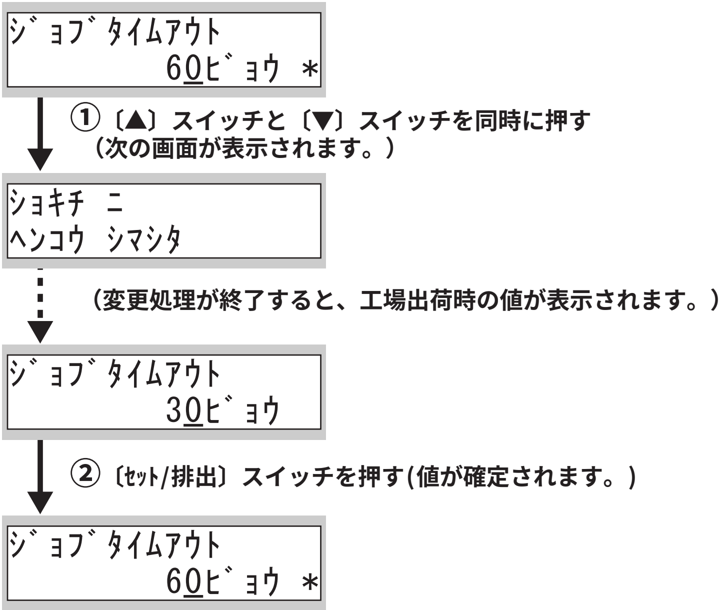


ガイド

- 〔取消 / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〕または〔◀〕スイッチは、1 つ上の階層に戻るときに使用します。一度〔ｾｯﾄ / 排出〕スイッチを押して確定した値 (「*」が付きます) は、〔取消 / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〕や〔▲〕スイッチを押しても元に戻りません。
- メニューによって、3 階層 (項目がない) の場合もあります。

運用編　9

設定を初期値 (工場出荷時の値) に戻すには



操作を間違えたときには

オペレータパネルで操作を間違えたときは、次のように対処します。

〔ｾｯﾄ / 排出〕スイッチを間違えて押してしまい、1 つ前の画面に戻りたいとき

〔取消 / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〕または〔◀〕スイッチを押します。

〔▼〕スイッチを間違えて押してしまい、1 つ前の画面に戻りたいとき

〔▲〕スイッチを押します。

操作を間違えて、元の液晶ディスプレイ表示に戻れなくなった場合

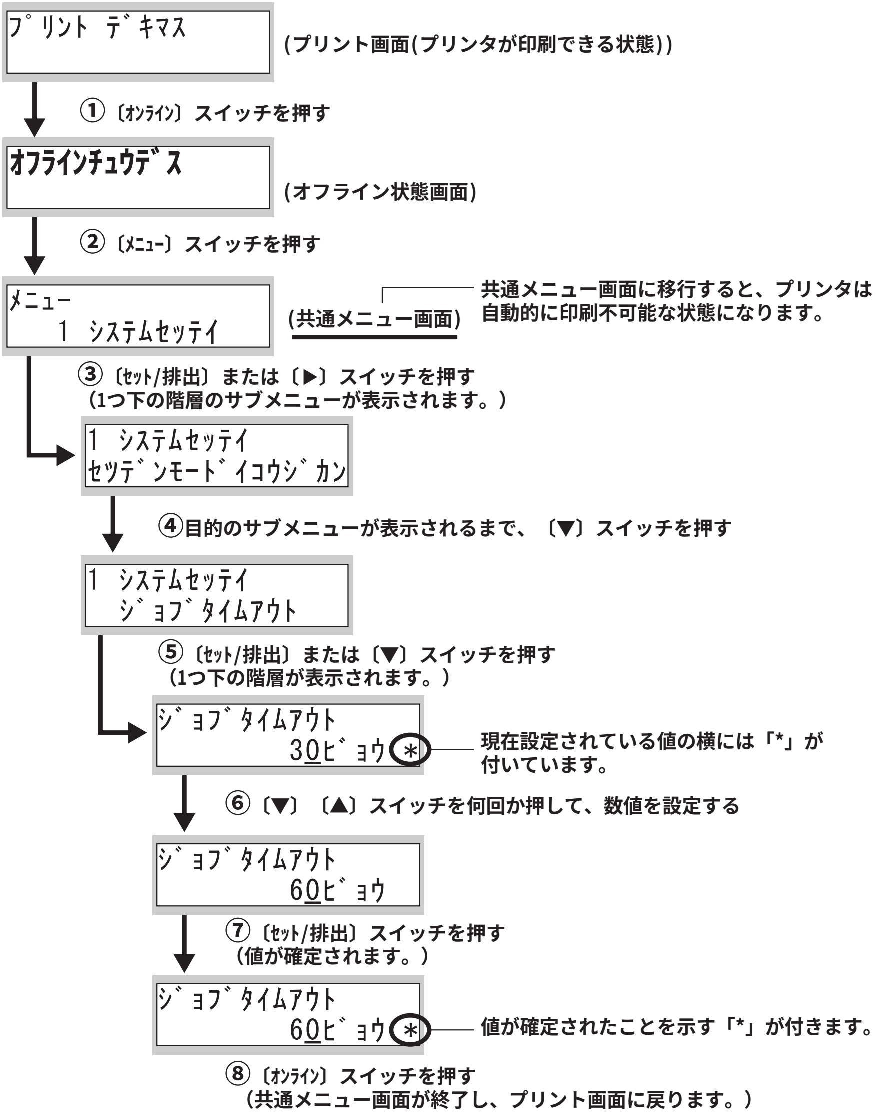
〔ﾒﾆｭｰ〕スイッチを押して、初めから設定し直してください。

〔ｾｯﾄ / 排出〕スイッチを押して、間違った値を確定してしまった場合

値が確定すると、設定値の後ろに「 * 」が付きます。
この場合は、〔取消 / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〕または〔◀〕スイッチを押しても元に戻りません。設定し直してください。

操作例

ここでは、〔1 システムセッテイ〕メニューの〔ジョブタイムアウト〕を〔60 ビョウ〕に設定する例を説明します。



共通メニューの項目一覧

共通メニュー画面で設定できる項目や値について、メインメニュー別に説明します。

ガイド

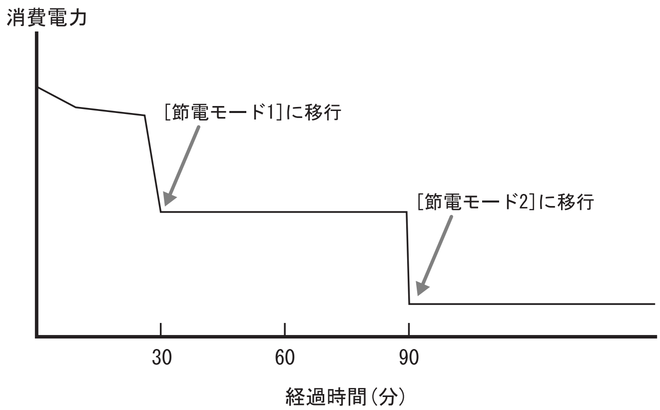
- 共通メニュー画面の項目の中には、印刷時にパソコンから指定できるものもあります。パソコンからの設定とプリンタでの設定が異なる場合は、パソコンからの設定がプリンタでの設定より優先します。
- 初期値とは、工場出荷時の値です。

システム設定について

節電モードやジョブ履歴の設定など、プリンタ本体の基本的な動作に関する設定を行います。

節電モード移行時間

節電モードとは、プリンタを使用していないときの消費電力を節約する機能です。節電モードには、プリンタの働きを部分的に抑える節電モード 1 と、プリンタの働きを部分的に休止する節電モード 2 があります。
節電モード状態になると、液晶ディスプレイに「プリント デキマス / タイキ」と表示されます。また、通常の状態より、データを受信してから印刷を開始するまでに時間がかかります。
データを受信してから印刷が開始されるまでの時間が、節電モード 1 の状態よりも長くなります。
ここでは、それぞれの節電モードに移行するまでの時間を設定します。
例 : 節電モード 1 を 30 分、節電モード 2 を 60 分に設定した場合



・ モード 1 イコウジカン (初期値：15 フンゴ)
  1 ～ 120 分までの間で 1 分単位で設定します。印刷処理終了後、ここで設定した時間が過ぎてもプリンタが使用されないと、節電モード 1 に切り替わります。
・ モード 2 イコウジカン (初期値：15 フンゴ)
  5 ～ 120 分までの間で 1 分単位で設定します。節電モード 1 に切り替わったあと、ここで設定した時間が過ぎてもプリンタが使用されないと、節電モード 2 に切り替わります。

次の場合は、節電モードが解除されます。
・ 節電モード設定を無効にしたとき
・ 印刷データを受信したとき
・ 〔4 レポート / リスト〕でレポートやリストを印刷したとき

節電モード

各モードごとに、節電モードへの移行を有効にするかどうかを設定します。
〔ムコウ〕に設定すると、節電モードに移行しません。
・ モード 1　(初期値 : ユウコウ)
・ モード 2　(初期値 : ユウコウ)

ガイド　節電モードを無効にする場合は、モード 2 を先に〔ムコウ〕にしてください。モード 2 が〔ユウコウ〕のときは、モード 1 を〔ムコウ〕にできません。
節電モードを有効にする場合は、モード 1 を先に〔ユウコウ〕にしてください。モード 1 が〔ムコウ〕のときは、モード 2 を〔ユウコウ〕にできません。

プリント警告音

プリンタに異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。
・ シナイ
  プリンタに異常が発生しても警告音を鳴らしません。
・ スル (初期値)
  プリンタに異常が発生したときに警告音を鳴らします。

ガイド　音量の調整はできません。

運用編

9

ジョブタイムアウト

印刷処理が、設定した時間を経過しても終了しない場合、その処理を強制的に終了させることができます。これをジョブタイムアウトといいます。ジョブタイムアウトが発生すると、プリンタはその時点までに受信したデータだけを印刷します。

・ 5 ～ 300 ビョウ (初期値 : 30 ビョウ)
  ジョブタイムアウトの処理を行う時間を、5 ～ 300 秒の間で設定します。
・ オフ
  ジョブタイムアウトの処理を行いません。

履歴の自動プリント

プリント履歴レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。

ガイド　プリント履歴レポートは、〔4 レポート / リスト〕メニューから印刷することもできます。

・ シナイ (初期値)
  処理した印刷ジョブが 22 件になっても、自動的にはプリント履歴レポートを印刷しません。
・ スル
  処理した印刷ジョブが 22 件になると、自動的にプリント履歴レポートを印刷します。

ID プリント

特定の位置に、ユーザ ID を印刷します。

・ シナイ (初期値)
・ ヒダリウエ
・ ミギウエ
・ ヒダリシタ
・ ミギシタ

テキスト印刷

本プリンタがサポートしている PDL 以外のデータを受信したときに、テキストデータとして印刷するかどうか設定します。

・ スル
  テキストデータとして印刷します。
・ シナイ
  テキストデータとして印刷しません。

メンテナンスモードについて

プリンタ本体の NV メモリを初期化したり、普通紙の紙質を調整したりします。また、メニュー操作に対するセキュリティを設定します。

プリンタ本体の NV メモリ初期化

プリンタ本体の NV メモリを初期化します。
NV メモリとは、電源を切ってもプリンタの設定内容を保持できる不揮発性のメモリのことです。

・ハイ
　プリンタ本体の NV メモリを初期化します。NV メモリを初期化すると、オペレータパネルで設定した各メニュー項目が初期値に戻ります。

ガイド　このメニューで設定した値を有効にするには、プリンタの再起動が必要です。設定後、必ずプリンタの電源を切り、入れ直してください。

・イイエ
　プリンタ本体の NV メモリを初期化しないで、メニューに戻ります。

セキュリティ

メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、パスワードを設定できます。

・パネルセッテイホゴ (初期値：シナイ)
　パスワードを設定する場合は、〔スル〕に設定します。
・パスワードヘンコウ
　パスワードは 4 桁で〔▲〕、〔▼〕、〔◀〕、〔▶〕スイッチで設定します。初期値は、0000 です。

ガイド　設定したパスワードを忘れてしまった場合は、〔2 メンテナンスモード〕の〔NV メモリー ショキカ〕で〔ハイ〕を選択し、〔▲〕、〔▼〕スイッチと〔ｾｯﾄ / 排出〕スイッチを 3 つ同時に押してください。パスワードが初期化されます。

転写電圧調整

普通紙、OHP フィルム、厚紙、ラベル紙、はがき、それぞれのカラー濃度を調整します。
電圧を -2 ～ 7 の 10 段階で設定します。設定値を大きくすると、濃度が薄くなります。

ガイド　〔▼〕スイッチ、また〔▲〕スイッチで項目を変更するときに、スイッチを押し続けると連続的に表示が変わります。

パラレルについて

パラレルインタフェースに関する設定をします。

ガイド　印刷中に共通メニュー画面に移行した場合は、このメニューの設定はできません。

ECP

パラレルインタフェースの通信モードである、ECP モードについて設定します。

- ユウコウ
  ECP による印刷データを受け付けます。
- ムコウ (初期値)
  ECP による印刷データを受け付けません。

レポート / リストについて

各種リストやレポートを印刷します。

ガイド

- 印刷中に共通メニュー画面に移行した場合は、このメニューの設定はできません。
- 各種リストやレポートは、A4 サイズ縦の用紙に印刷されます。A4 サイズ縦の用紙が用紙トレイにセットされていない場合は、液晶ディスプレイに「A4 タテヨウシヲ セットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4 サイズ縦の用紙をセットすると、印刷が始まります。

プリンター設定リスト

プリンタのハードウェア構成、および各種設定の内容を印刷します。

参照 プリンター設定リストの印刷例は、「プリンタの構成やネットワーク設定を確認する」（150 ページ）を参照してください。

パネル設定リスト

オペレータパネルの各メニューで設定されている内容を印刷します。

フォントリスト

データで、印字可能なフォントの情報を印刷します。

プリント履歴レポート

処理した印刷ジョブに関する情報 (最大 22 件) を印刷します。プリント履歴レポートでは、正しく印刷できたかどうかを確認できます。

参照 プリント履歴レポートの印刷例は、「プリント履歴レポートを印刷する」（152 ページ）を参照してください。

ネットワークについて

ネットワークに関する設定を行います。本メニューは、オプション品のプリンタ LAN カードを取り付けている場合に表示されます。

ガイド

- 印刷中に共通メニュー画面に移行した場合は、このメニューの設定はできません。
- このメニューで設定した値を有効にするには、プリンタの再起動が必要です。設定後、必ずプリンタの電源を切り、入れ直してください。

Ethernet 設定

Ethernet の通信速度やモードを設定します。

- ジドウ (初期値)
  10Base ハーフ、10Base フル、100Base ハーフ、100Base フルを自動的に切り替えます。
- 10Base ハーフ
- 10Base フル
- 100Base ハーフ
- 100Base フル

TCP/IP

TCP/IP プロトコルを使用するために必要な情報を設定します。このメニューには、次の項目があります。

- IP アドレスセットアップ
  IP アドレスの取得方法を設定します。候補値は次のとおりです。
  〔DHCP〕(初期値)
  ネットワーク上の DHCP サーバから、IP アドレスを取得します。
  〔パネル〕
  オペレータパネルで IP アドレスを設定します。
- IP アドレス
  プリンタの IP アドレスを設定します。
  〔aaa.bbb.ccc.ddd〕
  aaa、bbb、ccc、ddd とも、0 ～ 255 の間で設定します。
  ただし、次の設定はできません。

224 ～ 255. xxx. xxx. xxx
127. xxx. xxx. xxx

ガイド

- 〔IP アドレスセットアップ〕で〔DHCP〕が設定されている場合は、ここでの設定は無効になります。オペレータパネルからの設定を有効にするには、〔IP アドレスセットアップ〕を〔パネル〕に設定してください。
- IP アドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

- サブネットマスク
  サブネットマスクを設定します。
  〔aaa.bbb.ccc.ddd〕
  aaa、bbb、ccc、ddd とも、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を使用して設定します。

- ゲートウェイアドレス
  ゲートウェイアドレスを設定します。
  〔aaa.bbb.ccc.ddd〕
  aaa、bbb、ccc、ddd とも、0 ～ 255 の間で設定します。

ただし、次の設定はできません。

224 ～ 255. xxx. xxx. xxx
127. xxx. xxx. xxx

受信制限

受信制限について設定します。
〔フィルタ X アドレス〕(X は 1 ～ 5) に受信制限を設定する IP アドレスを、〔フィルタ X マスク〕にサブネットマスクを、0 ～ 255 の数値で入力します。また、〔フィルタ X モード〕には、設定したアドレスに対する制限を、〔ナシ〕(初期値)、〔キョヒ〕、〔キョカ〕から選択します。最大 5 件まで設定でき、フィルタ 1 の設定が最も優先されます。複数の制限を設定する場合は、範囲の狭いアドレスに対する制限から順に設定していきます。

参照　受信制限は、Internet Services も設定できます。設定例については、『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 6 章 Internet Services の設定」を参照してください。

・ フィルタ 1
・ フィルタ 2
・ フィルタ 3
・ フィルタ 4
・ フィルタ 5

NV メモリ初期化

プリンタ LAN カード上の NV メモリを初期化します。NV メモリとは、電源を切っても設定内容を保持できる不揮発性のメモリのことです。

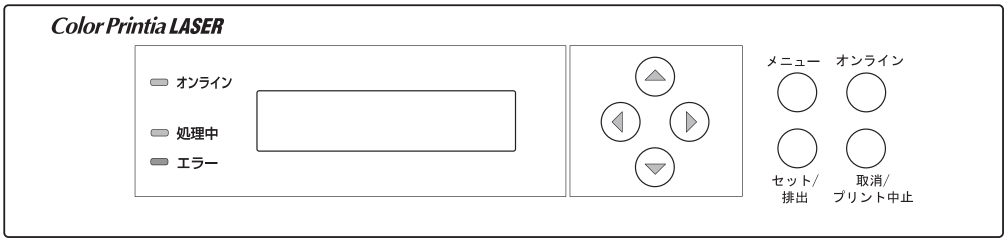
・ ハイ
NV メモリを初期化します。NV メモリを初期化すると、Internet Services や共通メニュー画面の〔5 ネットワーク〕で設定した内容が初期値に戻ります。

ガイド
・ このメニューで設定した値を有効にするには、プリンタの再起動が必要です。設定後、必ずプリンタの電源を切り、入れ直してください。
・ NV メモリを初期化すると、Internet Services から設定した管理者パスワードも初期化されます。

・ イイエ
NV メモリを初期化しないで、メニューに戻ります。

共通メニュー構成の詳細

ここでは、次の記号を使用して動作を説明しています。

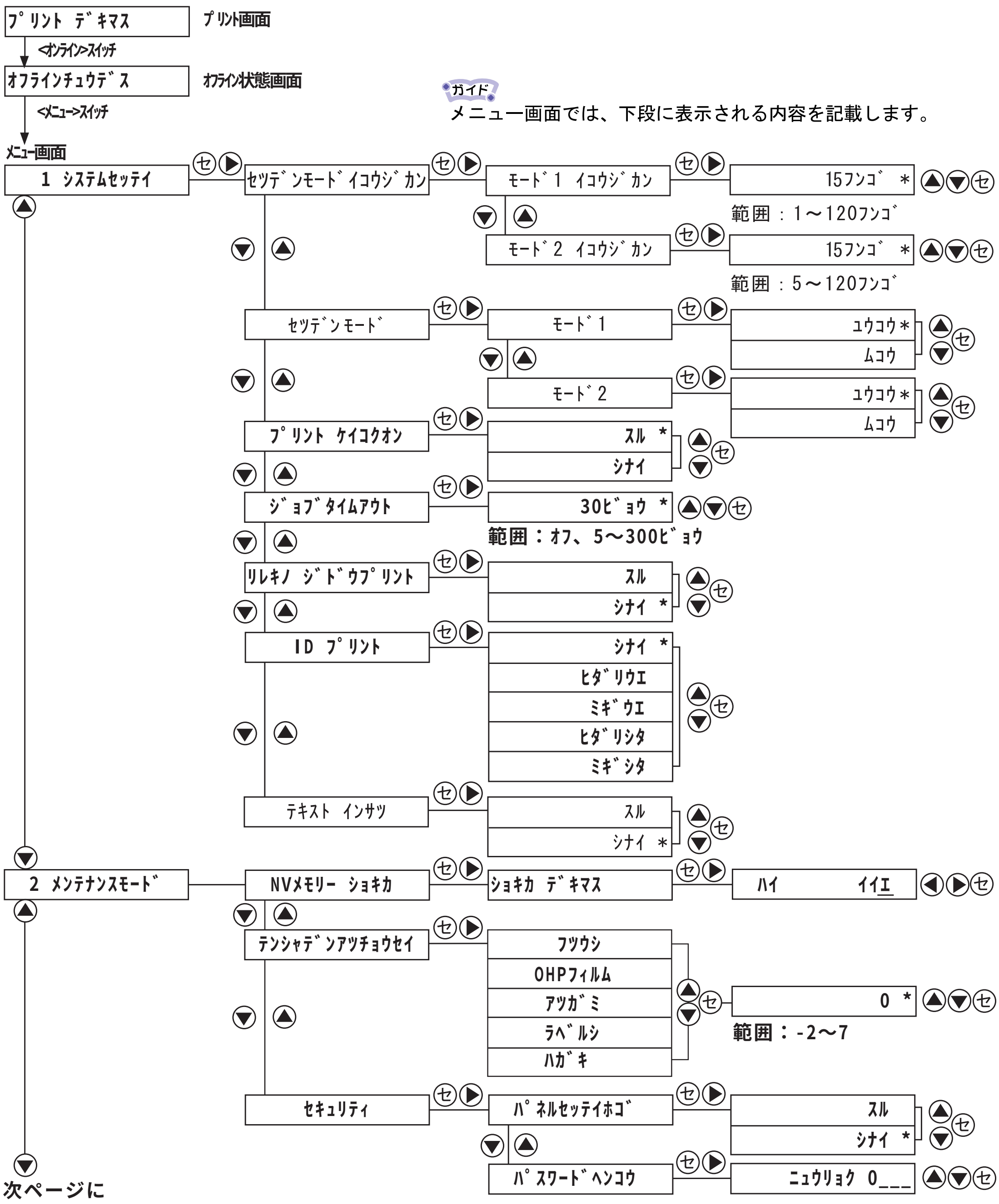


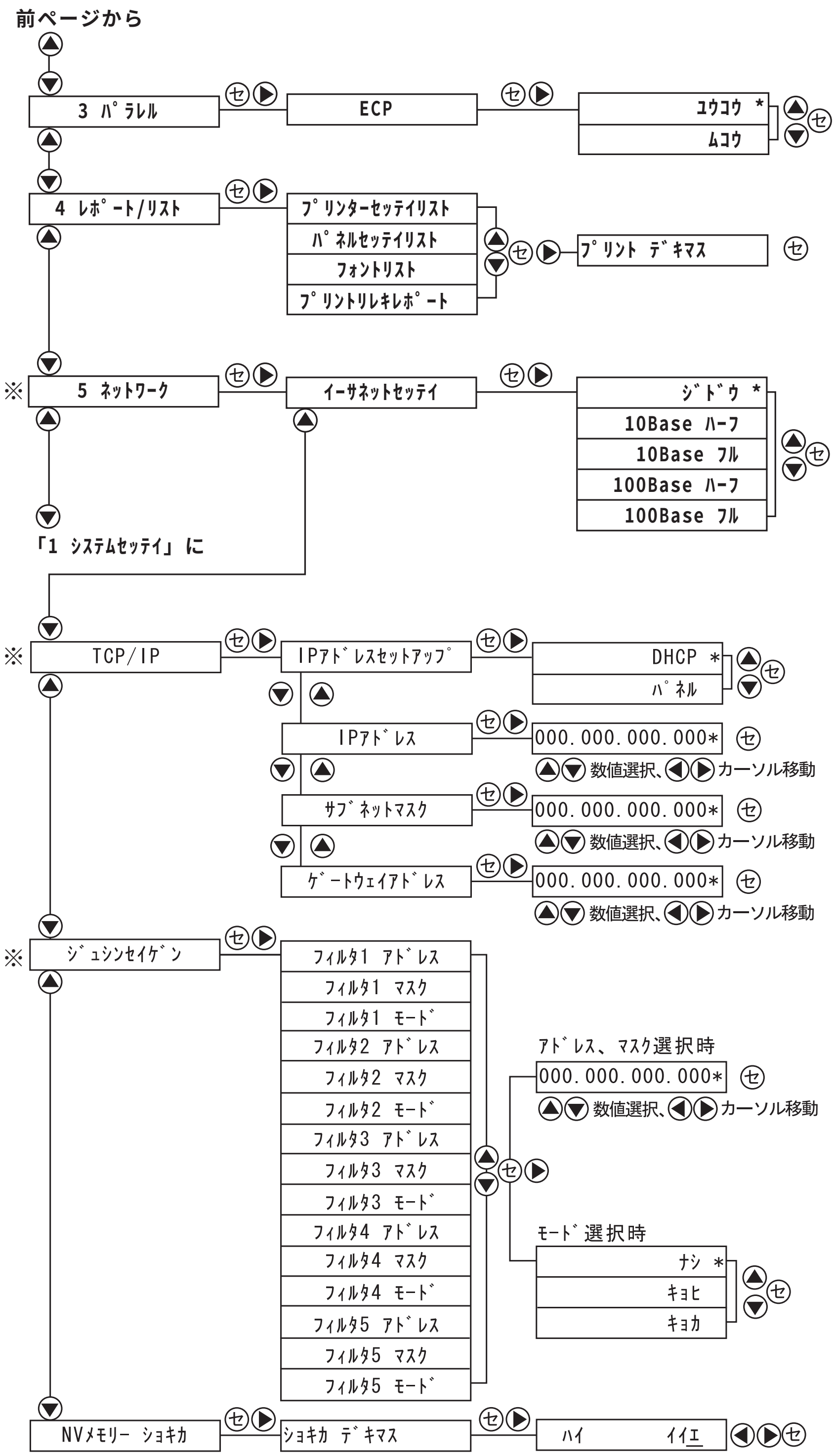
記　号	動　作	結　果
▲▼◀▶	〔▲〕〔▼〕〔▲〕〔▼〕スイッチを押します。	〔▲〕〔▼〕スイッチは、同階層内でメニューや項目を切り替えます。〔▲〕スイッチを押すと 1 つ前、〔▼〕スイッチを押すと1つあとのメニューや項目が表示されます。 〔◀〕〔▶〕スイッチは、メニューの階層を切り替えたり、設定値のカーソル (_) を左右に移動したりします。メニューで〔▶〕スイッチを押すと 1 つ下の階層に移り、〔◀〕スイッチを押すと 1 つ上の階層に戻ります。
㋝	〔ｾｯﾄ / 排出〕スイッチを押します。	1 つ下の階層に移ります。または、設定を確定します (設定した値には「*」が付きます)。

ガイド

- 〔取消 / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〕スイッチを押しても、1 つ上の階層に戻ることができます。
- メニュー画面を終了するには、〔ﾒﾆｭｰ〕スイッチを押します。
- 「*」および「_」は、工場出荷時の設定値です。
- 工場出荷時の値に戻すには、〔▼〕スイッチと〔▲〕スイッチを同時に押します。

ガイド
メニュー画面では、下段に表示される内容を記載します。





※プリンタLANカード取り付け時のみ表示

第 10 章

こんなときには

この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

よくある質問

ここでは、よくある質問とその解決方法について説明します。
本プリンタをご使用になる場合に、参考にしてください。

プリンタの設定状況を確認したい

メニュー→レポート / リスト→プリンター設定リストの順に見ると、現在のプリンタの設定状況が確認できます。

参照 プリンター設定リストについては、「レポート / リストを印刷する」（149 ページ）を参照してください。

どんな印刷機能があるのか知りたい

本プリンタ専用のプリンタドライバでは、まとめて 1 枚、両面機能、拡大連写、小冊子作成など、さまざまな印刷機能が使用できます。

参照 各機能については、「主な印刷機能一覧」（187 ページ）を参照してください。

用紙トレイの用紙サイズを変えたい

用紙トレイ 1 ～ 3 にセットされている用紙以外のサイズの用紙を一時的に使用する場合は、手差しトレイを使用すると便利です。
また、用紙トレイ 1 ～ 3 の用紙サイズを変えることもできます。

参照 手差しトレイへの用紙セット方法や、用紙トレイ 1 ～ 3 の用紙サイズ変更については、「用紙をセットする」（38 ページ）を参照してください。

はがきに印刷したい

本プリンタでは、手差しトレイを使用して、官製はがきに印刷できます。

参照 印刷方法については、「はがきに印刷する」（202 ページ）を参照してください。

モノクロ印刷したい

モノクロ原稿は、自動的に判断してモノクロ印刷されます。カラー原稿をモノクロ印刷したい場合は、プリンタドライバのプロパティでグラフィックスタブの〔カラーモード〕を〔白黒〕に設定します。

参照　カラーモードの設定については、「主な印刷機能一覧」（187 ページ）を参照してください。

特殊な用紙に印刷したい

手差しトレイを使用して、はがき、厚紙、OHP フィルム、ラベル紙などに印刷できます。これらの用紙は、用紙トレイ 1 ～ 3 からは印刷できません。

参照　印刷方法については、「特殊な用紙に印刷する」（200 ページ）を参照してください。

印刷の目的に合わせた画質 / 性能で印刷したい

おすすめ画質タイプ（速度優先、画質調整、写真専用、トナーセーブなど）の選択や画質調整機の設定により印刷目的に合わせた印刷ができます。

参照　原稿の種類に合わせて印刷する場合は、「印刷モードを設定する」（216 ページ）を、画質調整については「画質を調整して印刷する」（218 ページ）を参照してください。

印刷を指示したのに印刷されない

プリント履歴レポートを印刷して、印刷を指示した印刷ジョブを確認してください。

参照　プリント履歴レポートについては、「レポート / リストを印刷する」（149 ページ）を参照してください。

OS をバージョンアップして、本プリンタを使用したい

プリンタドライバは、各 OS 専用のものがあります。新しい OS に対応したプリンタドライバをインストールし直してください。

参照　プリンタドライバのインストール方法については、「第 4 章 プリンタドライバのインストール」（61 ページ）を参照してください。

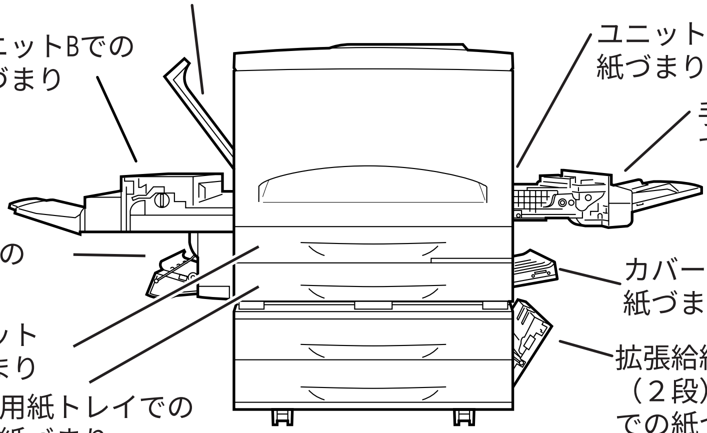
印刷を指示した印刷ジョブが出力されたか確認したい

Internet Services を使用すると、お使いのコンピュータから印刷ジョブの確認、削除もできます。

参照　Internet Services については、『XL-C3200 ネットワークガイド』「Internet Services を使用する」を、プリンタモニタについては、『XL-C3200 ネットワークガイド』「Internet Services の機能一覧」を参照してください。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミツ゛マリテ゛ス』とエラーメッセージが表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。
エラーメッセージには、紙づまりが発生した場所も表示されます。



次の要領でつまった用紙を取り除いてください。つまった用紙を取り除いてカバーを閉じると、メッセージが消えてオンライン状態になり印刷を再開します。

お願い

- つまった用紙を取り除いてもメッセージが消えないときは、用紙が完全に取り除かれていません。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- 紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除くと共に、紙づまりが発生したユニットやカバーを開閉することで解除されます。注意してください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。とくに、サイドトレイやセンタートレイの場合は、必ず左下ユニットや左上カバーを開けて取り除いてください。
- 万一、発煙をともなう用紙づまりが発生したときは、カバーを開けずに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(318 ページ) までご連絡ください。

⚠ 注意

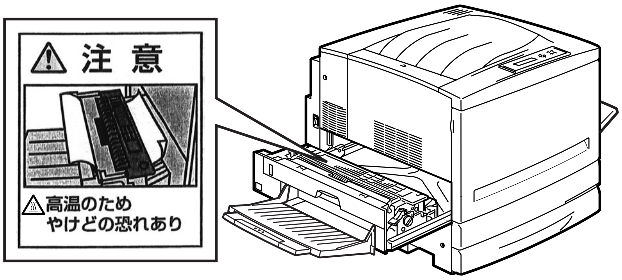
ケ　ガ　・つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

・つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火　災　つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。

なお、定着器やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

やけど　「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。



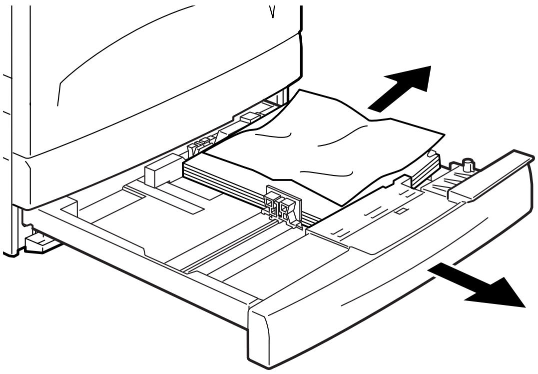
紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・　プリンタを水平に設置する。
・　適切な用紙を使用する。
・　用紙トレイや手差しトレイに用紙を正しくセットする。
・　カールしていない用紙を使用する。
・　用紙トレイを奥に突きあたるまで押し込む。

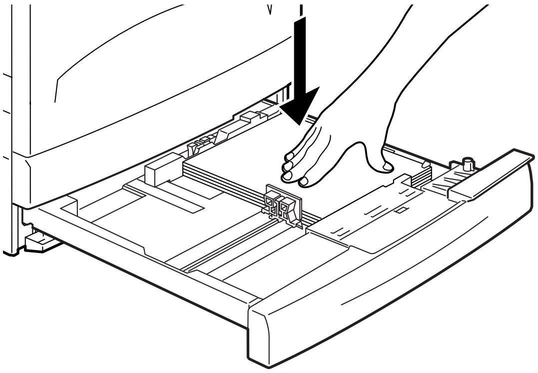
用紙トレイにつまった用紙を取り除く

次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。

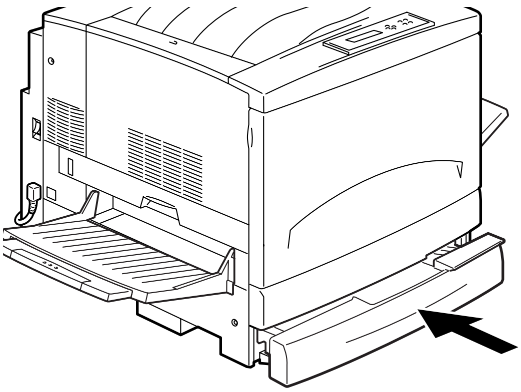


1 用紙トレイを止まるまでゆっくり引き出し、つまっている用紙やシワになっている用紙を取り除く

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



2 用紙トレイの金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないようにロックする



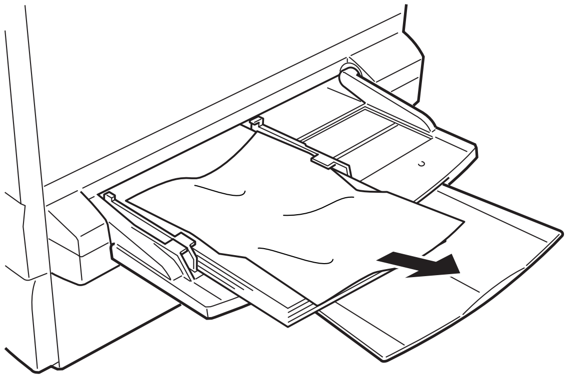
3 用紙トレイを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込む

お願い

強く押し込みすぎないように注意してください。

手差しトレイにつまった用紙を取り除く

次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。



1　手差しトレイからつまっている用紙を取り除く

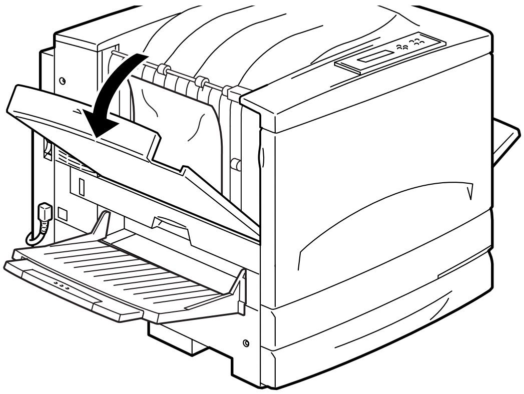
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

お願い

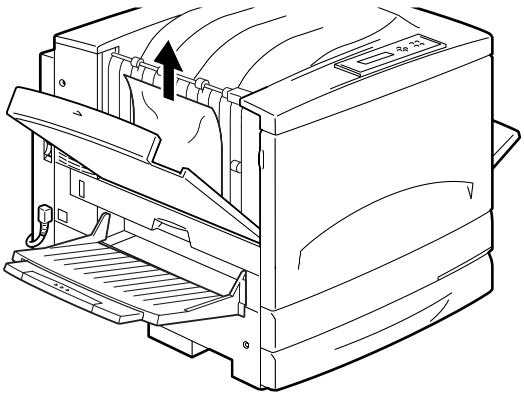
紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、「ユニット C でつまった用紙を取り除く」（260 ページ）の操作を行ってください。

カバー A につまった用紙を取り除く

次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。

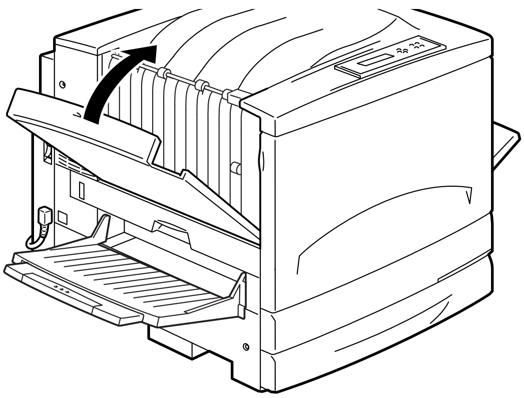


1 カバー A を開く



2 破れないように注意して
つまった用紙を取り除く

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



3 カバー A を閉じる

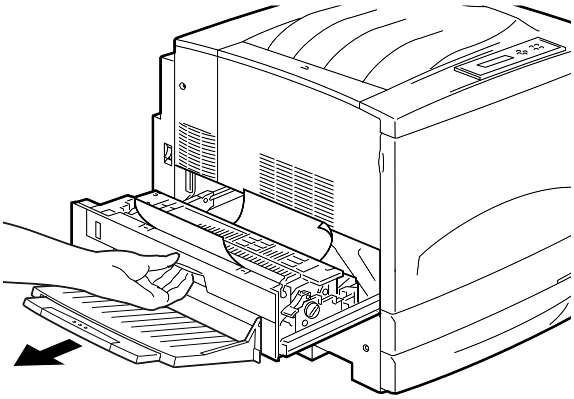
お願い

紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、カバー A を開閉してください。

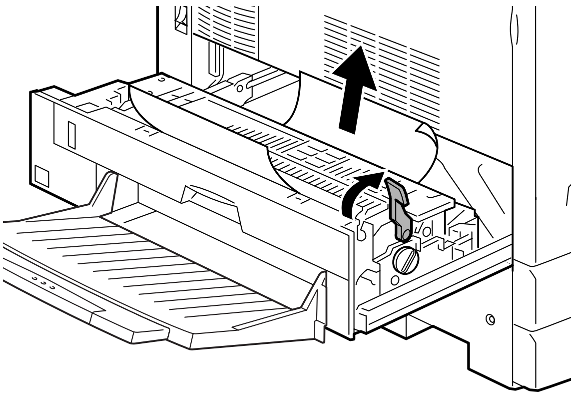
ユニット B につまった用紙を取り除く

⚠ 注意	やけど　印刷した直後は、定着器が高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。



1 ユニット B を、止まるまでゆっくり引き出す

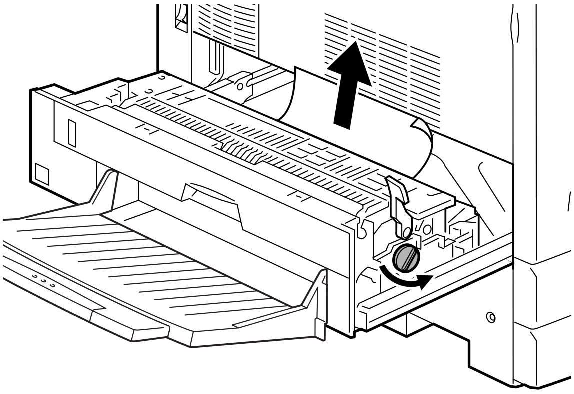


2 ニップレバー (緑色のレバー) を起こし、つまっている用紙を引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

お願い

ヒューザ (定着部) は高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。



3 用紙が見えていない場合は、緑色のノブを矢印の方向に回す
用紙を矢印の方向に引き出す

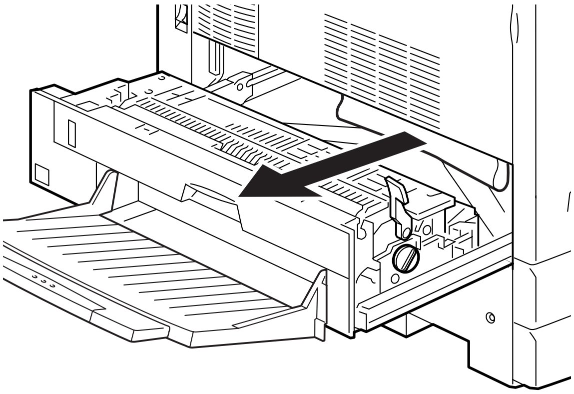
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。
それでも用紙が見つからない場合は、プリンタ内部に用紙が残っている可能性があります。
内部に残っている用紙を探して取り除いてください。

ガイド

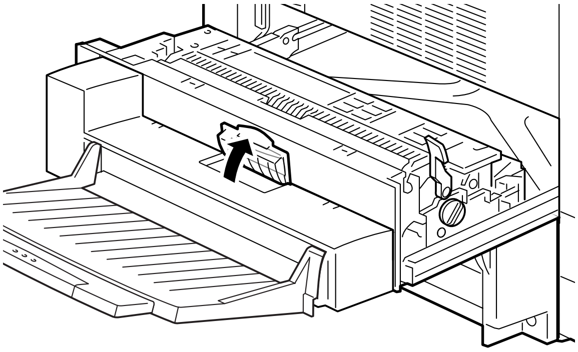
ノブを回しても用紙が引き出せない場合は、ニップレバーを倒してから用紙を引き出してください。

お願い

ヒューザ (定着部) は高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

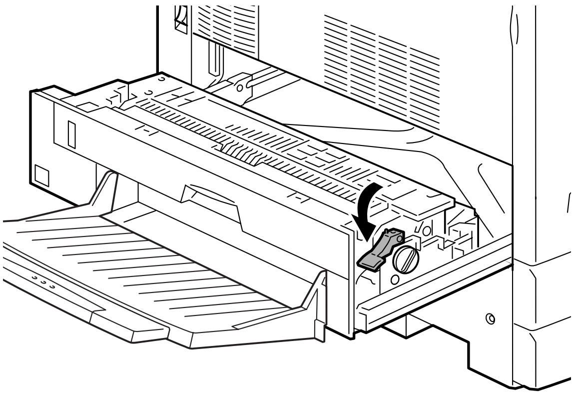


4 さらにプリンタ内部をのぞいて、つまっている用紙を取り除く

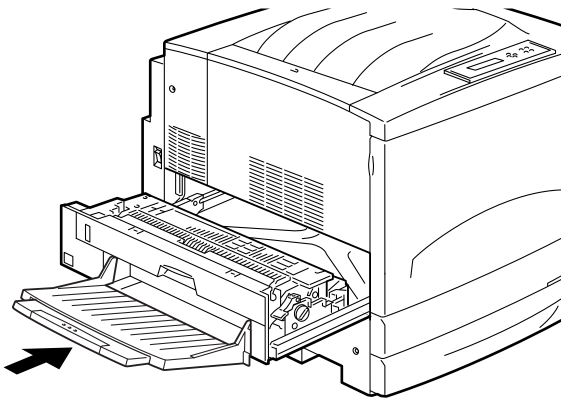


5 両面ユニットを取り付けている場合は、図の透明なカバーを開けて、用紙が残っていないかどうかを確認する

用紙が見つかった場合は、以降の操作を行わず、「カバーの中に用紙が見つかったときは」（253 ページ）に進んでください。



6 ニップレバーを元に戻す



7 ユニット B を、プリンタの奥までしっかり押し込む

8 用紙が見つからない場合は、「カバー A につまった用紙を取り除く」（249 ページ）の操作を行う

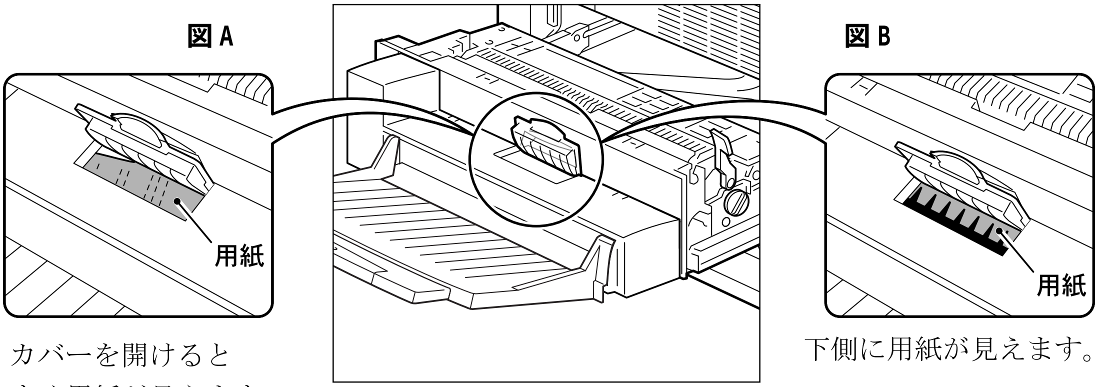
また、両面ユニットを取り付けている場合は、「カバー F につまった用紙を取り除く」（264 ページ）の操作も行ってください。はがきな

どの小さなサイズの用紙が見つからない場合は、次の手順にしたがってください。

カバーの中に用紙が見つかったときは

用紙がつまっている場所に応じて、次の操作を行ってください。

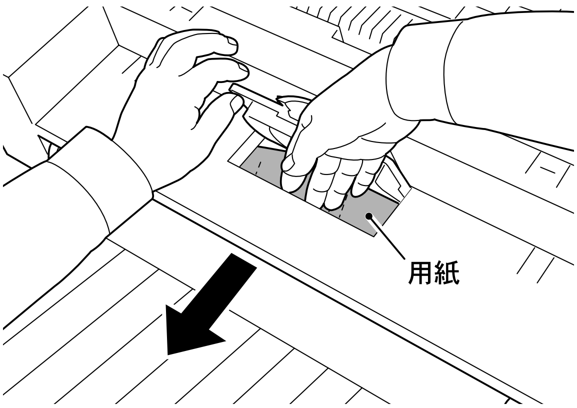
・図 A の状態で用紙がある場合
　「はがきなどの小さい用紙を取り除く」（253 ページ）参照
・図 B の状態で用紙がある場合
　「ユニット B の下側の用紙を取り除く」（255 ページ）参照



カバーを開けると
すぐ用紙が見えます。

下側に用紙が見えます。

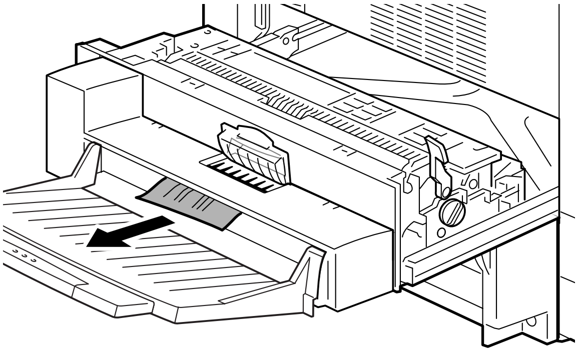
はがきなどの小さい用紙を取り除く



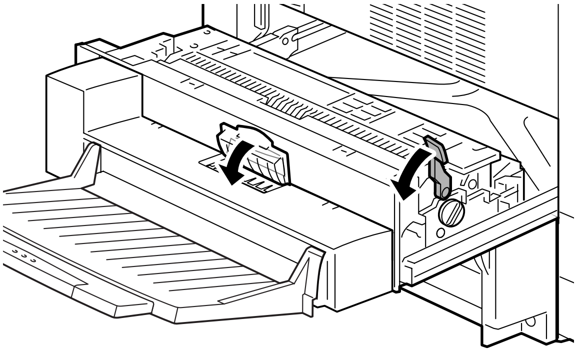
1 カバーを閉じないように軽く手で押さえながら、指で用紙を排出方向にかき出す

運用編

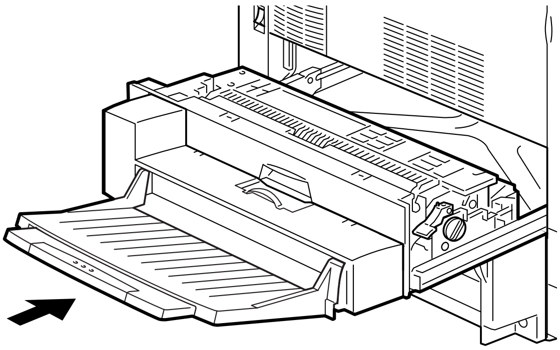
10



2 用紙を矢印の方向に引き出す

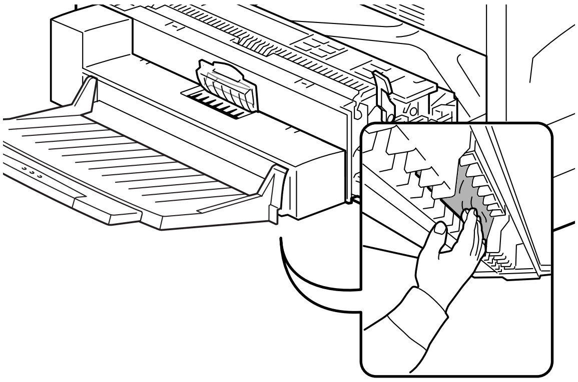


3 カバーとニップレバーを元に戻す

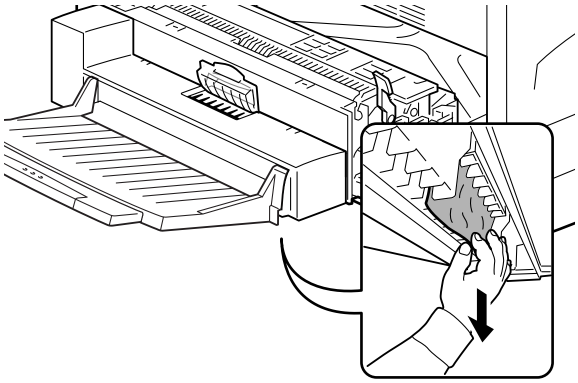


4 ユニット B をプリンタの奥までしっかり押し込む

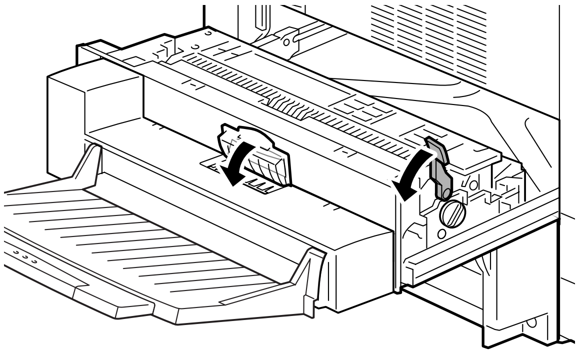
ユニットＢの下側の用紙を取り除く



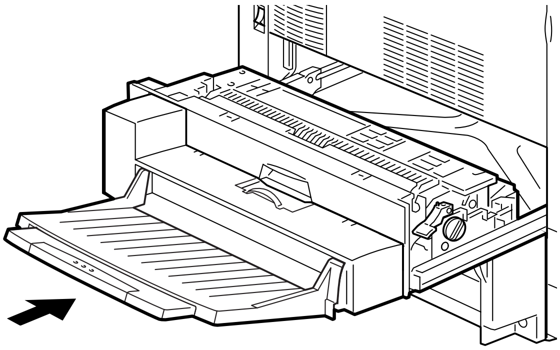
1 カバーを開けたまま、ユニットＢの下側に手を入れ、図の部分に用紙がないかどうかを確認する



2 用紙を下へ引っ張り、取り除く



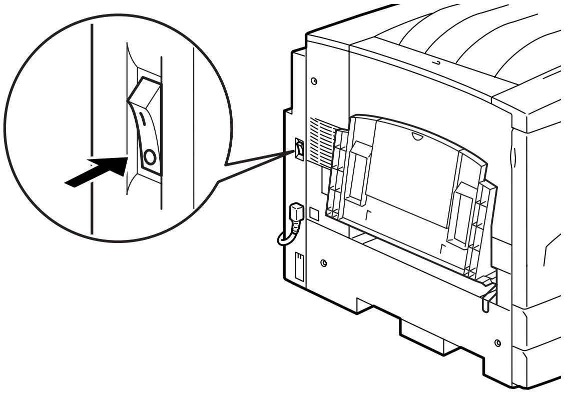
3 カバーとニップレバーを元に戻す



4 ユニット B を、プリンタの奥までしっかり押し込む

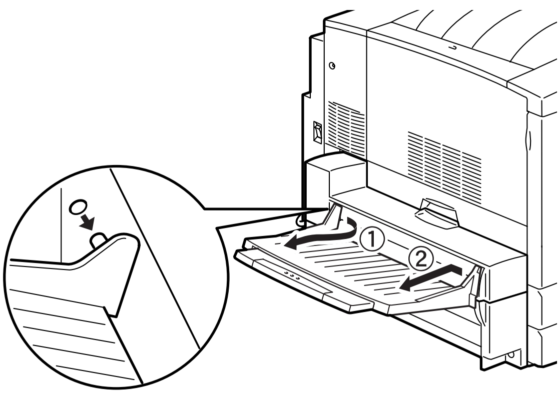
両面ユニット取り付け時に、小さなサイズの用紙がつまったときには

両面ユニットを取り付けている場合、ユニット B のトランスポートとプリンタ本体の間につまっている小さなサイズの用紙は、ユニット B 内部の緑色のノブを回しても取れないときがあります。次の手順にしたがって取り除いてください。



1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔O〕側を押す

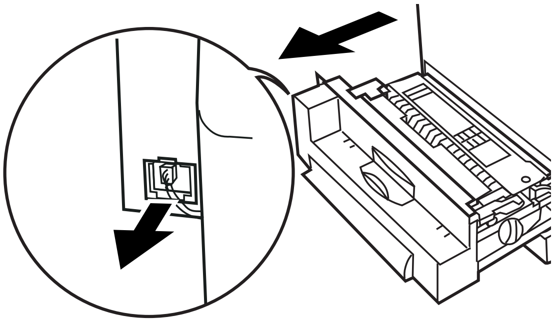
電源が切れます。



2 サイドトレイを右に押しながら、左側の突起部を本体の穴から外す (①)。その後、右側の突起部を本体の穴から外す (②)

お願い

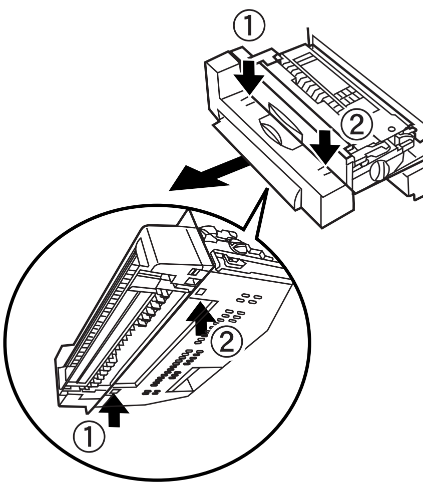
手順２の図にある①部分を曲げすぎないでください。破損の原因となります。



3 ユニット B を引き出し、トランスポートユニット後ろのコネクタをはずす

お願い

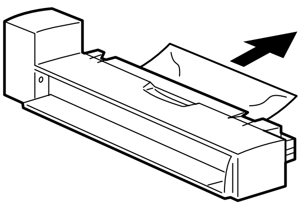
コネクタケーブルを抜くときは、ケーブルの根元をしっかり持って抜いてください。



4 トランスポートユニット左側の上下ラッチ①を同時に押しはずした後、右側の上下ラッチ②を同時に押してユニットを取りはずす

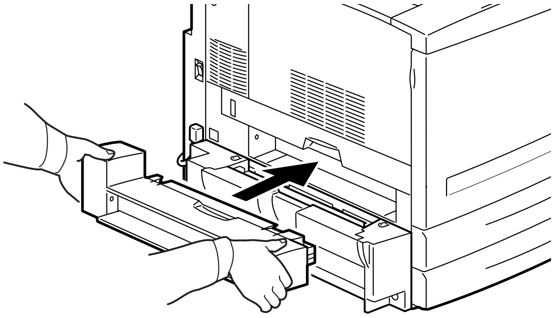
ガイド

下側のラッチ部は、緑色となっています。押す位置がわからない場合は、下面を確認してください。

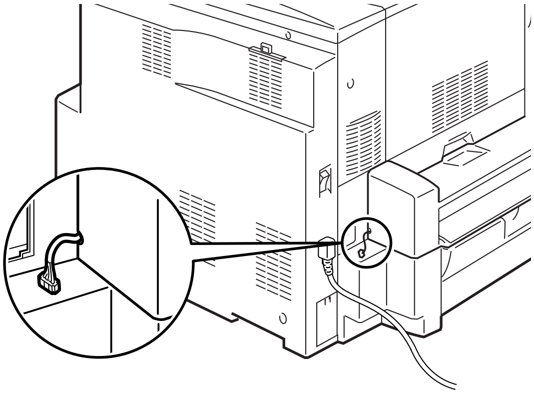


5 つまっている用紙を取り除く

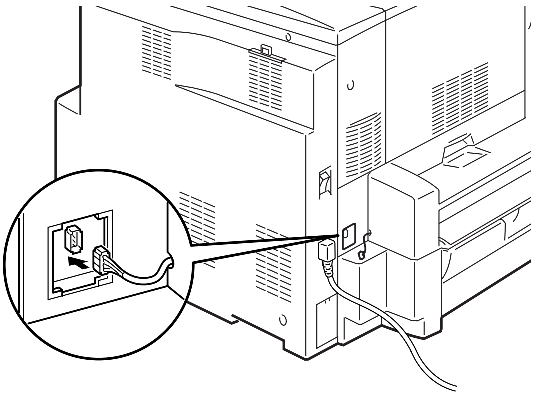
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



6 トランスポートを両手で持ち、ユニットBにしっかりはめ込む



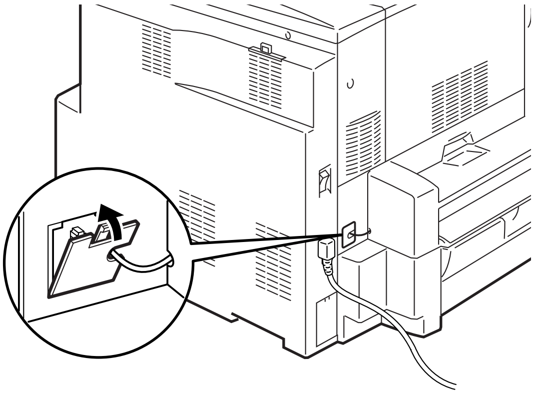
トランスポートに付いているコネクタケーブルが、左側に出るように取り付けてください。



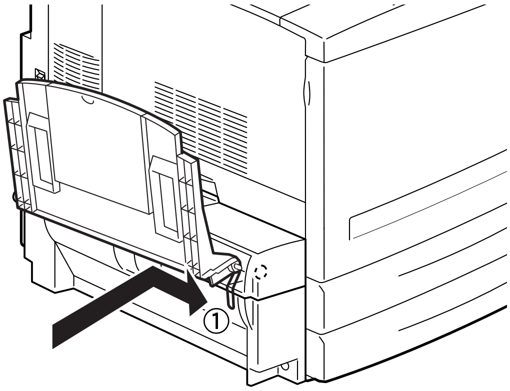
7 トランスポートのコネクタケーブルを、ユニットB側のコネクタにしっかり接続する

お願い

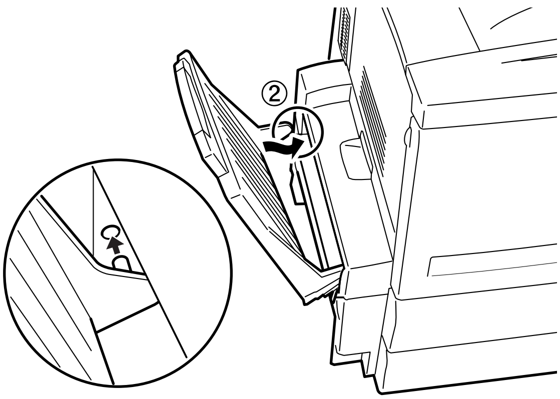
コネクタを必要以上に押し込まないでください。指や爪を傷つけるおそれがあります。



8 コネクタカバーをカチッと音がするまで押し込む



9 サイドトレイを立てるように持ち、トレイの右側の突起部をプリンタの穴にはめ込む (①)。このとき、金属部分がトレイの外側に出るようにする



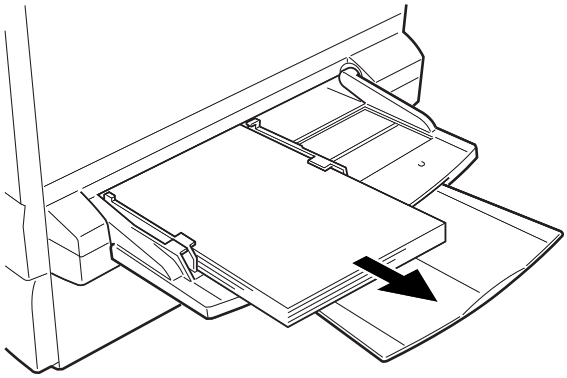
10 サイドトレイの左側の突起部をプリンタの穴にはめ込む (②)

お願い

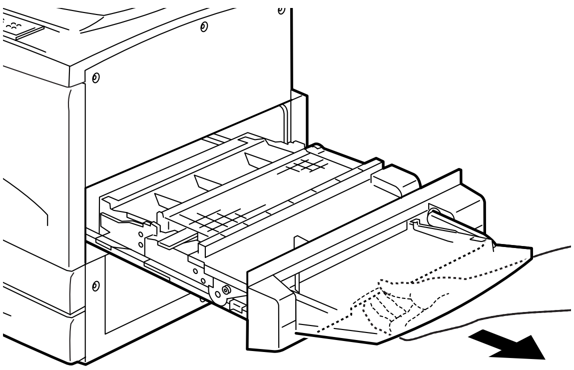
上図②の部分を曲げすぎないでください。破損の原因となります。

ユニット C でつまった用紙を取り除く

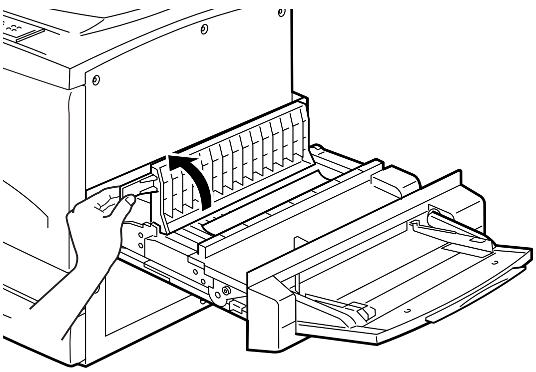
次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。



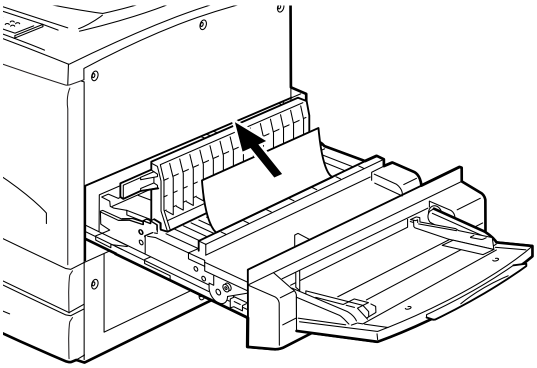
1 手差しトレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除く



2 ユニット C が止まるまでゆっくり引き出す

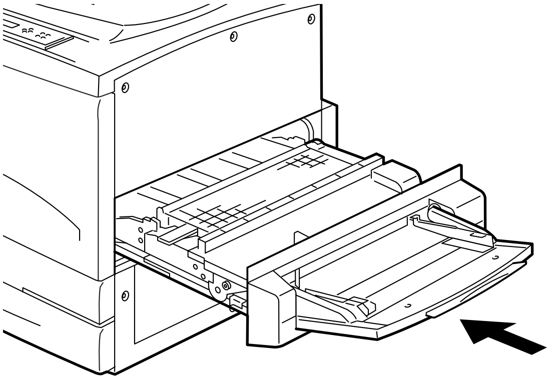


3 取っ手を持ち上げて、カバーを開く

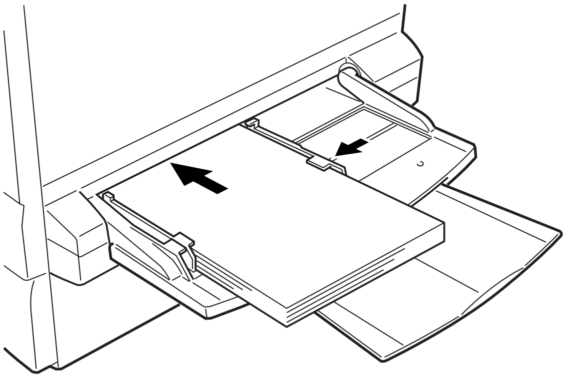


4 つまっている用紙を引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



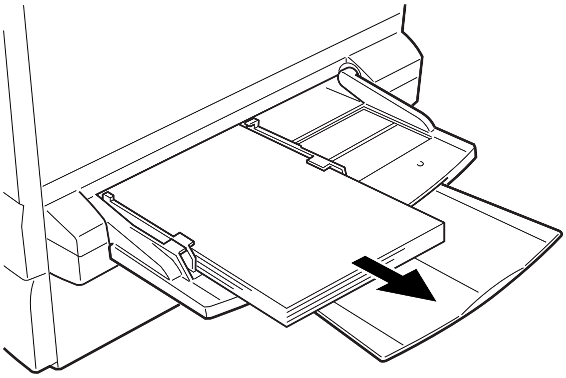
5 カバーを閉じ、ユニット C をプリンタの奥までしっかり押し込む



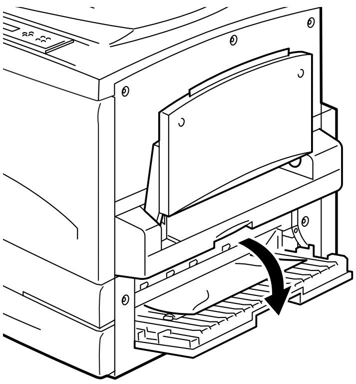
6 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直す

カバー D につまった用紙を取り除く

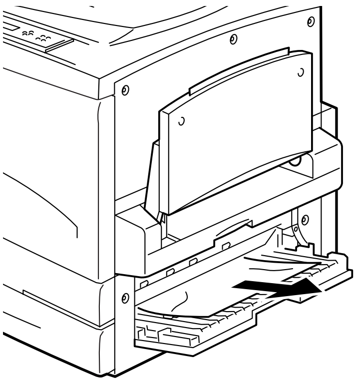
次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。



1 手差しトレイに用紙をセットしている場合は、用紙を取り除いてから、手差しトレイを折りたたむ

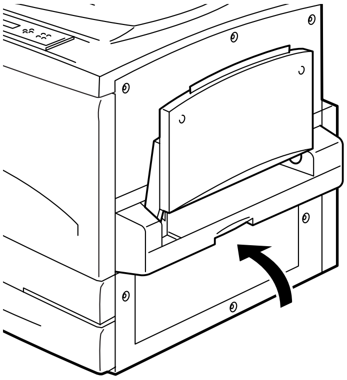


2 カバー D を開く

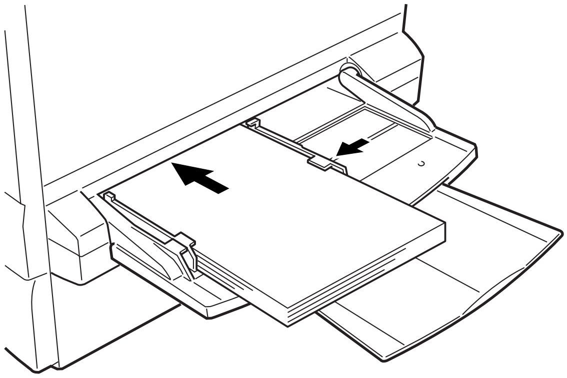


3 つまっている用紙を引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



4 カバー D を閉じる

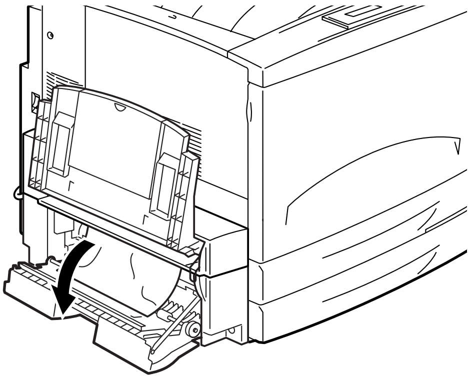


5 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直す

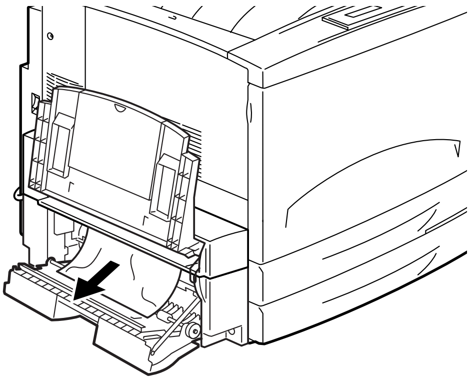
6 用紙が見つからない場合は、用紙トレイの中につまっている可能性がある。「用紙トレイにつまった用紙を取り除く」（247 ページ）の操作を行う

カバー F につまった用紙を取り除く

次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。

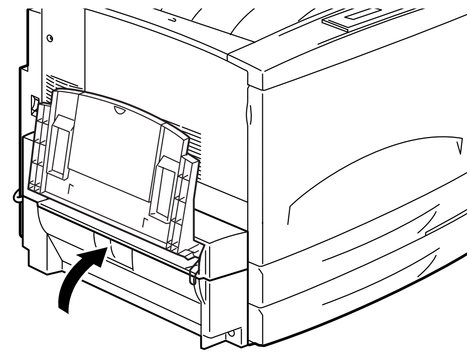


1 カバー F を開く



2 つまっている用紙を取り除く

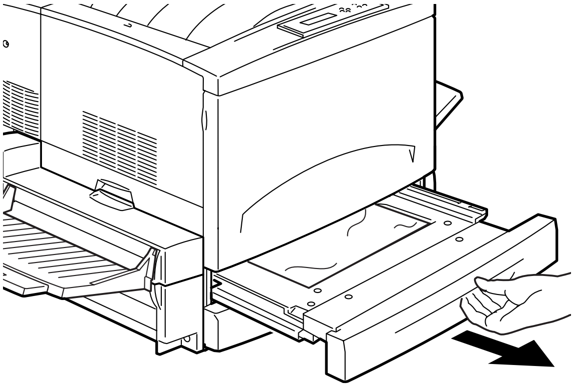
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



3 カバー F を閉じる

両面ユニットでつまった用紙を取り除く

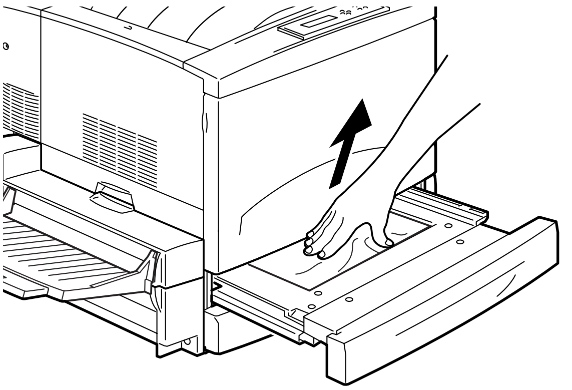
次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。



1 両面ユニットを止まるまでゆっくり引き出す

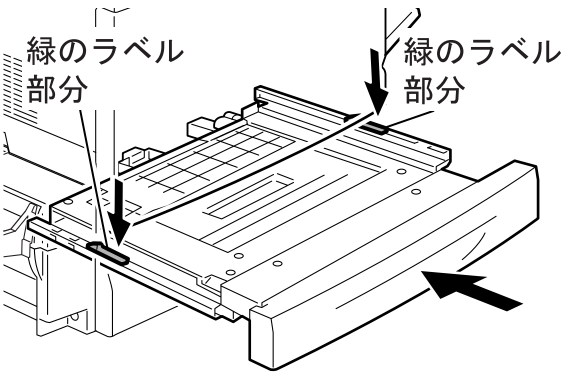
お願い

オペレータパネルに、紙づまり表示が出ていないときは、引き出さないでください。
両面ユニットを引き出す場合、事前にカバー F とカバー D を開き、用紙がつまっていないことを確認してください。



2 つまっている用紙やシワになっている用紙をつまんで引き抜く

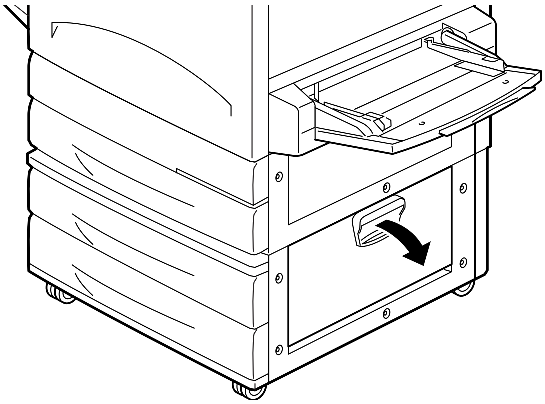
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



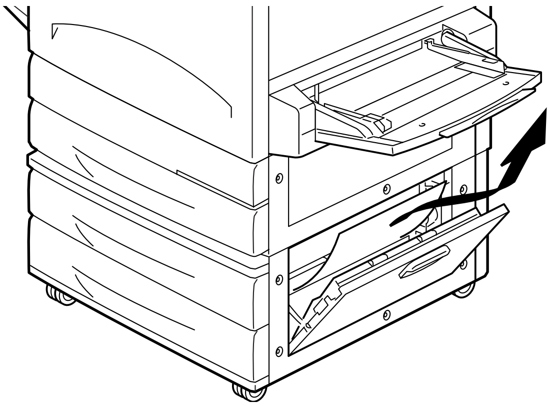
3 両面ユニットを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込む

拡張給紙ユニットでつまった用紙を取り除く

次の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。
拡張給紙ユニットの用紙トレイでの紙づまりについては「用紙トレイにつまった用紙を取り除く」（247 ページ）を参照してください。



1 拡張給紙ユニットのカバー E を開く



2 つまった用紙を取り除く

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

3 拡張給紙ユニットのカバー E を閉じる

お願い

紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、拡張給紙ユニットのカバー E を開閉してください。用紙を取り除いてもエラー状態が解除されない場合は、ユニット C 内部に紙づまりがないか確認してください。

トラブル処理のながれ

トラブルが発生した場合の対処方法の流れは、次のとおりです。
以下の流れに従って、対処してください。

トラブル発生

↓

「トラブルが発生したとき」(269ページ)を確認してください

↓

印字品質が悪くありませんか?

悪い場合 → **「印刷に関するトラブル」(271ページ)**

↓

オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されていませんか

表示されている場合 → **「メッセージが表示されるとき」(283ページ)**

↓

お使いのネットワーク環境に対し、プリンタ本体、お使いのパソコン、サーバなどは正しく設定されていますか?

確認する場合 → **各ネットワーク環境設定記載部分**

「TCP/IP環境使用時のトラブル」(277ページ)または、「TCP/IP(lpr)の注意と制限」(298ページ)を参照し、システム管理者などの担当者が、処置を行ってください。

↓

本プリンタの注意制限の場合があります

「その他の注意と制限」(300ページ)を参照し、確認してください。

ガイド

上記の流れにしたがって対処しても、トラブルが処置できなかった場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(318 ページ) にご連絡ください。
また、装置の故障と思われる場合は、「ハードウェア修理相談センター」(318 ページ) にご連絡ください。

トラブルが発生したとき

故障かなと思ったときは、もう一度、本プリンタの状態を確認してください。

ここで説明する処置をしても解決できない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、お買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（318 ページ）へご連絡ください。

⚠ 警告

感　電	本プリンタは精密部品、および高圧電源を使用しています。 ネジで固定されているパネルやカバーなどは取扱説明書で指示している箇所以外は、絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。オプションの着脱作業でネジで固定されているパネルやカバーを開ける場合には、必ず各取扱説明書の指示に従ってください。
火　災	プリンタを改造したり、部品を変更して使用したりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。

ガイド

印刷処理が正しく行われなかったときの情報は、「プリント履歴レポート」に保存されます。
印刷処理がされていない場合は、「プリント履歴レポート」を印刷して、印刷処理状況を確認してください。なお、正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

参照

「プリント履歴レポート」の印刷方法については、「レポート / リストを印刷する」（149 ページ）を参照してください。

電源投入時のトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない	・プリンタの電源未投入 ・電源コードの抜け ・停電	・電源スイッチを確認してください。 ・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。
電源を投入してもすぐに切れる	・コンセントに問題あり ・電圧が違う ・ブレーカの定格不足 ・プリンタ故障の可能性	・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。プリンタは、定格電圧 100V(ボルト) で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で接続してください。パソコンの背面にあるコンセントには、接続できません。 ・ブレーカの定格を調べてください。 ・プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入元、またはハードウェア修理相談センターにご連絡ください。（318 ページ） 参照　「安全上のご注意」（iii ページ） 「電源を入れる」（48 ページ）
電源を投入直後に、オペレータパネルに何も表示がなく、ブザーが鳴っている	・拡張メモリの取り付け不良	・拡張メモリが確実に取り付けられていることを確認してください。 参照　「拡張メモリを取り付ける」（39 ページ）
電源を投入後、5 分以上たってもオペレータパネルの表示が「シンダンシテイマス」のまま	・拡張メモリの取り付け不良	・拡張メモリが確実に取り付けられていることを確認してください。 参照　「拡張メモリを取り付ける」（39 ページ）
	・両面ユニットの装着	・両面ユニットおよびケーブルが確実に接続されているか確認してください。 参照　両面ユニット添付の取扱説明書

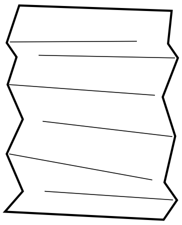
印刷に関するトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜けている ・プリンタケーブルが仕様に合っていない ・オンライン状態でない	・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・〔オンライン〕ランプが点灯し、『プリントデキマス』と表示されていることを確認してください。 参照　「電源を入れる」（48 ページ） 「第 7 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）
エラーメッセージが表示され、印刷されない		・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照　「メッセージが表示されるとき」（282 ページ）
印刷を実行しても〔処理中〕ランプが点灯したまま、点滅しない	・プリンタケーブルが抜けている ・パソコン側の設定が正しくない	・プリンタの電源をいったん切断（○側）し、プリンタケーブルの接続を確認してください。 ・プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。 参照　「電源を入れる」（48 ページ） 「第 4 章　プリンタドライバのインストール」（61 ページ）
〔処理中〕ランプが点灯または点滅したまま、排紙されない	・プリンタ内にデータが残っている	・プリントを中止するか、残っているデータを強制排出してください。 参照　「残ったデータを強制排出する」（176 ページ）
両面印刷されないでサイドトレイに用紙が排出されたり、用紙づまりになる	・両面ユニットのトランスポータのケーブルがプリンタ本体に確実に接続されていない	・両面ユニットのトランスポータのケーブルが確実に接続されているか確認してください。 参照　両面ユニット添付の取扱説明書

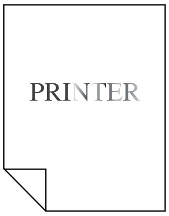
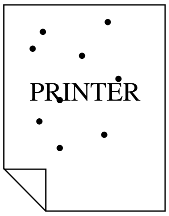
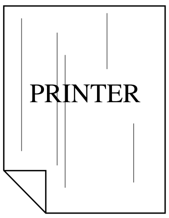
運用編

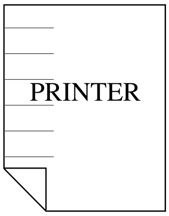
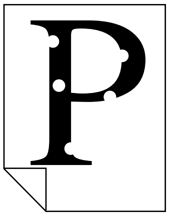
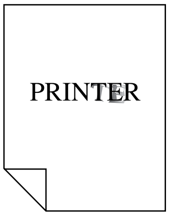
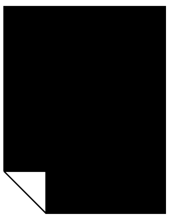
10

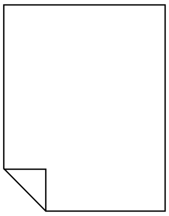
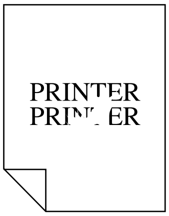
用紙に関するトラブル

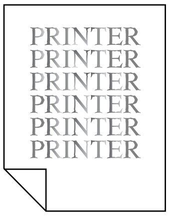
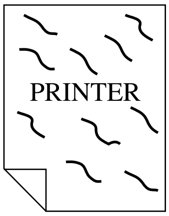
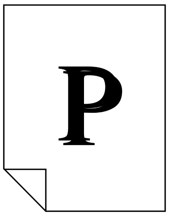
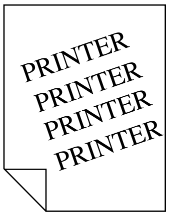
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が傾く、外れる、破れる、つまるシワがつく	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・用紙がつまっている	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「安全上のご注意」（iii ページ） 「第 5 章　用紙について」（103 ページ） 「紙づまりになったとき」（245 ページ）
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 参照 「用紙をセットする」（38 ページ）
用紙にシワがつく 	使用している用紙が適切ではない	・適切な用紙をセットしてください。 参照 「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	用紙が湿気を含んでいる	・新しい用紙に交換してください。 参照 「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	用紙のセットが適切ではない	・用紙を正しくセットしてください。 参照 「用紙をセットする」（38 ページ）

印刷品質に関するトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
裏面が汚れる  	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	・数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 参照　「プリンタを清掃する」（158 ページ）
印刷がうすい（かすれる、不鮮明）  	用紙が湿気を含んでいる	・新しい用紙に交換してください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	使用している用紙が適切ではない	・適切な用紙をセットしてください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
	トナーカートリッジ内にトナーがない	・新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（131 ページ）
黒点が印刷される  	使用している用紙が適切ではない	・適切な用紙をセットしてください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
黒線が印刷される  	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
等間隔に汚れる 	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照　「プリンタを清掃する」（158 ページ）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
黒く塗りつぶされた部分に白点がある 	使用している用紙が適切ではない	・適切な用紙をセットしてください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
	用紙の表裏が逆にセットされている	・適切な印刷面をセットしてください。 参照　「用紙をセットする」（38 ページ）
指でこするとトナーがかすれる 	用紙が湿気を含んでいる	・新しい用紙に交換してください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	使用している用紙が適切ではない	・適切な用紙をセットしてください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	厚紙を使用している	・設定を厚紙にしてください。 参照　「印刷機能の設定について」（183 ページ）
用紙全体が黒く印刷される 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる	・お買上げの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(318ページ)にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない 	ドラムカートリッジの保護シートが完全に引き抜かれていない	・保護シートをはがします。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」(138 ページ)
	一度に複数枚の用紙が搬送されている	・用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照　「用紙をセットする」(38 ページ)
	トナーカートリッジにトナーが残っていない	・新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」(131 ページ)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」(138 ページ)
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる	・お買上げの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(318ページ)にご連絡ください。
白抜けが起こる 	用紙が湿気を含んでいる	・新しい用紙に交換してください。 参照　「第 5 章　用紙について」(103 ページ)
	使用している用紙が適切ではない	・適切な用紙をセットしてください。 参照　「第 5 章　用紙について」(103 ページ)
	ドラムカートリッジの保護シートが完全に引き抜かれていない	・保護シートをはがします。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」(138 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではない	・適切な用紙をセットしてください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	用紙が湿気を含んでいる	・新しい用紙に交換してください。 参照　「第 5 章　用紙について」（103 ページ）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
不要なトナーがつく 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
太い文字に影が出る 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
斜めに印刷される 	用紙トレイのガイドクリップが正しい位置にセットされていない	・縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。 参照　「用紙をセットする」（38 ページ）

ネットワーク関連のトラブル（プリンタ LAN カード取り付け時）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
Internet Services に接続できない	インターネットアドレスが正しく入力されていない	インターネットアドレスをもう一度確認してください。それでも接続できない場合は、IP アドレスを使用して接続してください。
	プロキシサーバを使用している	プロキシサーバによっては、接続できない場合があります。 WWW ブラウザの設定で、プロキシサーバを使用しないように設定するか、接続したいアドレスをプロキシサーバを使用しないで接続するように設定してください。
電子メールで状態を確認できない	読み取り / フルアクセスパスワードが間違っている	正しいパスワードを入力してください。
	#Password コマンドを先頭に記述していない	#Password コマンドは、メールの本文の先頭に記述してください。
電子メールでエラーが通知されない	POP アカウントおよびパスワードが間違っている	正しい値を入力してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていない	Internet Services で、メールで通知したい項目をチェックしてください。

TCP/IP 環境使用時のトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
IP アドレスがプリンタの電源を入れるたびに変わってしまう	プリンタの IP アドレを DHCP サーバから取得するよう設定されていませんか。	固定の IP アドレスを割り当てる場合は、オペレータパネルを使用して〔5 ネットワーク〕の〔IP アドレスセットアップ〕を〔パネル〕に設定し、割り当てる IP アドレスを〔IP アドレス〕で入力してください。 参照　『XL-C3200 ネットワークガイド』「IP アドレスを設定する」

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
Internet Services に接続できない	プリンタの電源が切れていませんか。	電源スイッチの〔|〕側を押して電源を入れてください。 参照　「電源を入れる」（48 ページ）
	インターネットアドレスは、正しく入力されていますか。	インターネットアドレスをもう一度確認してください。それでも接続できない場合はは、IP アドレスを使用して接続してください。
	IP アドレスは、正しく入力されていますか。	IP アドレスが変更されている可能性もあります。ネットワーク管理者に確認し、正しく設定してください。現在プリンタに設定されている IP アドレスは、プリン設定リストで確認できます。 参照　「プリンタの設定を確認する」（50 ページ） 『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 1 章 ネットワークプリンタの設定」の「IP アドレスを設定する」
	プロキシサーバを使用していますか。	プロキシサーバによっては、接続できない場合があります。 WWW ブラウザの設定で、プロキシサーバを使用しないように設定するか、接続したいアドレスをプロキシサーバを使用しないで接続するように設定してください。 『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 6 章 Internet Services の設定」の「ブラウザを設定する」
	ポート番号を正しく指定していますか。	工場出荷時のポート番号は、〔80〕です。正しいポート番号を指定してください。 『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 6 章 Internet Services の設定」の「プロキシサーバとポート番号を設定する」
Internet Services が正しく動作しない		Internet Services が正しく動作しない場合は『XL-C3200 ネットワークガイド』「第 8 章 ネットワーク利用時のトラブル対処方法」の「Internet Services 使用時のトラブル」を参照して対処してください。

その他のトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照　「第 7 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・用紙トレイの装着が不完全 ・プリンタの設置場所が水平でない	・プリンタ内部を点検してください。 ・用紙トレイを完全に装着してください。 参照　「用紙をセットする」（38 ページ） 「紙づまりになったとき」（245 ページ） ・プリンタを安定した平面の上に移動してください。
エラーランプが点灯している	オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されている	オペレータパネルに表示されているエラーメッセージの内容を確認して、エラーの対処をしてください。 参照　「メッセージが表示されるとき」（282 ページ）
エラーランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生している	表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入元、またはハードウェア修理相談センター（318 ページ）にご連絡ください。
処理中ランプが消えている	オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が、メニュー画面になっている	オペレータパネルの〔メニュー〕スイッチを押してプリント画面に切り替えてください。 参照　「第 7 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	プリンタケーブル、プリンタ USB ケーブルやプリンタ LAN ケーブルが抜けている、またはゆるんでいる	プリンタの電源を切り、ケーブルを差し込み直してください。 参照　「ケーブルを接続する」（44 ページ）
	プリンタケーブルやプリンタ LAN ケーブルが、パソコンやプリンタの仕様に合っていない	本プリンタでは、接続するパソコンに合わせたプリンタケーブル、プリンタ LAN ケーブル、プリンタ USB ケーブルを用意しています。こちらを使用してください。 また、本プリンタでサポートしている LAN インタフェースは、10BASE-T と 100BASE-TX です。ネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを使用してください。なお、100BASE-TX の場合は、カテゴリー 5 のケーブルが必要です。 参照　「オプション品について」（147 ページ）
	パソコン側の環境は、正しく設定されていない	パソコン側で次の設定を確認し、違っている場合は、設定し直してください。 ・ 使用しているパソコンの OS に合った本プリンタ用のプリンタドライバを正しくインストールしていること ・ プリンタドライバで印刷先のポートを正しく設定していること 参照　「第 4 章 プリンタドライバのインストール」（61 ページ）
印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	プリンタ側のネットワーク環境は正しく設定されていない（ネットワーク使用時）	プリンター設定リストを印刷し、ネットワーク環境が正しく設定されているかどうかを確認してください。設定が違っている場合は、正しく設定してください。 参照　「プリンタの構成やネットワーク設定を確認する」（150 ページ） 「プリンタの環境を設定する」（52 ページ）
	ネットワーク上に異常が発生した可能性がある（ネットワーク使用時）	プリンタの電源が入っていることを確認してから、再度パソコンから印刷を指示してください。 それでも、同様の症状が発生する場合は、ネットワーク管理者に相談してください。
	プリンタの電源が切れている	電源スイッチの〔I〕側を押して電源を入れてください。 参照　「電源を入れる」（48 ページ）
処理中ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	プリンタ内にデータが残っている可能性がある	印刷を中止するか、残っているデータを強制排出してください。 参照　「プリンタ側で印刷を中止する」（178 ページ） 「残ったデータを強制排出する」（176 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷できない	プリンタ画面でプリンタの状態表示が「一時停止」になっている	印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷を停止した場合、プリンタの状態が「一時停止」になることがあります。「一時停止」になっているときは、次の手順で解除してください。 ①〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックします。 ② 本プリンタのプリンタアイコンをダブルクリックします。 ③ プリンタ画面の〔プリンタ〕メニューをクリックします。 ④〔一時停止〕の左にチェックが付いている場合は、〔一時停止〕をクリックします。
	プリンタの電源が切れている。	電源スイッチの〔I〕側を押して電源を入れてください。 参照　「電源を入れる」（155 ページ）
	プリンタケーブル、プリンタUSBケーブルやプリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンタの電源を切り、ケーブルを差し込み直してください。 参照　「ケーブルを接続する」（44 ページ）

運用編

10

メッセージが表示されるとき

ここでは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されるエラーメッセージの意味と、メッセージが表示されたときの対処方法を説明します。
エラーメッセージには、印刷はできるが注意が必要なことを示す警告メッセージと、エラー状態を解除するために何らかの処置が必要なことを示すエラーメッセージがあります。
エラーメッセージが表示された場合は、次の中から該当するメッセージを探し、適切な処置をしてください。
次のメッセージは、五十音順になっています。

ガイド　エラーメッセージの文字数が、液晶ディスプレイの表示桁範囲を超えた場合は、画面が 3 秒間隔で切り替わって表示されます。

〔エラー〕ランプが点灯している場合

〔エラー〕ランプが点灯している場合は、紙づまりなど、お客さま自身で対処可能なエラーが発生しています。ディスプレイに表示されるエラーメッセージに従って、適切な処置をしてください。

ガイド　エラーメッセージの文字数がディスプレイの表示桁数を越えた場合は、画面が 3 秒間隔で切り替わって表示されます。

表示メッセージ	表示内容と処置
ｶﾊﾞｰAｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	カバー A が開いています。 カバー A を確実に閉じてください。 参照　「カバー A につまった用紙を取り除く」(249 ページ)
ｶﾊﾞｰDｦﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	カバー D が開いています。 カバー D を確実に閉じてください。 参照　「カバー D につまった用紙を取り除く」(262 ページ)
ｶﾊﾞｰEｦﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	拡張給紙ユニットカバー E が開いています。 拡張給紙ユニットカバー E を確実に閉じてください。 参照　「拡張給紙ユニットでつまった用紙を取り除く」(267 ページ)

表示メッセージ	表示内容と処置
ｶﾊﾞｰ F ﾄ D ｦｱｹﾃ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタ内で用紙がつまりました。 カバー F とカバー D を開けて、用紙を取り除いてください。 参照　「カバー D につまった用紙を取り除く」（262 ページ） 「カバー F につまった用紙を取り除く」（264 ページ）
ｶﾊﾞｰ F ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	カバー F が開いています。 カバー F を閉じてください。 参照　「カバー F につまった用紙を取り除く」（264 ページ）
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ｶﾊﾞｰ A ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタ内の左側面付近で用紙がつまりました。 カバー A を開けて、つまっている用紙を取り除いてください。 参照　「カバー A につまった用紙を取り除く」（249 ページ）
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ｶﾊﾞｰ D ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタ内の右側面付近で用紙がつまりました。 カバー D を開けて、つまっている用紙を取り除いてください。 参照　「カバー D につまった用紙を取り除く」（262 ページ）
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ｶﾊﾞｰ D､ｶﾊﾞｰ E､ﾕﾆｯﾄ C ｦ ｱｹﾙ	用紙トレイ 2 ～ 3 から給紙しているときに、プリンタ内で用紙がつまりました。 ユニット C とカバー D、拡張給紙ユニットカバー E を開けて、つまっている用紙を取り除いてください。 また、用紙トレイで用紙がつまっていないかどうかも確認してください。 参照　「用紙トレイにつまった用紙を取り除く」（247 ページ） 「ユニット C でつまった用紙を取り除く」（260 ページ） 「カバー D につまった用紙を取り除く」（262 ページ） 「拡張給紙ユニットでつまった用紙を取り除く」（267 ページ）
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ｶﾊﾞｰ D ﾄｶﾊﾞｰ E ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙トレイ 2 ～ 3 から給紙しているときに、プリンタ内で用紙がつまりました。 カバー D および拡張給紙ユニットカバー E を開けて、つまっている用紙を取り除いてください。 また、用紙トレイで用紙がつまっていないかどうかも確認してください。 参照　「カバー D につまった用紙を取り除く」（262 ページ） 「拡張給紙ユニットでつまった用紙を取り除く」（267 ページ）

表示メッセージ	表示内容と処置
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾕﾆｯﾄ B ﾄｶﾊﾞｰ F ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	両面印刷時に、プリンタ内で用紙がつまりました。 ユニット B とカバーF を開けて、つまっている用紙を取り除いてください。 参照　「ユニット B につまった用紙を取り除く」(250 ページ) 「カバー F につまった用紙を取り除く」(264 ページ)
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾕﾆｯﾄ B ｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタ内で用紙がつまっています。 ユニットBを引き出し、つまっている用紙を取り除いてください。 参照　「ユニット B につまった用紙を取り除く」(250 ページ)
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾕﾆｯﾄ C ｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙トレイ 1 または手差しトレイから給紙しているときに、プリンタ内で用紙がつまりました。 ユニットCを引き出し、つまっている用紙を取り除いてください。 また、手差しトレイや用紙トレイで用紙がつまっていないかどうかも確認してください。 参照　「用紙トレイにつまった用紙を取り除く」(247 ページ) 「手差しトレイにつまった用紙を取り除く」(248 ページ) 「ユニット C でつまった用紙を取り除く」(260 ページ)
ｺﾉﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞﾊﾂｶｴﾏｾﾝ ID ｴﾗｰ	ドラムカートリッジが不良です。 ドラムカートリッジを交換してください。 参照　「サプライ品について」(128 ページ) 「ドラムカートリッジを交換する」(138 ページ)
ｺﾉﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞﾊﾂｶｴﾏｾﾝ ﾗｲﾄｴﾗｰ	ドラムカートリッジが不良です。 ドラムカートリッジを交換してください。 参照　「サプライ品について」(128 ページ) 「ドラムカートリッジを交換する」(138 ページ)
ｽﾍﾞﾃﾉﾄﾚｲﾆ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	用紙トレイ 1 から用紙トレイ N までのすべての用紙トレイに用紙がありません。 用紙トレイに用紙を補給してください。 参照　「用紙をセットする」(114 ページ)
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾆ XXXX ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	手差しトレイに XXXX の用紙がセットされていないか、パソコン側で指定した用紙と、実際にセットされている用紙のサイズが違っています。 (ユーザー定義サイズ時) 手差しトレイに XXXX の用紙を補給してください。 参照　「手差しトレイに用紙をセットする」(120 ページ)

表示メッセージ	表示内容と処置
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾉﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	手差しトレイに用紙が正しくセットされていないか、パソコン側で指定した用紙と、実際にセットされている用紙のサイズが違っています。 手差しトレイの用紙を正しくセットしてください。 参照　「手差しトレイに用紙をセットする」（120 ページ）
XX ﾄﾅｰ (X) ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジの交換時期です。 メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（131 ページ）
XX ﾄﾅｰ (X) ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジがセットされていません。 メッセージの色のトナーカートリッジをプリンタに確実にセットしてください。 参照　「トナーカートリッジを取り付ける」（35 ページ）
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジを交換してください。 参照　「サプライ品について」（128 ページ） 「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ドラムカートリッジがセットされていません。 ドラムカートリッジをプリンタ本体に確実にセットしてください。 参照　「ドラムカートリッジを取り付ける」（32 ページ） 「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
ﾄﾚｲ 1 ﾆ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	用紙トレイ 1 に用紙を補給してください。 参照　「用紙をセットする」（38 ページ）
ﾄﾚｲ N ﾆ XXXX ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙トレイ N に XXXX の用紙がセットされていないか、パソコン側で指定した用紙と、実際にセットされている用紙のサイズが違っています。 用紙トレイ N に XXXX の用紙を補給してください。 参照　「用紙をセットする」（38 ページ）
ﾄﾚｲ N ﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	用紙トレイ　N　に用紙が正しくセットされていないか、パソコン側で指定した用紙と、実際にセットされている用紙のサイズが違っています。 用紙トレイ N の用紙を正しくセットしてください。 参照　「設置手順」（15 ページ） 「用紙をセットする」（38 ページ）

運用編

10

表示メッセージ	表示内容と処置
ﾄﾚｲﾆ XXXX ｦ ﾎｷｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ	指定されたサイズの用紙を給紙する用紙トレイがありません（給紙方法を自動選択（AUTO）に指定している場合）。 指定されたサイズの用紙がセットされた用紙トレイをプリンタ本体に装着してください。 参照　「設置手順」（15 ページ） 「用紙をセットする」（38 ページ）
ﾄﾚｲｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	すべての用紙トレイが正しく装着されていません。 プリンタ本体にすべての用紙トレイを装着してください。 参照　「設置手順」（15 ページ） 「用紙をセットする」（38 ページ）
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	廃トナーボックスの交換時期です。 廃トナーボックスを交換してください。 参照　「サプライ品について」（128 ページ） 「廃トナーボックスを交換する」（144 ページ）
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	廃トナーボックスがセットされていません。 廃トナーボックスをプリンタ本体に確実にセットしてください。 参照　「廃トナーボックスを交換する」（144 ページ）
ﾋﾀﾞﾘｼﾀﾕﾆｯﾄﾄ ﾋﾀﾞﾘｳｴｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾙ	プリンタ内で用紙がつまっています。 左下ユニットを引き出し、つまっている用紙を取り除いてください。 その後、さらに処置が必要な場合は、別のメッセージが表示されますので、その指示に従って用紙を取り除いてください。 参照　「カバー F につまった用紙を取り除く」（264 ページ） 「カバー A につまった用紙を取り除く」（249 ページ）
ﾌﾟﾘﾝﾄｼｼﾞﾊ ﾑｺｳﾃﾞｽ 〔ｾｯﾄ〕 ｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	パソコン側での設定に従って、印刷できませんでした。セットキーを押して印刷を取り消してください。ドライバのプロパティのプリンタ構成を確認してください。 参照　「オペレータパネルの操作」（171 ページ） 「プリンタドライバの設定 / 印刷」（181 ページ） 「〔プリンタ構成〕タブ」（195 ページ）
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃ ｸﾀﾞｻｲ	フロントカバーが開いています。 フロントカバーを確実に閉じてください。 参照　「各部の名称と機能」（7 ページ）

表示メッセージ	表示内容と処置
ﾒﾓﾘｰﾌﾞｿｸﾃﾞｽ 〔ｾｯﾄ〕ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタの動作に必要なメモリが不足しています。〔セット〕スイッチを押してください。必要なメモリを増設して印刷してください。 参照　「オペレータパネルの操作」（171 ページ） 「プリンタドライバの設定 / 印刷」（181 ページ） 「〔グラフィックス〕タブ」（190 ページ） 「拡張メモリ（オプション品）を取り付ける」（39 ページ） 「第 7 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）
ﾕﾆｯﾄ B ｦﾋｷﾀﾞｼﾃ OHP ｦﾄﾘﾉｿﾞｸ ﾜｸﾂｷ OHP ﾌｶ	本プリンタで使用できない OHP シートまたは OHP シート以外の用紙を検出しました。 ユニット B を引き出し、つまっている OHP シートまたは用紙を取り除いてください。 参照　「使用できない用紙」（111 ページ） 「手差しトレイにつまった用紙を取り除く」（248 ページ） 「ユニット B につまった用紙を取り除く」（250 ページ）
ﾕﾆｯﾄ C ｦﾋｷﾀﾞｼﾃ OHP ｦﾄﾘﾉｿﾞｸ ﾜｸﾂｷ OHP ﾌｶ	本プリンタで使用できない OHP シートまたは OHP シート以外の用紙を検出しました。 ユニット C を引き出し、プリンタ内につまっている OHP シートまたは用紙を取り除いてください。 参照　「使用できない用紙」（111 ページ） 「ユニット C でつまった用紙を取り除く」（260 ページ）
ﾕﾆｯﾄ B ｦ ﾓﾄﾉｲﾁﾆ ﾓﾄﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ユニット B が開いています。 ユニット B 閉じてください。 参照　「ユニット B につまった用紙を取り除く」（250 ページ）
ﾕﾆｯﾄ C ｦ ﾓﾄﾉｲﾁﾆ ﾓﾄﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ユニット C が開いています。 ユニット C を確実に閉じてください。 参照　「ユニット C でつまった用紙を取り除く」（260 ページ）
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	両面ユニットが正しく装着されていません。 プリンタ本体に両面ユニットを装着してください。 参照　「両面ユニットでつまった用紙を取り除く」（265 ページ）

〔エラー〕ランプが点滅している場合

〔エラー〕ランプが点滅している場合は、お客さま自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留め、プリンタの電源を切断し、お買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（318 ページ）へご連絡ください。

表示メッセージ	表示内容と処置
XX-XX ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｵﾌ - ｵﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタが動作できなくなっているか、プリンタの動作が保証されません。 いったん電源を切断し、再び投入します。 それでもエラーメッセージがでる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（318 ページ）へご連絡ください。

ワーニングメッセージが表示されたとき

プリンタを使用中に液晶ディスプレイの「プリント　デキマス」の表示の下段にメッセージが表示されたときは、次のように処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽﾉｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	廃トナーボックスの交換時期です。新しい廃トナーボックスを用意してください。 参照　「廃トナーボックスを交換する」（144 ページ）
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ XX ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞﾉｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	メッセージの色のトナーカートリッジの交換時期です。 メッセージの色の新しいトナーカートリッジを用意してください。 参照　「トナーカートリッジを交換する」（131 ページ）
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞﾉｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	ドラムカートリッジの交換時期です。 新しいドラムカートリッジを用意してください。 参照　「ドラムカートリッジを交換する」（138 ページ）
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ JXXXXXXX (XXXXXXX には､右記の英数字が同時に 7 桁まで表示されます。)	1: 定期交換部品（定着器）の交換時期です。 お買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（318 ページ）へご連絡ください。
	0、2 ～ 8: 本プリンタ装置の寿命として規定している印刷ページ数を超過した場合に表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷できなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。また、この警告が表示されなくても、装置導入後 5 年を経過した場合は装置寿命となります。 参照　「プリンタの仕様」（302 ページ）
	A、B、C、D: プリンタが動作できなくなっているか、プリンタの動作が保証されません。 いったん電源を切断し、再び投入します。 それでもエラーメッセージがでる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（318 ページ）へご連絡ください。

留意事項

お願い

添付のプリンタドライバ用 CD-ROM の「Readme.txt」の留意事項も併せてお読みください。

品質に関する留意事項

項目名	注意 / 制限	対処方法
はがき品質（おもて面）	はがき（おもて面）出力で「はがき」を指定しない場合、本来の品質より落ちることがあります。	はがき（おもて面）出力時は、「はがき」を指定してください。
はがき品質（うら面）	はがき（うら面）出力で「はがき（うら面）」を指定しない場合、本来の品質より落ちることがあります。	はがき（うら面）出力時は、「はがき（うら面）」を指定してください。
細線の品質	カラー（特に中間色）の細線を印字すると、薄くなり、本来の品質が悪くなることがあります。	細線は濃いめの色で指定してください。
Corel Draw で色合いが違う	Corel Draw で CMYK で色指定している場合、ディスプレイと色合いが異なることがあります。	おすすめ画質タイプを製図 / 小さい文字にしてください。
白抜き文字、白背景部分に色がつき正しく印刷されない	白抜き文字、白背景部分がクリーム色（オレンジ色）もしくはこげ茶色（グレー）などの色がつくことがあります。	〔おすすめ画質タイプ〕を〔製図 / 小さい文字〕にしてください。
貼り付け画像の画質	EPS等の画像データを貼り付けた場合、印字結果が粗くなる場合があります。	Photoshop などで貼り付け画像を TIFF などのフォーマットに変換して再度貼り付けてください。
写真画像の品質	写真画像の場合、コントラストを上げたほうが、品質がより良くなることがあります。	一概には言えませんが、画面で見た感じがあまりはっきりしない画像の場合、ドライバでコントラストを 10 ～ 15 程度にすると、画像がくっきりとして品質が良くなることがあります。
ビットマップではりつけられた場合の文字品質	ビットマップではりつけられた文字の場合、文字がきれいに印字されないことがあります。	ビットマップで貼り付けられた文字の場合は文字モードで出力してください。ただし、写真に文字をはりつけたような画像の場合、写真部分の品質は悪くなることがあります。
写真モード時の写真品質	画質調整で写真を指定すると、イメージが全体的に黄色がかった色合いになることがあります。	画質調整を文字にして出力してください。

プリンタに関する留意事項

項目名	注意 / 制限	対処方法
手差しトレイでの用紙サイズ不一致エラー	・ドライバ設定より大きい用紙が手差しトレイにセットされている場合、紙づまりエラーとなります。 例えば、ドライバで A4 サイズの用紙を設定し、手差しトレイにセットした用紙が A3 サイズの場合、印刷を行うと「カミヅマリデス ユニット C ヒキダシテクダサイ」とオペレータパネルに表示されます。 ・ドライバで設定する用紙サイズと実際にセットされた用紙が異なる場合、トレイ給紙では、給紙する前に用紙サイズ不一致を検知し、正しい用紙を補給するようエラー表示されます。ただし手差し給紙の場合、手差しは用紙サイズ検知ができないため、実際に給紙し、印刷された後に用紙サイズ不一致のエラー（テザシトレイニ XX ヲセットシテクダサイ、テザシトレイノヨウシヲカクニンシテクダサイ）が検出されます。 この場合、その検知に以下の制約があります。 ・ページ数が 1 ～ 4 ページのジョブでは、用紙サイズ不一致のエラーが検知されずに、正常終了することがあります。（エラーメッセージが出ません。） ・5 ページ以上のジョブは、2 ～ 4 枚印刷後に、そのエラーを検出することがあります。	
画像調整モード	20 シートに 1 枚の割合で、画像調整モードに入ります。その場合、印刷動作は中断され、パフォーマンスが低下します。そのとき LCD 表示はプリント中（「プリントシテイマス」）と表示します。 また、トナーが少量になるほど、画像調整モードの時間は長くなります。（約 8 秒～ 84 分）	ワーニングメッセージが表示されたら、すぐにトナーカートリッジを交換してください。

プリンタドライバに関する留意事項

項目名	注意 / 制限	対処方法
細線の再現性	細かい点線が実線で印刷されているようにみえることがあります。（線種 0.25pt 等）	〔グラフィックス〕タブの〔おすすめ画質タイプ〕で「速度優先」にしてください。
線が印字される	ディスプレイ上の通常表示（倍率 100%）において見えない線が印刷されます。	〔グラフィックス〕タブの〔おすすめ画質タイプ〕で「速度優先」にしてください。
Microsoft Word で中抜き文字が印刷されない	Windows 98上で動作するMicrosoft Word で、中抜き修飾を施した文字が、印字されなかったり、文字化けしたりしてしまうことがあります。	〔フォント〕タブで「常に TrueType フォントを使う」に設定してください。
Acrobat 4.0 で正しく印字されない	Windows 98 上で動作する Acrobat 4.0 で画面通りに印字できない場合があります。	〔詳細〕タブのスプール設定を「RAW → EMF」にしてください。
Windows 98 追加補助漢字が印刷されない	Windows 98 で追加された補助漢字を、プリンタフォントを用いて印刷すると、文字が印刷されなかったり、文字化けすることがあります。	〔フォント〕タブで「常に TrueType フォントを使う」に設定してください。
ソート機能が働かない	アプリケーションからの印刷時に、印刷ダイアログのプロパティで、「ソートする」を指定してもソートされません。	アプリケーション側の印刷ダイアログの「部単位で印刷」を指定してください。
ダイアログ表示	表示解像度 VGA（640 × 480dpi ）では、ダイアログドライバウィンドウ全体を表示できません。	できるだけ 800 × 600dpi 以上の解像度で使用してください。
プリンタ搭載フォントの一部が、フォント置き換えテーブルに表示されない（Windows 95/98/Me）	XL-C3200 では、MS 互換フォントを使用しているため、欧文フォントの一部書体（Arial Italic）を関連書体（Arial）で代替可能です。したがってプリンタ搭載フォントの一部書体は「フォント置き換えテーブル」に表示されません。	選択可能なフォントを使用してください。
イメージ調整プレビュー	イメージ調整プレビューは、256 色表示の場合 16 色で表示されます。High Color 以上の場合は 256 色表示となります。	できるだけきれいにイメージ調整プレビューを表示させるために、High Color 以上で使用してください。
セントロ接続でのタイムアウト	・CorelDraw/Designer/Photoshop/一太郎などから印刷をする場合、パソコン側の処理能力によって、連続して印刷処理が行えない場合があります。この場合、プリンタ側でタイムアウトを起こし、次のようなトラブルが発生することがあります。 ・印字途中で、TEXT になってしまいます。 ・出力結果が文字化けのようになっていたり、白紙が出力されます。	CorelDraw/Designer/一太郎/Photoshop などで出力に時間がかかると思われる場合は、タイムアウトを「オフ」に指定してください。ただし、内容によっては出力が終わるまでに数時間かかるものもあります。

項目名	注意 / 制限	対処方法
細線が正しく印刷されない （特に高品質）	・カラー文書で細線の色が異なってしまうことがあります。または、細線が再現されないことがあります。 ・白黒文書、またはカラー文書を「白黒モード」で印刷すると、細線が正しく印刷されないことがあります。 ・縮小印刷を行うと、細線が正しく印刷されないことがあります。	このような場合には、 ・細線は太めで使用してください。 ・〔グラフィックス〕タブの〔おすすめ画質タイプ〕を「速度優先」で印刷してください。 ・黄色（特に白背景での）の線は、できるだけ他の色を使用することをお勧めします。 ヘアライン設定（1DotLine）では、再現しているが見えない場合があります。また、濃色背景での黒では、異なる色に見える場合があります。 プレビューとは異なりますが、内部処理ではアプリケーションの指定どおり印刷しています。
シェード、線種が正しく印刷されない （特に画質優先 / 写真専用）	画質優先では、シェードおよび線種が、プレビューとは異なる場合があります。 たとえば、線種が再現されない、シェードが細かいなどがあります。	「速度優先」で印刷してください。
薄い文字色 / 背景色が正しく印刷されない	黄色、銀色などで薄い色（20％程度）が再現されないことがあります。	銀色など、薄い色については、濃度を濃い目にして使用してください。 黄色（特に白背景での）は、できるだけ他の色を使用することをお勧めします。
プレビューと文字位置・改行位置が異なる	プレビューと文字位置・改行位置などが異なる場合がまれにあります。	常に True Type で印刷を選択してください。「プリンタフォントで置き換える」では、表示解像度とプリント解像度の違いから、合わない場合があります。
はがき設定	ハガキサイズを選択した場合にはがき / はがき（うら面）は連動していません。	官製はがきを使用する場合は、用紙種類をはがき、またははがき（うら面）に設定してください。
システム外フォント	使用しているPC に搭載されていないフォントを使用したドキュメントでは、アプリケーションによって ・文字属性が再現されない ・文字が化ける ・文字が抜ける 場合があります。	「常に TrueType フォントを使う」を選択してください。 可能な場合には、パソコンに搭載されているフォントに変更することをお勧めします。

項目名	注意 / 制限	対処方法
アプリケーション（もしくはドライバの設定）がドライバ（もしくはアプリケーション）設定に反映されない	アプリケーションの設定が、ドライバに反映しない場合があります。ドライバの設定がアプリケーションに反映しない場合があります。	ドライバ側で設定を再度行ってください。それでも行えない場合は、いったんアプリケーションを閉じて、設定→プリンタ→プロパティで設定した後、再度アプリケーションを起動してください。
MS- Word 6/7 の下線、2 重下線などが正しく印刷されない	下線、2 重下線などの文字修飾や文字位置がプレビューと異なることがあります。	〔フォント〕タブの「常に TrueType フォントを使う」に設定してください。
MS- Excel 5/7 で A3 領域全部を印刷できない	A3、600dpi では、A3 領域全部を印刷できない場合があります。	アプリケーション固有の問題です。
Illustrator 4.1j で作った文書が印刷できない	画質優先 / 写真専用（600dpi）以上で印刷できない場合があります。	「速度優先」で印刷してください。 Illustrator 4.1j は、600dpi のデバイスには、正式対応していないためです。
ATOK	PC98 機で ATOK を使用している場合、プリンタ設定ができない場合があります。	その場合、一度他の FEP を選択後、再度 ATOK に切り替えることで、正常に設定できるようになります。 または、起動時は ATOK 以外の FEP を有効にしてください。
「ユーザー設定」タブの機能設定一覧に表示される一部名称が異なる	初期設定の項目名の 1 つが「TrueType 置き換えテーブル」と表示されるが、ドライバのメニュー画面上の名称（「フォント置き換えテーブル」）と異なることがあります。	「TrueType 置き換えテーブル」は「フォント置き換えテーブル」と同一機能として扱ってください。
ほかのプリンタドライバと共存使用時に特定用紙がほかのドライバより選択可能となることがある（Windows NT4.0/ 2000/XP）	ほかのドライバのメニュー画面上で XL-C3200 の特定用紙が選択可能となる場合があります。	FJXLC3200 ユーザー定義 1 ～ 5 用紙はほかのプリンタドライバでは使用しないでください。
プリントサーバーのプロパティ上で XL-C3200 用の特定用紙を削除した場合の動作（Windows NT4.0/ 2000/XP）	FJXLC3200 ユーザー定義を削除した場合、ユーザー定義用紙で指定したサイズでの印刷ができなくなります。	絶対に削除しないでください。誤って削除した場合は、ドライバを再インストールするかプリントサーバのプロパティ上で同一名称の用紙を再登録してください。
特定のアプリケーションで印刷時間が非常に遅い	〔おすすめ画質タイプ〕として「画質優先」を選択した場合、特定のアプリケーションで印刷時間が非常に遅くなることがあります。	〔おすすめ画質タイプ〕として「速度優先」を指定してください。 特に速度優先を指定すると印刷時間を大幅に短縮できる場合があります。

TCP/IP(lpr) の注意と制限

TCP/IP（lpr）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

設定について

本プリンタ側の設定について

- IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定をしてください。

ホスト側の設定について

- IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているホストで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

印刷するとき

あるホストから印刷要求を受け付けていた場合、別のホストからの印刷要求を受け付けることができません。

ホストの IP アドレスやパソコン名を変更した場合

ホストの IP アドレスやパソコン名を変更した場合、本プリンタ側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本プリンタの受信バッファに印刷データがない状態で、電源を切 / 入してください。

ガイド

本プリンタの受信バッファにある印刷データの印刷中止 / 強制排出は、オペレータパネルから操作できます。操作方法は、「印刷を中止する」（198 ページ）、「印刷指示したジョブの状態を確認する」（199 ページ）、および「残ったデータを強制排出する」（176 ページ）を参照してください。

その他の注意と制限

本プリンタを使用して印刷するうえでの、注意 / 制限事項について説明します。

解像度について

項目	使用環境	説明
オブジェクトに設定されたパターンの一部が薄く印刷される	Windows 2000/ Publisher2000	プリンタドライバで〔おすすめ画質タイプ〕が「速度優先」に設定されていると、このような症状が起こることがあります。 〔おすすめ画質タイプ〕を「画質優先」に設定して印刷してください。正しく印刷される場合があります。
文字がかすれたり、線が途切れたりする。 滑らかに印刷されない。	Windows 98/ Adobe Illustrator 9.02	
円や斜線が滑らかに印刷されない	Windows 98/ Adobe PageMaker 6.53	
文書作成時と異なった箇所で改行、または改ページが行われる	Windows/Microsoft Excel	
グラフィックスの一部が白く抜ける	Windows 2000/ Adobe Acrobat Reader 5.0	
グラデーションが設定されたグラフの壁面部分に不要な線が印刷される	Windows 98/ Adobe Acrobat Reader 5.0	
透過部分が塗りつぶされて印刷される		
文字がかすれたり、文字の太さにばらつきがある		
細線に設定された矢印の両端が印刷されない	Windows 2000/ Microsoft Excel 2002	
ページ罫線が正しく印刷されない	Windows/ Microsoft Word	
表罫線上に不要な点が印刷される	Windows NT/ Microsoft Word	
文字が表からはみ出して印刷される	Windows 98/VISIO 2000	〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックします。表示されたウィンドウ内にある、本プリンタのプリンタアイコンから、プロパティダイアログボックスを開き、〔おすすめ画質タイプ〕を「画質優先」に設定してください。

画質について

項目	使用環境	説明
オブジェクトに設定されたグラデーションの一部が白く抜ける	-	プリンタドライバで〔おすすめ画質タイプ〕を〔画質優先〕に設定して印刷してください。正しく印刷される場合があります。
低温で長時間(一昼夜など)おかれたあとで印刷すると、出力した数枚にしみのようなものが発生する	-	電源を入れ、15 分ほど待って本プリンタが十分温まってから印刷してください。 または、開封直後の新しい用紙に印刷してください。
うら面(両面印刷時)の塗りつぶし部分がもやもやした状態になる	-	使用している用紙によって、低温環境で印刷した場合、このような症状が発生することがあります。 カラーオフィス用紙を使用してください。
ハーフトーンの中に同系色の濃い色があると、その色の周りが正しく印刷されない	-	プリンタドライバで〔おすすめ画質タイプ〕の〔すべてを表示する〕をチェックし、〔プレゼンテーション〕に設定すると、正しく印刷される場合があります。
文字などの一部に濃度の薄い部分がでることがある	-	カラーオフィス用紙などの上質な用紙を使用すると、目立たなくなることがあります。
特A3サイズの用紙に印刷した場合、用紙の端が汚れる	-	印字保証領域外に多くの印字を行うと、用紙の端が汚れたようになることがあります。

縮小印刷について

項目	使用環境	説明
縮小印刷を行うとパターンが正しく印刷されない	Windows 2000/ Microsoft Word 2002	縮小処理によって、線が途切れる、パターンが擦れる、つぶれるなどの症状が発生することがあります。
N アップ機能や画像繰り返し機能を使って印刷をすると、線の一部が消える	-	

禁則処理について

項目	使用環境	説明
A5 サイズの文書の場合、出力用紙サイズをA4サイズに設定して印刷指示をすると、印刷できない	Windows	A5 サイズの用紙は、トレイ 1 ～ 3 から給紙できないため、手差しトレイが選択されていないと【プリントシジハ ムコウデス】のメッセージが表示されて印刷できません。印刷時にプリンタドライバで〔出力用紙サイズ〕や〔用紙トレイ選択〕を正しく設定してください。

その他

項目	使用環境	説明
〔自動モードのあいまい判定〕をオンにし、画質調整で〔緑〕を〔-100〕に設定して印刷するとページ全体がピンク色になる	-	〔自動モードのあいまい判定〕をオンにした状態で画質調整機能を使用すると、モノクロのオブジェクトもカラーとして画質調整されます。 〔自動モードのあいまい判定〕をオフにすると、モノクロのオブジェクトは画質調整されません。
A5 やはがきなどの用紙にバナーシートを付けて印刷すると、バナータイトルやファイル名などの一部が欠ける	Windows	A5 やはがきなどの用紙の場合、バナーシートを付ける設定をして印刷すると、用紙が小さいため、バナータイトルやファイル名などの一部が欠けることがあります。 バナーシートを印刷する場合は、A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
TCP/IP Direct Print Utility を使って印刷する場合のポートの IP アドレスについて	Windows 98	TCP/IP Direct Print Utility を使ってポートの IP アドレスを設定する場合、256 以上の数値を入力すると、プリンタ内部で別の数値に変換され、その結果、間違った IP アドレスが設定される場合があります。 256 以上の数値は使用しないでください。
用紙の先端まで高密度の画像を印刷しようとすると、紙づまりが発生する	-	用紙の先端に、確実に 4mm 以上の余白ができるように、余白を調整してください。
トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたあと、すぐに機械が停止する	-	トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、早めに新しいカートリッジを用意し、交換してください。画像密度が高い文書を印刷するなど、使用条件によっては、このメッセージが表示されたあと、数枚から数十枚出力したところで機械が停止します。
画像密度が高い白黒印字が続いた場合、印刷終了後も機械がしばらく動作する	-	トナーの量を調整しています。 故障ではありません。しばらくお待ちください。
新しいトナーカートリッジに交換後、しばらく機械が動作して印字できない	-	
オペレータパネルに【プリントデキマス】と表示されているときに、約 1 分に 1 回、短い小さな動作音がする	-	ヒューザが回転している音です。故障ではありません。
DOS プロンプトからのテキスト印刷中に用紙なしが発生した場合の給紙動作について	-	用紙なしによって停止した後に紙を補給すると、対象となるカセットから数枚印刷した後に、別カセットからの給紙に切り替わることがあります。

付　録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様

基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度(最大コピー)	普通紙(片面)、モノクロ:35.0枚/分、カラー:8.0枚/分(A4サイズ) 普通紙(両面)、モノクロ:27.4枚/分、カラー:8.0枚/分(A4サイズ) OHP/厚紙、モノクロ:5.3枚/分、カラー:3.5枚/分(A4サイズ)
ウォームアップタイム	電源投入後、330秒以内(22℃、定格電圧にて)
エンジン解像度	600dpi × 600dpi
用紙サイズ	・用紙トレイ　:A3、B4、A4、B5、リーガル、レター、 ・手差しトレイ　:328 x 453mm(特A3)、A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、ユーザー定義用紙(幅90～330.2mm/長さ144.8～457.2mm)
給紙方式	・　用紙トレイによる自動給紙(収容枚数250枚、拡張給紙ユニットを使用時500枚×1段または500枚×2段) ・　手差しトレイによる自動給紙(収容枚数150枚)
排紙方法	・　センタートレイ(フェイスダウン)250枚 ・　サイドトレイ(フェイスアップ)150枚(A4以下)/50枚(A4より大きいサイズ)
使用環境条件	温度10℃～32℃、湿度15%～85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100 ± 10%、50/60 Hz
消費電力	最大時　1050W以下、節電時　20W未満
騒音(音圧レベル)	待機時　38.3dB(A)、動作時　54.8dB(A)
外形寸法	幅650mm、奥行き647mm、高さ556mm (手差しトレイ、サイドトレイ折りたたみ時)
質　量	約69kg(消耗品を含まず)
インタフェース	IEEE 1284 双方向パラレルポート USB 1.1 準拠 USB ポート 100Base-TX/10Base-T LAN ポート※ ※オプションのプリンタ LAN カード増設により、動作可能
プリンタシーケンス	Windows専用(XL-C3200独自)
文字・書体	日本語フォント(2書体):　平成明朝体W3 平成角ゴシック体W3
	欧文フォント(13書体): CS Triumvirate (Regular)、CS Triumvirate (Bold)、 CS Triumvirate (Italic)、CS Triumvirate (Bold Italic)、 CS Courier (Medium)、CS Courier (Bold)、 CS Courier (Oblique)、CS Courier (Bold Oblique)、 CS Times (Roman)、CS Times (Bold)、 CS Times (Italic)、CS Times (Bold Italic)、CS Symbol
耐用期間*	5年(8時間/日)または18万枚印刷(A4縦送り、片面印刷)のいずれか早いほう

＊モノクロ：カラー＝1：1 で印刷 (A4 縦送り、片面印刷) した場合です。
(すべてをカラーで印刷した時は 11.25 万枚となります。)
両面印刷の場合は、片面印刷時の半分の枚数が印刷可能です。
A3 印刷の場合は、A4 印刷時の半分の枚数が印刷可能です。
推奨印刷ページ数：月間平均 3,000 ページを目安

運用編

ガイド

・プリンタ装置は、用紙を給紙／搬送する機構や画像を生成する機構などの可動部品が多くを占めています。これらの可動部品は、画像を作像したり用紙の給紙／搬送を繰り返すことによって摩耗／劣化が進行し、装置ごとに定める寿命を超えて使用した場合、プリンタ装置の機能・性能が著しく低下します。このため、①耐用年数、②耐用ページ数、の２つの条件でプリンタ装置の寿命を定義しています。

①耐用年数

電源などの電気部品や用紙を搬送するゴム部品などの経年劣化する部品について、安定的動作が期待できる期間を示し、その期間は 5 年となります。(8 時間 / 日、25 日 / 月の運用を想定)

上記期間はあくまでも目安であり、保証するものではありません。

②耐用ページ数

可動部品の摩耗／劣化により機能・性能が著しく低下し、そのまま使い続けると故障頻度が上昇し、本来の機能・性能を維持できなくなる時期を示しています。装置が印刷ごとに印刷ページ数 (実際に通紙した用紙の枚数ではありません) を更新し、装置ごとに定められたページ数に達した時点でメッセージの表示を行っています。

耐用ページ数を超えてのご使用はお薦めできませんが、磨耗 / 劣化した可動部品が交換可能な場合は、磨耗 / 劣化した部品を交換することにより継続してご使用いただけます。ただし、故障頻度は、耐用ページ数到達以前より上昇することになります。

なお、耐用ページ数を超えての印刷は保証するものではありません。安定した品質を維持できる目安として、推奨印刷ページ数（月間印刷ページ数および日間印刷ページ数）の範囲内でのご使用を推奨いたします。

付

［推奨印刷ページ数］
プリンタ装置は、用紙を給紙／搬送する機構や画像を生成する機構などの可動部品を多数有する装置です。さらにページプリンタはトナーを使用し画像を形成することで印刷を完成させており、特にトナーは短時間に過度な使用を行うと、その成分が劣化し、画像不良を引き起こしたりトナー漏れが発生し機内を汚染することがあります。そのため、プリンタを安定してご使用いただくための月間推奨印刷ページ数、1 日の最大印刷ページ数を設定しております。それぞれの最大印刷ページ数を越えて使用された場合、トナー劣化による故障を含め、ハード的な故障の原因となる場合がありますので、必ず推奨印刷ページ内での運用をお願いいたします。

- 耐用ページ数は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- A4 より大きく長い用紙やカラー印刷の量が多い場合は、耐用期間は 18 万枚より短くなります。
- 耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、「ハードウェア修理相談センター」（318 ページ）にご連絡ください。なお、部品の交換は有償です。

部　品	交換目安 (A4 印刷時)*
定着器	片面印刷　約 10 万枚 両面印刷　約 5 万ページ
給紙ローラ	10 万枚印刷

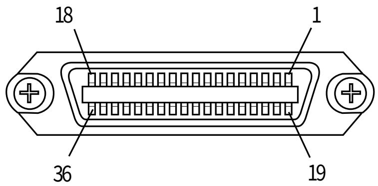
＊A3 印刷の場合は、A4 印刷時の半分の枚数になります。

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE 1284 の仕様に準拠した双方向パラレルインタフェースを採用しています。

インタフェース仕様とコネクタピン配列

- インタフェースコネクタ
  プリンタ側：36 極コネクタ（メス）　アンフェノール　57-40360 相当品
  ケーブル側：36 極コネクタ（オス）　アンフェノール　57-30360 相当品
- ケーブル：最長 1.5m 以下のケーブルを使用してください。
  (雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
- 信号レベル：LOW：0.0V ～+ 0.4V HIGH：+ 2.4V ～+ 5.0V
- データ転送方式：8 ビットパラレル
- コネクタピン配列



インタフェースコネクタ (36 ピン)
双方向 OFF 時のピン配列

ピン番号	信号名称	発信元	ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン	19	-RET	—
2	Data 1	パソコン	20	-RET	—
3	Data 2	パソコン	21	-RET	—
4	Data 3	パソコン	22	-RET	—
5	Data 4	パソコン	23	-RET	—
6	Data 5	パソコン	24	-RET	—
7	Data 6	パソコン	25	-RET	—
8	Data 7	パソコン	26	-RET	—
9	Data 8	パソコン	27	-RET	—
10	＊ Ack	プリンタ	28	-RET	—
11	Busy	プリンタ	29	-RET	—
12	Paper End	プリンタ	30	-RET	—

ピン番号	信号名称	発信元
13	Select	プリンタ
14	＊ Auto Feed	パソコン
15	—	
16	SG	
17	FG	
18	+5VSignal	プリンタ

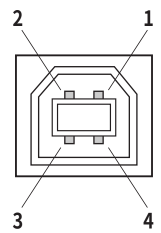
ピン番号	信号名称	発信元
31	＊ Inputprime	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	—	–
34	—	–
35	—	–
36	＊ SelectIn	パソコン

注）・“＊”は、負論理信号であることを示します。
・双方向 ON 時の結線は、IEEE 1284-B タイプのコネクタの規格に準拠しています。

USB インタフェース仕様とコネクタピン配列

基本仕様	USB 仕様の Revision1.1 準拠
インタフェースコネクタ	プリンタ側：B レセプタクル（メス） ケーブル側：アップストリームポート
ケーブル	XL-CBLU1 または、5m 以下の USB 仕様 Revision1.1 以上に適合したケーブル（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
伝送モード	フルスピード（最大 12Mbps）
電力制御	セルフパワーデバイス

・USB ピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源 (+5v)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品の仕様

本プリンタのオプション品の仕様は、次のとおりです。

拡張給紙ユニット -A(1 段)

給紙枚数	500 枚× 1 段
外形寸法	560(幅) × 602(奥行き) × 136(高さ)*mm
質 量	13.3kg

*: 突起は含みません。

拡張給紙ユニット -B(2 段)

給紙枚数	500 枚× 2 段
外形寸法	560(幅) × 602(奥行き) × 265(高さ)*mm
質 量	21.2kg

*: 突起は含みません。

両面ユニット

質 量	8.2kg

プリンタキャビネット

外形寸法	560(幅) × 686(奥行き) × 471(高さ)mm
質 量	17.5kg

プリンタ LAN カード

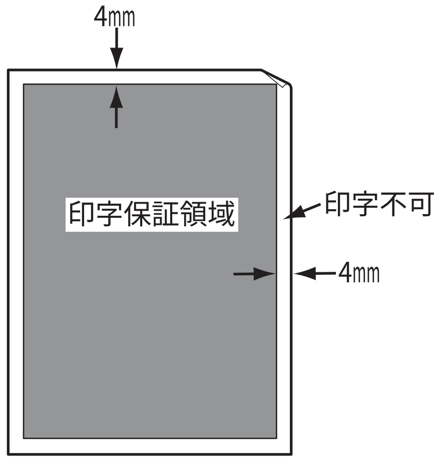
インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T
TCP/IP プロトコル*	LPD、IPP、DHCP、HTTP、SNMP

*:NetWare は、サポートしていません。

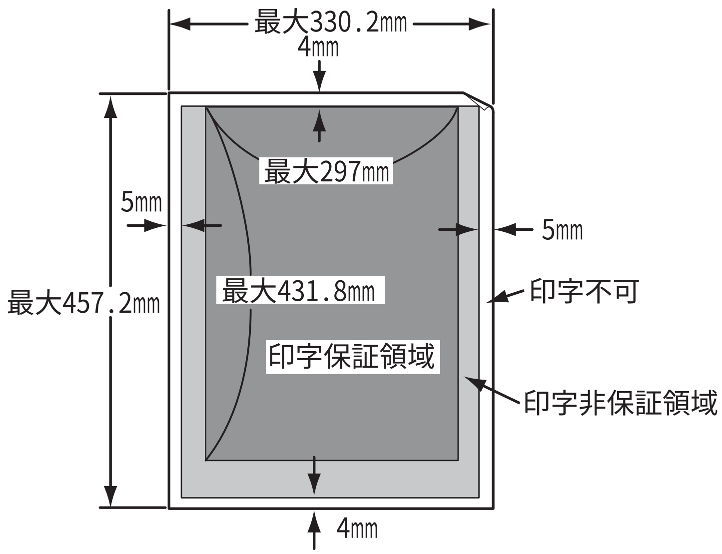
印刷保証領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［用紙幅が 304.8mm(12inch) 以下の用紙の場合］



［用紙幅が 304.8mm(12inch) より大きい用紙の場合
（特 A3 用ガイドを倒して印刷する場合）］



HyperPrint の概要

「HyperPrint」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。
「HyperPrint」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。

特　長

●印刷コストの削減

・プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
・両面印刷、縮小印刷による印刷用紙の削減
・印刷データのファイル保存

●アプリケーション導入コストの削減

・データを確認するためのアプリケーションが不要
・アプリケーションのバージョン / レベルなどの整合性への意識不要

●業務の効率化

・送付先のパソコン環境を意識することが不要
・帳票作成時と同様の鮮明度

動作環境

とくに制限はありません。

「HyperPrint お試し版」の機能制限

・プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。
・プレビュー表示 30 回で製品購入を促すメッセージを表示します。

RepoAgent の概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。
さまざまなビジネス帳票をワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

特　長

●帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上

ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

●多彩な帳票設計

以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。

罫線、網かけ、文字装飾、バーコード (9 種)、画像、
データ内容に応じた小計 / 見出し / 改ページの自動挿入　など

●容易なアプリケーション連携

アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータを CSV テキスト形式で出力し、RepeAgent を呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSV テキストは Unicode にも対応しています。
また、アプリケーションからの呼び出しインタフェースには、コマンド、API、ActiveX コントロールの 3 種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

動作環境

対応 OS	Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	16MB 以上 (64MB 以上を推奨)
ディスプレイ解像度	800 × 600 以上 (1024 × 768 以上を推奨)
ハードディスク	空き容量 20MB 以上 (インストール時は、さらに作業域として 10MB 必要)
プリンタ	Windows から印刷できるプリンタ (バーコード印刷時は印刷解像度 300dpi 以上を推奨)

「RepoAgent お試し版」の機能制限

お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgent では使用できません。

ネットワークガイドの見かた

ネットワークガイドは、PDF 形式のオンラインマニュアルとして添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、本プリンタ添付の CD-ROM からインストールしてください。

Acrobat Reader をインストールする

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンに Acrobat Reader (4.05J またはそれ以降) があらかじめインストールされていることが必要です。
添付のCD-ROMから次の手順でAcrobat Reader 4.05Jをインストールすることができます。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

2 CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある「Ar405cjpn.exe」をエクスプローラから実行し、インストールする

画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

ガイド

- Acrobat Reader は PDF(Portable Document Format) 形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 4.05J は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版の Acrobat Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社 URL：http://www.adobe.co.jp

オンラインマニュアルを使う

オンラインマニュアルは、Acrobat Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

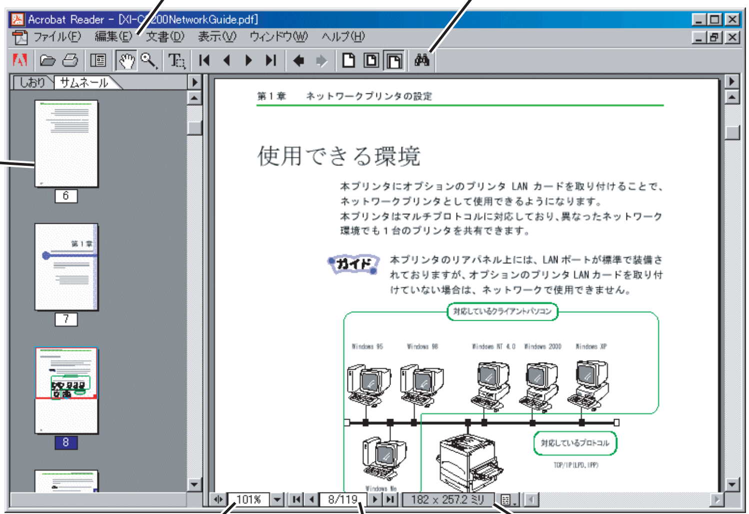
1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

2 CD-ROM の「Manual」フォルダにある「NetworkGuide.pdf」をエクスプローラから実行する

メニューバー
プルダウンメニューからさまざまな操作を行うことができます。

ツールバー
ボタンをクリックするだけで、拡大などの操作が行えます。

サムネール
ページ全体のイメージです。
ツールバーにある[サムネールとページ]ボタンを選択すると、表示されます。
しおり機能が設定されている場合は、サムネールの代わりにしおりを表示することもできます。



表示倍率
任意の倍率を入力するか、プルダウンメニューから選択して画面の表示倍率を変更できます。

ページ指定
任意のページを表示させることができます。

用紙方向と用紙サイズ
通常は、ファイルの用紙方向と用紙サイズが表示されています。ここをクリックすると、ページの表示方法を変更できます。「見開きページ」を選択すると、ページを見開きで表示できます。

プリンタドライバを入手する

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。「FMWORLD.NET」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示した URL よりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FM WORLD URL：http://www.fmworld.net/

ガイド

- 「FMWORLD.NET」をご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版ドライバが収められており、「FMWORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

用語集

CMYK

カラー印刷などでの色の表現方法です。
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の 4 色に分解し、その 4 種類の色を重ね合わせて印刷します。

DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

ICM

Image Color Matching の略で、Windows 98/Me/2000 で採用されている色管理用ソフトウェアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンタによる印刷結果の色を一致させます。

IPP

Internet Printing Protocol の略で、RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコル HTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。

lpd

Line Printer Daemon の略で、ホストからの lpr(LPR) 印刷要求に対し、受信制御を行います。

lpr(LPR)

Line Printer Remote の略で、TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。
Windows NT4.0/2000/XP では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。

NV メモリ

電源を切ってもプリンタの設定内容を保持しておくことが可能な、不揮発性のメモリです。

運用編

付

RAM

Random Access Memory の略で、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置（メモリ）です。

ROM

Read Only Memory の略で、情報の読み出し専用の記憶装置（メモリ）です。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットやイントラネットで使われている最も代表的なプロトコル（通信の手段）の名称。正確には伝送制御プロトコル / インターネットプロトコルといいます。

印字領域

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

解像度

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

階調

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

カット紙

A4、B5 などの定型サイズの用紙のことです。

共通メニュー

プリンタ本体の基本的動作、NV メモリ初期化、セキュリティ、パラレルインタフェース、各種リストやレポートの印刷、ネットワークなど、すべてのプリントモードに共通の設定をするためのメニューです。

グラデーション

写真やイラストなどに見られる、連続した色の濃さの変化をいいます。

受信バッファ

バッファとはホストから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリ容量を増やすことによって、ホストの解放を早くすることができます。

初期値

工場出荷時、および NV メモリ初期化時の設定です。

ジョブ

ひとまとまりの印刷データのことです。印刷の中止や排出はジョブ単位で行われます。

スクリーン

プリンタなどで、印刷物の濃さを表すための点を網点といい、印刷するときの網点の列、または線の数をスクリーン線数といいます。スクリーン線数によって、表現できる階調が変化します。

プロトコル

データ通信を行うために必要な通信規約です。

プリントページバッファ

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを、プリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。

アフターサービスについて

・ お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
・ 保証書は、日本国内でのみ有効です。
・ 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
・ 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後 6 年です。ご了承ください。
・ 分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
・ プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
・ 操作、機能について不明な点、修理のご相談は、お買い求めの販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

：0120-950-222(フリーダイヤル)

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- 営業時間 9:00 ～ 17:00(土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く)

・ ハードウェア修理相談センターの連絡先は、下記のとおりです。

「ハードウェア修理相談センター」

：0120-422-297(フリーダイヤル)

- 受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

索　引

り

れ

ろ

わ

ページプリンタ　XL-C3200
取扱説明書
B5WY-0391-03-00
発行日　2005 年 12 月
発行責任　富士通株式会社